

日時：令和2年7月29日（水）
10時00分～12時00分
場所：大和信用金庫 八木支店 3階 第1会議室

第2回 橿原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

次 第

1 開会	10:00～10:05
2 あいさつ	10:05～10:10
3 議事	10:10～11:55
1) 第1回検討委員会の概要について	
2) 公立保育所・幼稚園の現状と保育ニーズについて	資料説明：55分程度
3) 適正配置を目指した対応策について	質疑応答：50分程度
4) 今後のスケジュールについて	
4 その他	11:55～
5 閉会	～12:00

・配布資料

次第

委員名簿（令和2年度6月版）

資料01_諮問書

資料02_第1回検討委員会の概要

資料03_公立保育所・幼稚園の現状と保育ニーズについて

資料04_適正配置を目指した対応策について

資料05_今後の検討スケジュール

補足資料01_橿原市執行機関の附属機関に関する条例

補足資料02_橿原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会規則

補足資料03_橿原市審議会等の設置及び運営並びに会議の公開に関する要綱

補足資料04_就学前の保育・教育のあり方と適正配置についての基本方針【概要版】

補足資料05_橿原市教育施設再配置基本方針【概要版】

補足資料06_橿原市子ども・子育て支援に関するアンケート調査【結果報告書】

補足資料07_0-5歳人口の推移と推計

補足資料08_橿原市就学前の保育・教育指針（当日配布予定）

本検討委員会の委員名簿（令和2年6月更新）

所属・役職	氏名
学識 (奈良芸術短期大学 副学長)	あまね としはる 天根 俊治
学識 (奈良教育大学 名誉教授)	しげまつ けいいち 重松 敬一
私立保育園 代表 (愛育保育園 園長)	まつい だいすけ 松井 大典
私立幼稚園 代表 (くちなし幼稚園 園長)	さへき まさとし 佐伯 雅寿
橿原市自治委員連合会 代表 (市自治委員連合会 会長)	ますたに さちよ 榎谷 佐千代
橿原市自治委員連合会 代表 (市自治委員連合会 副会長)	よねかわ のりひさ 米川 憲久
橿原市PTA連合会 代表 (市PTA連合会 会長)	かきもと けんぞう 柿本 健三
橿原市PTA連合会 代表 (次年度準備委員会委員長)	たつみ たかお 辰巳 隆雄
橿原市議会 代表 (副議長)	ひろい かずたか 廣井 一隆
橿原市園長会 代表 (園長会長)	いぬい いくよ 戌亥 育代
橿原市校長会 代表 (校長会 選出)	まつもと しゅうじ 松本 修二
労働者 代表 (橿原市労働者福祉協議会 選出)	もりしま りょういち 森嶋 良一
公募委員	いのうえ まさき 井上 昌規
公募委員	なかい よしみ 中井 好

以上、14名

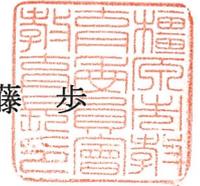


檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会
会長 様

檀原市長 亀田 忠彦



檀原市教育委員会
教育長職務代理者 伊藤 歩



諮 問 書

平成29年5月に国が発表した「子育て安心プラン」で、平成30年度から令和4年度までの5年間で女性就業率80%に対応できる約32万人分の保育の受け皿を整備し、待機児童解消を目指すとされました。また、「子ども・子育て支援新制度」により保育所等への入所要件が緩和され、さらに令和元年10月には幼児教育・保育の無償化が実施されました。今後も共働き世帯の増加、核家族化の進行、ひとり親世帯の増加などの社会的要因から、子どもを預けなくては働けない家庭が増え、少子化にも関わらず、保育需要が増大する傾向にあります。

檀原市には、公立保育所・幼稚園を一体化したこども園が5園、幼稚園が10園、合わせて15の園があります。こども園では、共働き世帯の増加や就労形態の多様化などの影響から、入所希望者が増加し、定員を超える状況となっています。一方で幼稚園では、少子化や社会的要因の影響を受けて、園児の減少が著しく、10人に満たない園も出てきており、子どもの育ちに大切な集団が小規模化し、望ましい環境での幼児教育が難しい状況となっています。

このような従来の枠組みだけでは対応できない状況に対して、就学前の保育・教育を一体として捉え、一貫して質の高い保育・教育を提供する新たな枠組みを検討する必要があります。また、施設の老朽化も課題となっており、今後の維持補修や更新費用なども勘案して、見直しを図らなければなりません。

これら課題の解消に向け、既存施設からの転換や民間活力の導入を含め、就学前の保育・教育施設のあり方を見直し、限られた財源や人材等をより効果的・効率的に活用して、計画的に再編整備を進めていく必要があります。

つきましては、檀原市公共施設等総合管理計画を踏まえつつ、就学前の保育・教育のあり方と適正配置についての基本方針に基づき、就学前の保育・教育施設を計画的に再編整備し、充実した就学前の保育・教育の実現に資するため、下記の事項について諮問いたします。

記

諮問事項

- (1) 就学前の保育・教育施設の適正配置実施計画に関する事項
- (2) 多様化する保育ニーズを踏まえた既存施設の転換に関する事項
- (3) 就学前の保育・教育施設の民間活力導入に関する事項

2. 第1回検討委員会の概要

2.1. 本計画の策定に当たって

平成31年4月に改訂した「就学前の保育・教育のあり方と適正配置についての基本方針」の「第3章 公立保育所・幼稚園の適正配置実施計画の策定について」で示した基本的な考え方に基づき、公立保育所・幼稚園の再編の時期を明示した上で、それを実現するための具体的な実施内容と、再編に伴って生じることが想定される諸課題への対応等について「(仮)榎原市保育所・幼稚園適正配置実施計画」に定めます。

2.2. 計画期間

本委員会における答申に基づき作成される「(仮)榎原市保育所・幼稚園適正配置実施計画」の該当期間は令和2年度から15年間(令和16年度まで)を予定しています。

本検討におかれましても、15年後を見据えた検討をいただければと考えております。

また、榎原市第2期子ども・子育て支援事業計画の更新時期にあわせて5年毎に見直しを実施しながら進めたいと考えています。

表2-1：計画期間

計画名	計画期間(年度)									
	R2	R3	R4	R5	R6	～R11		～R16		
	2020	2021	2022	2023	2024	～2029		～2034		
就学前の保育・教育のあり方と適正配置についての基本方針	基本方針									
(仮)榎原市保育所・幼稚園適正配置実施計画	実施計画(5年毎に見直し)									
関連計画見直し時期										

2.3. 本市の課題と背景

(1) 公立幼稚園について

課題

- ・榎原市立幼稚園では、4歳児、5歳児の2年保育となっている。
- ・公立幼稚園の園児数の減少が著しい。
- ・保育士不足等により、保育ニーズに対応する職員体制を維持することが難しくなっている。
- ・多くの園で老朽化が進み、補修や修繕で対応している。

背景

- ・少子化が進んでおり、今後さらに減少すると見込まれる。
- ・共働き世帯が増加し、保護者の就労形態も多様化しており、求められる保育ニーズも多様化している。特に公立幼稚園での3歳児保育の実施や預かり保育の延長が求められている。

(2) こども園について

課題

- ・幼保一体化して運営しているが、運営事務が複雑となっている。
- ・入所希望者が増加し、定員を超える状況となっている。
- ・保育士不足等により、質の高い教育・保育の提供と保育ニーズに対応する職員体制を維持することが難しくなっている。

背景

- ・公立保育所と公立幼稚園を運営面で一体化している。
- ・共働き世帯が増加し、就労形態も多様化しており、求められる保育ニーズも多様化している。

2.4. 3歳児保育の必要性について

現在、公立幼稚園では、4歳児保育、5歳児保育をしており、3歳児保育をしていません。

近年の社会状況の変化による多様な保育ニーズに対応し、榎原市の就学前の保育・教育の総体として充実を図るためには、公立幼稚園での3歳児保育の実施について、私立での実施の経緯、3・4・5歳児という系統立てを目指す保育の中での意義、園児数が非常に減少してきている中での3歳児保育実施の必要性などについて議論する必要があります。

2.4.1. 私立幼稚園・保育園に通園している人数

榎原市の私立幼稚園・保育園は3歳児を受け入れており、平成30年時点の3歳児人口977人のうち、417人(42.7%)は私立へ通園していると考えられます。

そのため、私立に通園している3歳児を3歳児の総人口から除いた人口を公立幼稚園が受け入れ可能な3歳児人口として整理します。

平成30年度時点の3歳児人口977人のうち、417人(42.7%)は私立へ通園し、残りの560人(57.3%)については、榎原市こども園、市外、通園なしに該当すると思われまます。

表2-2：榎原市の私立幼稚園・保育園・認定こども園に通う3歳児の数

私立幼稚園 ^{※1}	私立保育園 ^{※2} 認定こども園 ^{※2}	合計
111人	306人	417人

※1：平成30年度5月1日時点の合計値(4園)

※2：平成30年度9月1日時点の合計値(10園)

2.5. 今後の検討課題

2.5.1. 幼保一体化の推進

幼保一体化の実施によって、発達段階に応じた指導ができ、職員の研修も深まり、保育教育内容の多様化、質的向上などが期待できます。

子どもたちが心身ともに健やかに成長・発達し、生き生きと乳幼児期を暮らし、心豊かな生活を営む基礎となる力を身につけていくためには、保育所・幼稚園の連携を強化し、総合的な子育て施策の展開と体制の構築を図っていくことが必要だと考えます。

そのため、これまで市が取り組んできたこども園の実績を踏まえつつ、民間活力導入も含めて認定こども園への整備など今後の方向性を探っていく必要があります。

(1) 就学前の保育・教育施設の適正配置実施計画に関する事項

- ・公立幼稚園の再編パターンと再編の実施時期

(2) 多様化する保育ニーズを踏まえた既存施設の転換に関する事項

- ・再編後の施設形態パターン
- ・3歳児保育の実施や預かり保育の延長の必要性

(3) 就学前の保育・教育施設の民間活力導入に関する事項

- ・民間活力の導入の必要性

3. 公立保育所・幼稚園の現状と保育ニーズについて

3.1. 公立保育所・幼稚園の園児数推移及び推計

3.1.1. 園児数の推移

各園における平成27年度から令和2年度までの推移は以下のとおりです。

令和2年度時点で真菅幼稚園を除くすべての園が各学年1学級の小規模園であり、平成27年度時点では1学級20人以上であった幼稚園の多くが1学級10人規模まで減少しています。

■ 畝傍中学校区

園		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	
畝傍南幼稚園 保有 教室数 4	園児数	43	45	41	39	31	25	
	4歳児	22	21	20	17	13	11	
	5歳児	21	24	21	22	18	14	
	学級数	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	2	2	2	2	2	2	
第4こども園 大久保保育所 保有 教室数 7 畝傍北幼稚園 保有 教室数 6	園児数	136	148	173	171	171	173	
	0歳児	4	3	3	3	4	6	
	1歳児	13	13	26	27	27	20	
	2歳児	22	20	27	35	38	31	
	3歳児	31	32	35	33	38	38	
	4歳児	36	40	42	34	35	41	
	5歳児	30	40	40	39	29	37	
学級数	9	9	11	11	11	12		
うち幼稚園部分	園児数	42	38	29	26	28	21	
	4歳児	20	18	11	13	13	9	
	5歳児	22	20	18	13	15	12	
	学級数	2	2	2	2	2	2	
幼稚園余裕教室数	4	4	4	4	4	4		
畝傍東幼稚園 保有 教室数 8	園児数	66	63	52	47	57	44	
	4歳児	29	32	16	28	27	19	
	5歳児	37	31	36	19	30	25	
	学級数	3	2	3	2	2	2	
	余裕教室数	5	6	5	6	6	6	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合

：各学年1学級の場合

■ 八木中学校区

園	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		2015	2016	2017	2018	2019	2020
第1こども園 藤原京保育所 保有 教室数 6 鴨公幼稚園 保有 教室数 5	園児数	177	189	201	178	171	158
	0歳児	3	5	6	4	3	5
	1歳児	27	26	25	19	21	18
	2歳児	31	35	39	29	33	26
	3歳児	42	42	42	38	34	35
	4歳児	38	42	48	41	39	33
	5歳児	36	39	41	47	41	41
学級数	12	11	11	11	11	11	
うち幼稚園部分	園児数	24	25	26	21	13	7
	4歳児	8	17	9	10	3	6
	5歳児	16	8	17	11	10	1
	学級数	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	3	3	3	3	3	3
晩成幼稚園 保有 教室数 6	園児数	21	35	31	24	22	19
	4歳児	13	21	9	12	9	10
	5歳児	8	14	22	12	13	9
	学級数	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	4	4	4	4	4	4
耳成幼稚園 保有 教室数 3	園児数	58	54	64	60	44	43
	4歳児	29	23	38	21	24	18
	5歳児	29	31	26	39	20	25
	学級数	2	2	3	3	2	2
	余裕教室数	1	1	0	0	1	1
香久山幼稚園 保有 教室数 2	園児数	12	11	14	9	9	10
	4歳児	5	6	6	3	5	5
	5歳児	7	5	8	6	4	5
	学級数	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	0	0	0	0	0	0
耳成南幼稚園 保有 教室数 7	園児数	77	81	78	66	52	43
	4歳児	38	43	36	28	21	22
	5歳児	39	38	42	38	31	21
	学級数	4	4	4	3	2	2
	余裕教室数	3	3	3	4	5	5

※ 赤字：1学級あたり16人以下の場合

：各学年1学級の場合

■ 大成中学校区

園		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
第2こども園 今井保育所 保有 教室数 8 今井幼稚園 保有 教室数 4	園児数	193	198	215	198	197	197	
	0歳児	7	5	10	7	6	10	
	1歳児	26	30	25	31	29	27	
	2歳児	35	34	40	34	36	36	
	3歳児	51	37	44	42	38	39	
	4歳児	38	53	43	44	43	41	
	5歳児	36	39	53	40	45	44	
	学級数	11	11	12	13	13	11	
うち幼稚園部分	園児数	27	32	22	32	33	30	
	4歳児	23	9	13	20	13	16	
	5歳児	4	23	9	12	20	14	
	学級数	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	2	2	2	2	2	2	
真菅幼稚園 保有 教室数 6	園児数	95	80	81	77	76	60	
	4歳児	35	44	38	38	37	21	
	5歳児	60	36	43	39	39	39	
	学級数	4	4	4	4	4	3	
	余裕教室数	2	2	2	2	2	3	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合

：各学年1学級の場合

■ 光陽中学校区

園	年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		2015	2016	2017	2018	2019	2020
第3こども園 金橋保育所 金橋幼稚園 保有 教室数 10 ※一体施設	園児数	127	140	146	143	144	160
	0歳児	2	5	5	5	3	4
	1歳児	14	15	25	14	15	19
	2歳児	24	19	22	33	24	22
	3歳児	26	34	24	30	38	34
	4歳児	30	34	34	28	37	38
	5歳児	31	33	36	33	27	43
学級数	9	10	10	10	10	10	
うち幼稚園部分	園児数	53	52	43	45	43	31
	4歳児	29	24	19	24	19	16
	5歳児	24	28	24	21	24	15
	学級数	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	-	-	-	-	-	-
第5こども園 川西保育所 新沢幼稚園 保有 教室数 9 ※一体施設	園児数	106	108	116	114	119	122
	0歳児	3	5	1	2	4	5
	1歳児	15	12	16	15	15	13
	2歳児	22	19	20	19	19	22
	3歳児	23	25	23	26	27	24
	4歳児	21	26	26	27	26	30
	5歳児	22	21	30	25	28	28
学級数	7	9	9	8	8	8	
うち幼稚園部分	園児数	23	25	27	20	17	22
	4歳児	8	16	11	9	9	10
	5歳児	15	9	16	11	8	12
	学級数	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	-	-	-	-	-	-

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合

■ 白檀中学校区

園		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
白檀幼稚園 保有 教室数 6	園児数		34	36	36	27	19	18
	4歳児		18	18	17	7	10	8
	5歳児		16	18	19	20	9	10
	学級数		2	2	2	2	2	2
	余裕教室数		4	4	4	4	4	4

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 : 各学年1学級の場合

■ 檀原中学校区

園		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
真菅北幼稚園 保有 教室数 7	園児数		52	63	49	45	47	28
	4歳児		21	39	11	33	11	16
	5歳児		31	24	38	12	36	12
	学級数		2	3	3	2	3	2
	余裕教室数		5	4	4	5	4	5
耳成西幼稚園 保有 教室数 5	園児数		59	52	49	54	39	25
	4歳児		30	23	25	28	11	13
	5歳児		29	29	24	26	28	12
	学級数		2	2	2	2	2	2
	余裕教室数		3	3	3	3	3	3

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 : 各学年1学級の場合

檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

3.1.2. 園児数の推計

人口推計値をもとに、園児数の推計を行った結果は以下のとおりです。現在よりもさらに公立幼稚園の小規模化が進行し、令和16年度には、1学級あたり5人を下回ると見込まれている公立幼稚園もあります。

■ 畝傍中学校区

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
畝傍南幼稚園 保有 教室数 4	園児数	25	24	24	25	22	19	19	19	19	17	17	17	17	16	15	15
	4歳児	11	12	11	13	9	9	9	9	8	8	8	8	8	8	7	7
	5歳児	14	12	13	12	13	10	10	10	9	9	9	9	8	8	8	8
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	余裕教室数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
第4こども園 大久保保育所 保有 教室数 7 畝傍北幼稚園 保有 教室数 6	園児数	173	179	179	177	181	185	183	181	178	176	174	172	171	167	167	
	0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	1歳児	20	24	23	23	23	22	22	22	22	21	21	21	21	20	20	
	2歳児	31	31	36	35	35	35	34	34	33	33	33	32	32	31	31	
	3歳児	38	33	33	38	37	37	37	36	35	35	35	34	34	33	33	
	4歳児	41	43	37	37	43	42	41	41	40	40	39	39	39	38	38	
	5歳児	37	42	44	38	37	43	43	42	42	41	40	40	39	39	39	
学級数	12	9	10	11	11	11	10	10	10	10	10	9	9	8	8		
うち幼稚園部分	園児数	21	24	24	21	22	24	23	23	23	23	22	22	22	22	22	
	4歳児	9	10	9	8	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
	5歳児	12	14	15	13	12	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
畝傍東幼稚園 保有 教室数 8	園児数	44	42	38	34	32	31	29	29	29	28	27	26	26	25	24	
	4歳児	19	19	16	15	14	14	13	13	13	13	12	12	12	11	11	
	5歳児	25	23	22	19	18	17	16	16	16	15	15	14	14	14	13	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合

■ 八木中学校区 1

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
第1こども園 藤原京保育所 保有 教室数 6 鴨公幼稚園 保有 教室数 5	園児数	158	180	195	196	195	175	171	167	164	163	159	155	153	149	147	
	0歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4
	1歳児	18	15	14	14	14	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	11
	2歳児	26	31	24	24	23	23	22	22	22	21	21	21	20	20	19	19
	3歳児	35	38	44	34	34	33	32	31	31	31	31	30	29	29	28	28
	4歳児	33	43	46	53	42	41	40	39	38	38	38	37	36	36	35	34
	5歳児	41	48	62	66	77	60	59	57	56	55	54	53	52	51	51	
学級数	11	9	9	8	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	
うち幼稚園部分	園児数	7	10	11	12	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	
	4歳児	6	8	9	10	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	
	5歳児	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
余裕教室数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
晩成 幼稚園 保有 教室数 6	園児数	19	18	17	17	17	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
	4歳児	10	8	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
	5歳児	9	10	8	8	9	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
余裕教室数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		

■ 八木中学校区2

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
耳成 幼稚園 保有 教室数 3	園児数	43	40	38	37	38	39	39	37	37	36	35	35	34	33	33	
	4歳児	18	22	18	20	20	20	20	19	19	18	18	18	17	17	17	
	5歳児	25	18	20	17	18	19	19	18	18	18	17	17	17	16	16	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
香久山 幼稚園 保有 教室数 2	園児数	10	9	12	14	9	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	
	4歳児	5	5	8	8	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	5歳児	5	4	4	6	6	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
耳成南 幼稚園 保有 教室数 7	園児数	43	44	42	38	37	36	36	35	35	34	33	33	33	33	33	
	4歳児	22	23	20	19	19	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	
	5歳児	21	21	22	19	18	18	18	17	17	17	16	16	16	16	16	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合

：各学年1学級の場合

■ 大成中学校区

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
第2こども園 今井保育所 保有 教室数 8 今井幼稚園 保有 教室数 4	園児数	197	211	204	187	189	188	190	189	189	189	189	191	193	194	197	200
	0歳児	10	11	10	10	11	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	12
	1歳児	27	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	29	29	29	30	30
	2歳児	36	37	38	38	37	38	38	38	37	38	38	38	39	39	40	41
	3歳児	39	29	29	30	30	29	30	30	30	29	30	30	30	31	31	31
	4歳児	41	45	33	33	34	34	34	34	34	34	33	34	34	34	35	35
	5歳児	44	61	66	48	49	49	49	49	49	49	49	49	50	50	50	51
学級数	11	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	
うち幼稚園部分	園児数	30	38	34	29	29	29	29	29	29	29	29	30	30	30	30	30
	4歳児	16	18	13	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14
	5歳児	14	20	21	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
余裕教室数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
真菅 幼稚園 保有 教室数 6	園児数	60	54	51	52	58	50	49	49	48	48	47	47	46	46	46	
	4歳児	21	21	18	24	20	19	19	19	19	19	18	18	18	18	18	
	5歳児	39	33	33	28	38	31	30	30	29	29	29	29	28	28	28	
	学級数	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合

■ 光陽中学校区

園	年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
第3こども園 金橋保育所 金橋幼稚園 保有 教室数 10 ※一体施設	園児数	160	163	164	155	148	140	136	134	132	130	127	126	124	123	123
	0歳児	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	1歳児	19	17	16	16	16	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14
	2歳児	22	24	20	20	19	19	18	18	18	18	17	17	17	17	17
	3歳児	34	30	32	27	26	26	25	25	24	24	24	23	23	23	23
	4歳児	38	48	42	44	37	37	36	35	34	34	33	33	32	32	32
	5歳児	43	40	50	44	46	39	38	37	37	36	35	35	34	33	33
学級数	10	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6	
うち幼稚園部分	園児数	31	35	36	35	32	30	29	28	28	28	27	26	26	26	26
	4歳児	16	21	18	19	16	16	15	15	15	15	14	14	14	14	14
	5歳児	15	14	18	16	16	14	14	13	13	13	13	12	12	12	12
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
余裕教室数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第5こども園 川西保育所 新沢幼稚園 保有 教室数 9 ※一体施設	園児数	122	128	120	118	113	98	94	89	86	83	80	76	73	71	69
	0歳児	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3
	1歳児	13	10	9	9	9	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6
	2歳児	22	27	19	18	17	17	16	15	15	14	14	13	13	12	12
	3歳児	24	27	32	23	22	21	20	19	18	18	17	16	16	15	15
	4歳児	30	24	27	32	23	22	21	20	19	18	17	17	16	16	15
	5歳児	28	35	28	31	37	26	25	24	23	22	21	20	19	19	18
学級数	8	7	6	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
うち幼稚園部分	園児数	22	23	21	25	24	20	18	17	17	16	15	15	15	14	13
	4歳児	10	8	9	11	8	8	7	7	7	6	6	6	6	6	5
	5歳児	12	15	12	14	16	12	11	10	10	10	9	9	9	8	8
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
余裕教室数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ 赤字：1学級あたり16人以下の場合

：各学年1学級の場合

檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

■ 白檀中学校区

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
白檀幼稚園 保有 教室数 6	園児数	18	18	20	19	17	16	16	14	14	14	14	12	12	12	12	
	4歳児	8	10	10	9	8	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	
	5歳児	10	8	10	10	9	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合

■ 檀原中学校区

園		年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
真菅北幼稚園 保有 教室数 7	園児数	28	27	27	25	25	27	26	26	25	25	25	24	24	23	23	
	4歳児	16	15	16	13	15	15	15	15	14	14	14	14	14	13	13	
	5歳児	12	12	11	12	10	12	11	11	11	11	11	10	10	10	10	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
耳成西幼稚園 保有 教室数 5	園児数	25	29	30	29	27	26	26	25	24	24	24	24	24	24	24	
	4歳児	13	19	16	17	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	
	5歳児	12	10	14	12	12	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	余裕教室数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

※ 赤文字：1学級あたり16人以下の場合 ：各学年1学級の場合

3.2. 本市における保育ニーズ

3.2.1. アンケート調査結果概要

現状の潜在待機児童は約 200 人であり、今後も共働き世帯の増加、核家族化の進行、ひとり親世帯の増加などの社会的要因から、子どもを預けなくては働けない家庭が増え、少子化にも関わらず、保育需要が増大する傾向にあります。

以下に示すアンケート調査は、第 2 期檀原市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、子育て支援に関する意見を把握したものです。

表：調査概要

調査名	檀原市子ども・子育て支援に関するアンケート調査（平成 31 年 3 月）			
調査対象者	就学前児童：市内在住の就学前のお子さんから 1,600 人を無作為に抽出 就学児童：市内在住の小学生のお子さんから 800 人を無作為に抽出			
調査期間	平成 31 年 2 月 28 日～3 月 15 日			
調査方法	郵送による配布及び回収			
回収結果	調査対象者	配布数	有効回答数	有効回収率
	就学前児童	1,600	899	56.2%
	就学児童	800	460	57.5%
	合計	2,400	1,359	56.6%

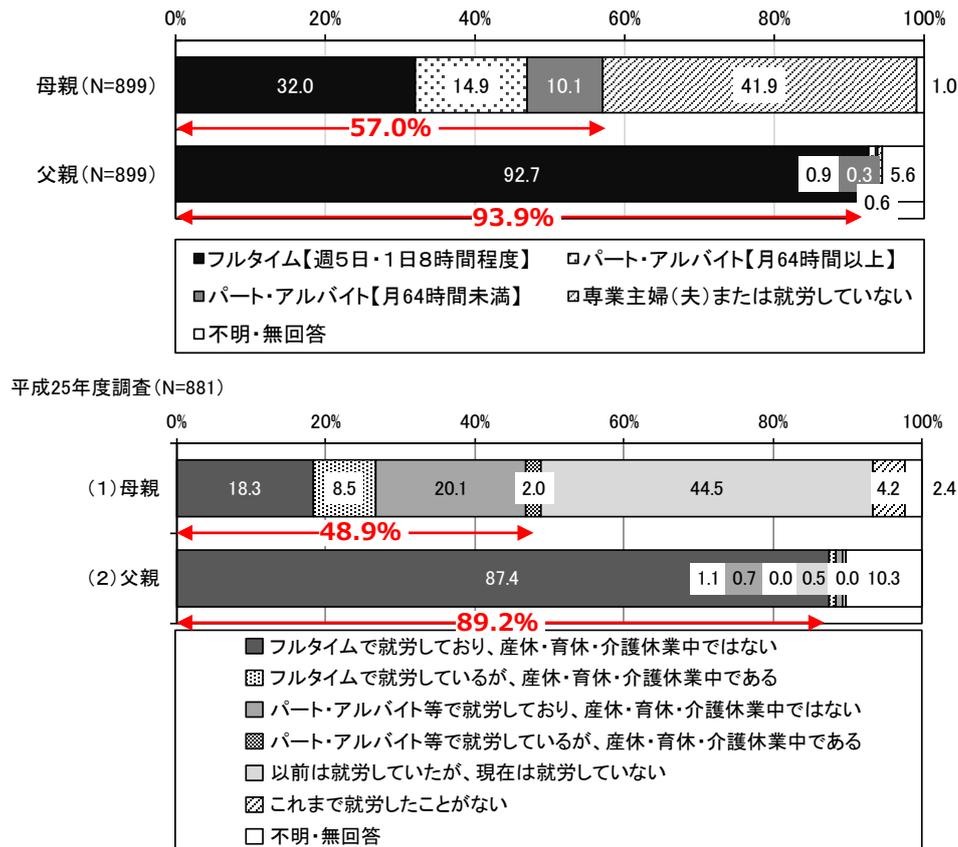
3.2.2. 主なアンケート結果抜粋

(1) 回答した保護者の就労状況について、現在の状況と1年以内の見込み

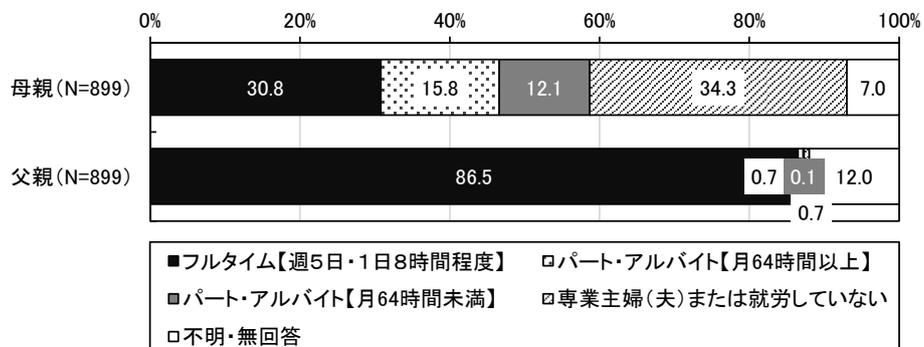
保護者の就労状況について、現在「フルタイム【週5日・1日8時間程度】」または「パート・アルバイト【月64時間以上】」「パート・アルバイト【月64時間未満】」により就労していると回答された方は、母親では57.0%、父親では93.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、母親の48.9%、父親の89.2%と比べ、増加傾向がみられます。

■現在の状況



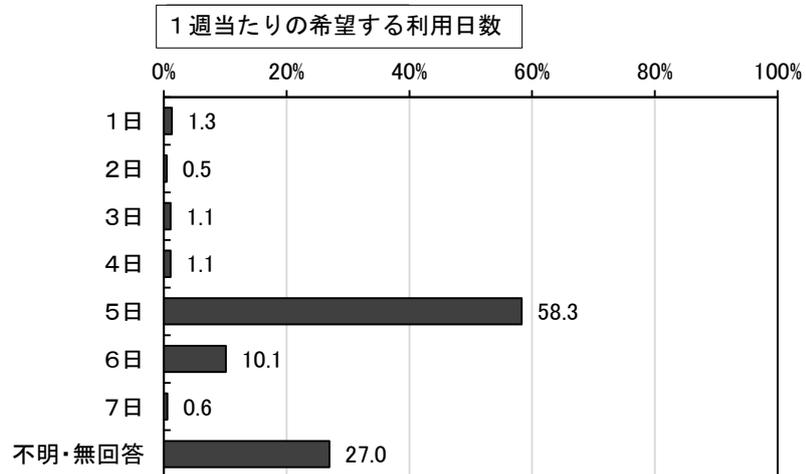
■1年以内の見込み



(2) 現在利用している幼稚園や保育園（所）・認定こども園などの施設・サービスの希望する利用日数と利用開始時間及び利用終了時間

1週当たりの希望する利用日数では「5日」が最も高くなっています。

■ 1週当たりの希望する利用日数 平成30年度調査 (N=623)



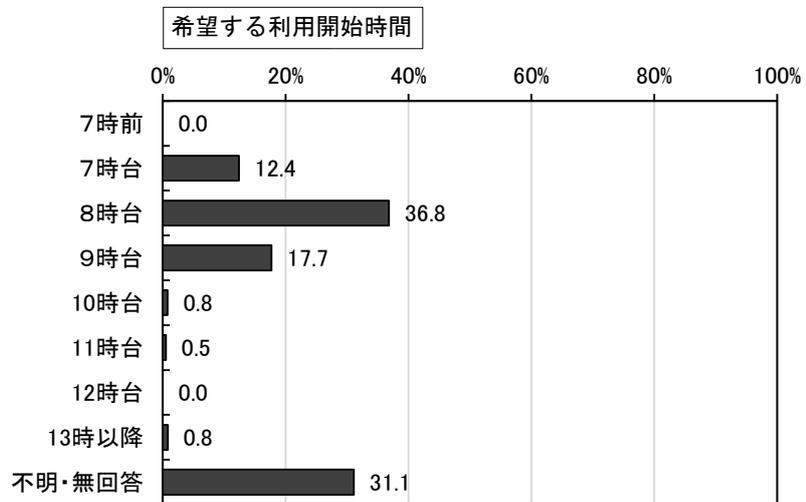
(%)

	1日	2日	3日	4日	5日
全体 (N=623)	1.3	0.5	1.1	1.1	58.3
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	0.7	0.7	0.4	0.4	57.1
市立保育所 (N=120)	0.8	0.0	1.7	0.8	56.7
私立幼稚園 (N=78)	0.0	0.0	1.3	1.3	57.7
市立幼稚園 (N=99)	1.0	0.0	1.0	3.0	73.7
幼稚園の預かり保育 (N=51)	3.9	0.0	3.9	3.9	62.7
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	0.0	3.4	0.0	51.7
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
その他 (N=16)	25.0	6.3	6.3	0.0	18.8
	6日	7日	不明・無回答		
全体 (N=623)	10.1	0.6	27.0		
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	11.8	0.7	28.2		
市立保育所 (N=120)	7.5	1.7	30.8		
私立幼稚園 (N=78)	15.4	0.0	24.4		
市立幼稚園 (N=99)	2.0	0.0	19.2		
幼稚園の預かり保育 (N=51)	7.8	0.0	17.6		
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0		
事業所内保育施設 (N=29)	24.1	3.4	17.2		
その他の認可外保育施設 (N=6)	16.7	0.0	33.3		
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	100.0		
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	66.7		
その他 (N=16)	0.0	0.0	43.8		

希望する利用開始時間では「8時台」が最も高くなっています。

■希望する利用開始の時間帯

平成30年度調査
(N=623)



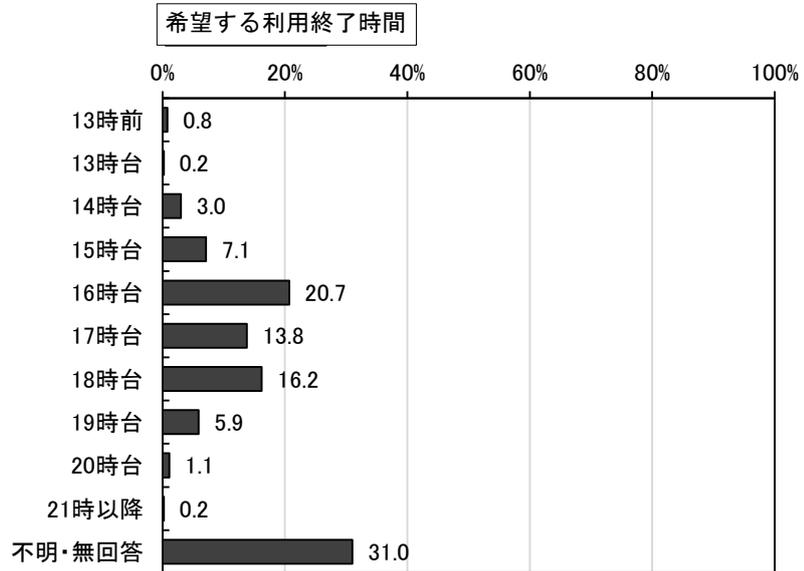
(%)

	7時前	7時台	8時台	9時台	10時台
全体 (N=623)	0.0	12.4	36.8	17.7	0.8
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	0.0	17.5	33.6	15.7	0.7
市立保育所 (N=120)	0.0	16.7	42.5	8.3	0.0
私立幼稚園 (N=78)	0.0	1.3	30.8	33.3	2.6
市立幼稚園 (N=99)	0.0	1.0	44.4	24.2	0.0
幼稚園の預かり保育 (N=51)	0.0	2.0	47.1	21.6	0.0
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	24.1	44.8	6.9	3.4
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
その他 (N=16)	0.0	0.0	18.8	25.0	6.3
	11時台	12時台	13時以降	不明・無回答	
全体 (N=623)	0.5	0.0	0.8	31.1	
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	0.0	0.0	0.0	32.5	
市立保育所 (N=120)	0.8	0.0	0.0	31.7	
私立幼稚園 (N=78)	0.0	0.0	0.0	32.1	
市立幼稚園 (N=99)	0.0	0.0	4.0	26.3	
幼稚園の預かり保育 (N=51)	0.0	0.0	7.8	21.6	
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	0.0	0.0	20.7	
その他の認可外保育施設 (N=6)	16.7	0.0	0.0	33.3	
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	0.0	66.7	
その他 (N=16)	6.3	0.0	0.0	43.8	

希望する利用終了時間では「16時台」が最も高くなっています。

■希望する利用終了の時間帯

平成30年度調査
(N=623)



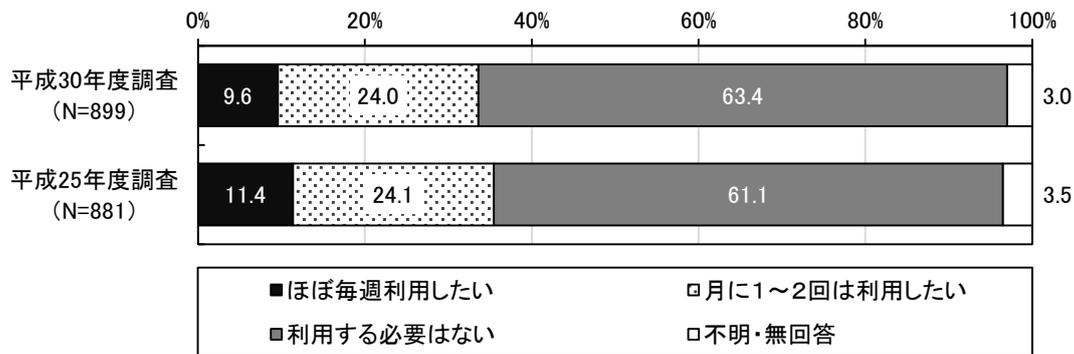
(%)

	13時前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台
全体(N=623)	0.8	0.2	3.0	7.1	20.7	13.8
私立保育園・私立認定こども園(N=280)	0.4	0.0	0.4	1.4	14.6	15.4
市立保育所(N=120)	1.7	0.8	0.0	0.0	23.3	17.5
私立幼稚園(N=78)	0.0	0.0	10.3	25.6	21.8	6.4
市立幼稚園(N=99)	0.0	0.0	8.1	18.2	37.4	9.1
幼稚園の預かり保育(N=51)	0.0	0.0	5.9	13.7	41.2	15.7
小規模な保育施設(N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
事業所内保育施設(N=29)	0.0	0.0	3.4	3.4	6.9	27.6
その他の認可外保育施設(N=6)	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業(N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他(N=16)	18.8	0.0	6.3	6.3	25.0	0.0
	18時台	19時台	20時台	21時以降	不明・無回答	
全体(N=623)	16.2	5.9	1.1	0.2	31.0	
私立保育園・私立認定こども園(N=280)	25.7	7.9	1.1	0.4	32.9	
市立保育所(N=120)	15.8	7.5	1.7	0.0	31.7	
私立幼稚園(N=78)	3.8	0.0	0.0	0.0	32.1	
市立幼稚園(N=99)	3.0	0.0	0.0	0.0	24.2	
幼稚園の預かり保育(N=51)	3.9	2.0	0.0	0.0	17.6	
小規模な保育施設(N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
事業所内保育施設(N=29)	10.3	17.2	6.9	0.0	24.1	
その他の認可外保育施設(N=6)	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	
居宅訪問型保育(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
ファミリー・サポート・センター事業(N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	
その他(N=16)	0.0	0.0	0.0	0.0	43.8	

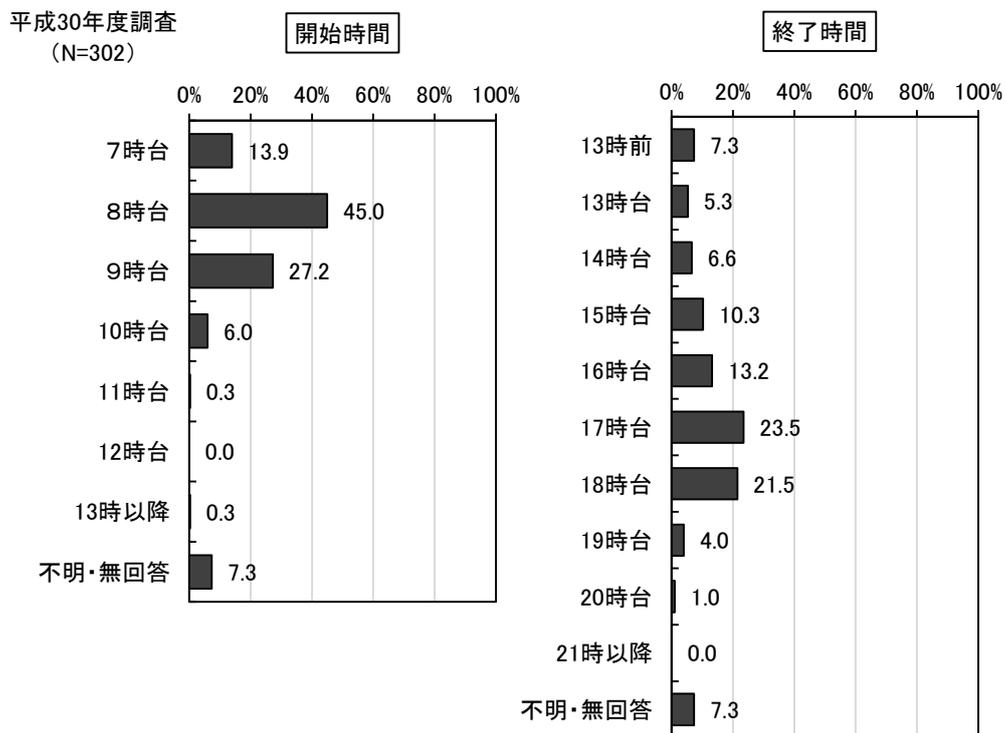
(3) 土・日・祝日の幼稚園や保育園（所）・認定こども園などの施設の利用希望について

土曜日、日曜日・祝日における施設の定期的な利用希望について、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が63.4%、76.8%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が24.0%、17.4%となっています。

■土曜日の利用希望

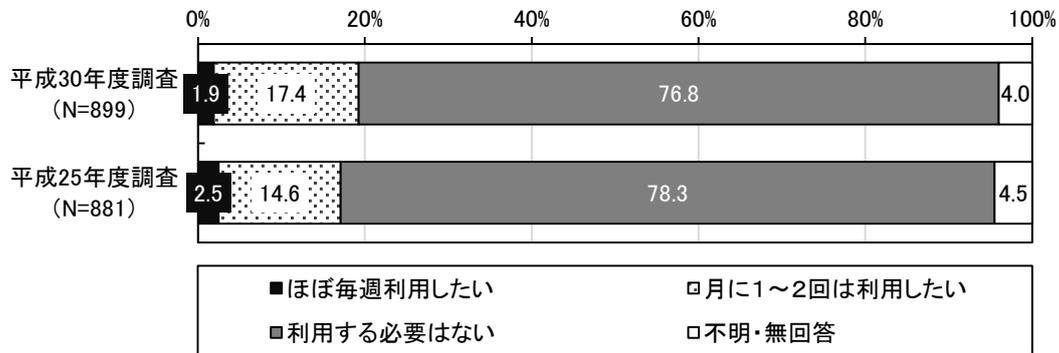


■利用したい時間帯

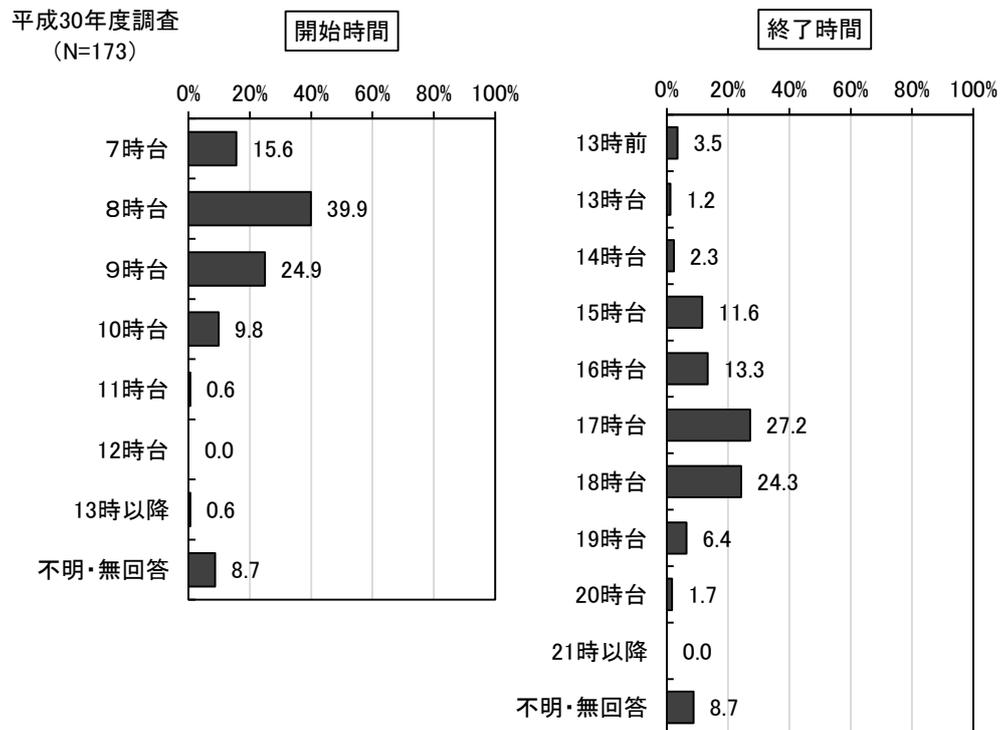


檜原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

■日曜日・祝日の利用希望



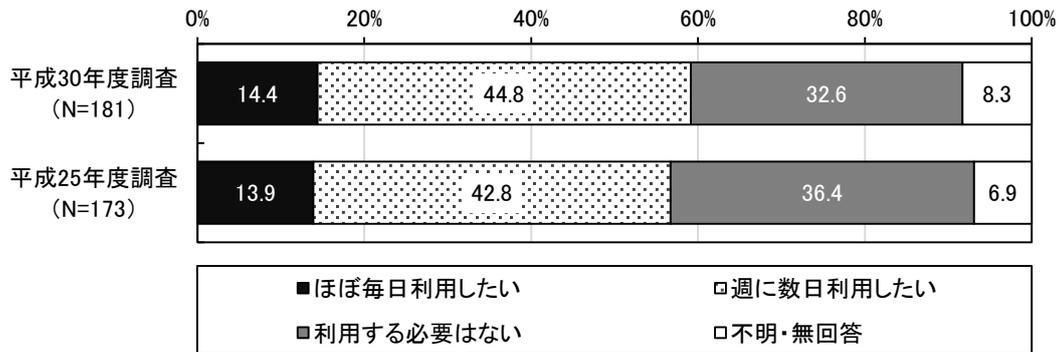
■利用したい時間帯



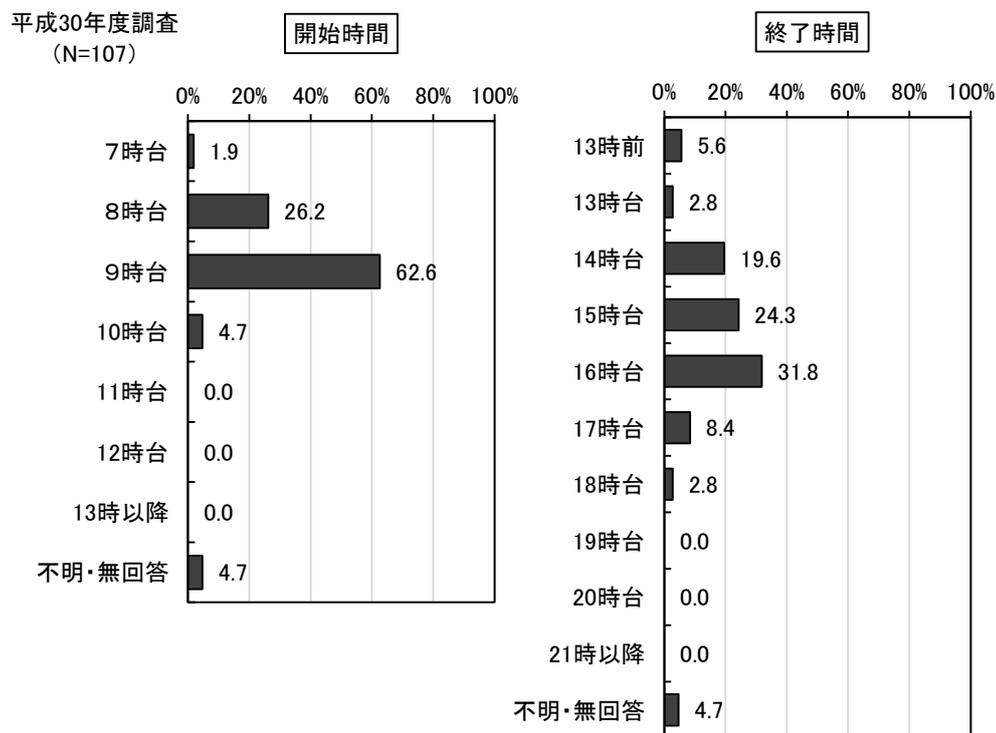
(4) 夏休み・冬休みなどの長期休暇中の幼稚園の利用希望について (幼稚園を利用されている方からの回答)

長期休暇中の幼稚園の利用希望について、「週に数日利用したい」が44.8%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が32.6%となっています。

■希望する利用頻度



■利用したい時間帯

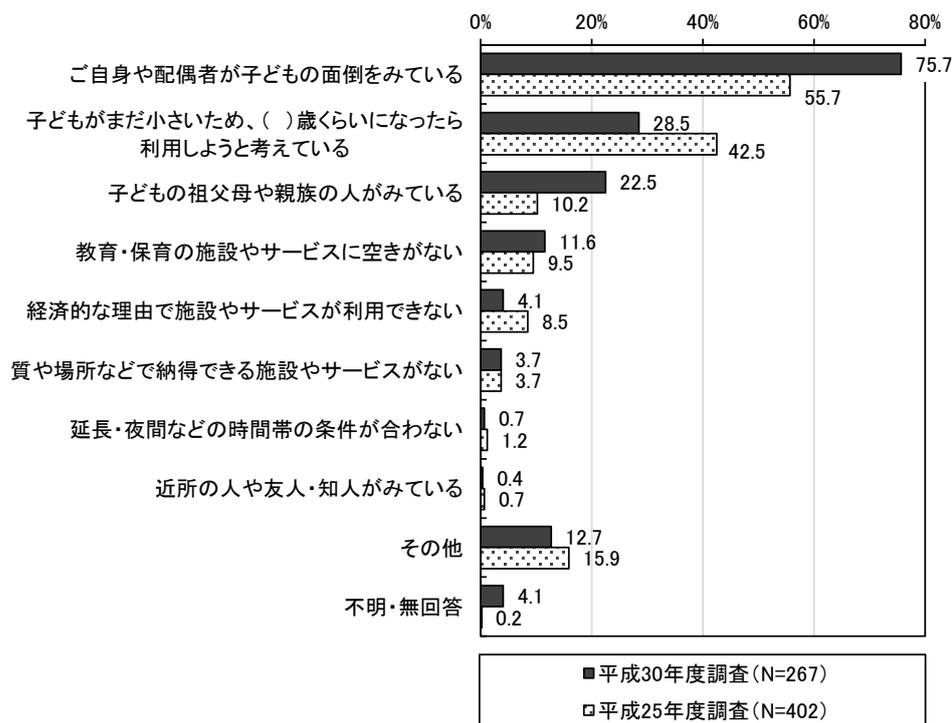


(5) 現在保育施設やサービスを利用していない方の保育ニーズについて

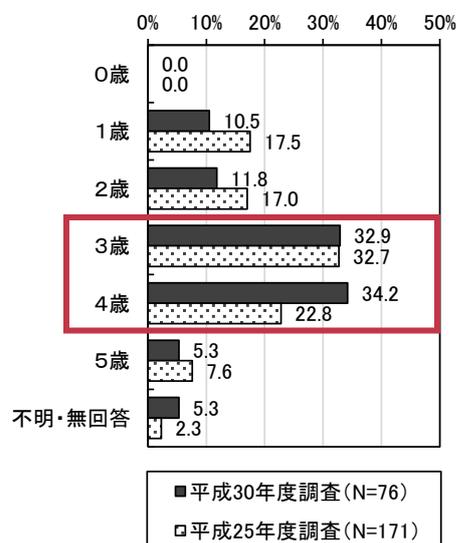
施設やサービスを利用していない理由について、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみている」が75.7%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため、()歳くらいになったら利用しようと考えている」が28.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみている」が20.0ポイント高くなっています。

■幼稚園や保育園(所)などの施設やサービスを利用していない理由

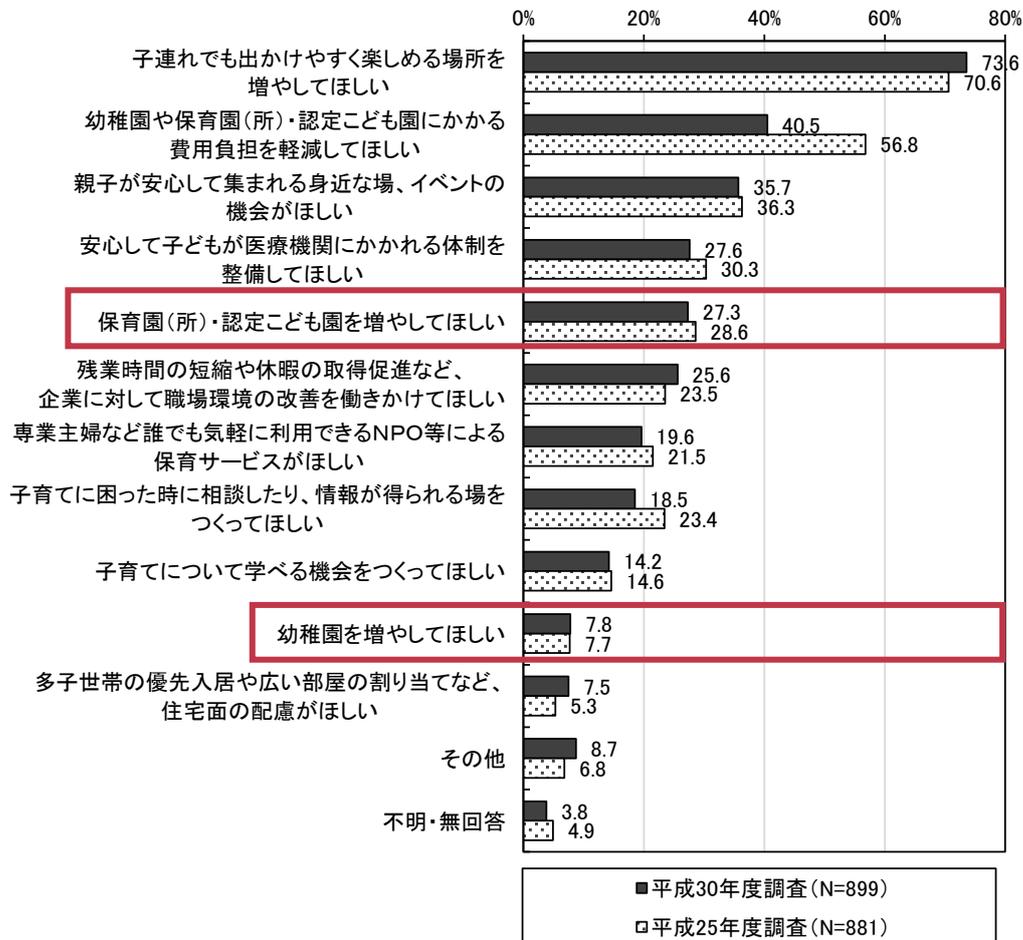


■子どもが何歳になったら利用したいか



(6) 檀原市に求める子育て支援の充実内容について

充実を図ってほしい市の子育て支援について、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が73.6%と最も高く、次いで「幼稚園や保育園（所）・認定こども園にかかる費用負担を軽減してほしい」が40.5%、「親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい」が35.7%となっています。



4. 適正配置を目指した対応策について

4.1. 5つの対応策について

今後も共働き世帯の増加、核家族化の進行、ひとり親世帯の増加などの社会的要因から、子どもを預けなくては働けない家庭が増え、少子化にも関わらず、保育需要が増大する傾向にあります。

公立幼稚園では、園児の減少が著しく、子どもの育ちに大切な集団がさらに小規模化し、望ましい環境での幼児教育が難しい状況となると見込まれます。

このようなことから、就学前の保育・教育を一体として捉え、一貫して質の高い保育・教育を提供する新たな枠組みを検討する必要があるため、以下に示す5つの対応策を実施し、公立保育所・幼稚園の適正配置を進めたいと考えています。

対応策 1

公立幼稚園の再編

公立幼稚園では、園児の減少が著しく、子どもの育ちに大切な集団がさらに小規模化し、望ましい環境での幼児教育が難しい状況となると見込まれ、施設の老朽化も課題となっていることから、公立幼稚園の再編を検討します。

対応策 2

認定こども園の整備と民間活力の導入の検討

多様な保育ニーズに対応するため、公立保育所・幼稚園の既存施設からの転換を目指し、新たな枠組みとして認定こども園の整備や民間活力の導入の必要性について検討します。

対応策 3

公立幼稚園での3歳児保育の実施

檀原市の就学前の保育・教育の充実を図るため、公立幼稚園での3歳児保育の実施について検討します。

対応策 4

預かり保育の拡充

公立幼稚園での預かり保育の延長など、速やかに実施可能なサービスの拡充について検討します。

対応策 5

過小規模園の一時的な休園

子どもたちの育ちに大切な集団が過小規模となり、幼児教育の実施が困難と見込まれる場合に一時的な休園とする基準の設定を検討します。

4.2. 対応策1 公立幼稚園の再編

4.2.1. 再編シミュレーションの条件

下記の条件に該当する公立幼稚園について、再編した場合の園児数や必要学級数等を推計し、施設の長寿命化改修や建替の時期を考慮して、再編実施時期についてシミュレーションしています。

【再編シミュレーションの条件】

- (1) 同じ中学校区内で既存施設を活用した再編とする。
- (2) 原則、長寿命化改修を行う時期（建築後55年頃）に合わせて再編を実施する。ただし、真菅北幼稚園、耳成南幼稚園については、軽量鉄骨造で長寿命化改修の効果が得にくいため、軽量鉄骨造の建替時期（建築後50年頃）に合わせて実施する。
- (3) 第1～第5こども園及び白檀幼稚園については、既に再編を実施済みであるため、シミュレーションの対象としない。ただし、第1こども園については小学校の再編を検討中であり、その実施時期に合わせて考えるため、シミュレーションの対象とする。

条件を満たす組合せ

4.2.2. 再編シミュレーションの概要

条件に該当する園および再編の組合せ案は以下のとおりです。

なお、再編組合せ案の実施順については、園児数の推計や施設の長寿命化改修や建替の時期を考慮しています。

具体的な再編シミュレーションの結果については、次ページ以降に示します。

表 4-1：再編の組合せ案

対象園		組合せ		再編時期	再編順
畝傍中学校区	畝傍南幼稚園	檀原中学校区	真菅北幼稚園	R6年度頃	1
	畝傍東幼稚園		耳成西幼稚園		
八木中学校区	第1こども園	八木中学校区	耳成幼稚園	R6年度頃	2
	晩成幼稚園		耳成南幼稚園		
	耳成幼稚園	畝傍中学校区	畝傍南幼稚園	R13年度頃	3
	香久山幼稚園		畝傍東幼稚園		
耳成南幼稚園	大成中学校区	真菅幼稚園	R17年度頃	4	
大成中学校区	真菅幼稚園	八木中学校区	第1こども園	学校の再編時期による	
檀原中学校区	真菅北幼稚園		晩成幼稚園		
	耳成西幼稚園		香久山幼稚園		

檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

4.2.3. 再編シミュレーションの結果

(1) 再編シミュレーション結果

対象園の再編後の状況は以下のとおりです。いずれの再編でも令和2年度時点で再編後の必要学級数を確保できますが、4歳児、5歳児の2年保育の現状の幼稚園のままでは、各学年で複数学級を令和16年度まで保つことはできない見込みです。

畝傍中学校区（畝傍南幼稚園×畝傍東幼稚園）										
畝傍南幼（4室RC造）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R12	R14	R16
畝傍東幼（8室RC造）	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2028	2030	2032	2034
園児数	69	66	62	59	54	50	46	44	42	39
4歳	30	31	27	28	23	23	21	20	20	18
5歳	39	35	35	31	31	27	25	24	22	21
必要学級数	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
4歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
畝傍南幼余裕教室数	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
畝傍東幼余裕教室数	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6
畝傍南幼建築後年数	36	37	38	39	40	41	44	46	48	50
畝傍東幼建築後年数	43	44	45	46	47	48	51	53	(55)	57

(55)は長寿命化改修実施期限（RC・S造）

(50)は建替時期（LS造（軽量鉄骨））

八木中学校区（耳成幼稚園×耳成南幼稚園）										
耳成幼（3室RC造）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R12	R14	R16
耳成南（7室LS造）	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2028	2030	2032	2034
園児数	86	84	80	75	75	75	72	68	67	66
4歳	40	45	38	39	39	38	37	35	34	34
5歳	46	39	42	36	36	37	35	33	33	32
必要学級数	4	4	4	4	4	4	4	3	2	2
4歳	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
5歳	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
耳成幼余裕教室数	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1	0	1	1
耳成南幼余裕教室数	3	3	3	3	3	3	3	4	5	5
耳成幼建築後年数	38	39	40	41	42	43	46	48	50	52
耳成南幼建築後年数	45	46	47	48	49	(50)	53	55	57	59

(55)は長寿命化改修実施期限（RC・S造）

(50)は建替時期（LS造（軽量鉄骨））

大成中学校区（真菅幼稚園）										
真菅幼（6室RC造）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R12	R14	R16
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2028	2030	2032	2034
園児数	60	54	51	52	58	50	48	47	46	46
4歳	21	21	18	24	20	19	19	18	18	18
5歳	39	33	33	28	38	31	29	29	28	28
必要学級数	3	2	2	2	3	2	2	2	2	2
4歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1
真菅幼余裕教室数	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4
真菅幼建築後年数	39	40	41	42	43	44	47	49	51	53

(55)は長寿命化改修実施期限（RC・S造）

(50)は建替時期（LS造（軽量鉄骨））

檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

檀原中学校区（真菅北幼稚園×耳成西幼稚園）										
真菅北幼（7室LS造）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R12	R14	R16
耳成西幼（5室RC造）	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2028	2030	2032	2034
園児数	53	56	57	54	52	53	49	49	48	47
4歳	29	34	32	30	30	30	28	28	28	27
5歳	24	22	25	24	22	23	21	21	20	20
必要学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
真菅北幼余裕教室数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
耳成西幼余裕教室数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
真菅北幼建築後年数	45	46	47	48	49	50	53	55	57	59
耳成西幼建築後年数	40	41	42	43	44	45	48	50	52	54

⑤5は長寿命化改修実施期限（RC・S造）

50は建替時期（LS造（軽量鉄骨））

※小学校の再編を検討中であり、その実施時期に合わせて考えるため、シミュレーションを実施

八木中学校区（第1こども園×晩成幼稚園×香久山幼稚園）										
第1こども園（11室RC造）	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10	R12	R14	R16
晩成幼（6室RC造）	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2028	2030	2032	2034
香久山幼（2室RC造）										
園児数	187	207	224	227	221	196	184	179	173	167
0歳	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4
1歳	18	15	14	14	14	13	13	12	12	11
2歳	26	31	24	24	23	23	21	21	20	19
3歳	35	38	44	34	34	33	31	30	29	28
4歳	48	56	63	70	53	52	49	48	47	45
5歳	55	62	74	80	92	70	65	63	61	60
総学級数	11	11	11	10	11	10	10	10	10	9
うち幼稚園部のみ	36	37	40	43	36	31	29	29	29	29
4歳	21	21	26	27	19	19	18	18	18	18
5歳	15	16	14	16	17	12	11	11	11	11
必要学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
4歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
第1こども園余裕教室数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
晩成幼余裕教室数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香久山幼余裕教室数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第1こども園建築後年数	24	25	26	27	28	29	32	34	36	38
晩成幼建築後年数	41	42	43	44	45	46	49	51	53	55
香久山幼建築後年数	41	42	43	44	45	46	49	51	53	55

⑤5は長寿命化改修実施期限（RC・S造）

50は建替時期（LS造（軽量鉄骨））

(2) 再編スケジュール案

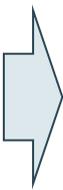
再編シミュレーションの結果から再編スケジュール案は以下のとおりです。

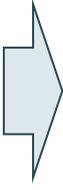
再編順1 檀原中学校区（真菅北幼稚園×耳成西幼稚園）							
再編対象園		令和2年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	保有教室数
		合計園児数	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
真菅北幼稚園 28人 建築年数 45年		合計 53人	地元PTA 説明	設計 委託	工事	開園	7
耳成西幼稚園 25人 建築年数 40年							5
※再編後も幼稚園としては単クラスになる見込み。既存施設からの転換を目指す。							

再編順2 八木中学校区（耳成幼稚園×耳成南幼稚園）							
再編対象園		令和2年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	保有教室数
		合計園児数	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
耳成幼稚園 43人 建築年数 38年		合計 86人	地元PTA 説明	設計 委託	工事	開園	3
耳成南幼稚園 43人 建築年数 45年							7
<p>※再編後も幼稚園としては令和12年度（2030年度）から単クラスになる見込み。既存施設からの転換を目指す。</p> <p>※中和幹線を横断するが、歩道橋なし。</p> <p>※保有教室数が足りない可能性あり。</p>							

再編順3 畝傍中学校区（畝傍南幼稚園×畝傍東幼稚園）							
再編対象園		令和2年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	保有教室数
		合計園児数	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	
畝傍南幼稚園 25人 建築年数 36年		合計 69人	地元PTA 説明	設計 委託	工事	開園	4
畝傍東幼稚園 44人 建築年数 43年							8
<p>※再編後も幼稚園としては単クラスになる見込み。既存施設からの転換を目指す。</p> <p>※国道169号線を横断するが、歩道橋なし。</p>							

檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

再編順4 大成中学校区（真菅幼稚園）							
再編対象園		令和2年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度	令和18年度	保有教室数
		合計園児数	2033年度	2034年度	2035年度	2036年度	
真菅幼稚園 60人 建築年数39年		合計 60人	地元PTA 説明	設計 委託	工事	開園	6
※幼稚園としては令和7年度（2025年度）に単クラスになる見込み。既存施設からの転換を目指す。							

再編順（※小学校の再編時期による）八木中学校区（第1こども園×晩成幼稚園×香久山幼稚園）							
再編対象園		令和2年度	令和●年度	令和●年度	令和●年度	令和●年度	保有教室数
		合計園児数	●●年度	●●年度	●●年度	●●年度	
第1こども園 長時間部151人 短時間部7人 建築年数24年		合計 187人	地元PTA 説明	設計 委託	工事	開園	11
晩成幼稚園 19人 建築年数41年							6
香久山幼稚園 10人 建築年数41年							2
<p>※鴨公小・香久山小・晩成小学校の再配置と連動する。既存施設からの転換を目指す。</p> <p>※遅くとも令和15年度には開園できるよう検討</p> <p>※香久山幼稚園は過小規模となっているため、速やかに現状の第1こども園の対象とする。</p> <p>※給食設備は、現在の食数の調理で限界（釜の大きさ、消毒保管庫の大きさ等）のため、設備の整備が必要</p> <p>※現在の保育室の広さでは受け入れられない可能性あり</p> <p>※国道165号線を横断するが、歩道橋あり。</p>							

4.2.4. 再編実施後の幼稚園区

再編シミュレーションに示すとおり、再編を実施した場合は以下の通りとなります。

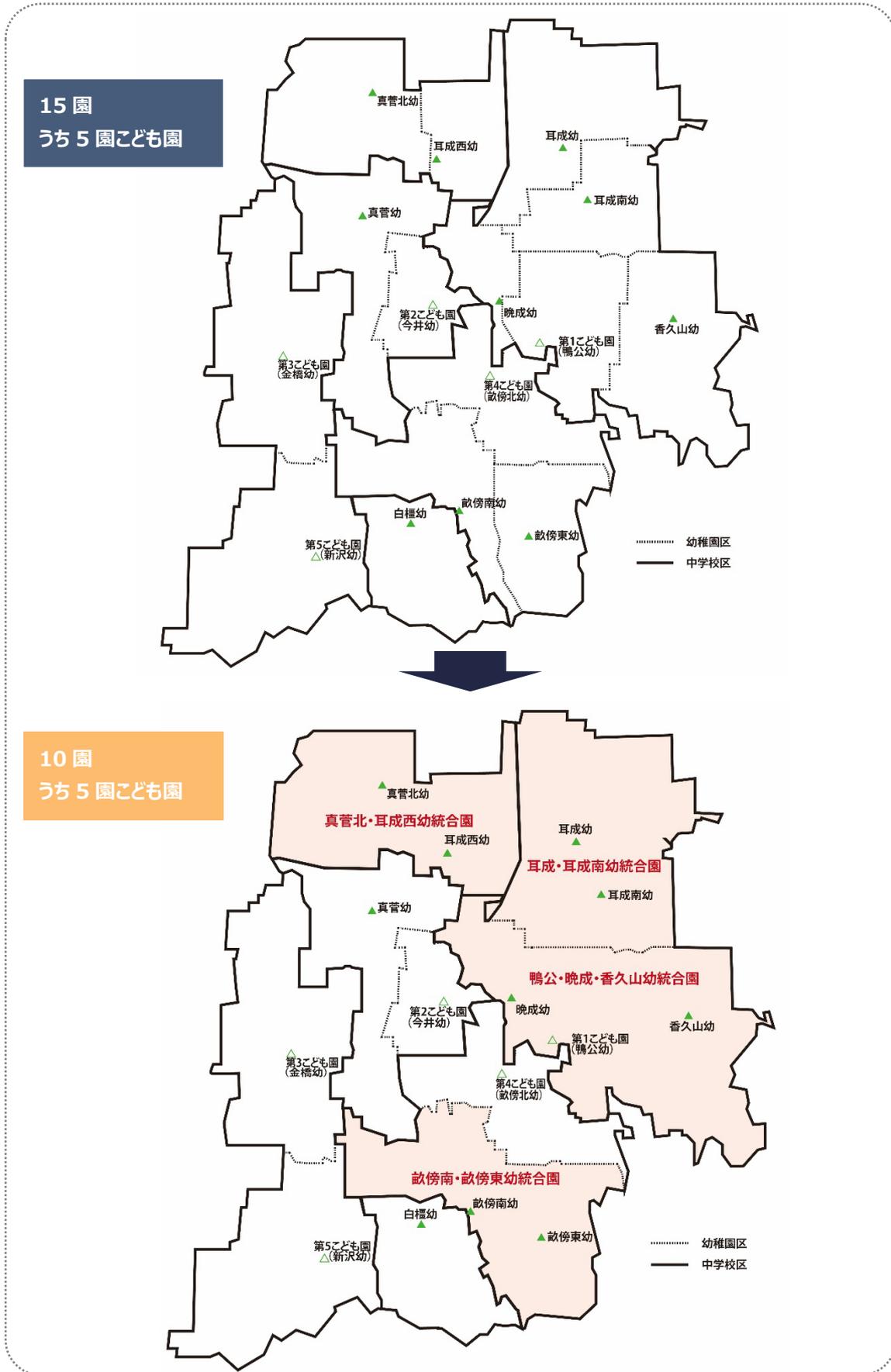


図 4-1 : 再編後の幼稚園区

4.3. 対応策2 認定こども園の整備と民間活力の導入の検討

4.3.1. 認定こども園としての整備と課題

多様な保育ニーズに対応するため、公立幼稚園の再編の際に、既存施設からの転換を目指し、新たな枠組みとして認定こども園としての整備について検討します。

しかしながら、認定こども園としての整備については、職員数の不足、施設規模の不足といった課題が生じます。

(1) 認定こども園（186人規模 想定）の年齢別内訳と必要教室数及び職員数

最低9教室が必要であり、既存施設を活用した再編を実施した場合、保有教室数が8を超える公立幼稚園は存在しないため、認定こども園として整備するためには施設の増改築や職員を増員する必要があります。

表 4-2：認定こども園（186人規模 想定）の年齢別内訳と必要教室数及び職員数

年齢	内訳	必要教室数	教諭・保育士	算定基準
0歳児	6	1	2	3人に対し職員1名
1歳児	10	2	2	6人に対し職員1名
2歳児	20	1	4	6人に対し職員1名
3歳児	30	1	2	20人に対し職員1名
4歳児	60	2	2	30人に対し職員1名
5歳児	60	2	2	30人に対し職員1名
合計	186	9	14	

表 4-3：認定こども園として必要な施設規模

園名	現状の 保有教室数	必要教室数	余裕教室
真菅北・耳成西幼稚園	7	9	-2
耳成・耳成南幼稚園	7	9	-2
畝傍南・畝傍東幼稚園	8	9	-1
真菅幼稚園	6	9	-3

※各案の必要教室数は統合時期に見込まれる必要教室数

(2) 認定こども園として必要な設備・機能

必要教室数の増加に加え、現状の公立幼稚園に整備されていない機能を、「奈良県幼保連携認定こども園の学級の編成、職員、設備及び運営の基準に関する条例」に基づき、整備する必要があります。

主に不足する機能は以下のとおりです。

- 一 職員室 二 **乳児室又はほふく室** 三 保育室
 四 遊戯室 五 保健室 六 **調理室** 七 便所
 八 飲料水用設備、手洗用設備及び足洗用設備

※ **太字**：現在公立幼稚園に設置されていない機能・設備

4.3.2. 民間活力の導入の検討について

公立幼稚園の再編の際に、認定こども園として整備する場合は、必要教室数の増加に加え、長時間保育に対応する職員を増員するなど、現状の公立幼稚園に整備されていない設備や機能などが必要となり、大きな財政負担が生じます。

しかしながら公立幼稚園を認定こども園に整備する場合に国からの財政的な支援はなく、国の施策として民間施設への財政支援が手厚くなっています。

そのため、課題解消と効率的な運営の方法として民営化や民間法人との連携を図る官民連携手法の導入の検討の必要があると考えています。

なお、檀原市こども園についても、これまで檀原市が取り組んできたこども園の実績を踏まえつつ、民間活力を導入した将来的な方向性を検討します。

4.4. 対応策3 公立幼稚園での3歳児保育の実施について

3歳児保育の実施にあたっては、園児数、学級数増加に対する人員配置および施設規模が課題となります。そのため、幼稚園における対応の可能性について検討します。

また、第1回検討委員会で示した私立保育園・幼稚園・認定こども園に通園していないと考えられる3歳児人口を対象に想定します。

4.4.1. 私立保育園・幼稚園・認定こども園に通園していない3歳児人口について

表 4-4：私立保育園・幼稚園・認定こども園に通園していない3歳児人口推移と推計

年度	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
園区	推移					推計										
畝傍南	39	38	38	37	33	32	30	34	25	25	24	23	22	22	21	21
畝傍北	32	36	33	28	26	29	25	24	28	26	25	25	25	24	24	24
鴨公	24	23	21	16	17	21	22	26	20	19	19	18	18	18	17	17
晩成	41	32	35	37	38	30	32	34	29	34	34	34	34	34	33	33
耳成	48	56	40	51	39	45	37	41	42	39	39	38	37	36	36	35
今井	25	19	32	26	32	36	26	26	27	29	29	29	29	29	29	30
真菅	58	58	60	64	56	52	45	60	53	52	52	51	51	50	50	49
金橋	40	36	43	40	44	50	44	46	39	43	42	41	40	39	39	38
香久山	11	6	10	9	7	5	9	9	4	7	7	7	6	6	6	6
新沢	18	16	20	13	14	11	13	15	11	11	11	10	10	9	9	9
耳成南	72	67	53	63	60	63	54	54	52	56	55	56	52	51	51	51
真菅北	58	57	62	50	45	44	47	39	45	43	42	42	41	40	39	39
畝傍東	63	56	64	58	54	52	43	41	38	46	45	44	43	42	40	39
耳成西	50	43	45	43	33	47	40	42	37	40	40	39	39	39	39	38
白檀	29	29	26	25	19	25	24	22	19	21	20	19	19	18	17	17
合計値	608	572	582	560	517	542	491	513	469	491	484	476	466	457	450	446

※小数点以下は四捨五入による処理を行っています。

4.4.2. 公立幼稚園で3歳児保育を実施した場合に必要な施設規模

公立幼稚園で3歳児保育を実施する場合は、1学級追加されると想定します。

この場合、香久山幼稚園を除く公立幼稚園で、3歳児保育実施が可能です。

表 4-5 : 3歳児保育に必要な施設規模（現状）

園名	現状の 保有教室数	4・5歳児の2年保育		3・4・5歳児保育実施 (1学級追加)	
		必要教室数	余裕教室数	必要教室数	余裕教室数
畝傍南幼稚園	4	2	2	3	1
晩成幼稚園	6	2	4	3	3
耳成幼稚園	3	2	1	3	0
真菅幼稚園	6	4	2	5	1
香久山幼稚園	2	2	0	3	-1
耳成南幼稚園	7	2	5	3	4
真菅北幼稚園	7	3	4	4	3
畝傍東幼稚園	8	2	6	3	5
耳成西幼稚園	5	2	3	3	2
白檀幼稚園	6	2	4	3	3
第1こども園（幼稚園部分）	5	2	3	3	2
第2こども園（幼稚園部分）	4	2	2	3	1
第3こども園（一体園）	10	2	-	3	-
第4こども園（幼稚園部分）	6	2	4	3	3
第5こども園（一体園）	9	2	-	3	-

4.4.3. 公立幼稚園の再編後に3歳児保育を実施した場合

公立幼稚園の再編後における教室使用状況は以下のとおりです。

いずれの場合も、3歳児保育の実施が可能です。

表 4-6 : 再編後の3歳児保育実施に必要な施設規模

園名	現状の 保有教室数	4・5歳児の2年保育		3・4・5歳児保育実施 (1学級追加)	
		必要教室数	余裕教室数	必要教室数	余裕教室数
真菅北・耳成西幼稚園	7	4	3	5	2
耳成・耳成南幼稚園	7	4	3	5	2
畝傍南・畝傍東幼稚園	8	4	4	5	3
真菅幼稚園	6	4	2	5	1

※各案の必要教室数は統合時期に見込まれる必要教室数

4.5. 対応策4 預かり保育の拡充について

公立幼稚園での預かり保育の延長など、速やかに実施可能なサービスの拡充について検討します。既存施設で拡充可能であり、できることから速やかに実施したいと考えています。

4.6. 対応策5 過小規模園の一時的な休園について

対応策1で公立幼稚園の再編を行い、適正配置を実現するまでには相応の時間がかかると考えられ、現時点でも10人に満たない園もあります。

子どもたちの育ちに大切な集団が過小規模となり、幼児教育の実施が困難と見込まれる場合に一時的な休園とする基準を検討しておく必要があると考えています。

5. 今後の検討スケジュールについて

5.1. 次回以降の開催時期

本計画策定までの開催時期は以下を予定しています。
本日よりおおむね2ヶ月に1回の開催予定です。

表 5-1：今後の検討スケジュール（案）

令和元年度		令和2年度											令和3年度		
1月	2・3月	4月	5・6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
第1回 済		第2回 延期		第2回		第3回		第4回			パブリック コメント		第5回		答申

5.2. 各回での検討事項（案）

答申までの全5回予定の中で、検討いただくことを想定している内容は以下のとおりです。

表 5-2：各回の議題案

回数	内容	備考
第1回 済	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問 ・適正配置における本市の考え方 ・本検討に関わる本市の現状について ・今後の検討スケジュールについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選出等
第2回 (本日)	<ul style="list-style-type: none"> ・適正配置対象園について ・適正配置シミュレーションの結果 ・今後の保育ニーズと施設整備の考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に、適正配置の組み合わせや、今後の施設整備、保育・教育の考え方について検討
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・適正配置実施における留意事項 ・施設整備の水準について ・民間活力導入の考え方 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に、適正配置後の姿を想定した施設の使い方や運営についての考え方について検討
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・適正配置後の姿 ・施設整備費用と実施時期 ・民間活力導入の方向性 ・パブリックコメント実施案について 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正配置後の姿として、具体的な方向性等について検討 ・パブリックコメント実施案の検討
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント実施結果 ・答申案 	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの実施結果を踏まえて答申案を検討
答申	<ul style="list-style-type: none"> ・檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会答申 	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.5月予定

○橿原市執行機関の附属機関に関する条例

平成24年12月27日条例第23号

改正

平成25年9月30日条例第11号
平成27年3月31日条例第5号
平成27年9月30日条例第30号
平成28年3月31日条例第7号
平成28年6月30日条例第28号
平成28年9月30日条例第33号
平成28年12月28日条例第39号
平成28年12月28日条例第42号
平成29年9月29日条例第22号
平成30年1月18日条例第1号
平成30年10月5日条例第27号
平成30年12月28日条例第34号
平成31年3月29日条例第3号
令和元年9月30日条例第22号

橿原市執行機関の附属機関に関する条例

(趣旨)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定による執行機関の附属機関の設置等については、法令又は他の条例に特別の定めがあるものを除くほか、この条例の定めるところによる。

(設置及び担当事務)

第2条 橿原市の執行機関の附属機関(以下「附属機関」という。)として、別表の附属機関の欄に掲げる機関を置く。

2 附属機関が担任する事務は、別表の担当事務の欄に掲げるとおりとする。

(組織)

第3条 附属機関の委員(特別委員、臨時委員その他これらに準ずる委員を除く。)の定数は、別表の委員の定数の欄に掲げるとおりとする。

2 附属機関(法令又は他の条例の規定により設置する橿原市の執行機関の附属機関を含む。以下この項及び次条から第6条までにおいて同じ。)が担任する事務のうち、特定又は専門の事項について調査審議等をするため、分科会、部会その他これらに類する組織を当該附属機関に置くことができる。

(委員の選任基準)

第4条 附属機関の委員の選任に当たっては、次に掲げる事項に留意して行うものとする。

(1) 橿原市男女共同参画推進条例(平成18年橿原市条例第4号)第9条第1項の男女共同参画の推進に関する基本となる計画に定める女性比率目標を踏まえ、委員に占める女性比率の向上に努めること。

(2) 市民の意見を反映させるため、可能な限り公募による委員の選任に努めること。

(3) 担任する事務に関係する団体等から選任する場合は、当該団体等の長に限らず、広くその構成員の中から推薦を受けるよう努めること。

(会議の公開)

第5条 附属機関の会議は、原則として、公開するものとする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、会議の全部又は一部を公開しないことができる。

(1) 法令の規定により非公開とされているとき。

(2) 橿原市情報公開条例(平成10年橿原市条例第15号)第6条第1項各号の規定に該当する情報に関し調査審議等を行うとき。

(3) 公開することにより会議の公正かつ円滑な運営に著しい支障が生ずると認められるとき。

檳原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

(守秘義務)

第6条 附属機関の委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その委員の職を退いた後においても、同様とする。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営について必要な事項は、当該附属機関の属する執行機関が別に定める。

附 則 (抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

(檳原市行政改革推進委員会設置条例等の廃止)

第2条 次に掲げる条例は、廃止する。

- (1) 檳原市行政改革推進委員会設置条例(昭和60年檳原市条例第1号)
- (2) 檳原市総合計画策定審議会条例(平成24年檳原市条例第20号)
- (3) 檳原市市町村合併促進審議会設置条例(昭和31年檳原市条例第78号)
- (4) 檳原市特別職報酬等審議会条例(昭和40年檳原市条例第18号)
- (5) 檳原市スポーツ推進審議会設置条例(昭和37年檳原市条例第12号)
- (6) 檳原市人権審議会設置条例(平成14年檳原市条例第21号)
- (7) 檳原市住居表示審議会条例(昭和40年檳原市条例第19号)

附 則 (平成25年条例第11号抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成27年条例第5号抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年条例第30号抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成28年条例第7号抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

第5条 この条例の施行の際、現に改正前檳原市個人情報保護条例第36条第4項の規定により個人情報保護制度運営審議会の委員として委嘱されている者は、第4条の規定による改正後の檳原市執行機関の附属機関に関する条例に規定する檳原市情報公開・個人情報保護制度運営審議会の委員として任命された者とみなす。この場合において、当該委員の任期は、平成28年6月30日までとする。

附 則 (平成28年条例第28号抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成28年条例第33号抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成28年条例第39号抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年条例第42号抄)

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成29年9月29日条例第22号)

檀原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

(檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

第2条 檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和32年檀原市条例第9号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則 (平成30年1月18日条例第1号)

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

(檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

第2条 檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和32年檀原市条例第9号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則 (平成30年10月5日条例第27号)

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

(檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

第2条 檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和32年檀原市条例第9号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則 (平成30年12月28日条例第34号)

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

(檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

第2条 檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和32年檀原市条例第9号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則 (平成31年3月29日条例第3号)

(施行期日)

第1条 この条例は、平成31年4月1日から施行する。

(檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

第2条 檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和32年檀原市条例第9号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則 (令和元年9月30日条例第22号)

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

(檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

第2条 檀原市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和32年檀原市条例第9号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

別表 (第2条、第3条関係)

附属機関の属する執行機関	附属機関	担当事務	委員の定数
市長	檀原市総合政策審議会	総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に関する重要事項についての審議に関する事務	15人以内
	檀原市情報公開・個人情報保	情報公開制度及び個人情報保護	10人以内

榎原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

護制度運営審議会	制度の運営全般に関する重要事項についての調査審議に関する事務	
榎原市特別職報酬等審議会	議員報酬の額並びに市長及び副市長その他特別職の職員の給料又は報酬の額についての審議に関する事務	10人以内
榎原市公金管理対策委員会	公金の管理に関する重要事項についての審議に関する事務	9人以内
榎原市入札監視委員会	入札及び契約の過程並びに契約の内容についての審議に関する事務	5人以内
榎原市新本庁舎建設検討委員会	新本庁舎建設事業の推進についての調査審議に関する事務	12人以内
榎原市市有施設再配置検討審議会	市有施設の再配置に関する事項についての調査審議に関する事務	15人以内
榎原市スポーツ推進審議会	スポーツの推進に関する重要事項についての審議に関する事務	10人以内
榎原市人権審議会	人権が尊重される社会づくりに必要な施策の策定及び推進に関する重要事項についての審議に関する事務	20人以内
榎原市飛騨コミュニティセンター運営委員会	飛騨コミュニティセンターの効果的かつ円滑な運営に必要な事項についての審議に関する事務	25人以内
榎原市大久保コミュニティセンター運営委員会	大久保コミュニティセンターの効果的かつ円滑な運営に必要な事項についての審議に関する事務	25人以内
榎原市地域福祉推進計画策定委員会	地域福祉推進計画の策定についての審議に関する事務	20人以内
榎原市老人ホーム入所判定委員会	老人福祉法（昭和38年法律第133号）第11条に基づく入所措置等の要否についての審査に関する事務	5人以内
榎原市障がい者福祉基本計画等策定委員会	障がい者福祉基本計画及び障がい福祉計画の内容等についての審議に関する事務	20人以内
榎原市地域包括支援センター運営協議会	地域包括支援センターの運営についての調査審議に関する事務	18人以内
榎原市介護保険事業計画等策定委員会	介護保険事業計画及び老人福祉計画の内容等についての審議に関する事務	20人以内
榎原市二次救急医療運営委員会	二次救急医療の推進に必要な事項についての審議に関する事務	12人以内
榎原地区救急医療協議会	榎原地区の救急医療の運営につ	25人以内

榎原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

		いての審議に関する事務	
	榎原市母子保健推進協議会	母子保健計画の実施に必要な事項についての審議に関する事務	10人以内
	榎原市予防接種健康被害等調査委員会	榎原市が実施した予防接種に関連して発生した健康被害等についての調査審議に関する事務	10人以内
	榎原市成人保健推進協議会	成人保健事業の推進に必要な事項についての審議に関する事務	15人以内
	榎原市歯科保健推進協議会	歯科保健事業の推進に必要な事項についての審議に関する事務	15人以内
	榎原市健康づくり推進協議会	健康づくりの推進に必要な事項についての審議に関する事務	10人以内
	榎原市自殺対策連絡協議会	自殺対策事業の推進に必要な事項についての審議に関する事務	12人以内
	榎原市一般廃棄物処理施設長期包括運営委託事業者選定委員会	一般廃棄物処理施設の長期包括運営委託の実施に際して、事業者の選定及び事業推進についての審査に関する事務	10人以内
	榎原市住居表示審議会	住居表示の施行に関する重要事項についての審議に関する事務	12人以内
	榎原市市民活動推進会議	市民との協働によるまちづくりを推進するための施策についての審査に関する事務	10人以内
	榎原市農業振興地域整備推進協議会	農業振興地域整備計画の策定及び変更並びに整備計画に基づく事業の実施についての審議に関する事務	15人以内
	榎原市青年等就農計画認定審査会	青年等就農計画の認定及び変更の認定に関する事務	10人以内
	榎原市観光基本計画審議会	榎原市観光基本計画の進捗管理、事業評価及び見直しについての審議に関する事務	8人以内
	榎原市社会資本総合整備計画評価委員会	社会資本総合整備計画の中間及び事後評価等についての審議に関する事務	5人以内
	榎原市空家等対策協議会	空家等対策計画の作成及び変更並びに実施に関する協議に関する事務	12人以内
教育委員会	榎原市教育施設再配置検討審議会	教育施設の再配置に関する事項についての調査審議に関する事務	15人以内
	榎原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会	保育所及び幼稚園の適正配置に関する事項についての調査審議に関する事務	15人以内
	榎原市教育支援委員会	就学先の決定その他の教育支援についての調査助言に関する事務	20人以内

橿原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会

	橿原市学校給食運営委員会	学校給食の運営に関する重要事項についての審議に関する事務	12人以内
	橿原市青少年センター運営委員会	青少年センターにおける企画実施についての審議に関する事務	8人以内
	橿原市高齢者大学校運営委員会	高齢者大学校の運営についての審議に関する事務	8人以内

○橿原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会規則

令和元年11月28日
教育委員会規則第16号

橿原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、橿原市執行機関の附属機関に関する条例（平成24年橿原市条例第23号）第7条の規定に基づき、橿原市保育所・幼稚園適正配置検討委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 委員会の委員（以下「委員」という。）は、次に掲げる者のうちから教育長が任命する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 関係団体等の代表者
- (3) その他教育長が適当と認めた者

2 委員は、教育長からの諮問に係る審議が終了したときをもって、その職を解かれるものとする。

(会長)

第3条 委員会に会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

- 2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 会長は、必要があると認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見又は説明を求めることができる。

(委任)

第5条 この規則に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

○橿原市審議会等の設置及び運営並びに会議の公開に関する要綱

平成18年3月1日告示第39号

改正

平成23年4月1日告示第84号

平成24年12月27日告示第280号

橿原市審議会等の設置及び運営並びに会議の公開に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、審議会等の機能の充実及び運営の効率化を図るとともに、その審議の状況を市民に明らかにすることにより、市政への市民参画の促進と公正で透明な市政の推進に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において、審議会等とは、次に掲げるものをいう。ただし、市職員で構成する内部組織、関係団体との連絡調整を主な目的とする組織、イベント等の特定の事業を実施するための実行委員会等は、除くものとする。

- (1) 地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき設置される附属機関
- (2) 市民、関係団体、有識者（審議する事項に関し識見を有する者をいう。以下同じ。）等からの意見等を聴取し、市政に反映させることを主な目的として、規則、規程、要綱等（以下「規則等」という。）に基づき設置する協議会、懇談会その他の会議

(審議会等の設置)

第3条 審議会等は、法律又は政令（以下「法令」という。）で設置が義務づけられたものを除き、その設置の必要性を十分に検討し、市民、関係団体、有識者等からの意見聴取が必要であり、かつ、これらの者から個別に意見を聴くだけでは不十分であると認められる場合に限り設置するものとする。

- 2 審議会等で設置期間の終期を設定できるものについては、当該審議会等の設置根拠となる条例又は規則等に当該終期を規定するものとする。

(審議会等の見直し)

第4条 審議会等については、その所掌事務及び委員の構成の見直し並びに会議の運営等の改善により機能の充実及び運営の効率化に努めなければならない。

- 2 審議会等で、次の各号のいずれかに該当するものについては、廃止し、又は統合するものとする。
 - (1) 所期の目的を達成したと認められるもの又は社会経済情勢の変化により設置の必要性が低下したと認められるもの
 - (2) 過去の開催実績又は付議される案件が少ない等活発でないもの
 - (3) 所掌事務、委員の構成等が他の審議会等と類似し、又は重複するもの。

(組織)

第5条 審議会等の組織は、法令又は条例に定めがある場合を除き、次のとおりとする。

- (1) 委員の定数は、原則として15人以内とする。
- (2) 審議会等の長は、委員の互選により定めるものとする。

(委員の選任基準)

第6条 委員の選任（改選による選任を含む。以下同じ。）に当たっては、法令又は条例に定めがある場合を除き、次に掲げる事項に留意して行うものとする。

- (1) 年齢構成が偏らないように幅広い年齢層から委員を選任すること。
- (2) 市議会議員及び市職員は、原則として選任しないこと。
- (3) 公募による委員は、委員の定数の2割以上を占め、かつ、男女の比率が同数となるよう努めること。

(適正な運営)

第7条 審議会等の運営に当たっては、事前に資料を配布する等委員が十分に意見を述べる準備ができるよう配慮するとともに、欠席者に対しても意見を求める等審議の活性化を図るための工夫に努めるものとする。

(会議開催の公表)

第8条 審議会等は、会議を開催するに当たっては、会議開催予定日の1週間前(以下「開催公表日」という。)までに、会議開催について公表しなければならない。ただし、緊急に会議を開催する必要が生じたときは、この限りではない。

2 審議会等の会議の開催の公表は、インターネットの市のホームページへの掲載及び広報広聴課における閲覧の方法により行うものとする。

3 審議会等の会議の開催の公表事項は、次のとおりとする。

(1) 会議の名称

(2) 開催日時

(3) 開催場所

(4) 議題

(5) 開催公表日までに公開等決定を行った場合にあっては、公開又は非公開の区分

(6) 開催公表日までに公開等決定を行った場合で会議を公開とする場合にあっては、傍聴定員及び傍聴手続

(7) 開催公表日までに公開等決定を行った場合で会議を非公開とする場合にあっては、非公開とする理由

(8) その他必要と認める事項

(会議の公開方法等)

第9条 審議会等の会議の公開は、会場に傍聴席を設け、傍聴を認めることにより行うものとする。

2 審議会等は、会議の傍聴に係る遵守事項等を定め、会議開催中における会場の秩序維持に努めるものとする。

(会議録の作成等)

第10条 審議会等は、会議終了後速やかに次の事項を記載した会議録を作成しなければならない。ただし、審議会等の長が、特にその必要がないと認めたものは、この限りではない。

(1) 会議の名称

(2) 開催日時

(3) 開催場所

(4) 出席者(委員及び事務局)

(5) 議題

(6) 審議内容

(7) その他必要と認める事項

2 前項第6号の審議内容の記録の形式及び会議録の確定方法の決定については、各審議会等の会議において個別に定める。

3 会議を公開した審議会等の会議録については公表しなければならない。

(運用状況の公表)

第11条 市長は、審議会等の会議公開の運用状況についてとりまとめ、毎年1回公表するものとする。

(その他)

第12条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成18年4月1日から実施する。

2 第6条の規定は、平成18年10月1日以降に選任される審議会等の委員の選任(再任を含む。)から適用する。

附 則(平成23年4月1日告示第84号)

この要綱は、告示の日から実施する。

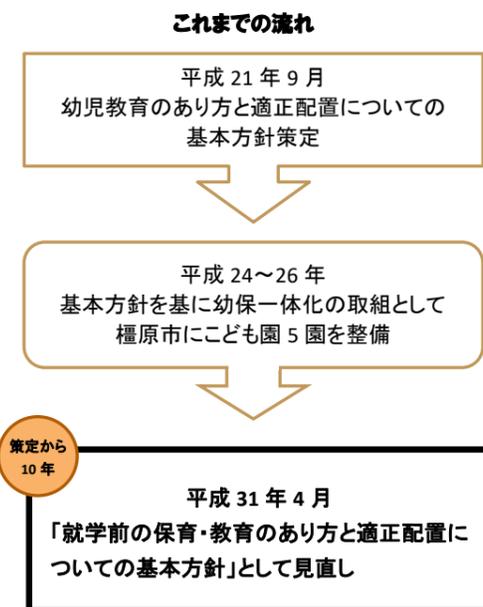
附 則(平成24年12月27日告示第280号)

この要綱は、告示の日から実施する。

■ 就学前の保育・教育のあり方と適正配置についての基本方針【概要版】

本市では就学前の子どもたちの保育・教育について、社会情勢の変化による保護者のニーズの変化にどのように対応していくか、幼保一体化も視野に入れ議論を進めてきました。そして平成21年9月に「幼児教育のあり方と適正配置についての基本方針」を策定し、こども園の整備を行うなど、幼保一体化に取り組みました。

しかしながら、策定からおよそ10年の歳月が経過し、これまでの時代の変化やニーズをふまえるとともに、平成31年3月に橿原市教育委員会が策定した「橿原市教育施設再配置基本方針」とも連動して、「就学前の保育・教育のあり方と適正配置についての基本方針」として改訂しました。令和元年10月からは幼児教育・保育無償化が実施されることも踏まえて、今後、この基本方針に基づき、橿原市全体としての具体的な実施計画を策定して適正化に取り組んでまいります。



1. 公立保育所・幼稚園の現状・課題

保育所と幼稚園の現状と課題

保育所は社会での就労が母親(女性)にとって大きく影響し、それに関連して保育所保育の重要性が求められるようになったため、少子化にも関わらず入所希望は増加傾向にあります。

一方で幼稚園(こども園を除く 10 園)は、園児数の減少が著しく、年長・年少ともに複数クラスとなっているのは1園のみとなっています。

園児数が少ない園では、人間関係の固定化や子ども同士が切磋琢磨する機会の減少という教育の質の低下につながる懸念が生じています。

保育所の現状	平成 30 年度定員 810 名に対し入所児童数は 804 名と定員近くまで達しており、近年の少子化にもかかわらず保育所への入所希望が増加。
幼稚園の現状	園児数の減少傾向は著しく、ピーク時である昭和 53 年度の 3,092 人から平成 30 年度は 592 人と約 19%まで減少。

2. 就学前の保育・教育のあり方についての基本的な考え方

今後の就学前の保育・教育のあり方について

これまでの幼児教育は保育所、幼稚園という別々の制度の中で、保育・教育の環境を提供してきました。

しかし、近年の少子化や核家族化、女性の社会進出など子育て環境も変化し、幼児教育に求められることがらにも変化が見られます。例えば、多くの保護者はより質の高い保育・教育の提供、3歳児保育、給食の実施などの願いを持っています。これまでの「保育所は保育」「幼稚園は教育」という概念は双方の施設ともその基本は根底に置くものの、同じような保育・教育が受けられることが求められています。

橿原市としては、就学前の保育・教育については一体的に行うことが、子どもたちにとってふさわしいと考えます。そのため、これまで市が取り組んできたこども園の検証も踏まえつつ、今後の方向性を探っていく必要があります。

今後の取組のために

- ◆ 保育・教育に対するニーズの把握
- ◆ 就学前の保育・教育統一カリキュラムなどの活用
- ◆ 公・私の協調・連携

3. 公立保育所・幼稚園の適正配置実施計画の策定について

適正配置の実施にあたっては以下の適正規模・適正配置の基本的な考え方を踏まえ、実施計画を進めていきます。

① 適正規模の基本的な考え方

クラス編制・教員配置の基準について

- ・こども園の長時間部(保育所部分)と短時間部(幼稚園部分)は、保育所の4歳・5歳児の基準とします。
- ・幼稚園については、1クラス34名を維持し、それに伴った教員を配置します。
- ・幼保一体化施設(こども園)、幼稚園ともに特別な支援を要する幼児の入園に際しては職員の加配に配慮します。
- ・認定こども園については、クラス編制や配置については、子どもの状況と実態を考え合わせ、必要な配置基準とします。

クラス構成数について

- ・こども園については、施設の収容数に応じて長時間部(保育所部分)と短時間部(幼稚園部分)の定員を設けます。
- ・幼稚園については各学年複数クラスの編制とします。
- ・認定こども園を新たに設置する場合については、子どもの状況と実態を考え合わせ、必要な構成とします。

② 適正配置の基本的な考え方

- ・適正配置については、各学年複数クラスを設けることが必要です。また、教育的効果を考えるとき、適正規模が満たされない幼稚園については、一定規模の園児数を満たすクラス編制ができるよう適正化を図ることが必要です。

③ 公立施設の再編整備についての基本的な考え方

- ・公立施設の適正規模・適正配置に伴う再編整備については、段階的に実施することが望ましいと考えます。再編整備の方法については、統廃合だけでなく、指定管理者制度などの民間活力の導入、認定こども園、幼稚園・小学校の連携についても検討します。
- ・幼稚園の3歳児保育の実施については十分な配慮・検討を行います。
- ・統廃合を行う際には、原則的に施設の増築はせず、現在の施設を利用します。
- ・保育・教育の用に供されなくなった施設については地域によって活用方法の考え方には違いがあると考えられますが、跡地の売却も含めて検討していきます。
- ・一時的な検討に終わることなく、継続的に各園の状況を鑑みながら取り組む必要があります。

適正配置の際の留意事項

適正配置の実施にあたっては、基本的な考え方に加え、以下の留意事項も踏まえ、実施します。

通 園 区 に つ い て: 適正配置計画を実行する際には、卒園後、進学する小学校、中学校は同じであることが望ましい点を考慮し当面は現状の中学校区内を原則とします。しかし、私立保育園・幼稚園への通園希望者もあり、少子化社会が進行する中にある場合は、園の適正規模の確保が難しいことも想定され、通園区については、小・中学校と必ずしも同じにはならない可能性があります。

通園の安全確保、通園支援: 通園区の変更により、通園が著しく困難となるケースは、支援の方策、その要支援距離の目安についても橿原市教育施設再配置基本方針を参考にしながら検討します。

新しい保育・教育環境について: 再編整備の実施にあたっては、子どもたちの生活の連続性とリズムの多様性に留意し、保育・教育が途切れることのないような工夫が必要です。

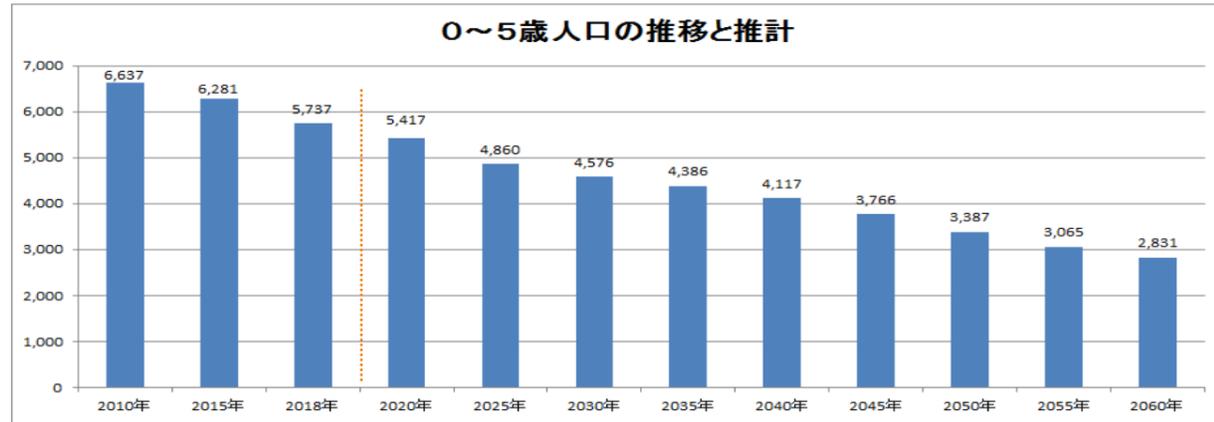
■ 参考資料

0～5歳人口推計

国立社会保障・人口問題研究所(以降、社人研)が公表している推計方法※に基づき、榎原市の0～5歳人口を推計した結果では、2018年の5,737人から2060年には2,831人となり、2,906人減少する見込みです。

※社人研推計:現状のまま、出生率、人口の移動、死亡率等が推移していくと仮定し推計した値。

※0～5歳人口:社人研0～4歳推計値に社人研5～9歳推計値を5で割った数を5歳推計値として合計した値。

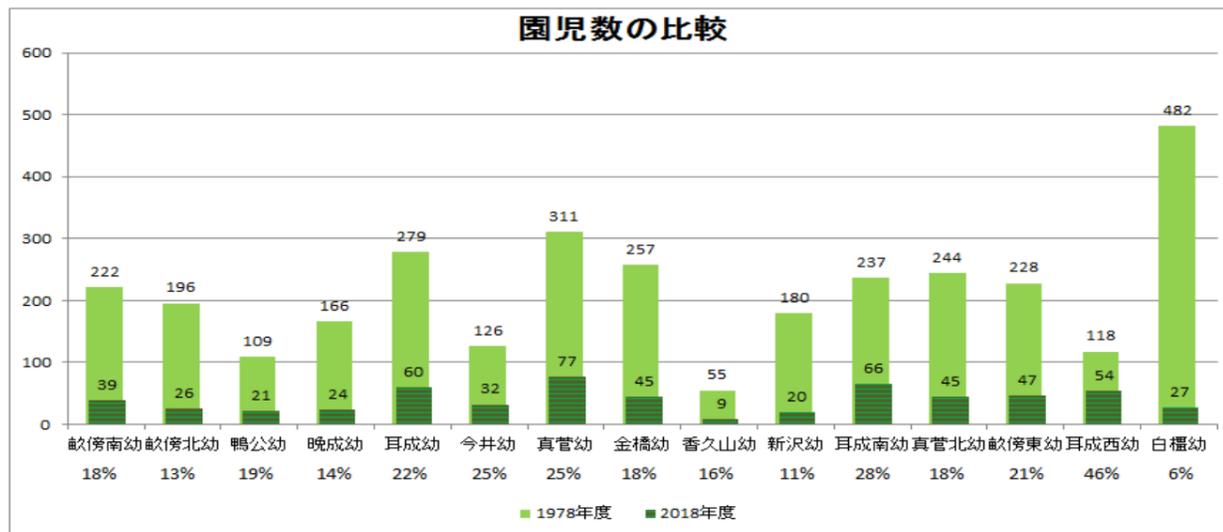


幼稚園の園児数の比較

園児数増加のピーク※を迎えた1978年度と2018年度の比較ではすべての幼稚園で園児数が大きく減少しています。

※耳成西幼のピーク時は1982年度の値。

※白樺幼のピーク時は白樺南幼と白樺北幼の園児数の合計。



主たる建物の建築年数

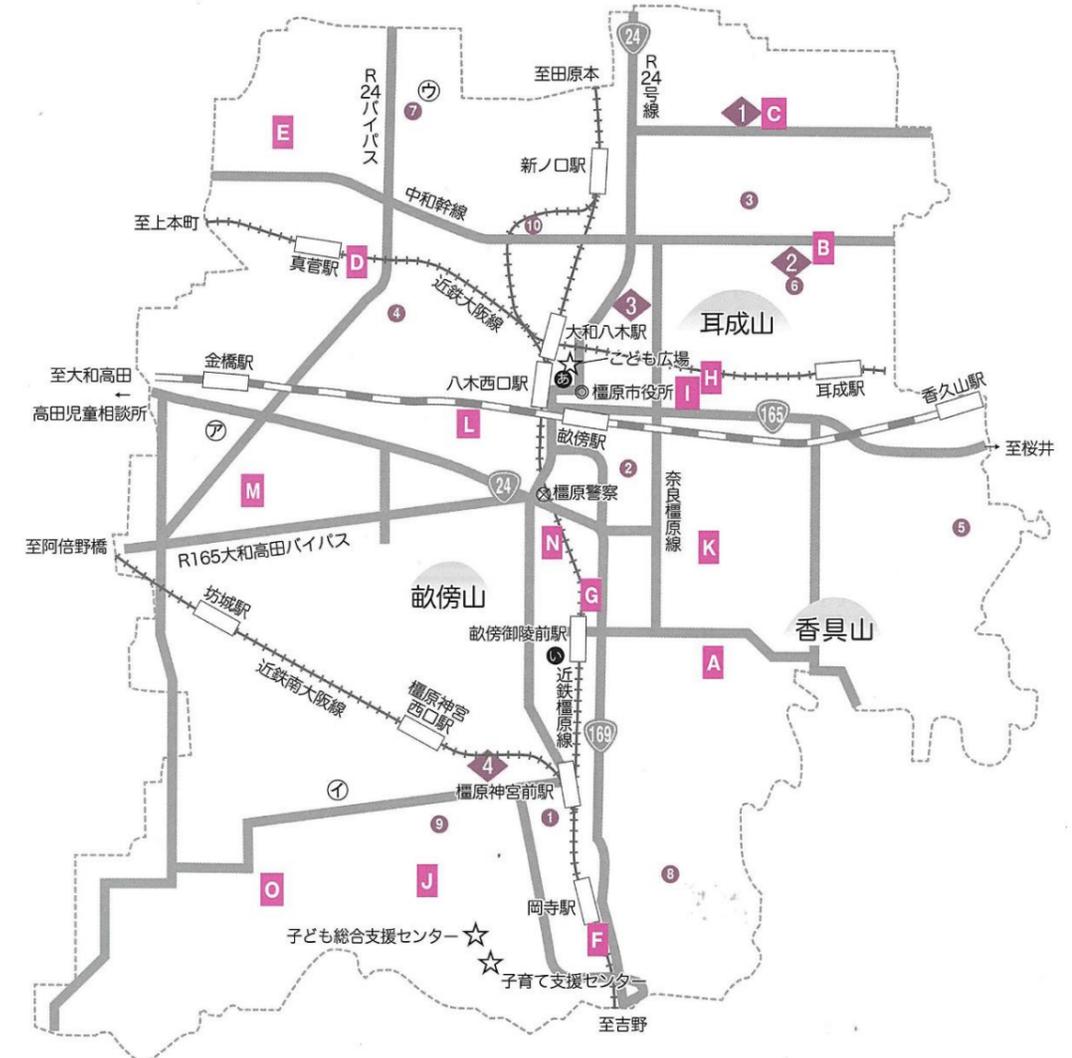
2018年時点主たる建物の建築年数が40年以上となる施設は4幼稚園(耳成南幼、真菅北幼、畝傍東幼、白樺幼)となっています。

施設名	築年数(年)
第1こども園(藤原京・鴨公幼)	22
第2こども園(今井保・今井幼)	18
第3こども園(金橋保・金橋幼)	33
第4こども園(大久保・畝傍北幼)	37
第5こども園(川西・新沢幼)	37
こども園平均	29.4

施設名	築年数(年)	施設名	築年数(年)
畝傍南幼稚園	34	耳成南幼稚園	43
晩成幼稚園	39	真菅北幼稚園	43
耳成幼稚園	36	畝傍東幼稚園	41
真菅幼稚園	37	耳成西幼稚園	38
香久山幼稚園	39	白樺幼稚園	40
幼稚園平均		幼稚園平均	39

赤字:こども園、幼稚園それぞれの平均値を超える場合を示す。

榎原市内の保育所(園)・認定こども園・幼稚園マップ



番号	園名	所在地
①	くちなし幼稚園	葛本町
②	常盤幼稚園	常盤町
③	のぞみ幼稚園	新賀町
④	聖心幼稚園	久米町

番号	園名	所在地
①	畝傍南幼稚園	見瀬町
②	晩成幼稚園	縄手町
③	耳成幼稚園	葛本町
④	真菅幼稚園	曾我町
⑤	香久山幼稚園	膳夫町
⑥	耳成南幼稚園	山之坊町
⑦	真菅北幼稚園	大垣町
⑧	畝傍東幼稚園	大軽町
⑨	白樺幼稚園	白樺町
⑩	耳成西幼稚園	上品寺町

番号	園(所)名	所在地
A	(福)ともえ学園	田中町
B	(福)常盤保育園	常盤町
C	(福)くちなし保育園	葛本町
D	(福)このみ学園	曾我町
E	(福)ひかり保育園	中曾司町
F	(福)愛育保育園	見瀬町
G	あおば保育園	大久保町
H	おひさまほいくえん	醍醐町
I	にこにこパーク保育園	醍醐町

番号	園(所)名	所在地
J	(福)榎原保育園	白樺町

※(福)は社会福祉法人

番号	園(所)名	所在地
㊦	ラビキッズワールド イオンモール 榎原保育園	曲川町イオン モール内1F
㊧	ほれほれ保育園	北越智町
㊨	わくわく保育園	飯高町

番号	園(所)名	所在地
第1こども園		
K	藤原京保育所	四分町
	藤原京保育所(分園) 鴨公幼稚園	縄手町
第2こども園		
L	今井保育所	今井町
	今井保育所(分園) 今井幼稚園	今井町
第3こども園		
M	金橋保育所	雲梯町
	金橋幼稚園	
第4こども園		
N	大久保保育所	大久保町
	大久保保育所(分園) 畝傍北幼稚園	大久保町
第5こども園		
O	川西保育所	川西町
	新沢幼稚園	

㊦ 分庁舎(ミグランス)(子育て総合窓口)
㊨ 保健福祉センター

■ 橿原市教育施設再配置基本方針【概要版】

1.本方針の位置付け

橿原市教育施設は、子どもの数の減少や建物の老朽化等による課題が生じています。

今後はこれらの課題を解消しつつ、多様な教育的ニーズや地域の実情に応じた良好な教育環境を築いていく必要があります。

これら課題解消に向けて、教育施設の再配置の実施が必要になると見込まれるため、「橿原市公共施設等総合管理計画」を踏まえつつ、「橿原市教育施設再配置基本方針」を策定しました。

1.1.対象期間

基本方針は、38年を対象期間として「前期」「中期」「後期」に分割しています。長期間にわたる人口推計値を使用して様々な検討を行っているため、国勢調査の実施結果をもとに5年ごとの人口動向を把握して、基本方針の人口推計値を更新します。

国の仕組みをはじめ、教育ニーズや社会情勢の変化に柔軟に対応するために、定期的な見直しを行います。

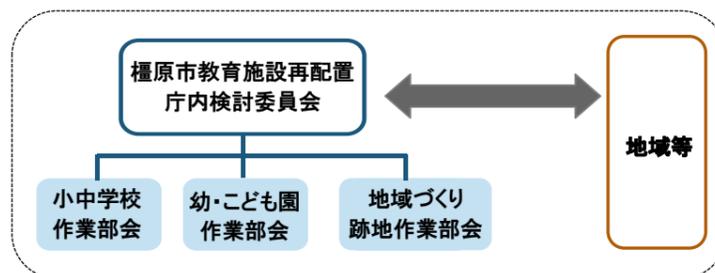
また、基本方針に基づき、10年ごとに実施計画を策定します。

期間	2018年度～2025年度 【8年間】	2026年度～2045年度 【20年間】	2046年度～2055年度 【10年間】
基本方針の流れ	前期	中期	後期
実施計画の流れ	実施計画① 計画策定	実施計画② 計画策定	実施計画③ 計画策定
		実施計画④ 計画策定	

表：対象期間

1.2.推進体制

橿原市では部局間の連携を強化した庁内検討委員会を組織します。基本方針に基づき、地域等への説明を行い、実施計画を策定するに当たっては、地域等、関係者の皆様と協議を行い、より良い教育環境の整備を進めます。



図：推進体制のイメージ

2.橿原市教育施設再配置の基本方針

2.1.橿原市が目指す教育と教育環境

教育は「人づくり」「まちづくり」の基礎となるもので、「まちづくり」は「人」によりなされていくものです。少子高齢化が加速する今日、「人」づくりは重要課題です。また、子どもたちが育っていく社会環境は、知識・情報・技術をめぐる変化が加速度的となり、情報化やグローバル化といった社会的変化が、我々の予測を超えた早さで進展するようになってきています。

適正な規模では、経験年数、専門性、男女比等のバランスの取れた教職員配置ができ、より多くの教職員の目で児童生徒を見ることができるほか、運動会や音楽会などの学校行事の運営もスムーズに行うことができます。さらに、教職員の転出入の機会が増えるため、学校の活性化につながりやすくなります。

教育施設の再配置には大きな負担も伴いますが、学校教育が果たす役割を十分に発揮するため、一定の学校規模を確保し、魅力ある学校づくりに力を注ぐことがきわめて重要と考えています。

また、施設整備については、時期を失することなく大規模改造や長寿命化改修などによる安全安心な施設整備を今後も計画的に進めていきます。

成長期にふさわしい教育環境に近づけるためには、再配置は避けては通れない状況にあり、豊かな未来を創造することができる教育環境の構築を目指して取組を進める必要があると考えています。

2.2.基本的な考え方

現在、橿原市には小学校が16校、中学校が6校あり、そのうち既に5小1中学校が小規模校となっています。これらについては、次に示す基本的な考え方に基づき、再配置を推進していきます。

また、教育施設によっては、再配置の時期にあわせて校区・通学区の見直しを行うものとします。

教育施設の規模に関する考え方

標準規模	・40人（小学1年は35人）1学級の学級編制を行い、学校あたり12～18学級を橿原市の適正な教育施設の規模とする。
------	---

※11学級以下の学校を小規模校、19学級以上の学校を大規模校と区分します。

教育施設の配置に関する考え方

小学校の通学距離	・概ね4kmまでの範囲を橿原市の通学距離とする。
中学校の通学距離	・概ね6kmまでの範囲を橿原市の通学距離とする。

より良い教育環境の整備に際して留意すべき事項

魅力ある学校づくり	・教育施設の再配置は、教育環境の充実を第一義として行うものであることから、教育施設を整備する際には、近年の教育内容・方法に適応する改修を行い、再配置を契機に魅力ある学校づくりを行う。
他の公共施設との複合化	・多様な学習機会の創出や地域コミュニティの活性化に繋がるなどの効果を踏まえて、余裕教室を放課後児童健全育成施設など他の公共施設と複合化して活用する場合は、各施設の管理区分等の明確化や総合的な防犯・防災対策等に留意して、地域とともにある学校づくりを行う。
過渡期における小規模校の教育環境への対応	・教育の機会均等とその水準の維持向上という義務教育の本旨に鑑み、地域とのつながりを活かした学習・体験活動の充実や他校との連携を構築するなど、他の教育施設との教育環境に差が生じないように努める。

2.3.再配置実施に際し配慮すべきこと

2.2.基本的な考え方に加え、下記の項目に考慮しながら再配置を進めていきます。

- (1) 既存施設を活用した再配置の実施
- (2) 橿原市学校施設整備基本計画との整合
- (3) 橿原市教育施設再配置実施計画の作成
- (4) 新しい教育環境への対応
- (5) 安全な通学手段の確保

2.4.再配置の進め方

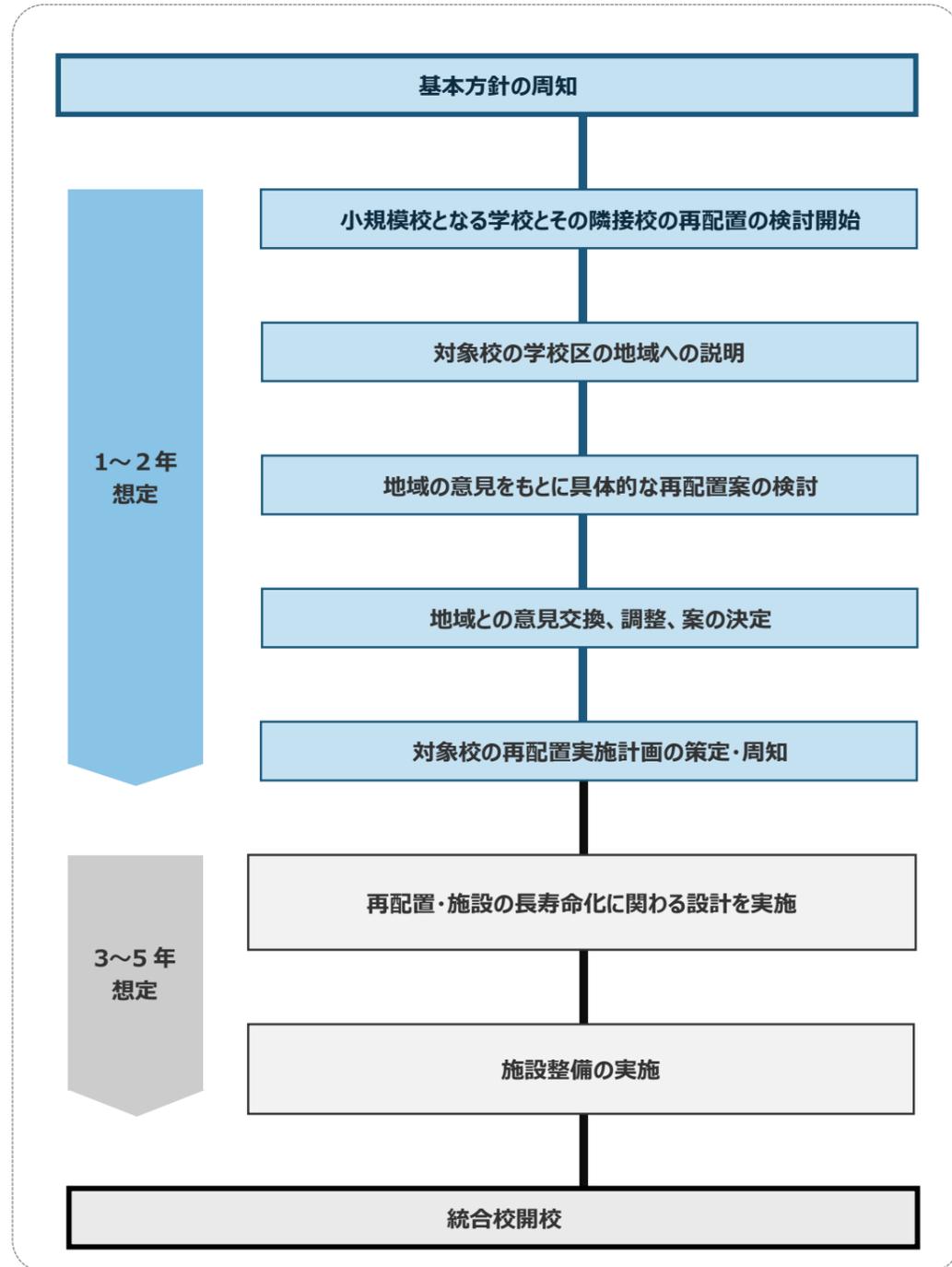
再配置の実施にあたっては、まず、基本方針の内容を基に再配置対象校を選定し、再配置の可否などについて検討を進めていきます。検討後、具体的な統廃合案などを示す再配置実施計画を策定したうえで再配置に着手します。

- (1) 再配置対象校の検討
- (2) 再配置実施計画の策定
- (3) 学校の統廃合など、再配置の実施
- (4) 再配置における施設整備

3.再配置の実施に向けて

再配置の実施にあたっては、基本方針を踏まえ、実施計画を策定した上で進めていきます。

具体的な再配置実施までの流れの一例を下記に示します。実施計画は地域との十分な協議を重ねながら決定していきます。



4.小規模化する学校とその時期

現時点の児童生徒数の推計により、今後 38 年間で小規模化する学校とその時期を以下の表に示します。

	学校施設名	年度	前期		中期				後期	
			現在～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2035	2036～2040	2041～2045	2046～2050	2051～2055
畝傍中学校区	畝傍中学校									●
	畝傍南小学校									
	畝傍北小学校					●				
	畝傍東小学校									
八木中学校区	八木中学校									
	鴨公小学校						●			
	晩成小学校				●					
	耳成小学校									
	香久山小学校		●							
大成中学校区	大成中学校			●						
	今井小学校		●							
	真菅小学校									
光陽中学校区	光陽中学校				●					
	金橋小学校									
	新沢小学校		●							
白樺中学校区	白樺中学校		●							
	白樺南小学校		●							
	白樺北小学校		●							
榺原中学校区	榺原中学校						●			
	真菅北小学校									
	耳成西小学校								●	
小規模化する学校数			5小・2中		3小・2中				1小・1中	

※赤文字：現時点で既に小規模校

5.再配置の組合せ

現時点において想定される再配置の組合せ案を以下に示します。いずれの組合せにおいても、すべての学校を同時に実施することは困難であるため、再配置を実施するまで、過渡的に小規模校が解消されない期間が長くなる学校が複数発生します。これらの学校に対しては、小規模校の課題に可能な限り対応し、教育環境の維持に努めるものとします。

	年度	前期	中期	後期
		現在～2025	2026～2045	2046～2055
畝傍中学校区		畝傍南小・畝傍北小統合	→	畝傍中・白樺中統合
八木中学校区		→	鴨公小・晩成小・香久山小統合	
大成中学校区		大成中・光陽中統合	→	今井小・真菅小統合
光陽中学校区			→	金橋小編入（大成中学校区） 新沢小統合（白樺南北統合小へ）
白樺中学校区		→	白樺南小・白樺北小統合	
榺原中学校区				真菅北小・耳成西小統合 →

檀原市
子ども・子育て支援に関する
アンケート調査
【結果報告書】

平成31年3月

檀原市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
II. 就学前児童調査結果	3
1 お子さんご家族の状況について	3
2 子どもの育ちをめぐる環境について	8
3 保護者の就労状況について	16
4 平日の定期的な幼稚園・保育園（所）・認定こども園等の施設・サービスの利用状況・希望について	20
5 地域の子育て支援事業の利用状況について	37
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育施設の利用希望について	46
7 病気の際の対応について	50
8 不定期な幼稚園・保育園（所）・認定こども園など施設・サービスや一時預かり等の利用について ..	55
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について	61
10 育児休業など職場の両立支援制度について	67
11 親と子の健康づくりについて	73
12 市の子育て支援施策について	86
III. 就学児童調査結果	91
1 お子さんご家族の状況について	91
2 子どもの育ちをめぐる環境について	96
3 保護者の就労状況について	103
4 放課後児童クラブの利用状況・利用希望について	107
5 一時預かり等の利用について	114
6 地域の子育て支援事業の利用状況について	116
7 子どもの居場所や遊び場等について	119
8 子どもの地域活動への参加状況について	124
9 子育てに関する自主的な活動について	125
10 外出の際に困ることについて	126
11 親と子の健康づくりについて	127
12 市の子育て支援施策について	137

I. 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第2期樫原市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、本市における子育て支援に関するご意見等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査設計

- 調査対象者：就学前児童：市内在住の就学前のお子さんから 1,600 人を無作為に抽出
就学児童：市内在住の小学生のお子さんから 800 人を無作為に抽出
- 調査期間：平成 31 年 2 月 28 日～3 月 15 日
- 調査方法：郵送による配布及び回収

3 回収結果

調査票	調査対象者(配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,600	899	56.2%
小学生	800	460	57.5%
合計	2,400	1,359	56.6%

4 報告書の見方

(1) 結果数値及び用語等について

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

(2) 信頼区間について

本調査は標本調査（無作為に抽出した一部の集団に対して実施した調査結果から、確率学的に母集団の性質を推定する調査）のため、標本抽出における誤差等を考慮する必要があります。通常、世論調査などでは、信頼度 95%（同一の調査を 100 回実施すれば 95 回まで同じ結果になるであろうという推定）のレベルを求めるのが一般的です。標本誤差（誤差の近似値）は以下の式で求められ、信頼度を 95%とする場合の信頼区間（見込むべき誤差）は下表のようになります。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団数 n : 有効回答者数 P : 回答の比率（標本測定値）

■信頼度 95%における主要な%の信頼区間

	母集団 (N)	有効 回収数 (n)	回答の比率(P)				
			90%	80%	70%	60%	50%
			10%	20%	30%	40%	
就学前全体	5,580 人	899 人	±1.8	±2.4	±2.7	±2.9	±3.0
小学生全体	6,293 人	460 人	±2.6	±3.5	±4.0	±4.3	±4.4

資料：母集団の人数は、平成 31 年 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口

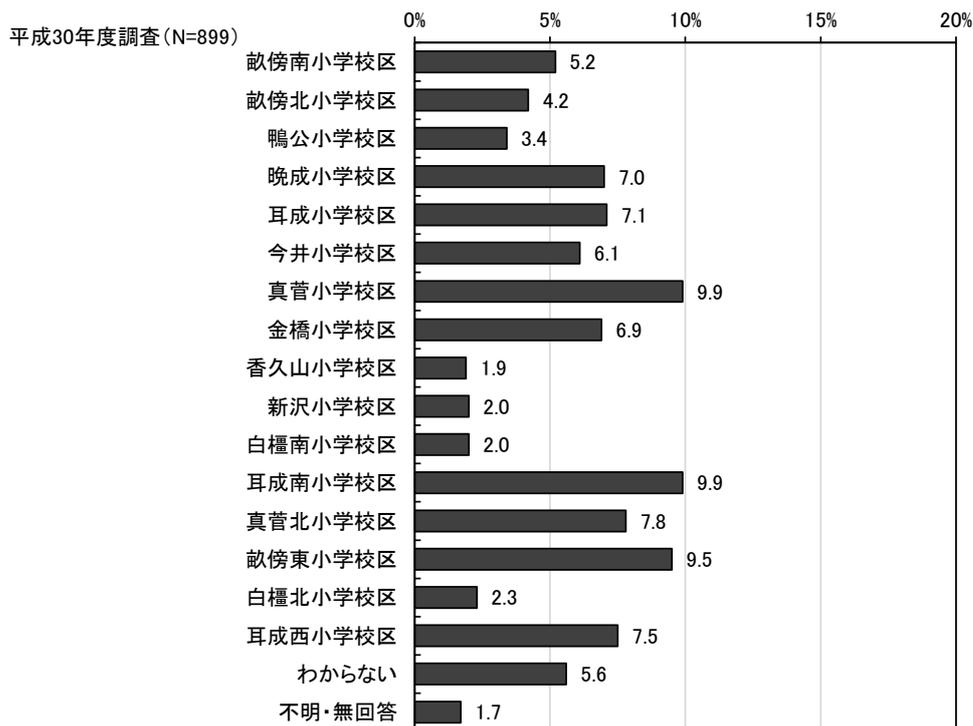
たとえば、ある設問における就学前全体の回答が 80%の場合、80%を中心に±2.4%の誤差が生じます。つまり、真の値は 77.6%から 82.4%の間にあると推定でき、その推定が正しいという信頼度は 95%程度だということになります。

Ⅱ. 就学前児童調査結果

1 お子さんご家族の状況について

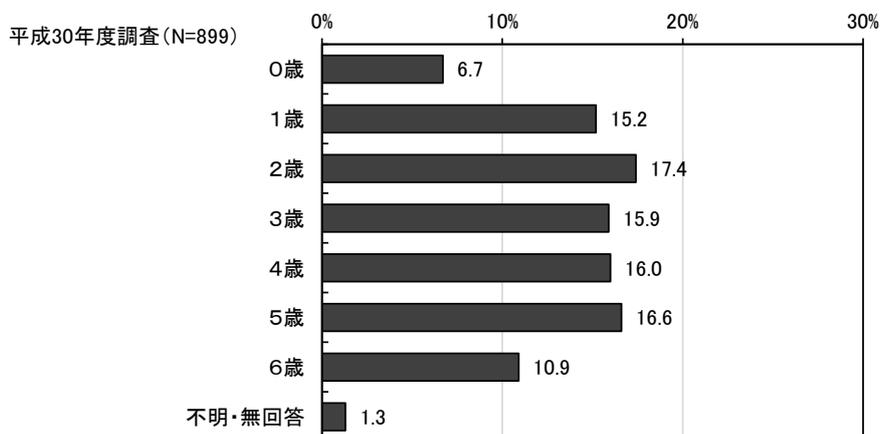
問1 お住まいの小学校区はどこですか。分からない場合は町名を（ ）内にご記入ください。
(1つだけに○)

小学校区別・年齢別の人口分布に沿ってアンケートを配布したところ、回答者のお住まいの小学校区は以下の内訳となりました。



問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

小学校区別・年齢別の人口分布に沿ってアンケートを配布したところ、回答者のお子さんの年齢は以下の内訳となりました。

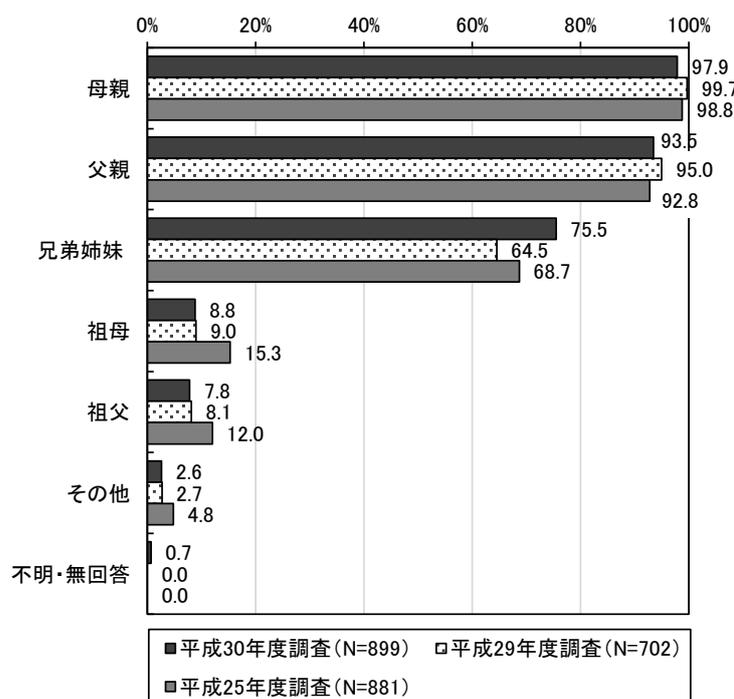


問3 あて名のお子さんと同居されている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

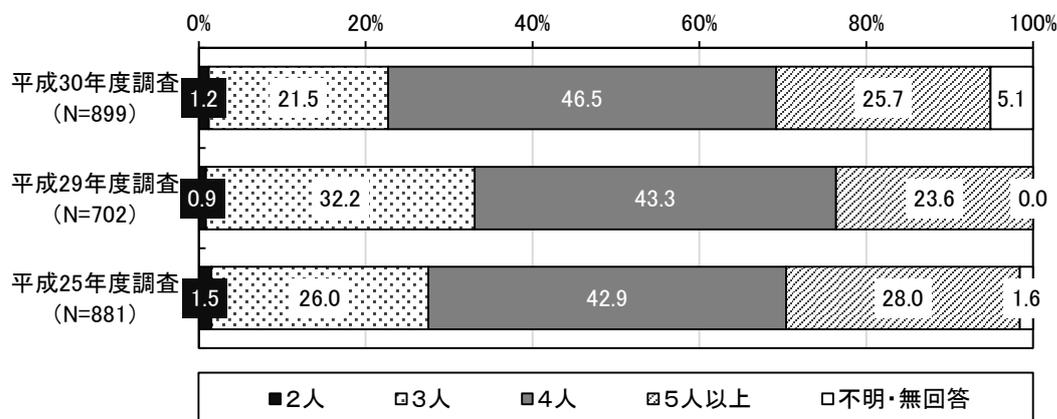
また、同居している家族全員（ご両親とお子さんを含む）の人数を（ ）内にご記入ください。

同居者について、「母親」が97.9%と最も高く、次いで「父親」が93.5%、「兄弟姉妹」が75.5%となっています。

また、同居している家族全員の人数については、「4人」が46.5%と最も高く、次いで「5人以上」が25.7%となっています。



■同居している家族全員（ご両親とお子さんを含む）の人数

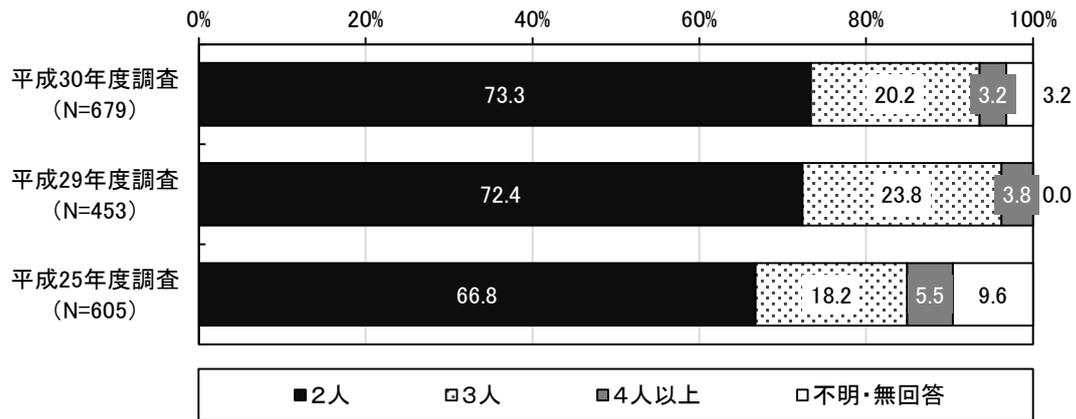


問3で「兄弟姉妹」に○をつけた方にうかがいます。

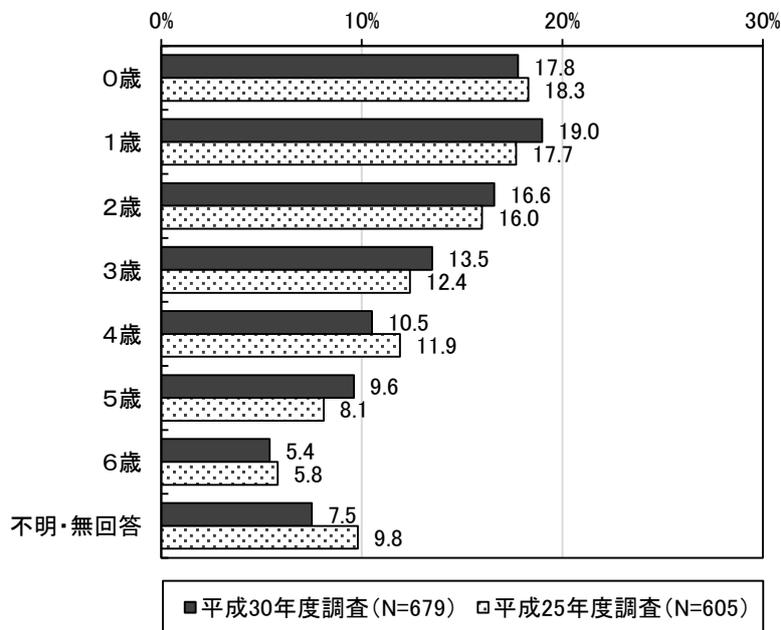
問3-1 あて名のお子さんの兄弟姉妹は何人いますか。あて名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。また、一番下のお子さんの生年月を()内にご記入ください。

お子さんの兄弟姉妹について、「2人」が73.3%と最も高く、次いで「3人」が20.2%となっています。

一番下のお子さんの年齢については、「1歳」が19.0%と最も高く、次いで「0歳」が17.8%となっています。



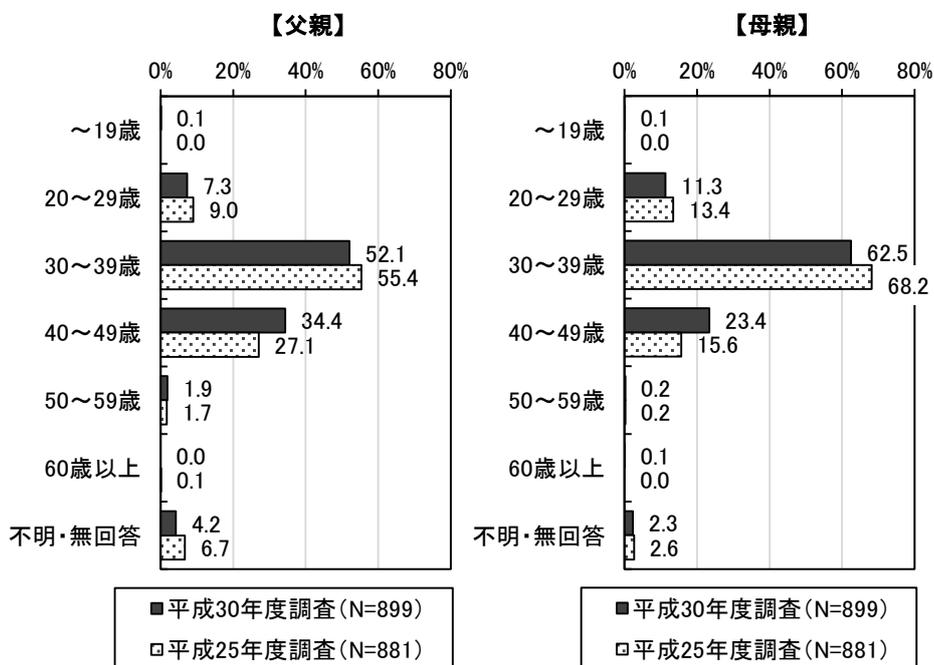
■一番下の子の年齢



問4 あて名のお子さんのご両親の年齢はどれですか。（それぞれ1つだけに○）

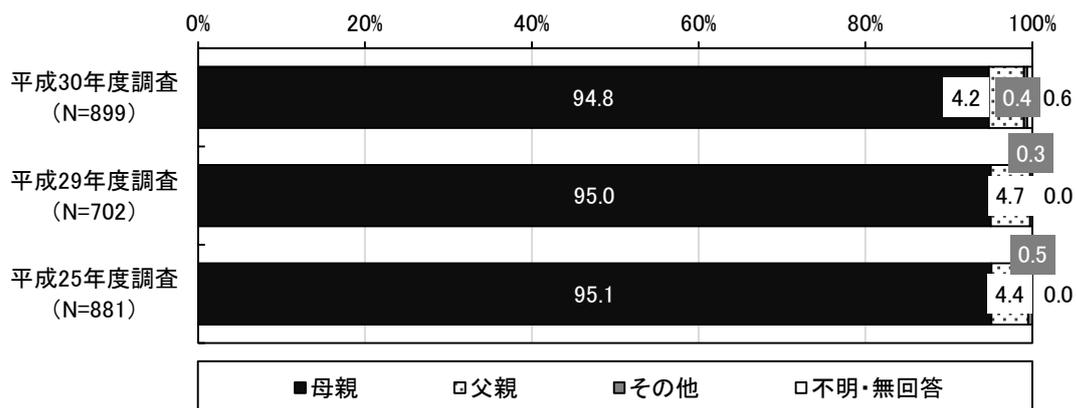
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

両親の年齢について、父母ともに「30～39歳」が52.1%、62.5%と最も高く、次いで「40～49歳」が34.4%、23.4%となっています。



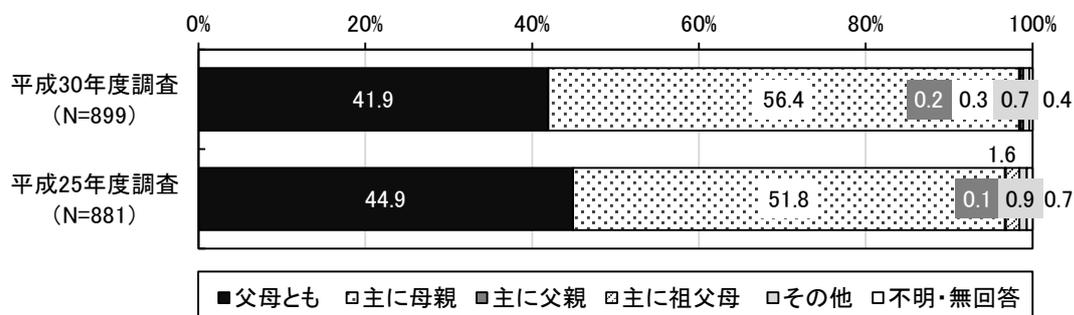
問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（1つだけに○）

回答者について、「母親」が94.8%と最も高く、次いで「父親」が4.2%となっています。



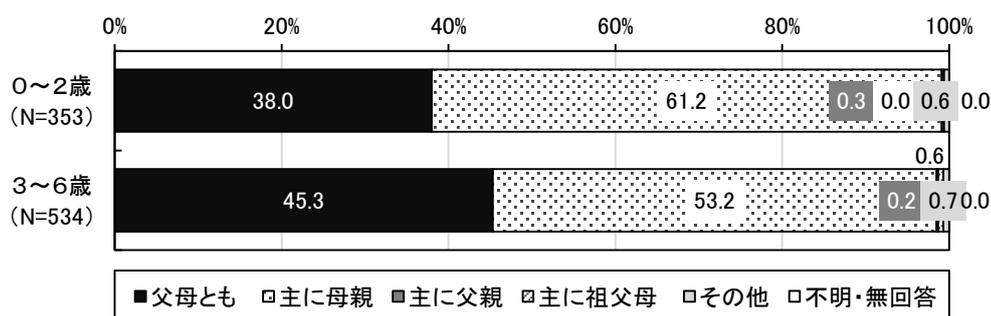
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（1つだけに○）

子育て（教育を含む）を主に行っている方について、「主に母親」が56.4%と最も高く、次いで「父母とも」が41.9%となっています。



◇問6 子育て（教育を含む）を主に行っている方 × 問2 子どもの年齢別

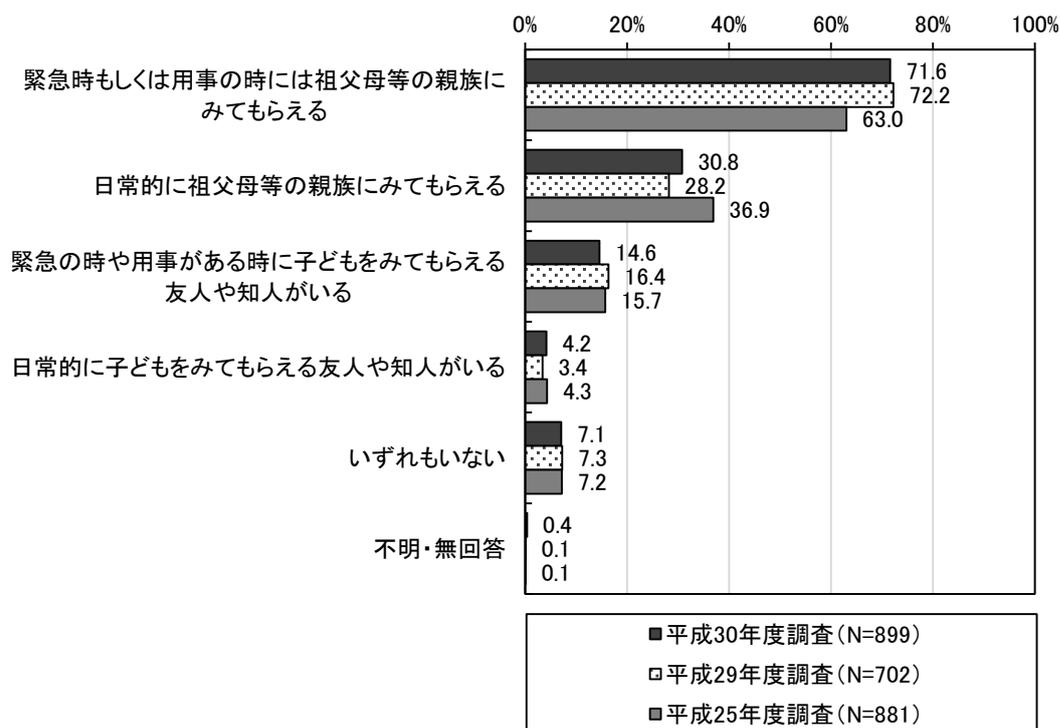
子育て（教育を含む）を主に行っている方について、子どもの年齢別にみると「主に母親」において【3～6歳】よりも【0～2歳】が8.0ポイント高くなっています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

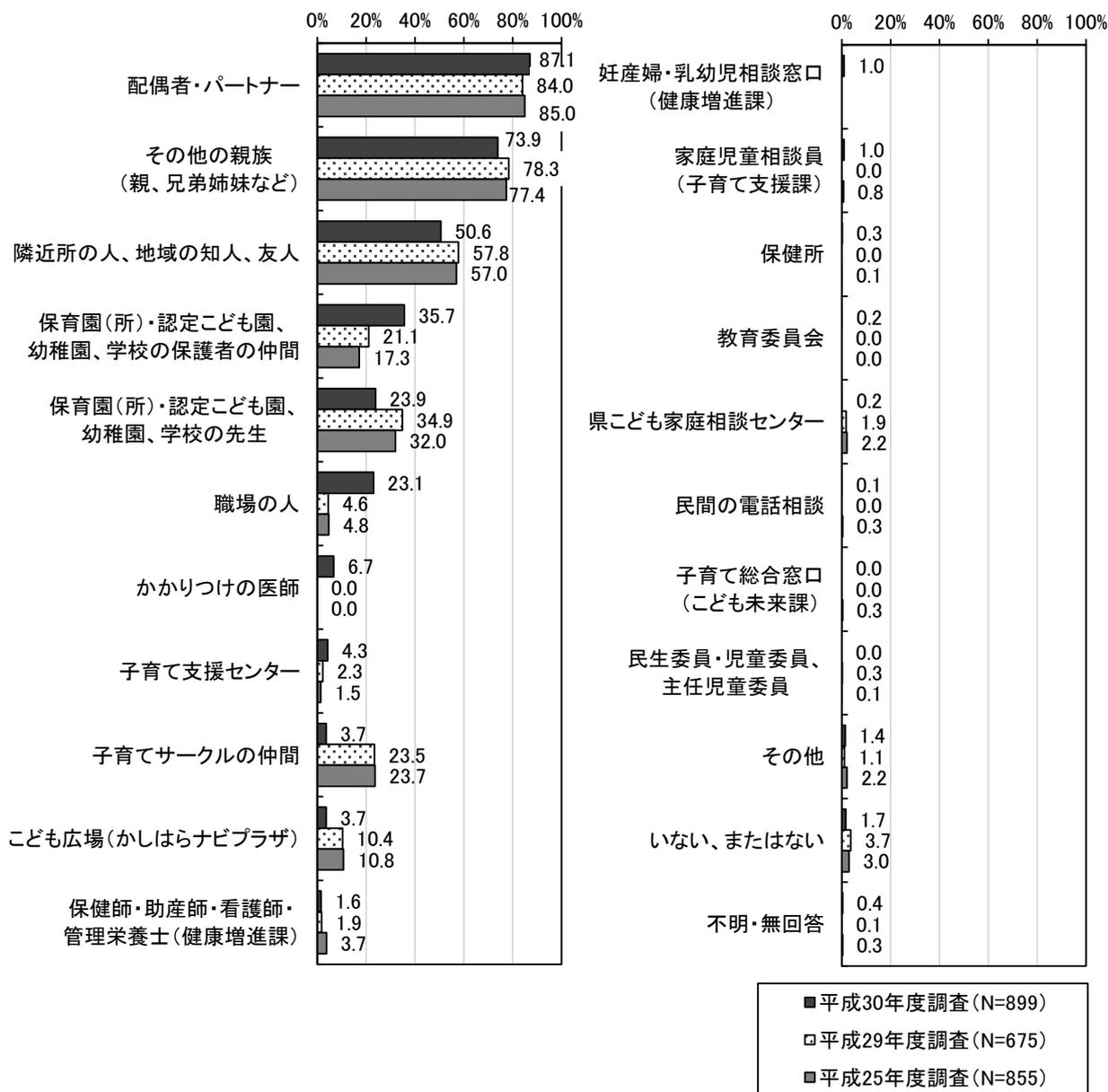
問7 日頃、あて名のお子さんの面倒をみてもらえる親族や知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんの面倒をみてもらえる親族や知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が71.6%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が30.8%となっています。



問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる人や場所などは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

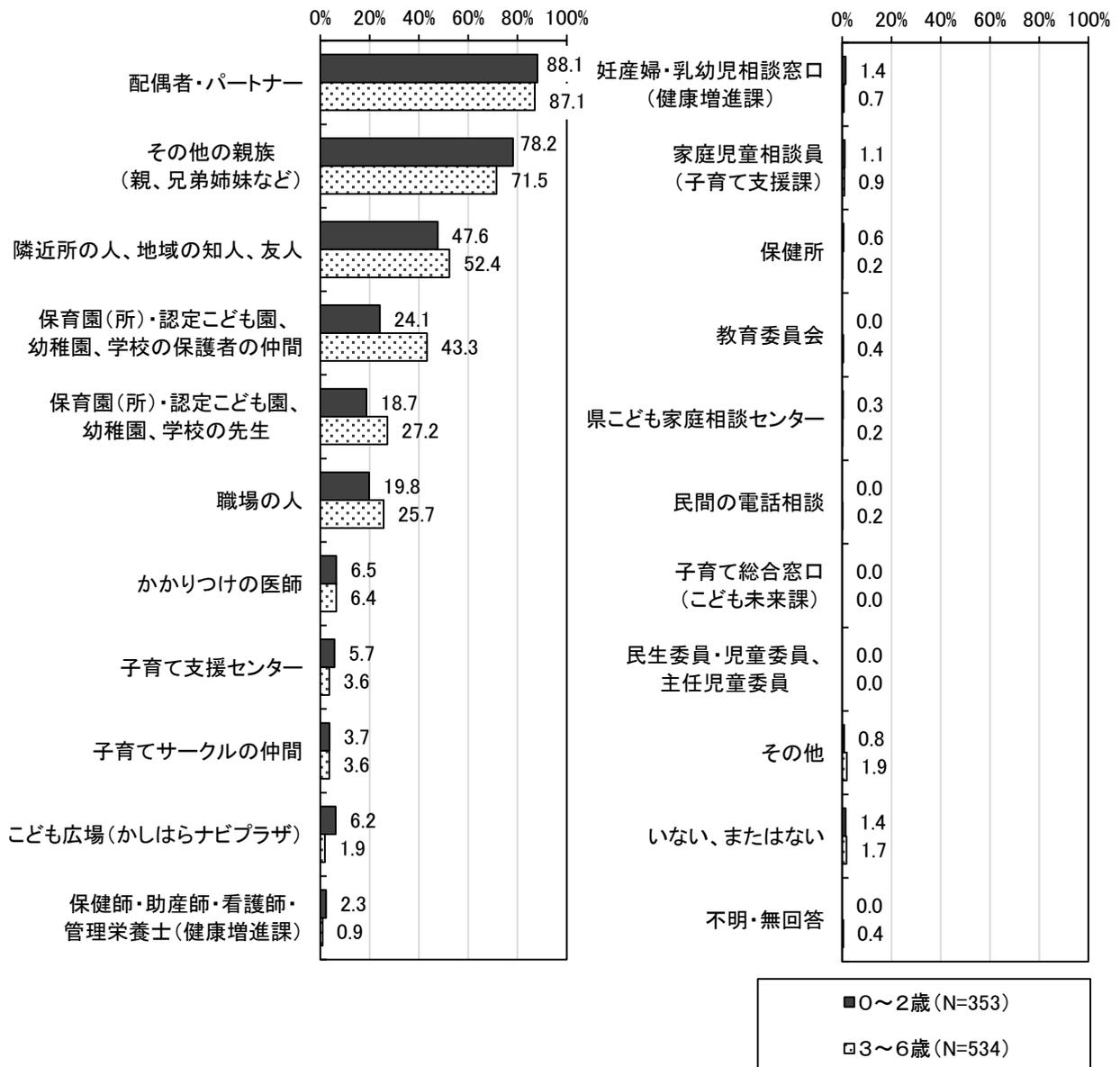
子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人や場所などについて、「配偶者・パートナー」が87.1%と最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」が73.9%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が50.6%となっています。



※「妊産婦・乳幼児相談窓口（健康増進課）」は平成30年度調査のみの選択肢

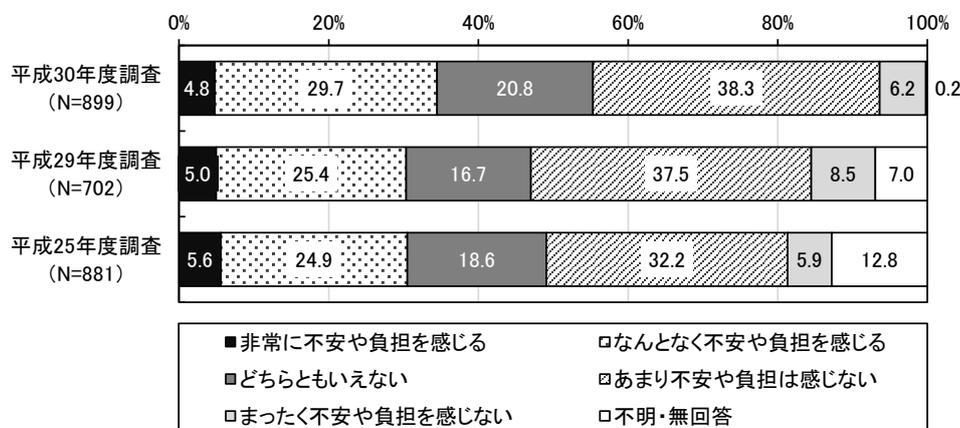
◇問8 子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人や場所 × 問2 子どもの年齢別

子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人や場所などについて、子どもの年齢別にみると「保育園（所）・認定こども園、幼稚園、学校の保護者の仲間」において【0～2歳】よりも【3～6歳】が19.2ポイント高くなっています。



**問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、不安や負担などを感じていますか。
（1つだけに○）**

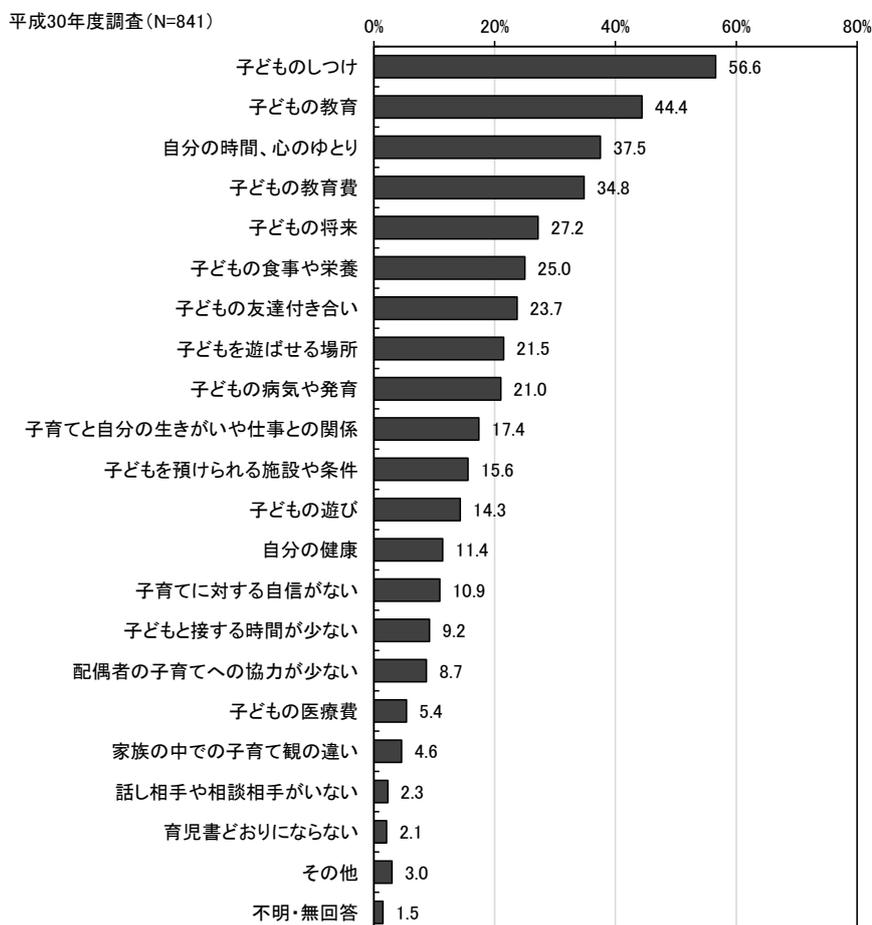
子育て（教育を含む）に関する不安や負担感などについて、「あまり不安や負担は感じない」が38.3%と最も高く、次いで「なんとなく不安や負担を感じる」が29.7%となっています。



問9で「まったく不安や負担を感じない」以外に○をつけた方にうかがいます。

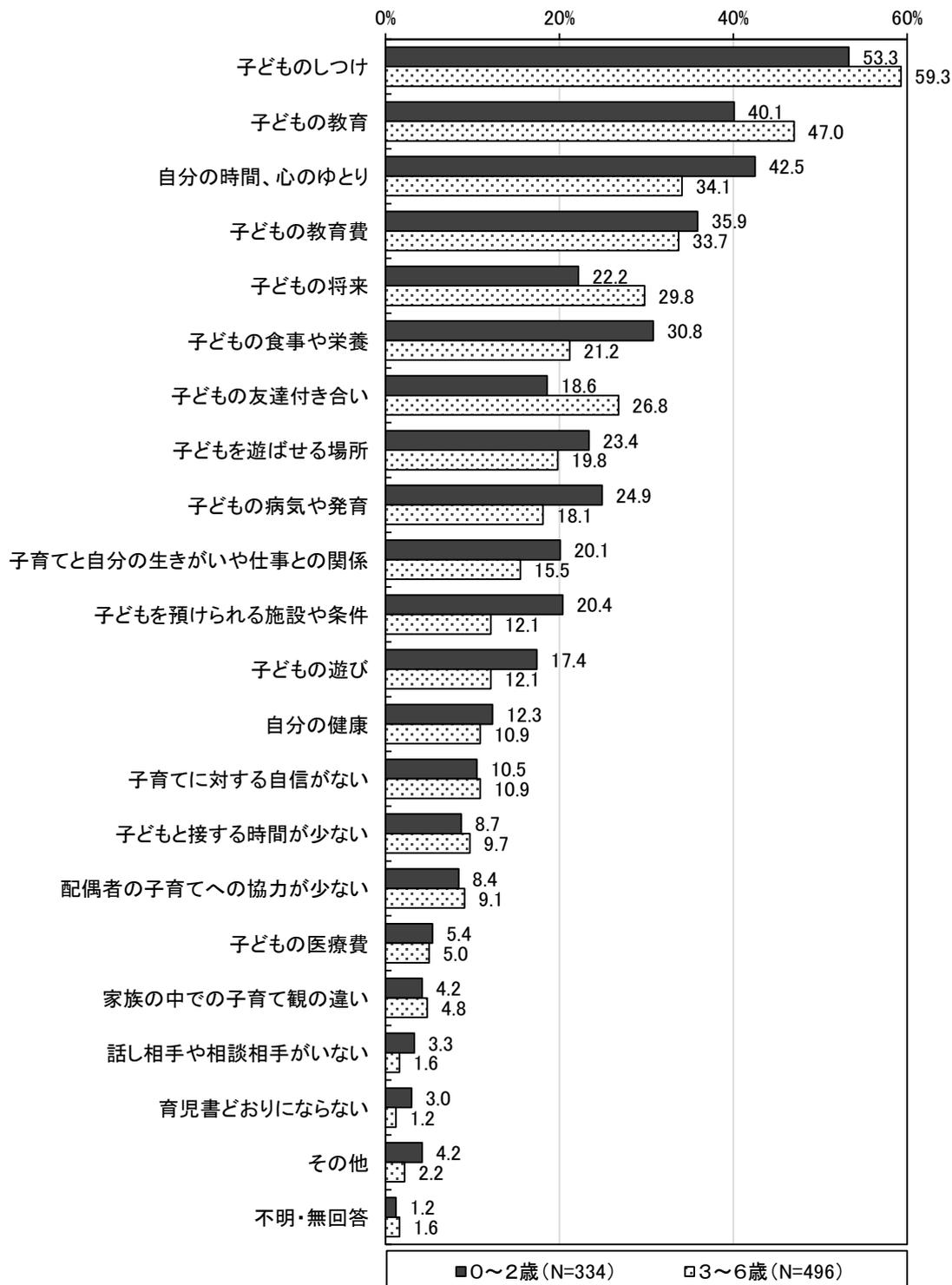
**問9-1 子育て（教育を含む）に関する不安や負担の主な内容をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）**

子育て（教育を含む）に関する不安や負担の主な内容について、「子どものしつけ」が56.6%と最も高く、次いで「子どもの教育」が44.4%、「自分の時間、心のゆとり」が37.5%となっています。



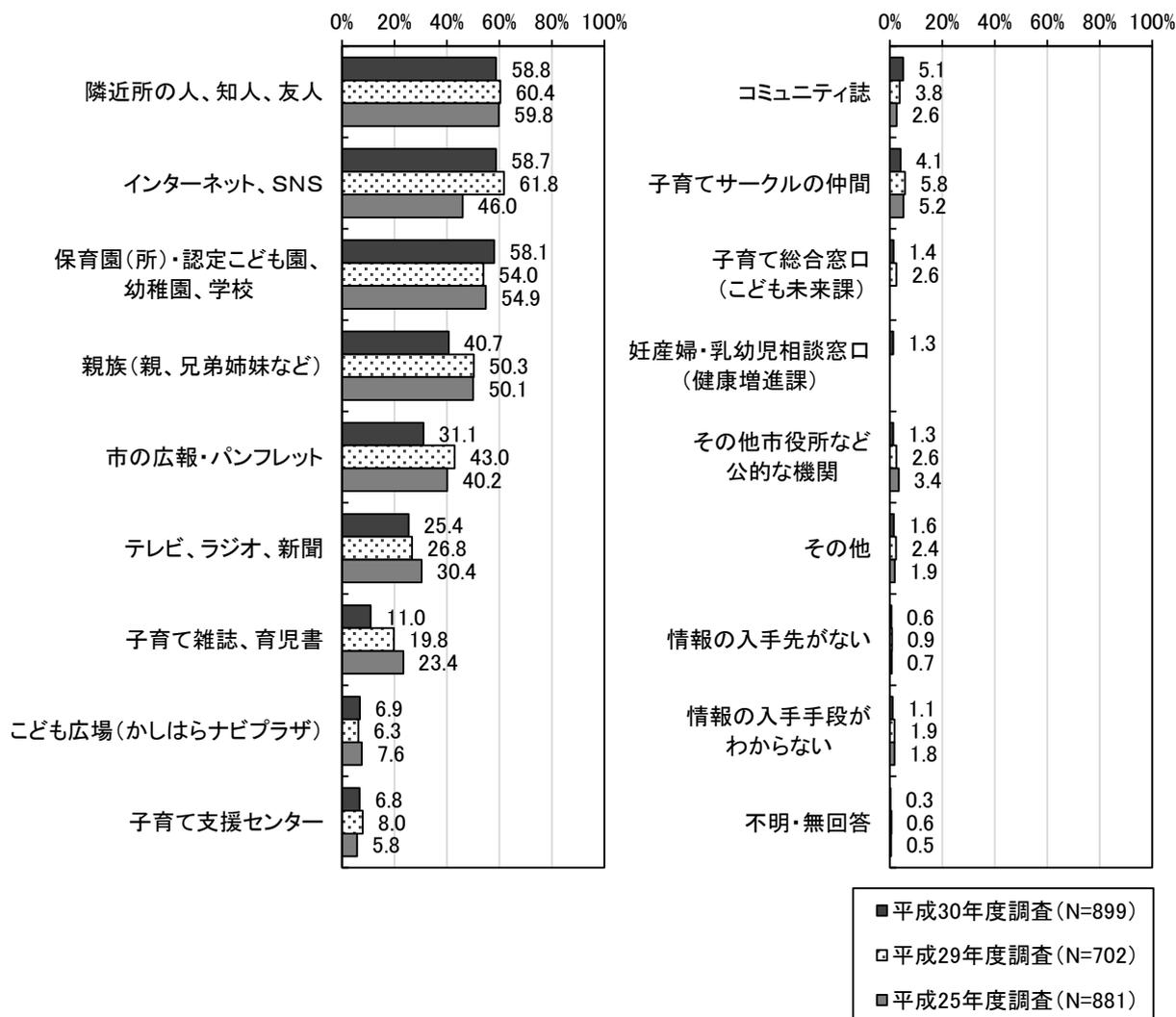
◇問9-1 子育て（教育を含む）に関する不安や負担の主な内容 × 問2 子どもの年齢別

子育て（教育を含む）に関する不安や負担の主な内容について、子どもの年齢別にみると「自分の時間、心のゆとり」や「子どもの食事や栄養」において【3～6歳】よりも【0～2歳】の方が高い一方、「子どもの友達付き合い」や「子どもの将来」において【0～2歳】よりも【3～6歳】の方が高い傾向がみられます。



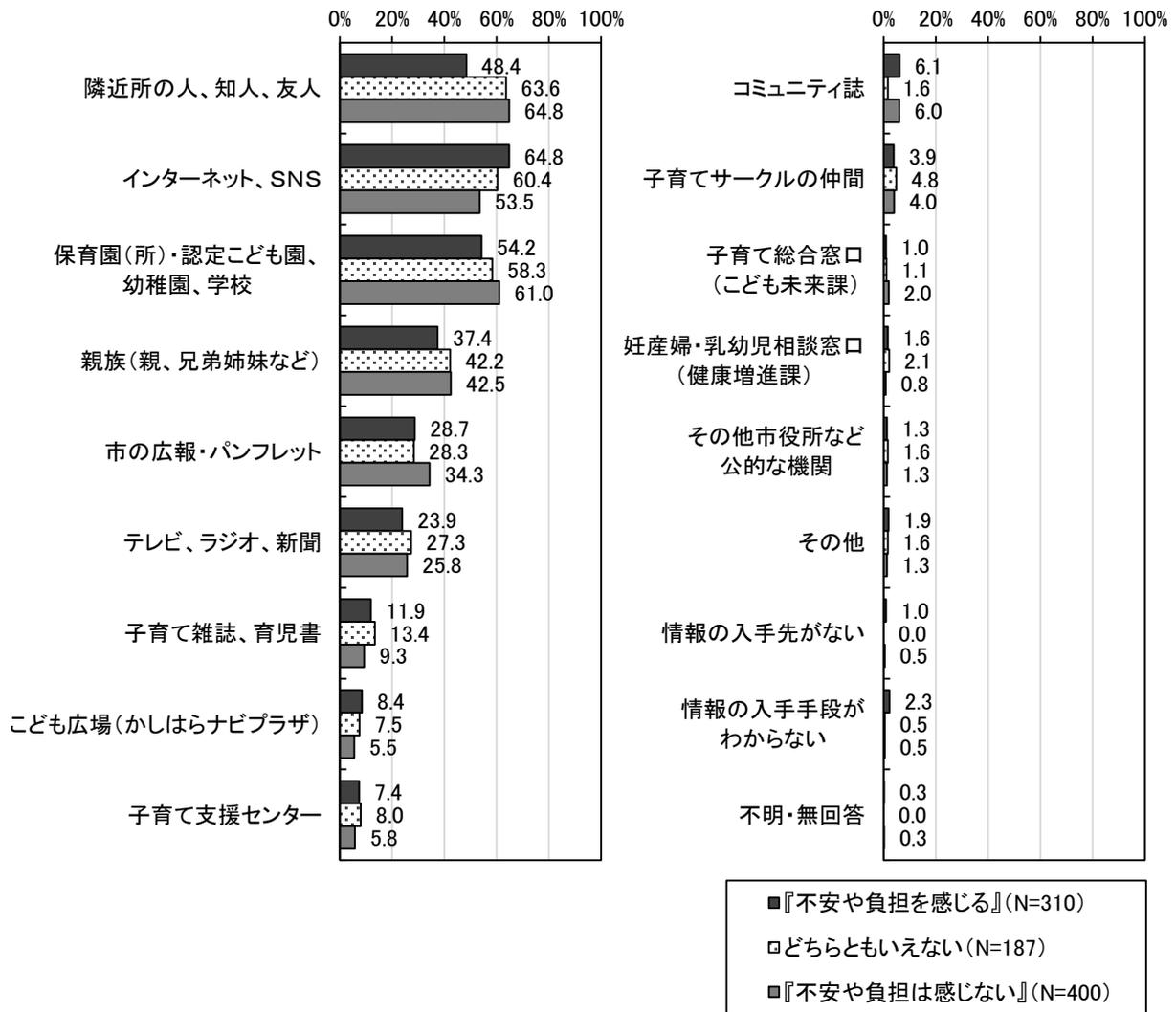
問10 子育て（教育を含む）に関する情報をどのようなところから入手されていますか。
（あてはまるものすべてに○）

子育て（教育を含む）に関する情報の入手先について、「隣近所の人、知人、友人」が58.8%と最も高く、次いで「インターネット、SNS」が58.7%、「保育所（園）・認定こども園、幼稚園、学校」が58.1%となっています。



◇問10 子育て（教育を含む）に関する情報の入手先 × 問9 子育てに関する不安・負担感

子育て（教育を含む）に関する情報の入手先について、子育てに関する不安・負担感別にみると「隣近所の人、知人、友人」において【『不安や負担は感じない』（「あまり不安や負担は感じない」と「まったく不安や負担を感じない」の合計）】よりも【『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計）】が16.4ポイント低くなっています。

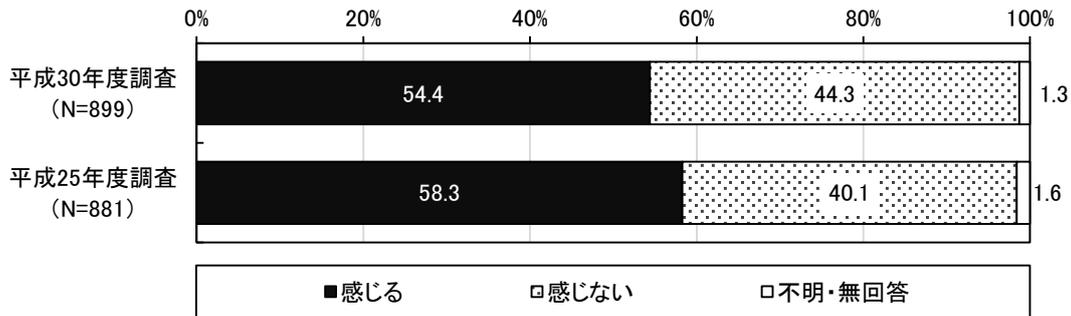


問 11 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(1つだけに○)

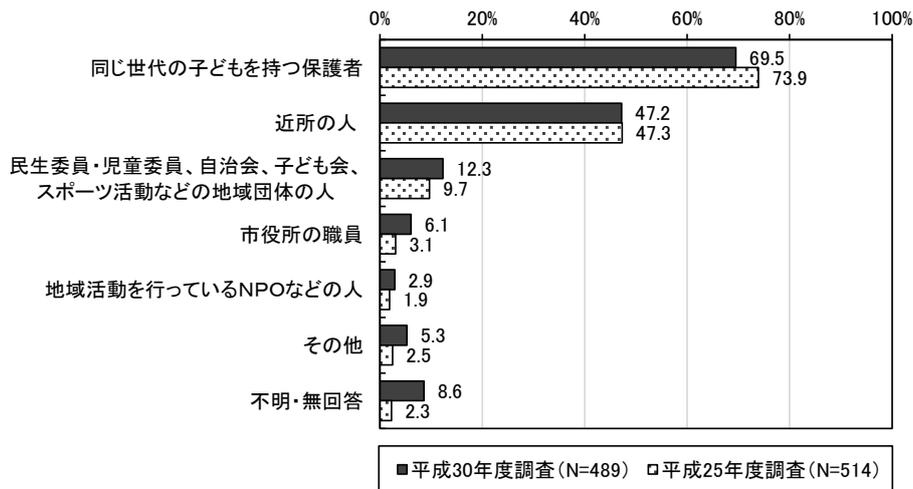
感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。(あてはまるものすべてに○)

子育てが地域の人に支えられていると感じるかについて、「感じる」が54.4%、「感じない」が44.3%となっています。

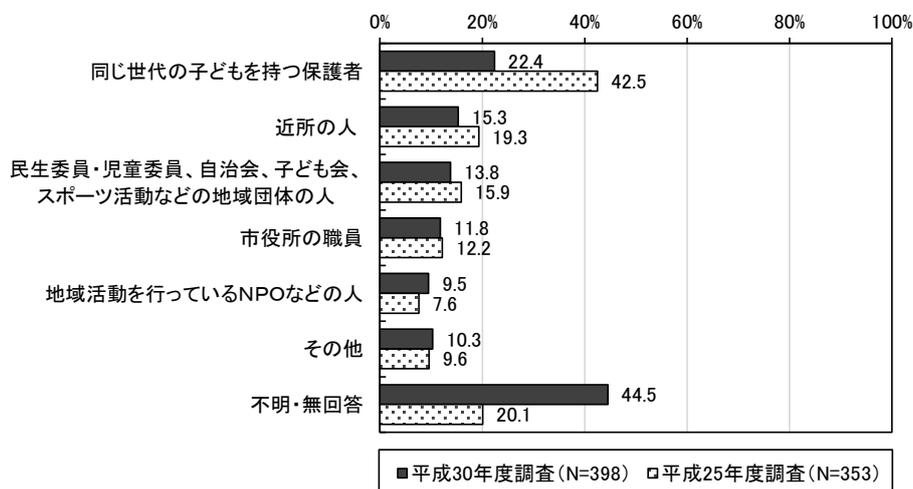
また、支えてくれる人、支えてほしい人ともに、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が69.5%、22.4%と最も高く、次いで「近所の人」が47.2%、15.3%となっています。



■支えてくれる人



■支えてほしい人



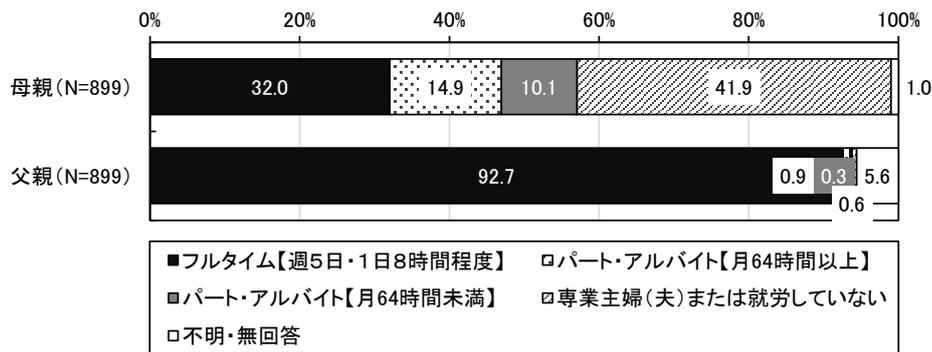
3 保護者の就労状況について

問 12 あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、①現在の状況と、②1年以内の実現の見込みをお答えください。（1～3の選択肢には、産休・育休・介護休業中も含まれます。）（母親・父親それぞれ1つに○）

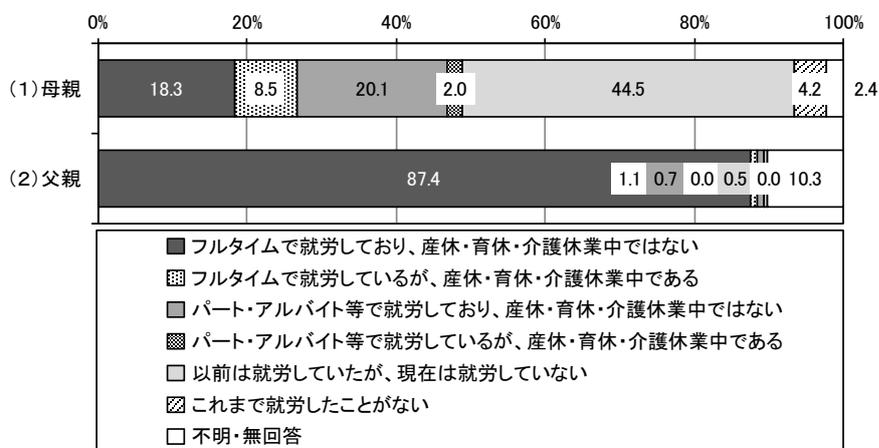
保護者の就労状況について、現在「フルタイム【週5日・1日8時間程度】」または「パート・アルバイト【月64時間以上】」により就労していると回答された方は、母親では57.0%、父親では93.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、母親の48.9%、父親の89.2%と比べ、増加傾向がみられます。

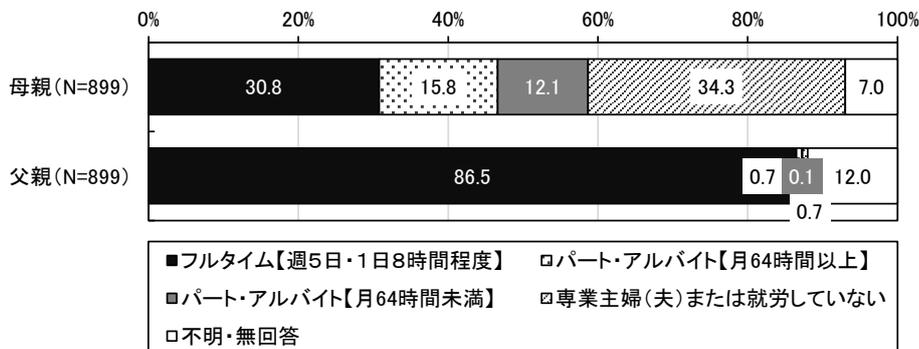
①現在の状況



平成25年度調査(N=881)



②1年以内の見込み



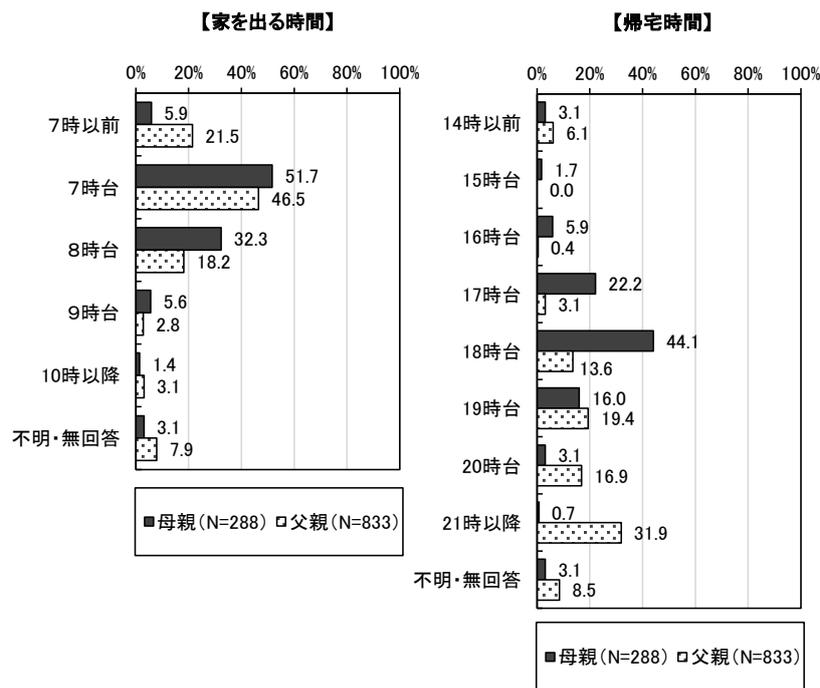
問 12①で「フルタイムまたはパート・アルバイト」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-1 家を出る時間と帰宅時間について、() 内に数字を 24 時間制でご記入ください。

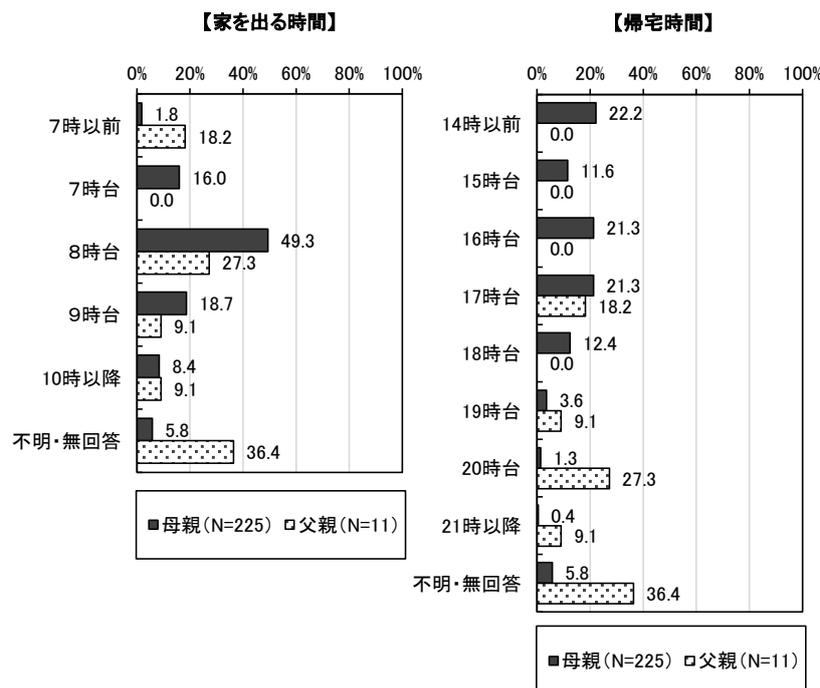
フルタイムは、家を出る時間について、父母ともに「7時台」が最も高く、次いで母親は「8時台」、父親は「7時以前」となっています。帰宅時間については、母親では「18時台」、父親では「21時以降」が最も高くなっています。

パート・アルバイトは、家を出る時間について、父母ともに「8時台」、帰宅時間については、母親では「14時以前」、父親では「20時台」が最も高くなっています。

■ 【フルタイム】 家を出る時間・帰宅時間



■ 【パートタイム、アルバイト】 家を出る時間・帰宅時間

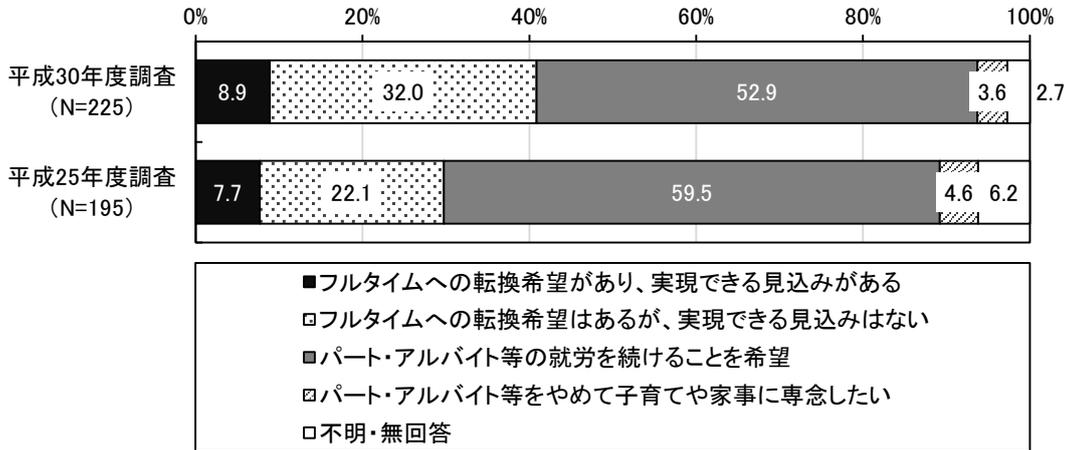


問 12①で「パート・アルバイト」と回答した方にうかがいます。

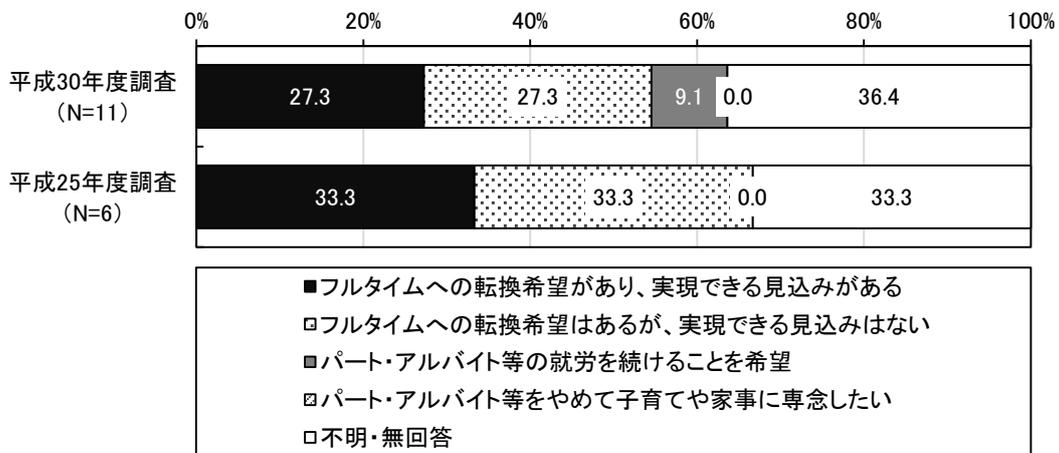
問 12-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(母親・父親それぞれ1つに○)

フルタイムへの転換希望について、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が52.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が32.0%となっています。

①母親



②父親

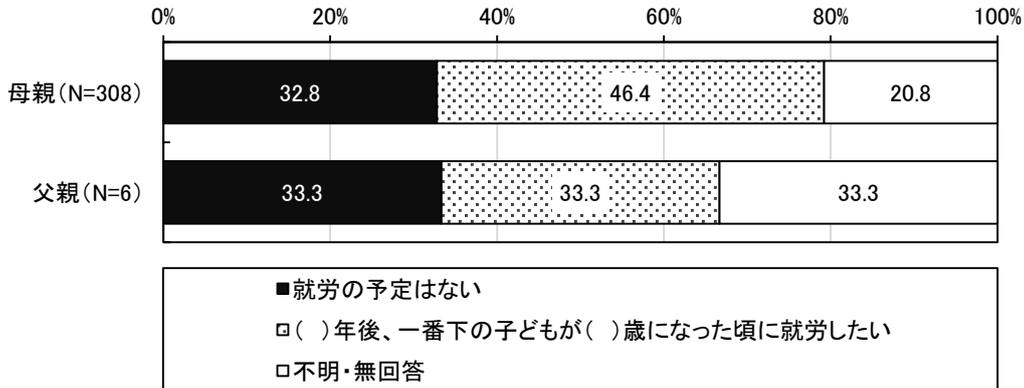


問 12②で「専業主婦（夫）または就労していない」と回答した方にうかがいます。

問 12-3 1年よりも先、将来的な就労予定はありますか。（母親・父親それぞれ1つに○）
「2.」を選択した場合は、（ ）内もご記入ください。

将来的な就労予定について、「（ ）年後、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に就労したい」が46.4%と最も高く、次いで「就労の予定はない」が32.8%となっています。

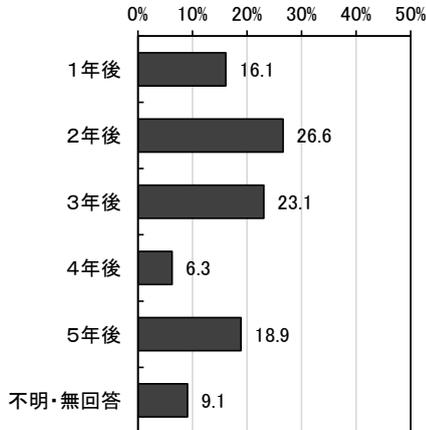
働きたい時期について、「2年後」が26.6%と最も高くなっています。



「（ ）年後、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に就労したい」に○をつけた方

■何年後

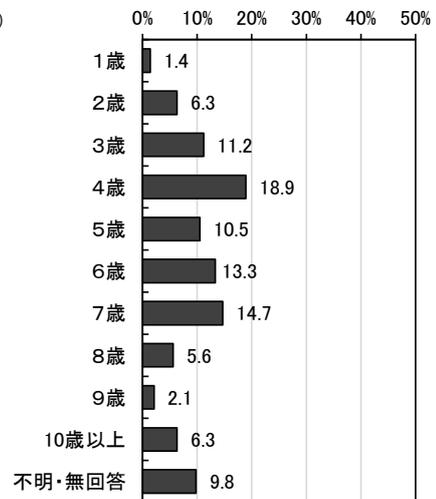
母親 (N=143)



※父親では、1年後に1件の回答がありました

■一番下の子どもが何歳になったら働きたいか

母親 (N=143)

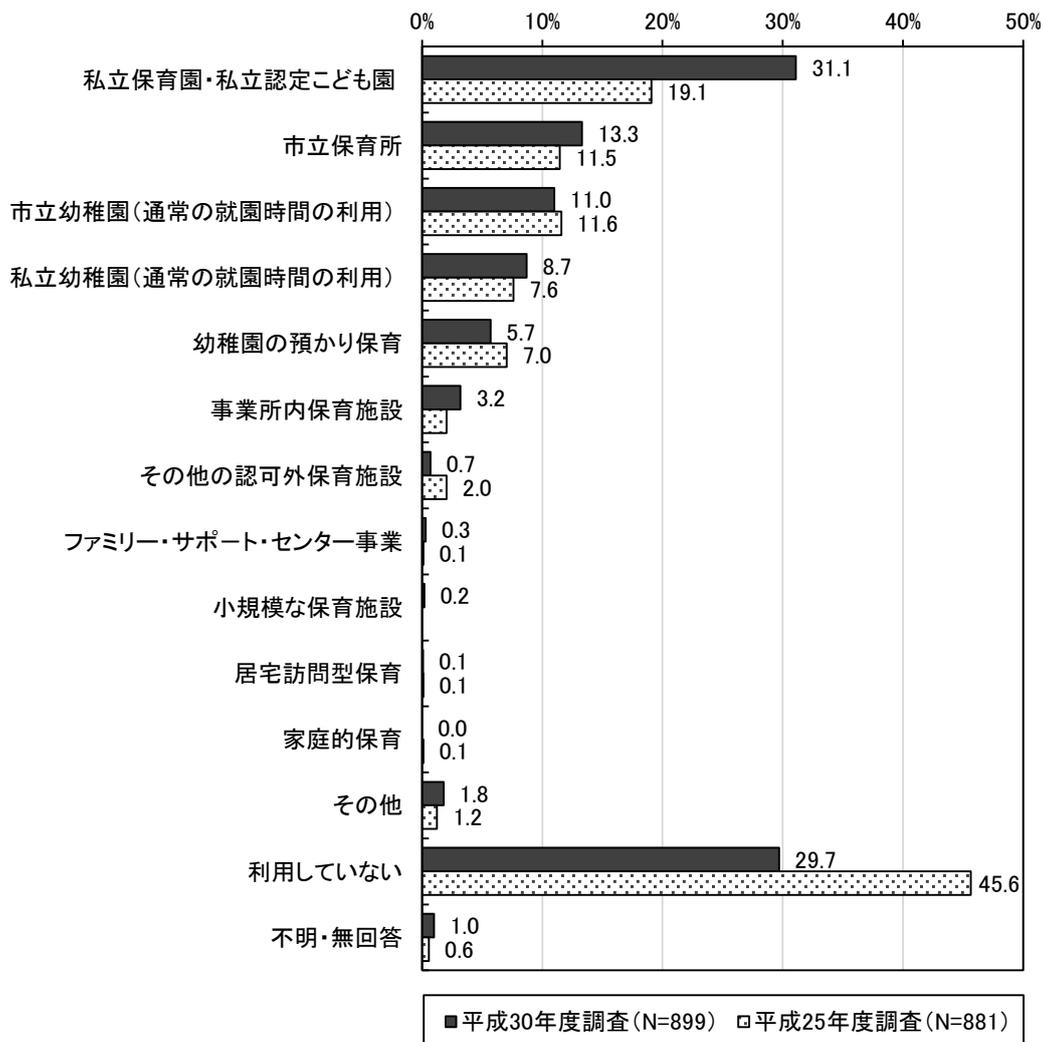


※父親では回答がありませんでした

4 平日の定期的な幼稚園・保育園（所）・認定こども園等の施設・サービスの利用状況・希望について

問 13 現在、あて名のお子さんが、年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されている施設やサービスは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

定期的に利用している施設やサービスについて、「私立保育園・私立認定こども園」が 31.1%と最も高く、次いで「利用していない」が 29.7%、「市立保育所」が 13.3%となっています。



※「小規模な保育施設」は平成 30 年度調査のみの選択肢

問 13 で「利用していない」以外に○をつけた方にうかがいます。

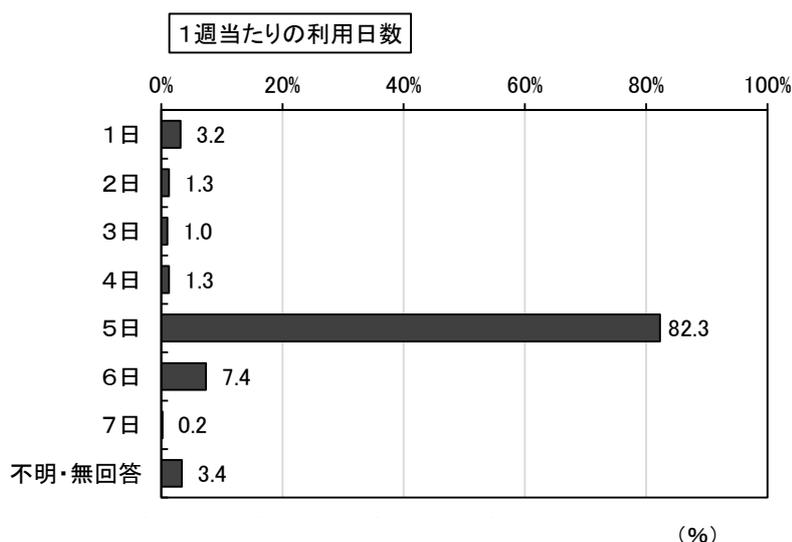
問 13-1 現在利用している幼稚園や保育園（所）・認定こども園などの施設・サービスをどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれ該当する（ ）内に数字を 24 時間制でご記入ください。

現在利用している施設・サービスの利用状況について、現在は、1 週当たりの利用日数では「5 日」が最も高くなっています。

現在

■ 1 週当たり日数（現在）

平成30年度調査
(N=623)

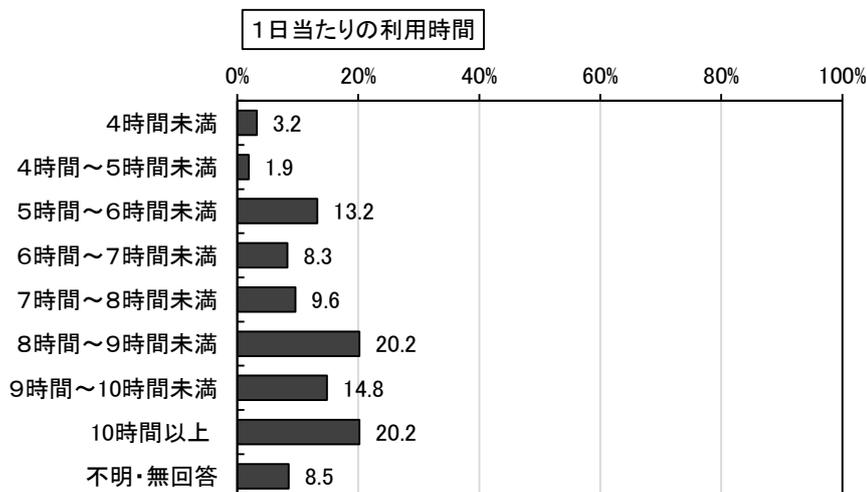


	(%)				
	1日	2日	3日	4日	5日
全体 (N=623)	3.2	1.3	1.0	1.3	82.3
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	1.8	0.4	0.0	0.7	86.1
市立保育所 (N=120)	5.0	2.5	0.0	0.0	86.7
私立幼稚園 (N=78)	0.0	0.0	1.3	1.3	78.2
市立幼稚園 (N=99)	3.0	1.0	1.0	3.0	87.9
幼稚園の預かり保育 (N=51)	7.8	2.0	2.0	3.9	76.5
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	0.0	3.4	0.0	72.4
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7
その他 (N=16)	37.5	12.5	12.5	0.0	18.8
	6日	7日	不明・無回答		
全体 (N=623)	7.4	0.2	3.4		
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	8.2	0.0	2.9		
市立保育所 (N=120)	2.5	0.8	2.5		
私立幼稚園 (N=78)	17.9	0.0	1.3		
市立幼稚園 (N=99)	0.0	0.0	4.0		
幼稚園の預かり保育 (N=51)	2.0	0.0	5.9		
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0		
事業所内保育施設 (N=29)	24.1	0.0	0.0		
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	0.0	16.7		
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0		
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	0.0		
その他 (N=16)	0.0	0.0	18.8		

1日当たりの利用時間では「8時間～9時間未満」「10時間以上」が最も高くなっています。

■ 1日当たり時間（現在）

平成30年度調査
(N=623)



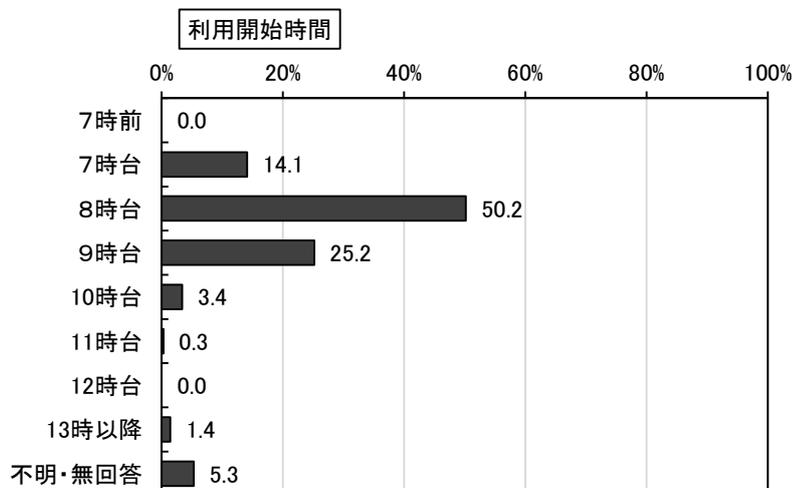
(%)

	4時間未満	4時間～5時間未満	5時間～6時間未満	6時間～7時間未満	7時間～8時間未満
全体 (N=623)	3.2	1.9	13.2	8.3	9.6
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	1.4	0.4	2.1	3.6	8.2
市立保育所 (N=120)	0.0	2.5	0.8	0.0	8.3
私立幼稚園 (N=78)	2.6	7.7	26.9	28.2	21.8
市立幼稚園 (N=99)	6.1	0.0	52.5	19.2	9.1
幼稚園の預かり保育 (N=51)	11.8	0.0	41.2	15.7	17.6
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設 (N=29)	3.4	0.0	6.9	3.4	0.0
その他の認可外保育施設 (N=6)	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
その他 (N=16)	43.8	12.5	6.3	0.0	0.0
	8時間～9時間未満	9時間～10時間未満	10時間以上	不明・無回答	
全体 (N=623)	20.2	14.8	20.2	8.5	
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	25.7	21.1	28.6	8.9	
市立保育所 (N=120)	35.0	20.8	26.7	5.8	
私立幼稚園 (N=78)	3.8	2.6	1.3	5.1	
市立幼稚園 (N=99)	1.0	1.0	1.0	10.1	
幼稚園の預かり保育 (N=51)	0.0	0.0	2.0	11.8	
小規模な保育施設 (N=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	
事業所内保育施設 (N=29)	13.8	17.2	44.8	10.3	
その他の認可外保育施設 (N=6)	16.7	0.0	33.3	16.7	
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	
その他 (N=16)	18.8	0.0	0.0	18.8	

利用開始時間では「8時台」が最も高くなっています。

■利用時間帯（現在）

平成30年度調査
(N=623)



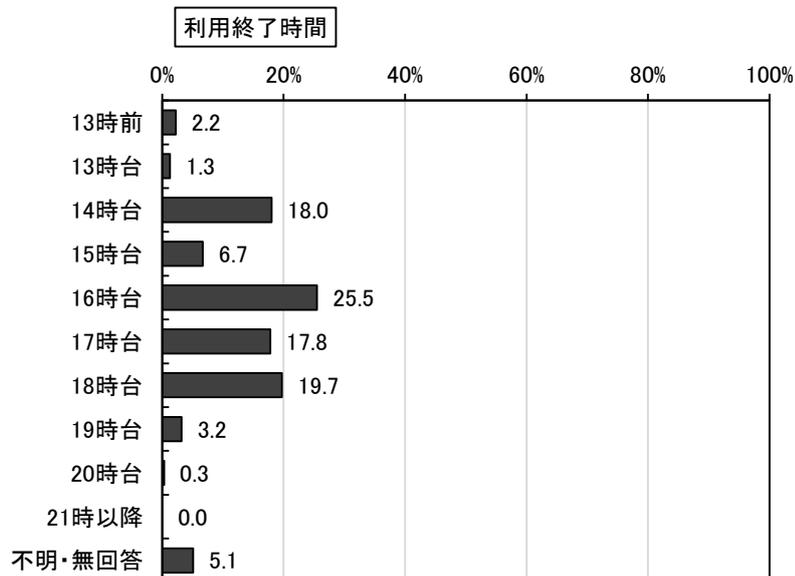
(%)

	7時前	7時台	8時台	9時台	10時台
全体 (N=623)	0.0	14.1	50.2	25.2	3.4
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	0.0	19.6	50.4	23.2	1.4
市立保育所 (N=120)	0.0	17.5	60.8	18.3	0.0
私立幼稚園 (N=78)	0.0	3.8	33.3	44.9	12.8
市立幼稚園 (N=99)	0.0	2.0	55.6	30.3	0.0
幼稚園の預かり保育 (N=51)	0.0	2.0	49.0	29.4	2.0
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	27.6	55.2	10.3	3.4
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3
その他 (N=16)	0.0	0.0	18.8	25.0	31.3
	11時台	12時台	13時以降	不明・無回答	
全体 (N=623)	0.3	0.0	1.4	5.3	
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	0.0	0.0	0.0	5.4	
市立保育所 (N=120)	0.0	0.0	0.8	2.5	
私立幼稚園 (N=78)	0.0	0.0	1.3	3.8	
市立幼稚園 (N=99)	0.0	0.0	6.1	6.1	
幼稚園の預かり保育 (N=51)	0.0	0.0	9.8	7.8	
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	0.0	3.4	0.0	
その他の認可外保育施設 (N=6)	16.7	0.0	0.0	33.3	
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 (N=16)	6.3	0.0	0.0	18.8	

利用終了時間では「16時台」が最も高くなっています。

■利用時間帯（現在）

平成30年度調査
(N=623)



(%)

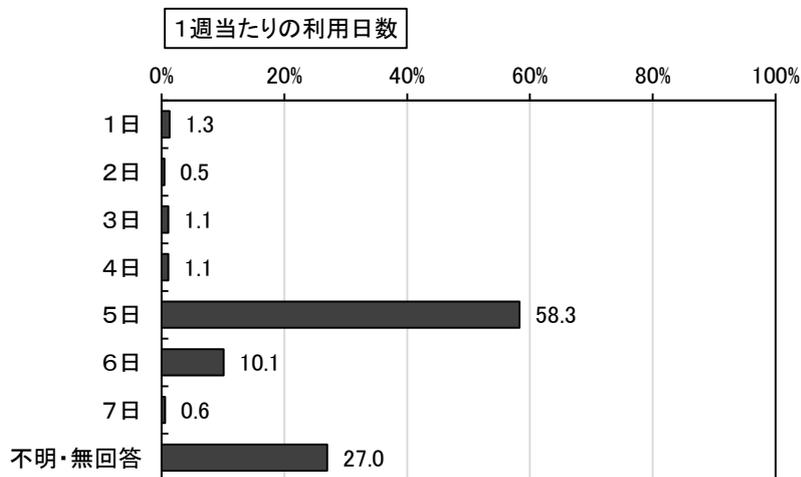
	13時前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台
全体 (N=623)	2.2	1.3	18.0	6.7	25.5	17.8
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	1.4	0.0	2.5	3.9	29.6	23.6
市立保育所 (N=120)	3.3	0.0	0.8	0.0	38.3	29.2
私立幼稚園 (N=78)	0.0	6.4	37.2	32.1	15.4	2.6
市立幼稚園 (N=99)	0.0	1.0	73.7	4.0	12.1	1.0
幼稚園の預かり保育 (N=51)	0.0	3.9	56.9	7.8	21.6	0.0
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	0.0	3.4	3.4	10.3	27.6
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
その他 (N=16)	43.8	6.3	6.3	6.3	18.8	0.0
	18時台	19時台	20時台	21時以降	不明・無回答	
全体 (N=623)	19.7	3.2	0.3	0.0	5.1	
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	30.0	3.6	0.4	0.0	5.0	
市立保育所 (N=120)	21.7	4.2	0.0	0.0	2.5	
私立幼稚園 (N=78)	1.3	1.3	0.0	0.0	3.8	
市立幼稚園 (N=99)	2.0	0.0	0.0	0.0	6.1	
幼稚園の預かり保育 (N=51)	2.0	0.0	0.0	0.0	7.8	
小規模な保育施設 (N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事業所内保育施設 (N=29)	34.5	17.2	3.4	0.0	0.0	
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 (N=16)	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	

希望の1週当たりの利用日数では「5日」が最も高くなっています。

希望

■ 1週当たり日数（希望）

平成30年度調査
(N=623)



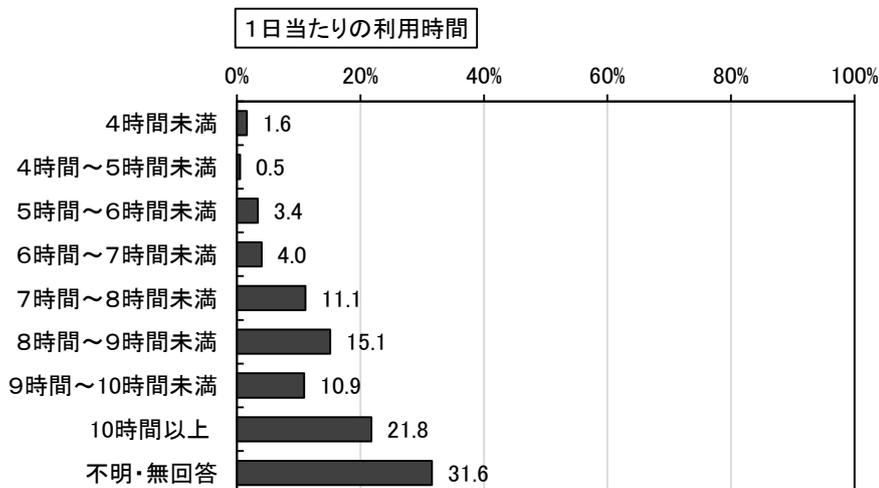
(%)

	1日	2日	3日	4日	5日
全体 (N=623)	1.3	0.5	1.1	1.1	58.3
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	0.7	0.7	0.4	0.4	57.1
市立保育所 (N=120)	0.8	0.0	1.7	0.8	56.7
私立幼稚園 (N=78)	0.0	0.0	1.3	1.3	57.7
市立幼稚園 (N=99)	1.0	0.0	1.0	3.0	73.7
幼稚園の預かり保育 (N=51)	3.9	0.0	3.9	3.9	62.7
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	0.0	3.4	0.0	51.7
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
その他 (N=16)	25.0	6.3	6.3	0.0	18.8
	6日	7日	不明・無回答		
全体 (N=623)	10.1	0.6	27.0		
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	11.8	0.7	28.2		
市立保育所 (N=120)	7.5	1.7	30.8		
私立幼稚園 (N=78)	15.4	0.0	24.4		
市立幼稚園 (N=99)	2.0	0.0	19.2		
幼稚園の預かり保育 (N=51)	7.8	0.0	17.6		
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0		
事業所内保育施設 (N=29)	24.1	3.4	17.2		
その他の認可外保育施設 (N=6)	16.7	0.0	33.3		
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	100.0		
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	66.7		
その他 (N=16)	0.0	0.0	43.8		

1日当たりの利用時間では「10時間以上」が最も高くなっています。

■ 1日当たり時間（希望）

平成30年度調査
(N=623)



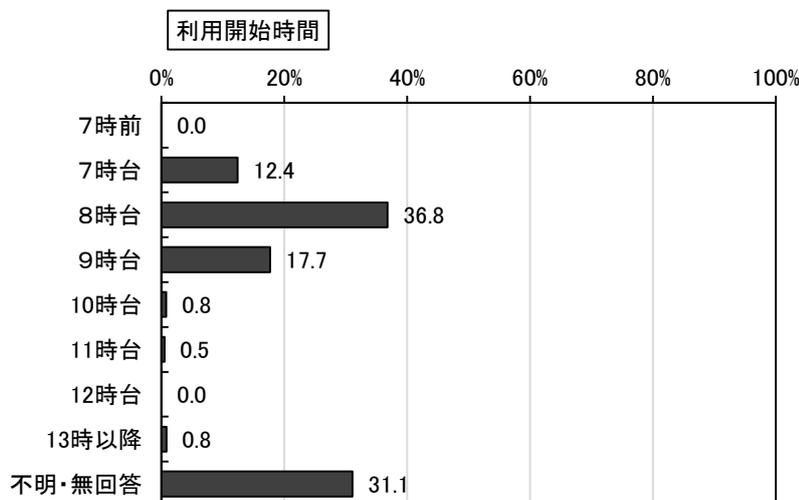
(%)

	4時間未満	4時間～5時間未満	5時間～6時間未満	6時間～7時間未満	7時間～8時間未満
全体 (N=623)	1.6	0.5	3.4	4.0	11.1
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	0.7	0.0	0.4	1.4	3.6
市立保育所 (N=120)	0.0	0.8	0.8	0.0	7.5
私立幼稚園 (N=78)	1.3	0.0	11.5	14.1	26.9
市立幼稚園 (N=99)	4.0	0.0	8.1	10.1	29.3
幼稚園の預かり保育 (N=51)	9.8	0.0	3.9	5.9	29.4
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	0.0	6.9	3.4	0.0
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 (N=16)	18.8	6.3	6.3	0.0	6.3
	8時間～9時間未満	9時間～10時間未満	10時間以上	不明・無回答	
全体 (N=623)	15.1	10.9	21.8	31.6	
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	16.1	12.9	32.5	32.5	
市立保育所 (N=120)	15.8	14.2	25.8	35.0	
私立幼稚園 (N=78)	10.3	5.1	2.6	28.2	
市立幼稚園 (N=99)	14.1	4.0	3.0	27.3	
幼稚園の預かり保育 (N=51)	13.7	7.8	5.9	23.5	
小規模な保育施設 (N=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	
事業所内保育施設 (N=29)	13.8	17.2	34.5	24.1	
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	16.7	33.3	33.3	
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	33.3	66.7	
その他 (N=16)	18.8	0.0	0.0	43.8	

利用開始時間では「8時台」が最も高くなっています。

■利用時間帯（希望）

平成30年度調査
(N=623)



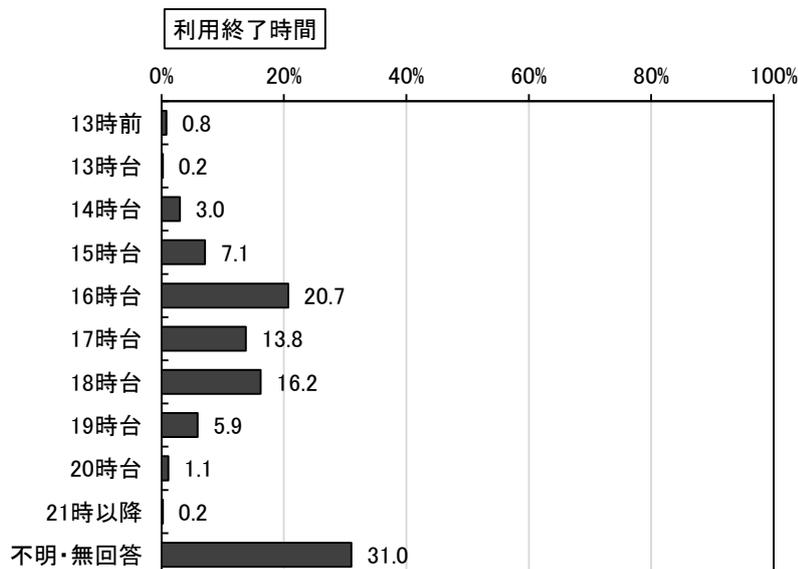
(%)

	7時前	7時台	8時台	9時台	10時台
全体 (N=623)	0.0	12.4	36.8	17.7	0.8
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	0.0	17.5	33.6	15.7	0.7
市立保育所 (N=120)	0.0	16.7	42.5	8.3	0.0
私立幼稚園 (N=78)	0.0	1.3	30.8	33.3	2.6
市立幼稚園 (N=99)	0.0	1.0	44.4	24.2	0.0
幼稚園の預かり保育 (N=51)	0.0	2.0	47.1	21.6	0.0
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	24.1	44.8	6.9	3.4
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
その他 (N=16)	0.0	0.0	18.8	25.0	6.3
	11時台	12時台	13時以降	不明・無回答	
全体 (N=623)	0.5	0.0	0.8	31.1	
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	0.0	0.0	0.0	32.5	
市立保育所 (N=120)	0.8	0.0	0.0	31.7	
私立幼稚園 (N=78)	0.0	0.0	0.0	32.1	
市立幼稚園 (N=99)	0.0	0.0	4.0	26.3	
幼稚園の預かり保育 (N=51)	0.0	0.0	7.8	21.6	
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	0.0	0.0	20.7	
その他の認可外保育施設 (N=6)	16.7	0.0	0.0	33.3	
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	0.0	66.7	
その他 (N=16)	6.3	0.0	0.0	43.8	

利用終了時間では「16時台」が最も高くなっています。

■利用時間帯（希望）

平成30年度調査
(N=623)



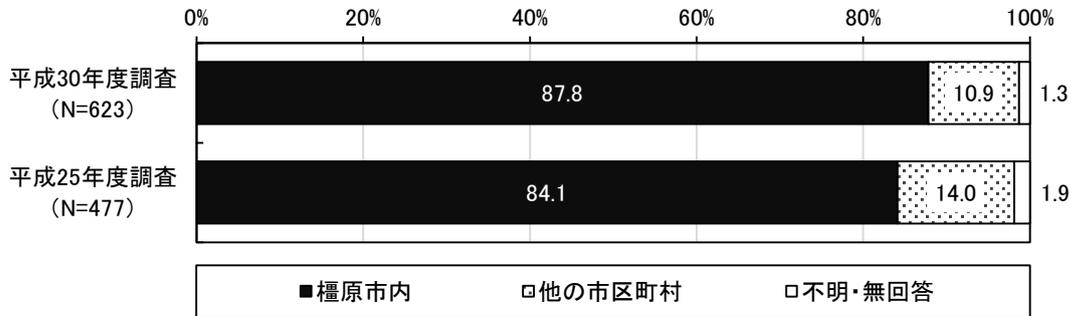
(%)

	13時前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台
全体 (N=623)	0.8	0.2	3.0	7.1	20.7	13.8
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	0.4	0.0	0.4	1.4	14.6	15.4
市立保育所 (N=120)	1.7	0.8	0.0	0.0	23.3	17.5
私立幼稚園 (N=78)	0.0	0.0	10.3	25.6	21.8	6.4
市立幼稚園 (N=99)	0.0	0.0	8.1	18.2	37.4	9.1
幼稚園の預かり保育 (N=51)	0.0	0.0	5.9	13.7	41.2	15.7
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
事業所内保育施設 (N=29)	0.0	0.0	3.4	3.4	6.9	27.6
その他の認可外保育施設 (N=6)	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 (N=16)	18.8	0.0	6.3	6.3	25.0	0.0
	18時台	19時台	20時台	21時以降	不明・無回答	
全体 (N=623)	16.2	5.9	1.1	0.2	31.0	
私立保育園・私立認定こども園 (N=280)	25.7	7.9	1.1	0.4	32.9	
市立保育所 (N=120)	15.8	7.5	1.7	0.0	31.7	
私立幼稚園 (N=78)	3.8	0.0	0.0	0.0	32.1	
市立幼稚園 (N=99)	3.0	0.0	0.0	0.0	24.2	
幼稚園の預かり保育 (N=51)	3.9	2.0	0.0	0.0	17.6	
小規模な保育施設 (N=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
事業所内保育施設 (N=29)	10.3	17.2	6.9	0.0	24.1	
その他の認可外保育施設 (N=6)	16.7	16.7	16.7	0.0	33.3	
居宅訪問型保育 (N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
ファミリー・サポート・センター事業 (N=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	
その他 (N=16)	0.0	0.0	0.0	0.0	43.8	

問 13 で「利用していない」以外に○をつけた方にうかがいます。

問 13-2 現在、利用している幼稚園や保育園(所)・認定こども園などの施設はどこにありますか。
(1つだけに○)

利用している施設の場所について、「榿原市内」が 87.8%、「他の市区町村」が 10.9%となっています。

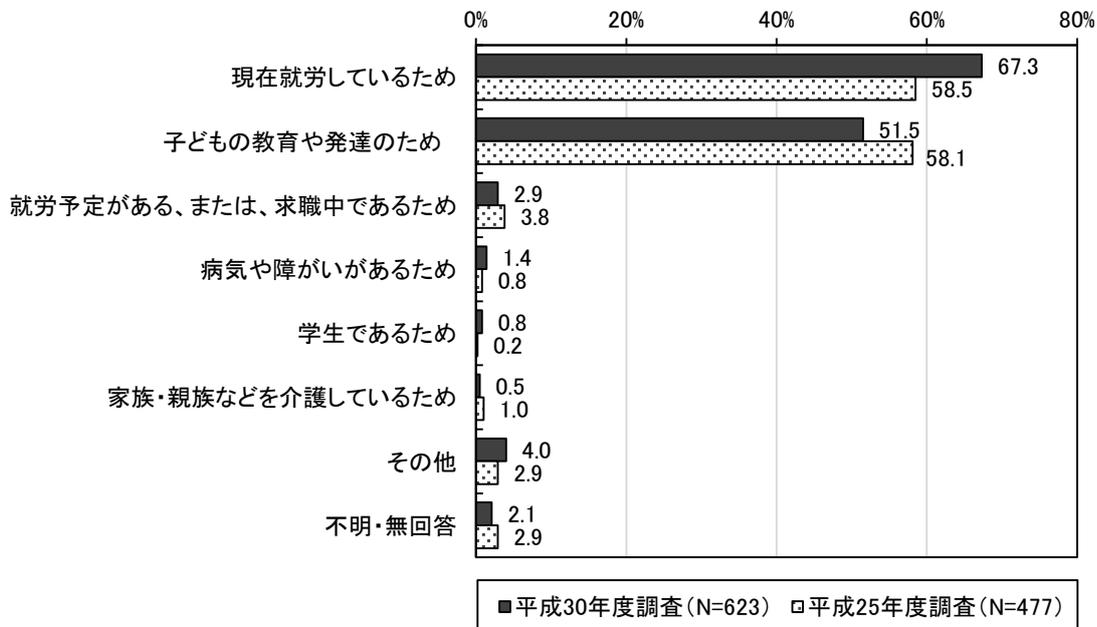


問 13 で「利用していない」以外に○をつけた方にうかがいます。

問 13-3 平日に定期的に幼稚園や保育園(所)・認定こども園などの施設やサービスを利用されている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

施設やサービスを利用している理由について、「現在就労しているため」が 67.3%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 51.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「現在就労しているため」が 8.8 ポイント高くなっています。

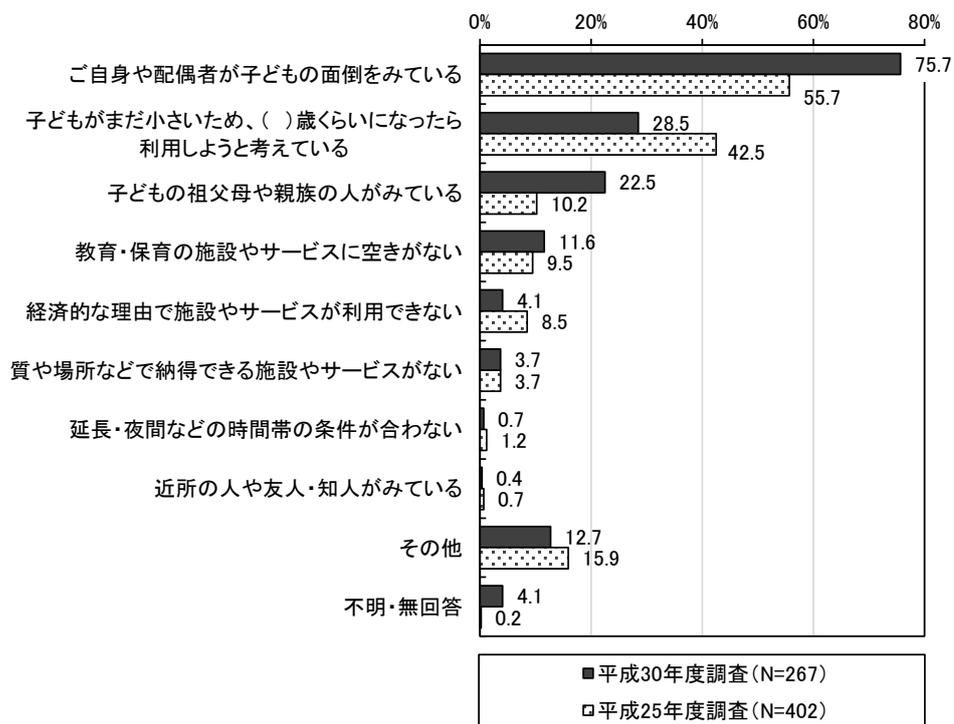


問 13 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

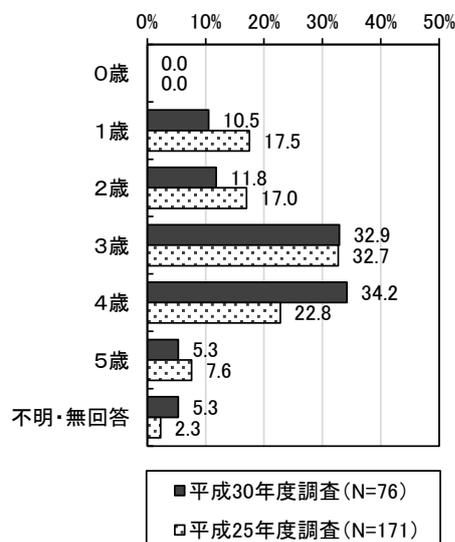
問 13-4 平日に定期的に幼稚園や保育園（所）・認定こども園などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
また、「子どもがまだ小さいため、（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」を選ばれた方は、（ ）内に年齢をご記入ください。

施設やサービスを利用していない理由について、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみている」が 75.7%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため、（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」が 28.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみている」が 20.0 ポイント高くなっています。



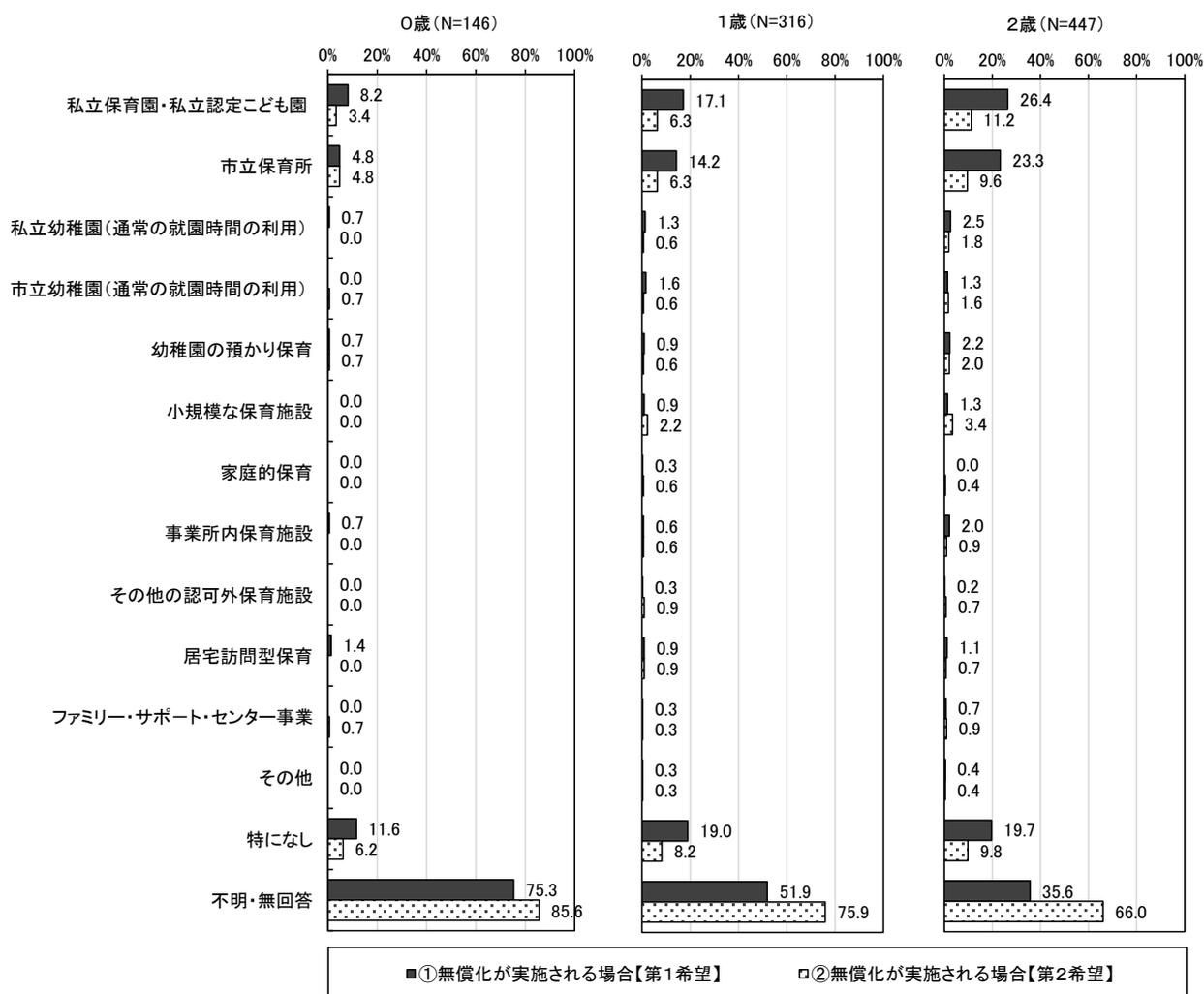
■子どもが何歳になったら利用したいか

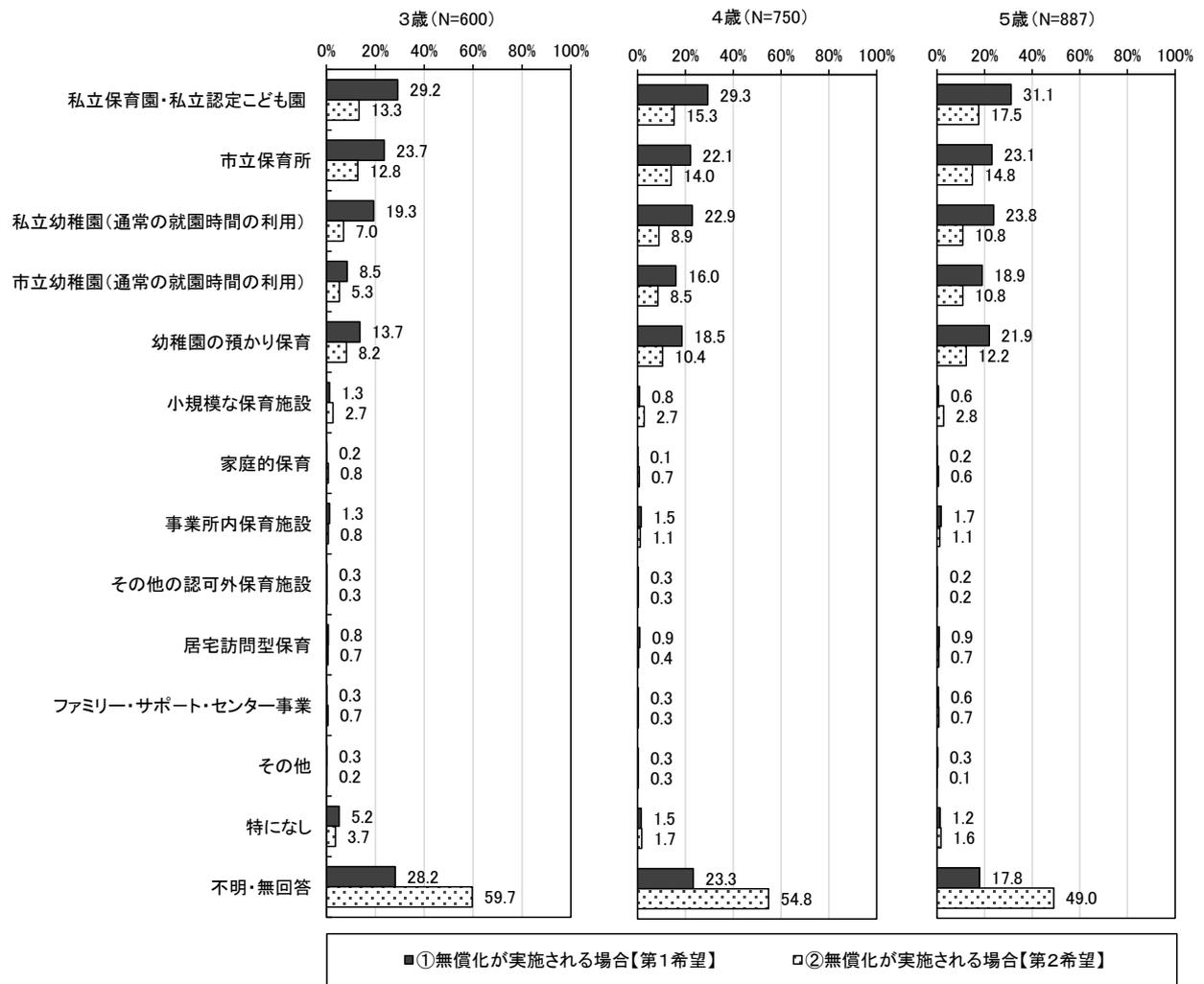


問 14 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日（月曜日から金曜日）に「定期的に」利用させたい、あるいは保護者が利用したいと考える施設やサービスを、お子さんの現時点での年齢から5歳までの年齢ごとにお答えください。現在国で計画されている「幼児教育・保育無償化」が実現した場合に利用したい施設・サービスについて、下記の無償化に関する説明をお読みになった上で、希望する施設・サービスを選択肢からそれぞれ2つまで選び、下記①に第1希望、②に第2希望を番号でご記入ください。（第2希望がない場合は、②を空欄としてください。）
また、無償化が実施されない場合の希望についても、下記③へ2つまでご記入ください。

①無償化が実施される場合【第1希望】・②無償化が実施される場合【第2希望】

利用したいと考える施設やサービスについて、第1希望、第2希望ともに、「特になし」を除くと1～2歳では「私立保育園・私立認定こども園」「市立保育所」、3歳以上では「私立保育園・私立認定こども園」「市立保育所」「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」「市立幼稚園（通常の就園時間の利用）」「幼稚園の預かり保育」が高くなっています。

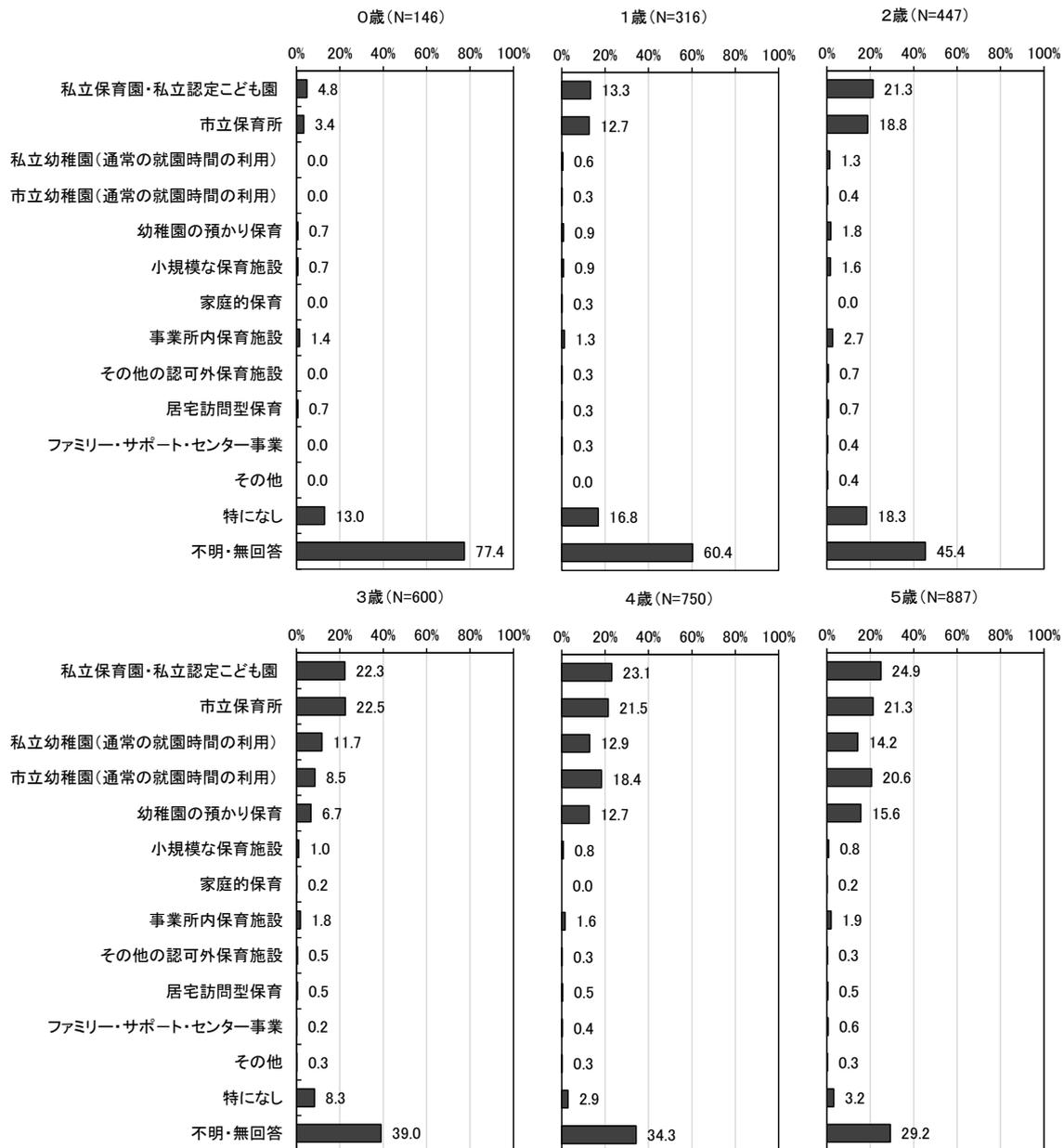




③無償化が実施されない場合の希望

無償化が実施されない場合に利用したいと考える施設やサービスについて、1歳までは「特になし」、2歳、4歳、5歳では「私立保育園・私立認定こども園」、3歳では「市立保育所」が最も高くなっています。

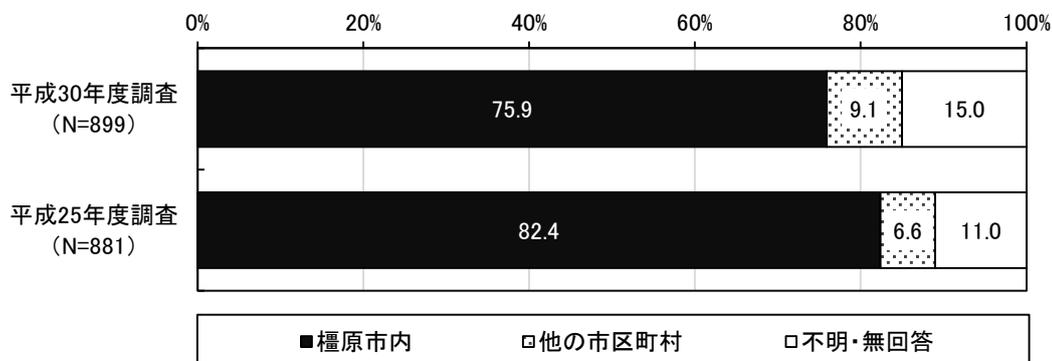
前述の①無償化が実施される場合（第1希望）と比べると、③無償化が実施されない場合よりも、3～5歳における「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」「幼稚園の預かり保育」が5ポイント以上高くなっています。



問 14 で「特になし」以外に○をつけた方にうかがいます。

問 14-1 利用を希望している施設やサービスはどこにありますか。(1つだけに○)

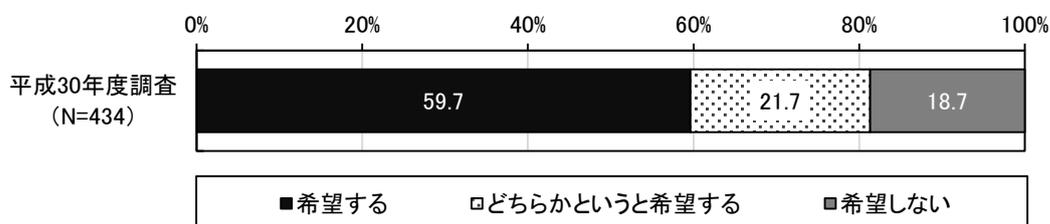
利用を希望している施設やサービスの場所について、「檀原市内」が 75.9%、「他の市区町村」が 9.1%となっています。



問 14 で「私立幼稚園」、「市立幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選び、かつそれ以外の選択肢も選ばれた方にうかがいます。

問 14-2 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む)の利用を希望しますか。(1つだけに○)

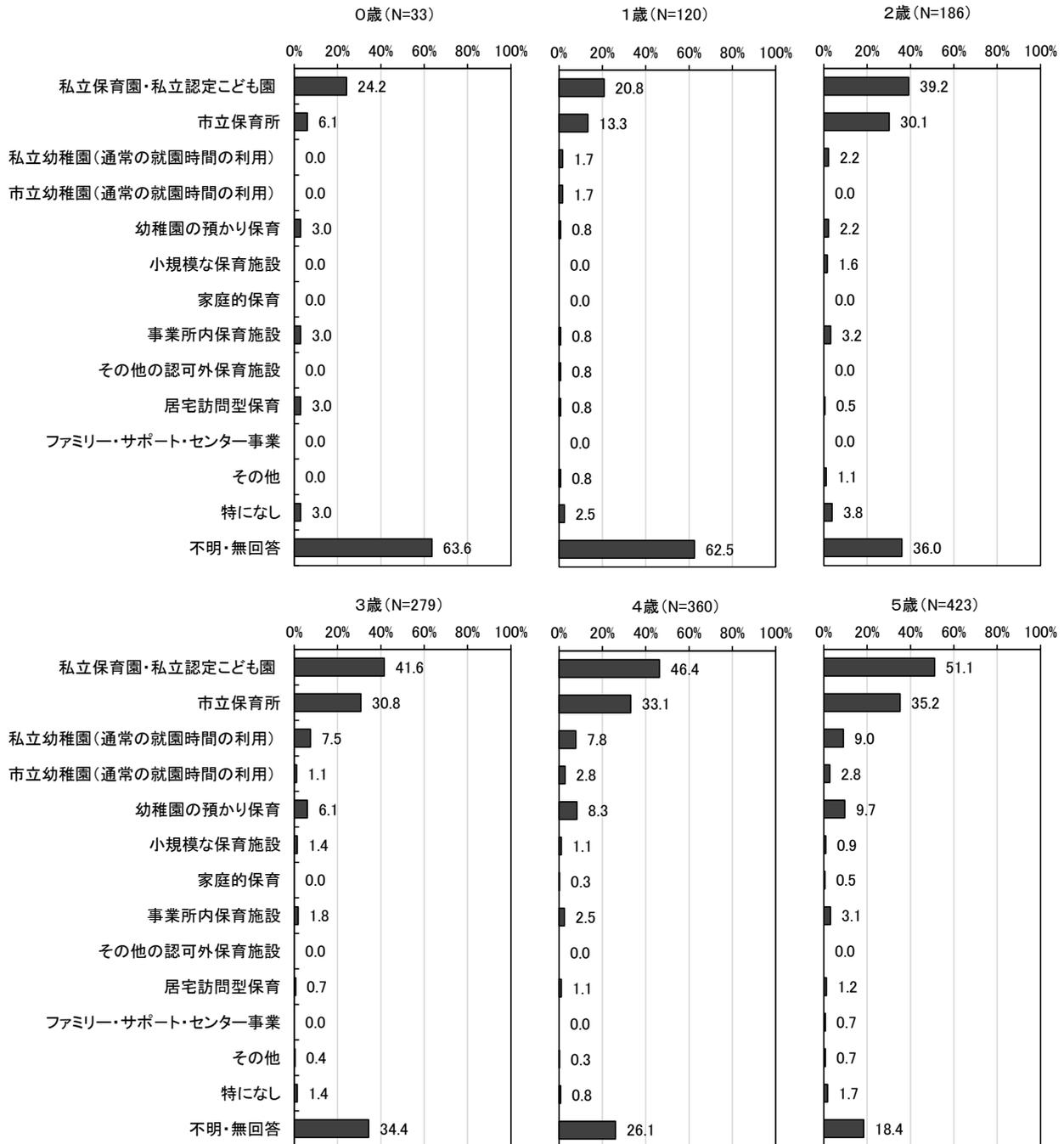
幼稚園(幼稚園の預かり保育を合わせて利用する場合を含む)の利用希望について、「希望する」が 59.7%と最も高く、次いで「どちらかという并希望する」が 21.7%となっています。



※不明・無回答を除く

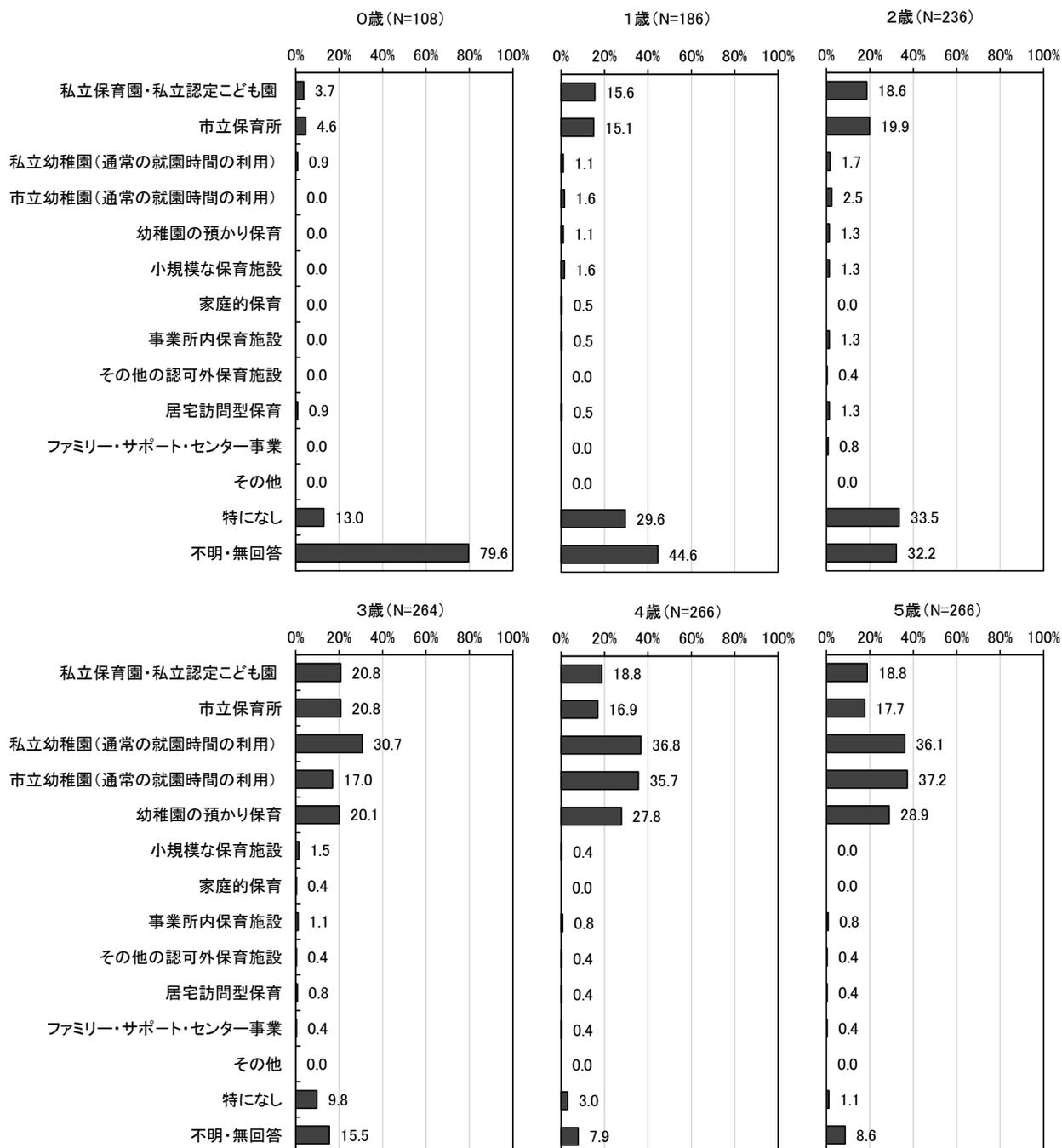
◇問 13 定期的に「保育所等」を利用している × 問 14 希望する施設・サービス

定期的に「保育所等（私立保育園・私立認定こども園、市立保育所、小規模な保育施設、家庭的保育、事業所内保育施設、その他の認可外保育施設、居宅訪問型保育）」の施設・サービスを「利用している」方について、「幼児教育・保育無償化」が実現した場合に希望する（第1希望）施設・サービスをみると、いずれの年齢でも「私立保育園・私立認定こども園」が最も高くなっています。



◇問 13 定期的に施設・サービスを「利用していない」 × 問 14 希望する施設・サービス

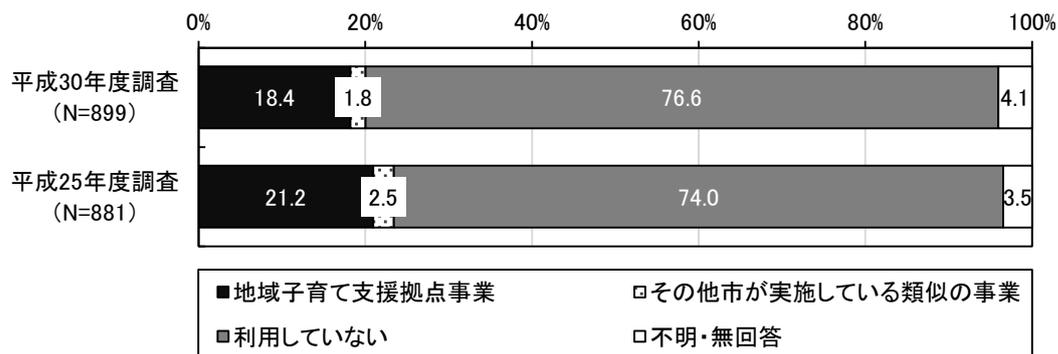
定期的に施設・サービスを「利用していない」について、「幼児教育・保育無償化」が実現した場合に希望する（第1希望）施設・サービスをみると、「特になし」を除くと1～2歳では「私立保育園・私立認定こども園」「市立保育所」がともに高くなっています。3歳では「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」が最も高くなっています。4～5歳では「私立幼稚園（通常の就園時間の利用）」と「市立幼稚園（通常の就園時間の利用）」がともに高くなっています。



5 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 15 あて名のお子さんについて、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、情報提供を受けたりする場で「こども広場（かしはらナビプラザ）」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。（あてはまるものすべてに○）
利用している場合、おおよその利用回数について、（ ）内に具体的な数字をご記入ください。

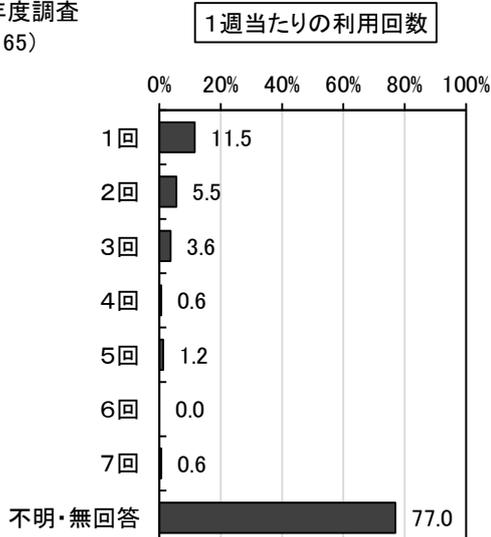
利用している地域子育て支援拠点事業について、「利用していない」が76.6%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」が18.4%となっています。



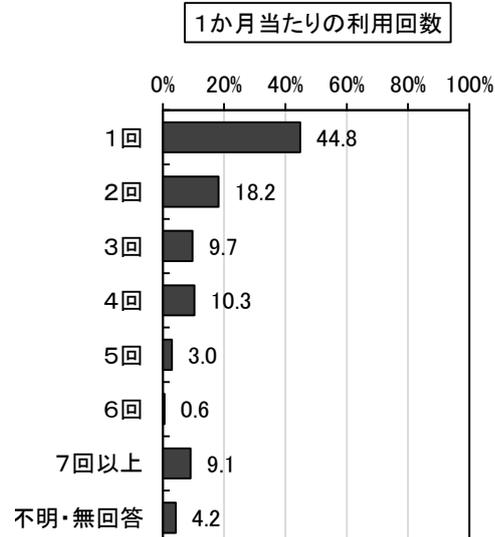
地域子育て支援拠点事業

■現在の1週間当たり回数

平成30年度調査
(N=165)



■現在の1か月当たり回数



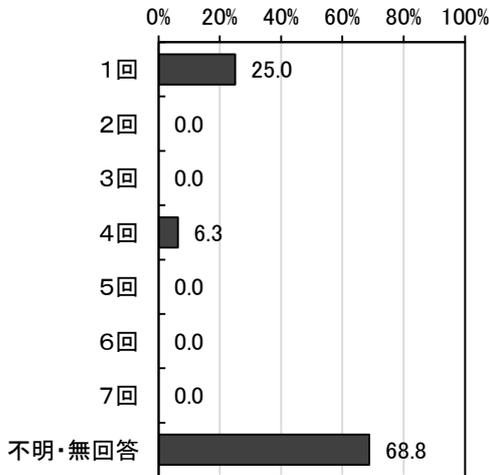
その他市が実施している類似の事業

■現在の1週間当たり回数

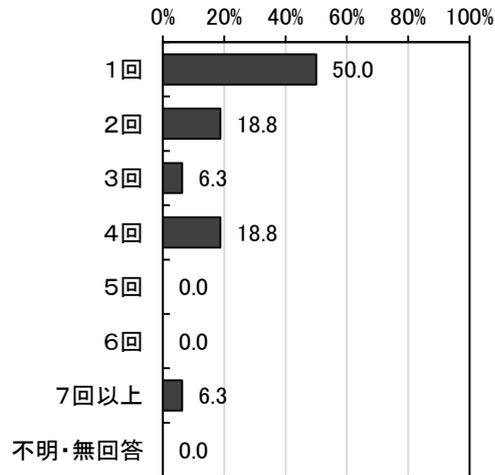
■現在の1か月当たり回数

平成30年度調査
(N=16)

1週当たりの利用回数



1か月当たりの利用回数

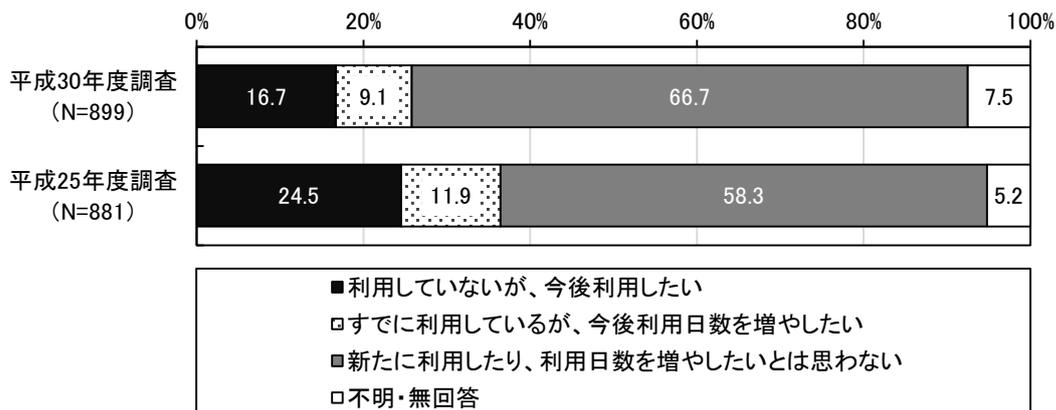


問 16 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(1つだけに○)

希望がある方は、() 内に具体的な数字をご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

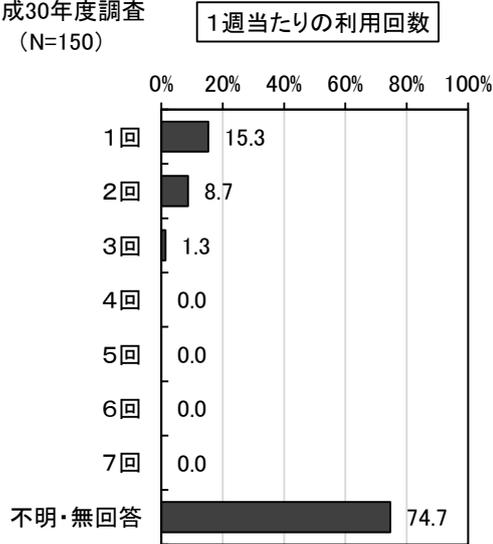
地域子育て支援拠点事業の利用意向について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が66.7%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が16.7%となっています。



利用していないが、今後利用したい

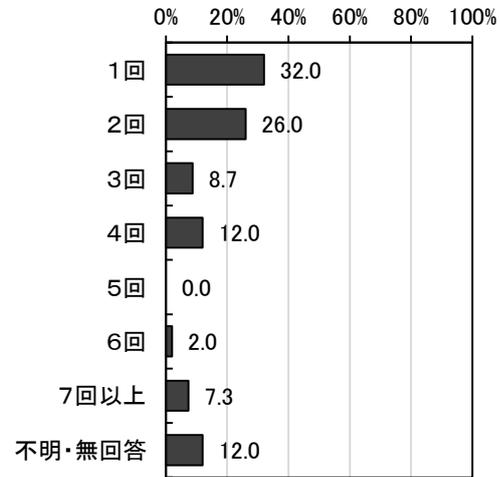
■現在の1週間当たり回数

平成30年度調査
(N=150)



■現在の1か月当たり回数

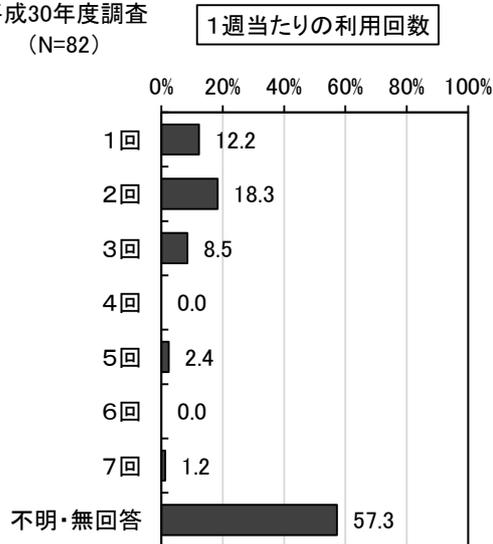
1か月当たりの利用回数



すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

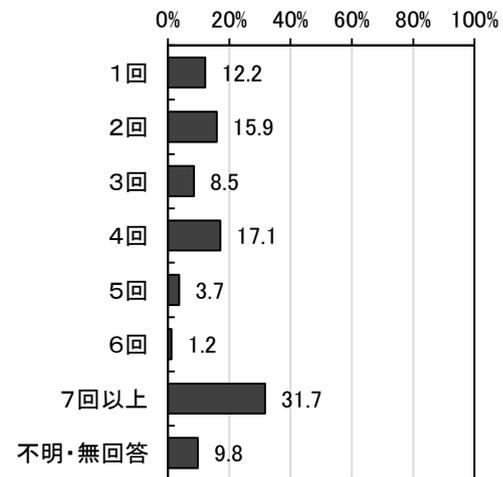
■現在の1週間当たり回数

平成30年度調査
(N=82)



■現在の1か月当たり回数

1か月当たりの利用回数



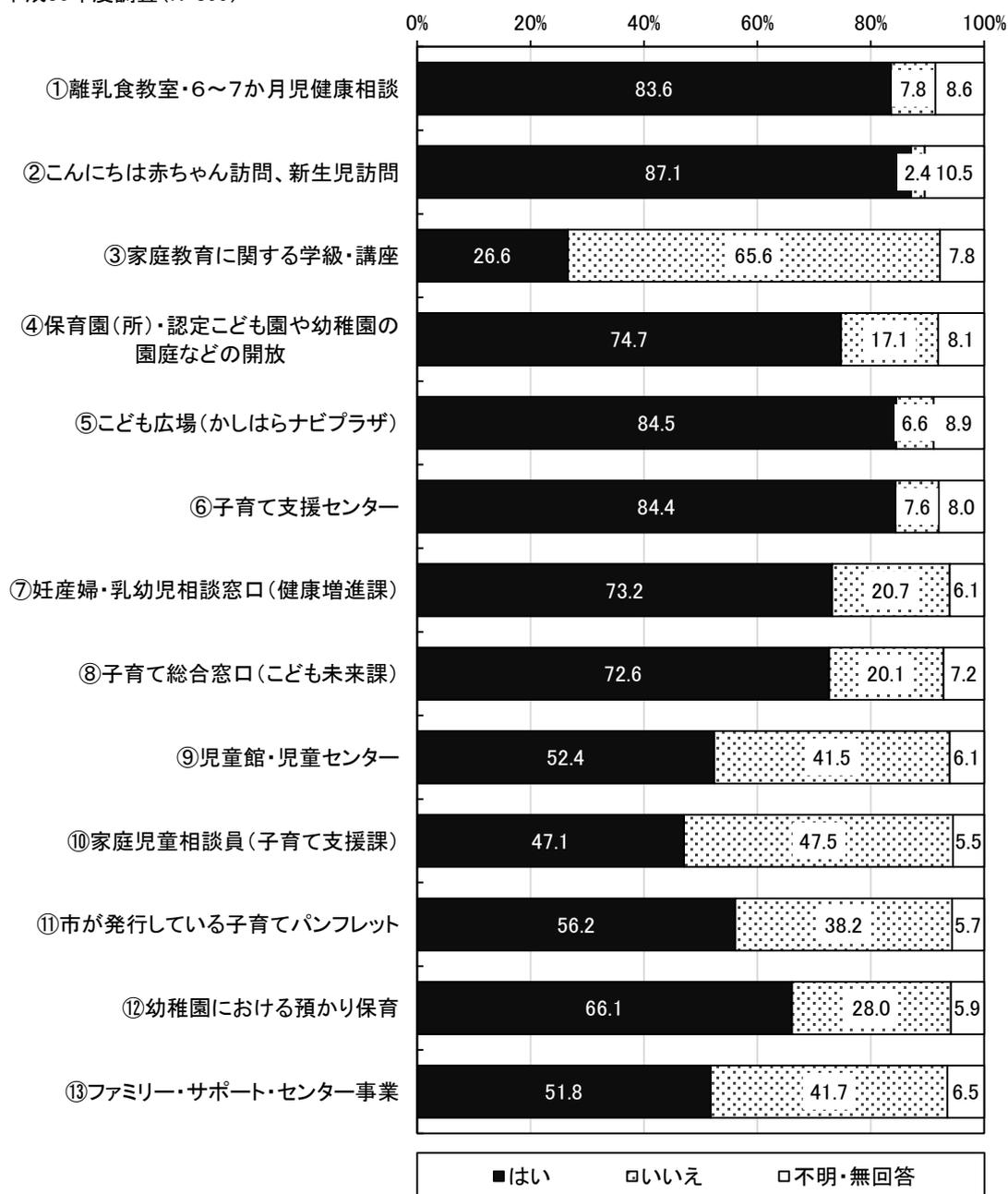
問 17 子育て支援サービスの認知度・利用度についてうかがいます。(1) 下記のサービスで知っているものや、(2) これまでに利用したことがあるものはありますか。また、(3) 今後利用したいと思うものはありますか。(サービスごとに(1)～(3)のそれぞれ1つずつに〇)

(1) 知っている

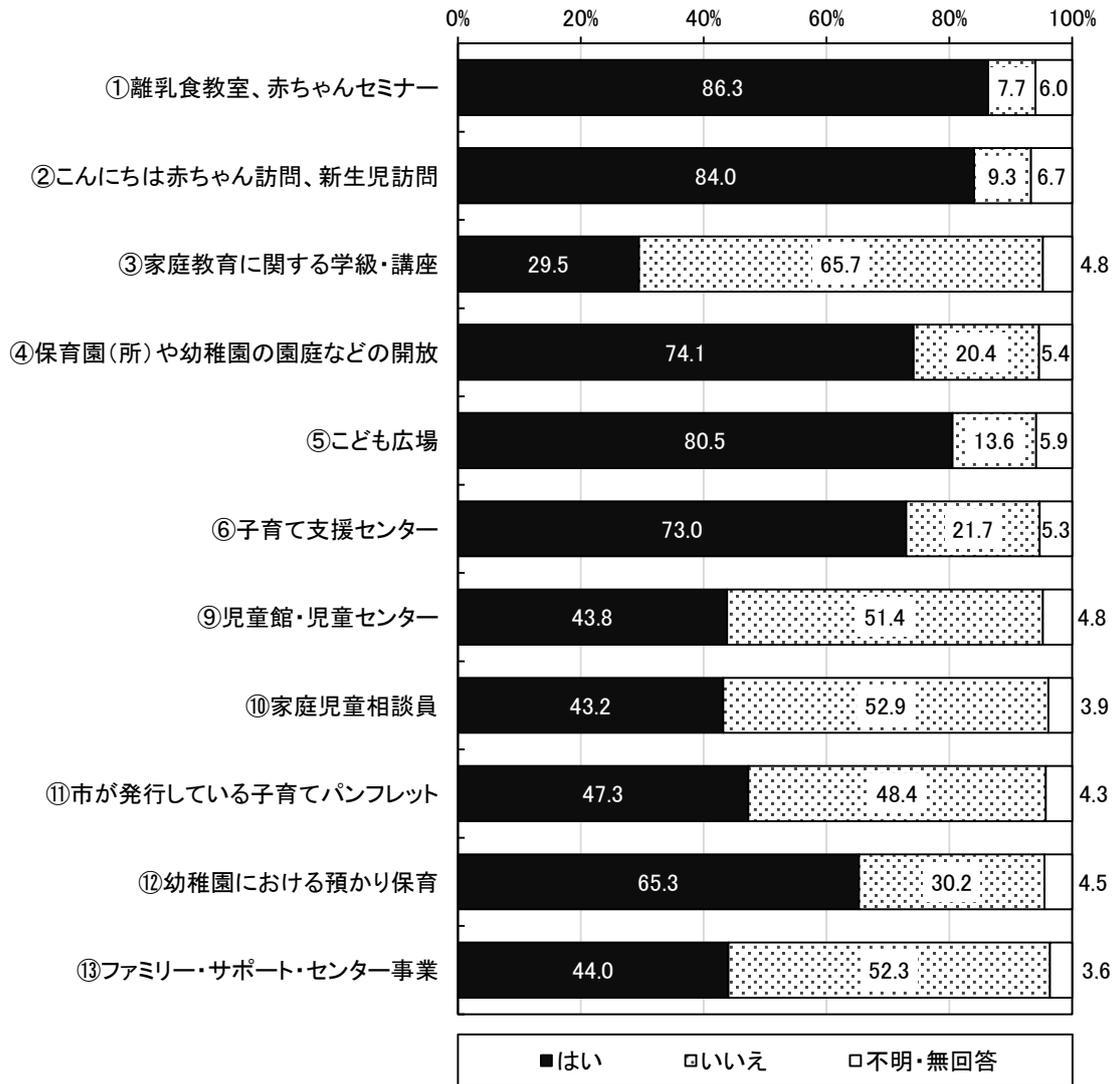
子育て支援サービスの認知度について、「②こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問」が87.1%と最も高く、次いで「⑤こども広場(かしはらナビプラザ)」が84.5%、「⑥子育て支援センター」が84.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「⑥子育て支援センター」が11.4ポイント、「⑪市が発行している子育てパンフレット」が8.9ポイント、「⑨児童館・児童センター」が8.6ポイント高くなっています。

平成30年度調査(N=899)



平成25年度調査(N=881)

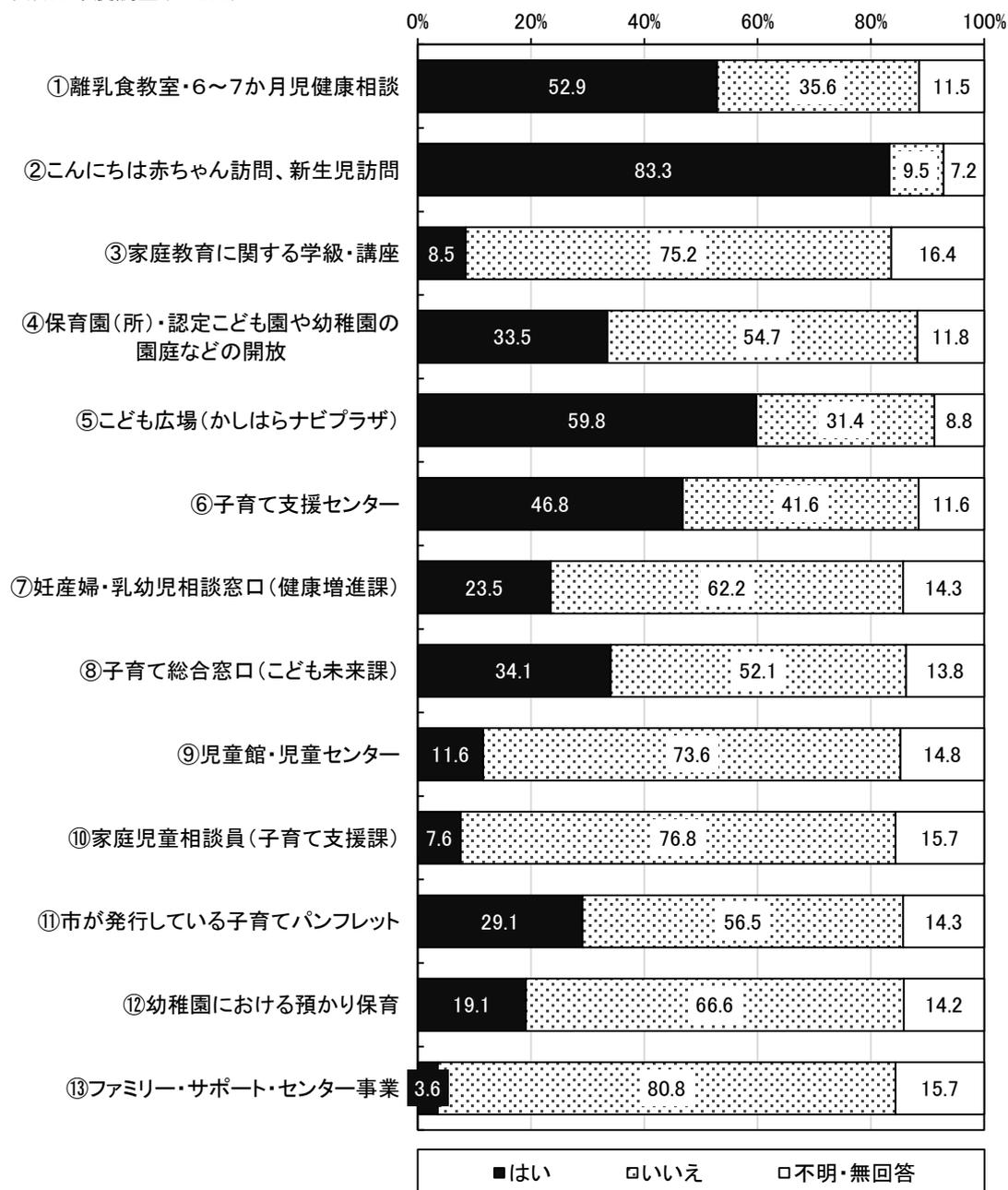


(2) 利用したことがある

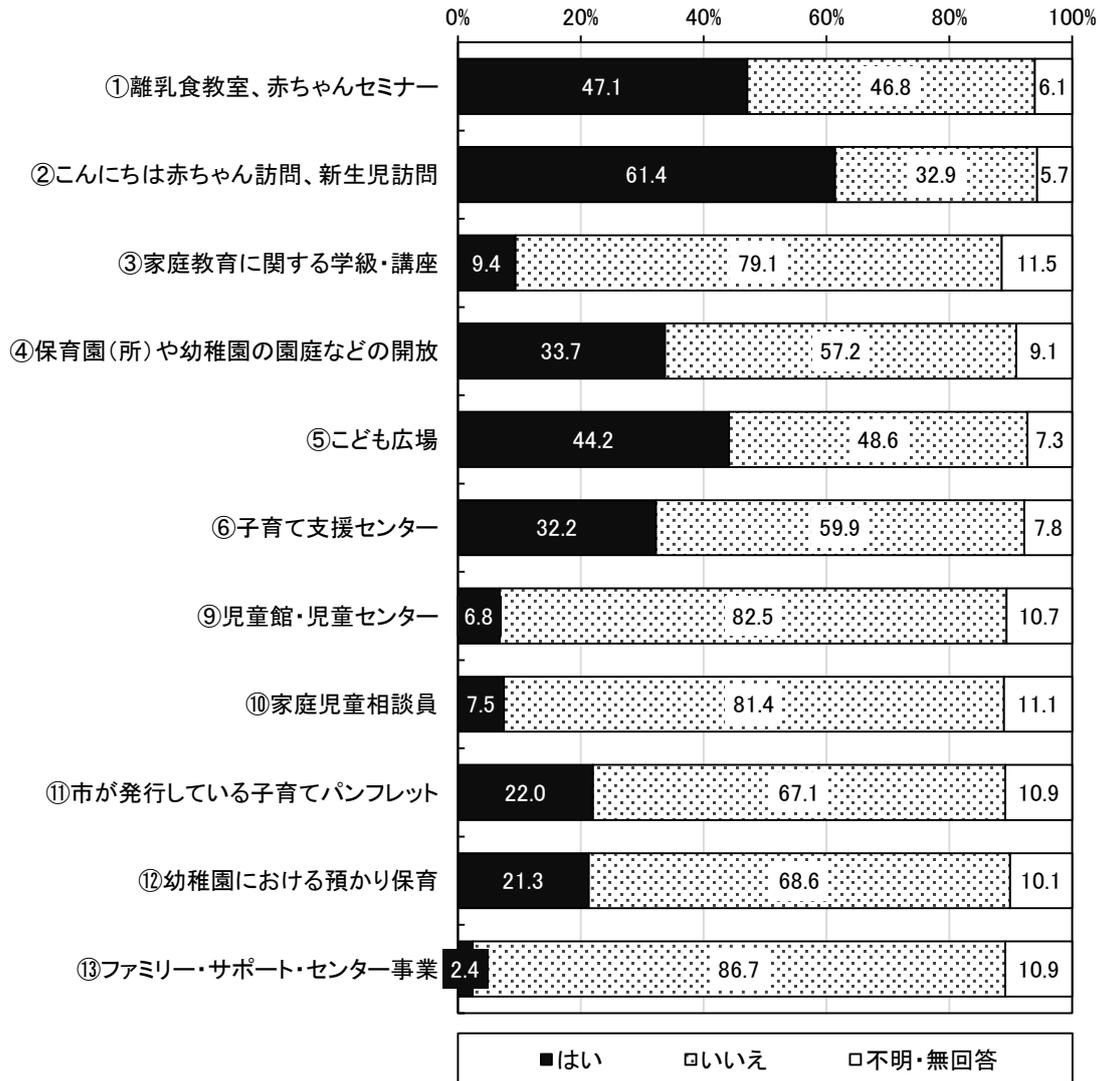
子育て支援サービスの利用度について、「②こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問」が83.3%と最も高く、次いで「⑤こども広場（かしはらナビプラザ）」が59.8%、「①離乳食教室・6～7か月児健康相談」が52.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「②こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問」が21.9ポイント、「⑤こども広場（かしはらナビプラザ）」が15.6ポイント、「⑥子育て支援センター」が14.6ポイント高くなっています。

平成30年度調査(N=899)



平成25年度調査(N=881)

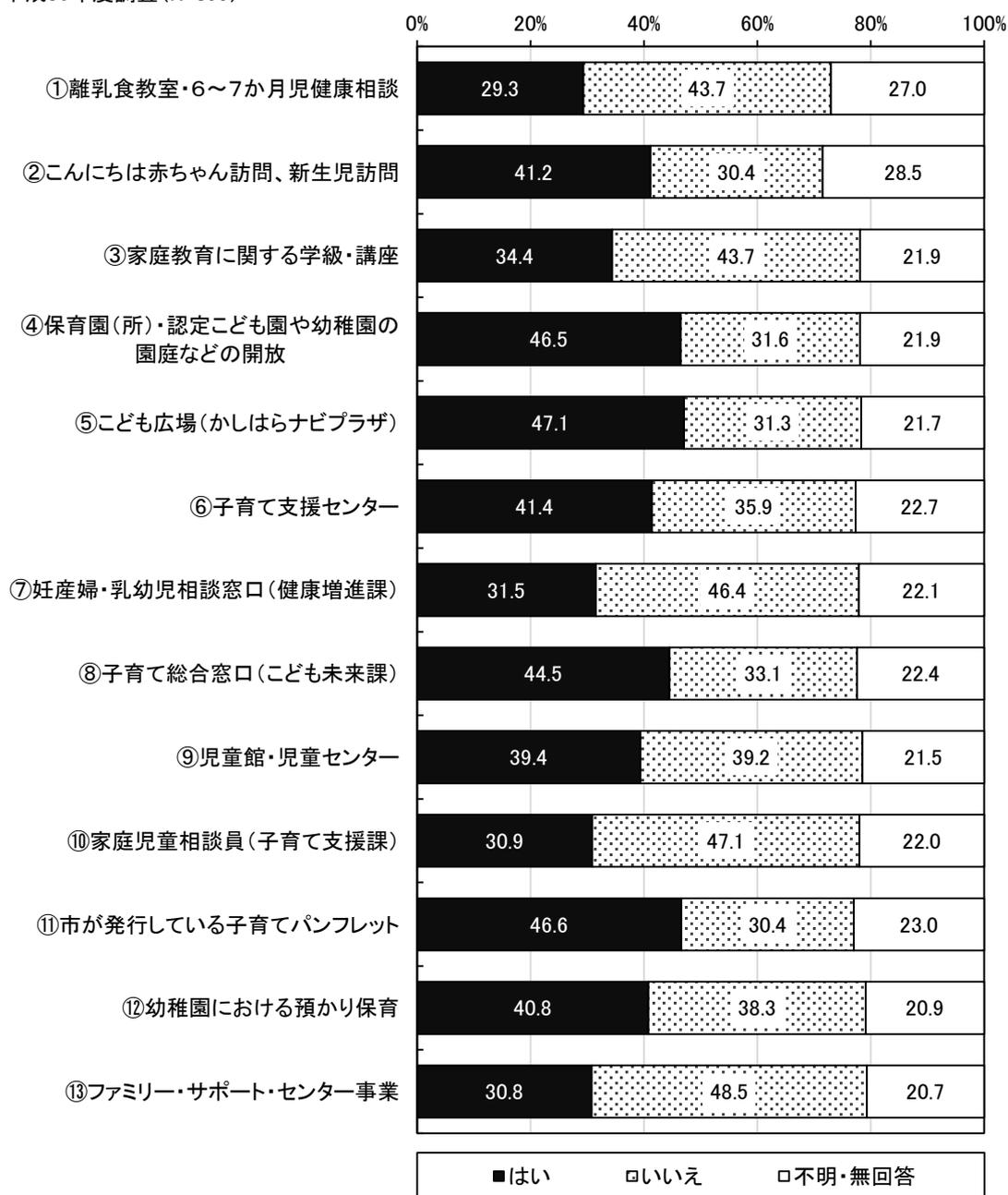


(3) 今後利用したい

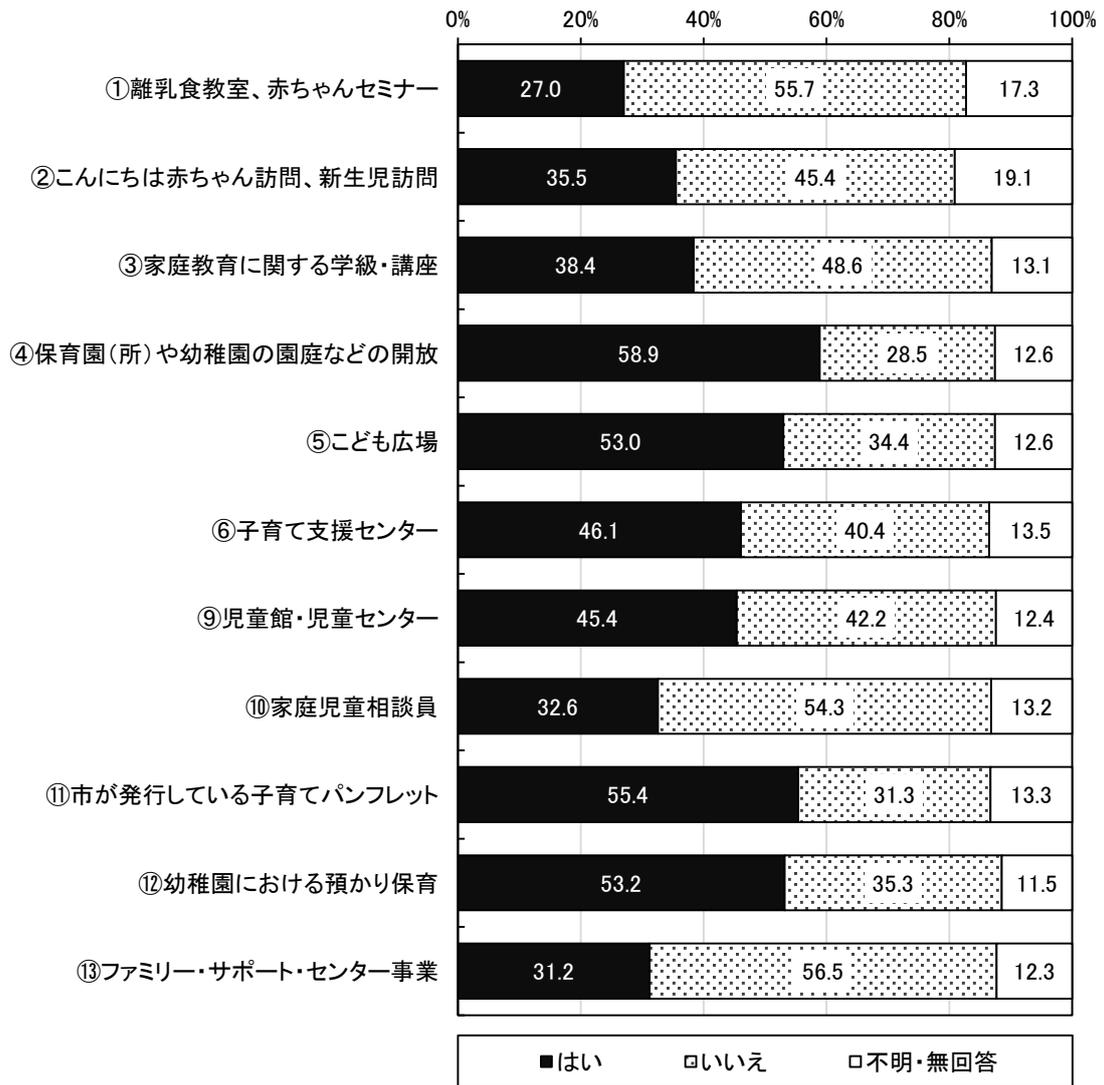
子育て支援サービスの今後の利用意向について、「⑤こども広場（かしはらナビプラザ）」が47.1%と最も高く、次いで「⑪市が発行している子育てパンフレット」が46.6%、「④保育園（所）・認定こども園や幼稚園の園庭などの開放」が46.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「②こんにちは赤ちゃん訪問、新生児訪問」が5.7ポイント高くなっています。

平成30年度調査 (N=899)



平成25年度調査(N=881)



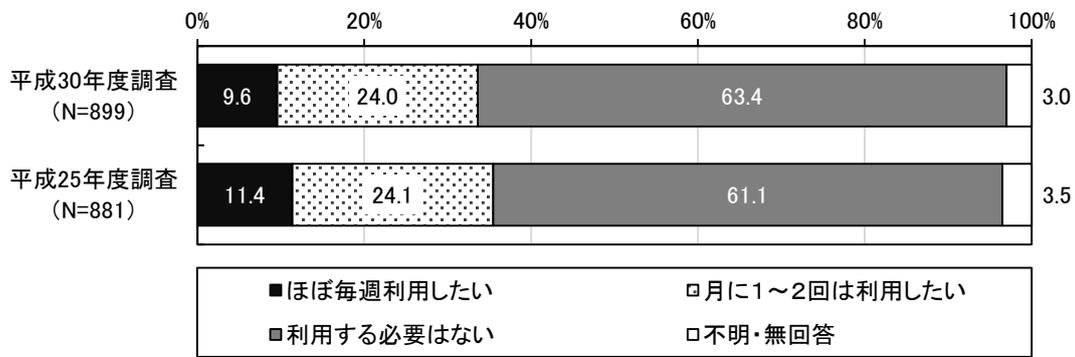
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育施設の利用希望について

問 18 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育園（所）・認定こども園などの施設において定期的な利用希望がありますか。（一時的な利用は除きます。）
（1つだけに○）

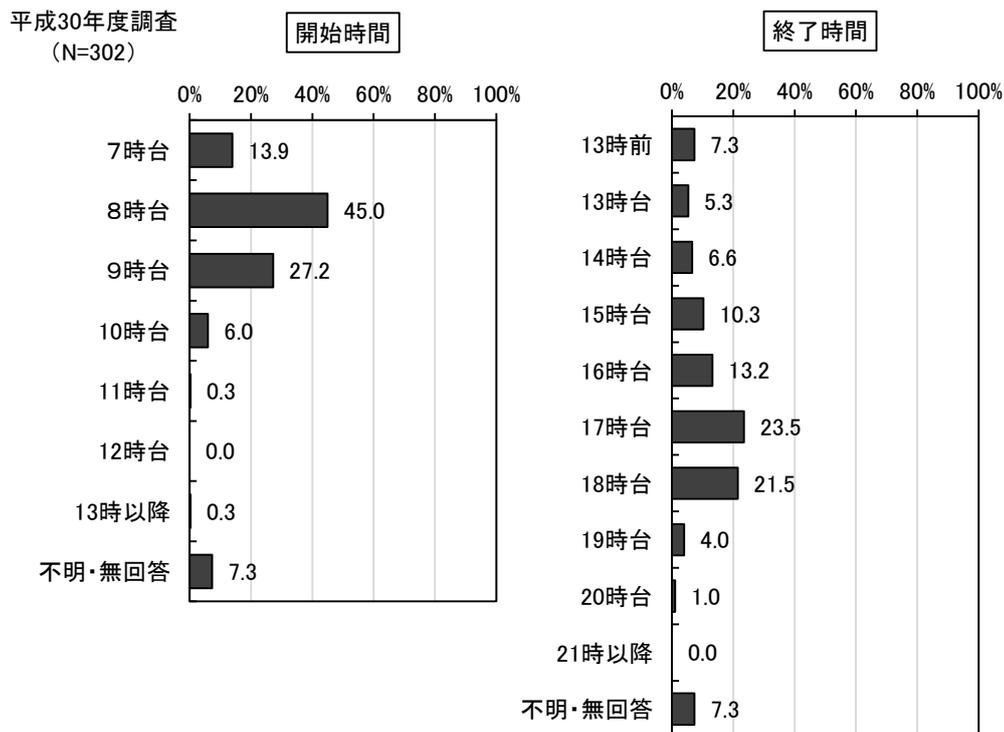
希望がある場合は、利用したい時間帯について、（ ）内に具体的な数字を24時間制でご記入ください。※これらの施設の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

土曜日、日曜日・祝日における施設の定期的な利用希望について、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が63.4%、76.8%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が24.0%、17.4%となっています。

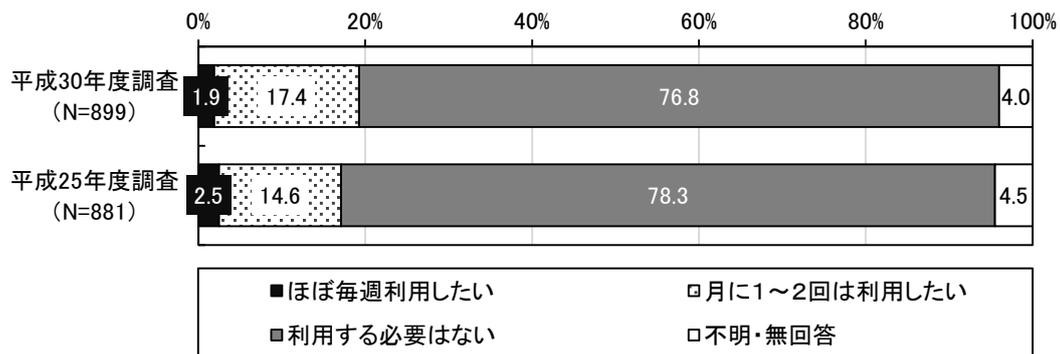
①土曜日



■利用したい時間帯

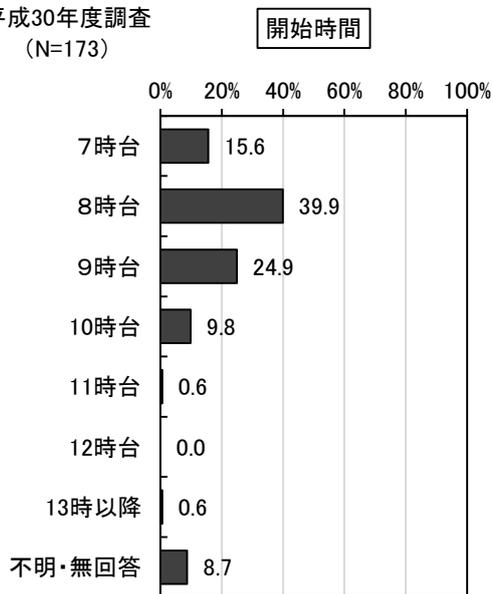


②日曜日・祝日

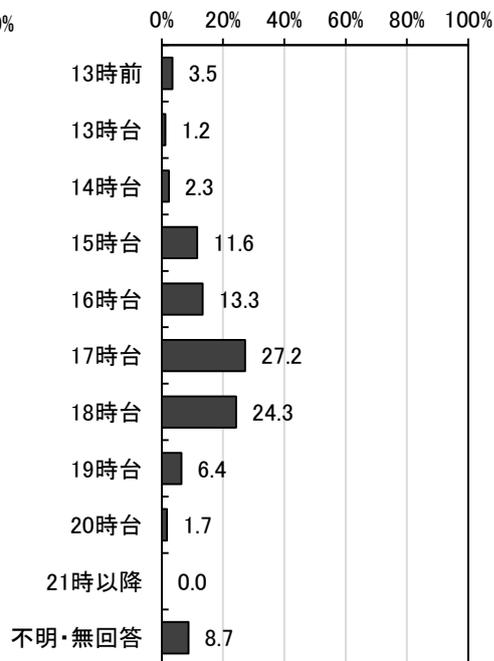


■利用したい時間帯

平成30年度調査 (N=173)



終了時間

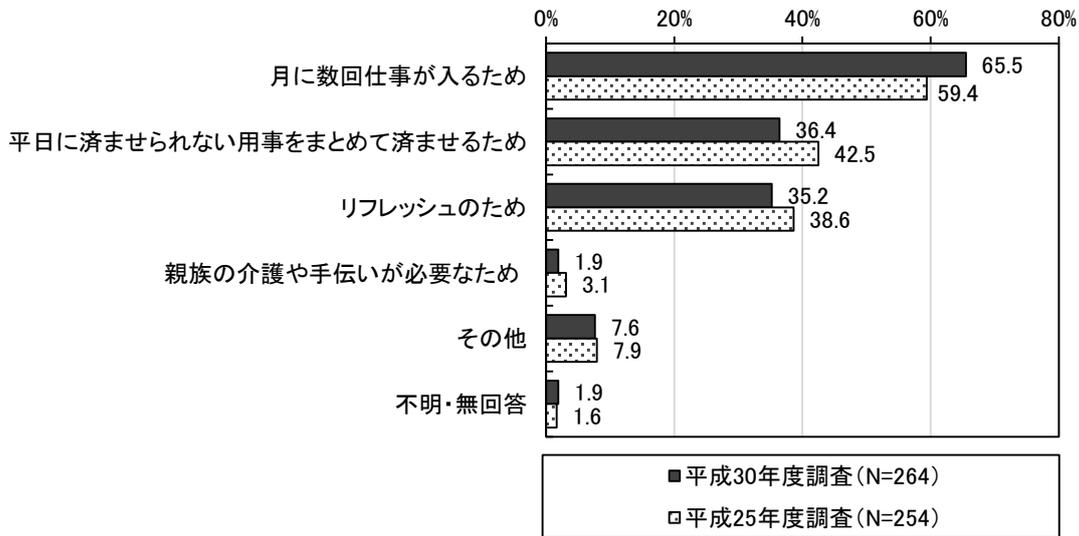


問 18 の①もしくは②で「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 18-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

施設をたまに利用したい理由について、「月に数回仕事が入るため」が 65.5%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が 36.4%、「リフレッシュのため」が 35.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「月に数回仕事が入るため」が 6.1 ポイント高くなっています。

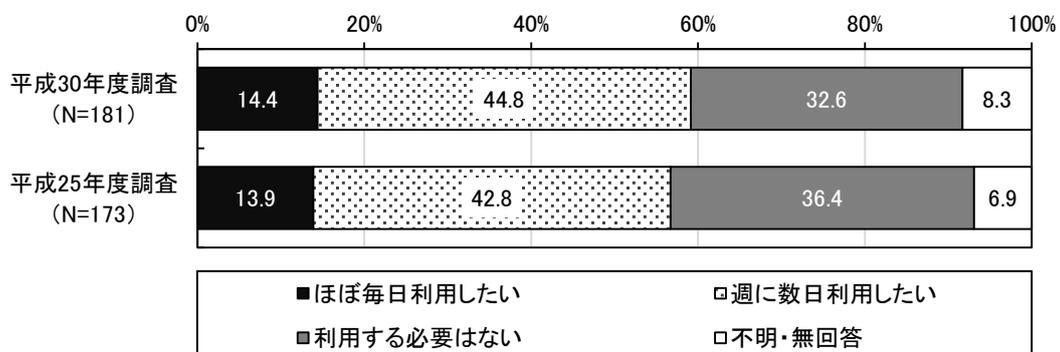


「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 19 夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園などの利用を希望しますか。希望がある場合は、() 内に具体的な数字を 24 時間制でご記入ください。(1つだけに○)

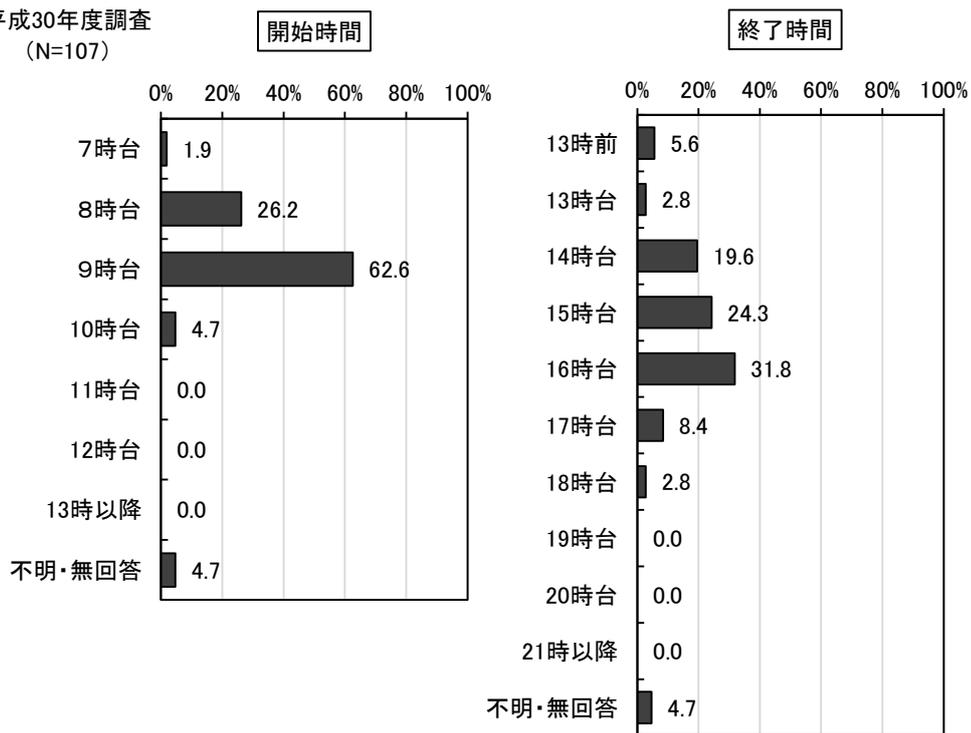
※これらの施設の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

長期休暇中の幼稚園などの利用希望について、「週に数日利用したい」が 44.8%と最も高く、次いで「利用する必要はない」が 32.6%となっています。



■ 利用したい時間帯

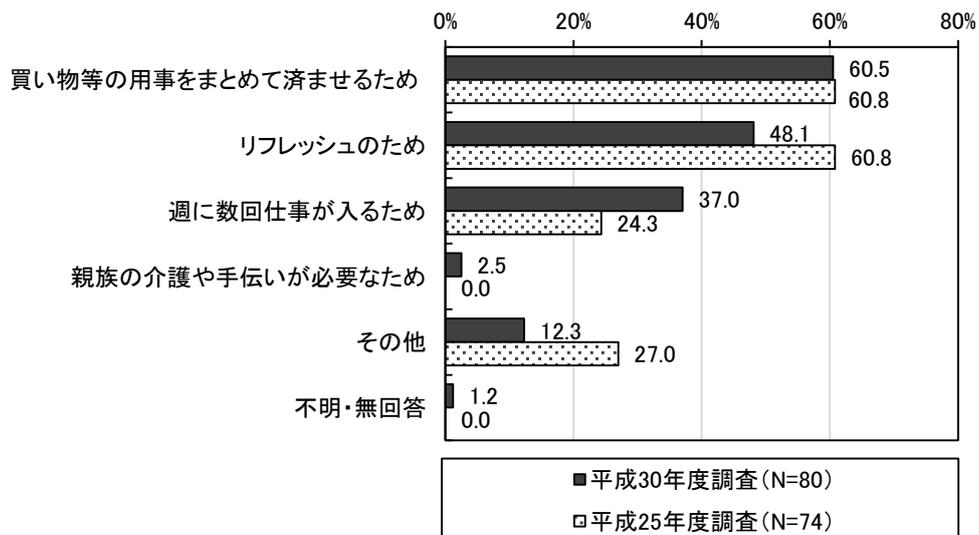
平成30年度調査
(N=107)



問 19 で「週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 19-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

幼稚園などをたまに利用したい理由について、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 60.5% と最も高く、次いで「リフレッシュのため」が 48.1%、「週に数回仕事が入るため」が 37.0% となっています。

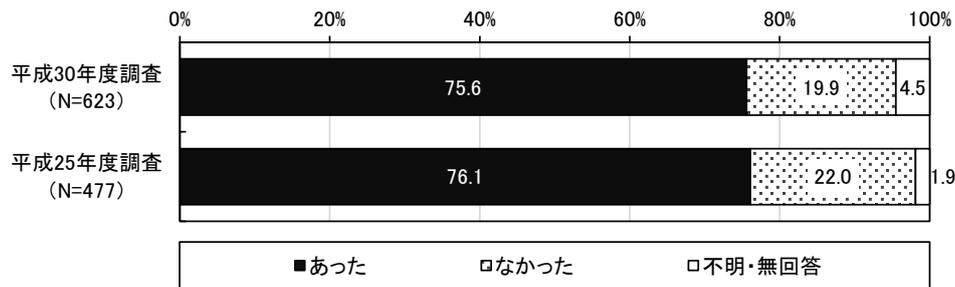


7 病気の際の対応について

平日、定期的に幼稚園や保育園（所）・認定こども園などを利用している方にうかがいます。

問 20 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで、普段利用している幼稚園や保育園（所）・認定こども園などの施設やサービスを利用できなかったことはありましたか。
（1つだけに○）

お子さんが病気やけがで施設やサービスを利用できなかったことの有無について、「あった」が75.6%、「なかった」が19.9%となっています。

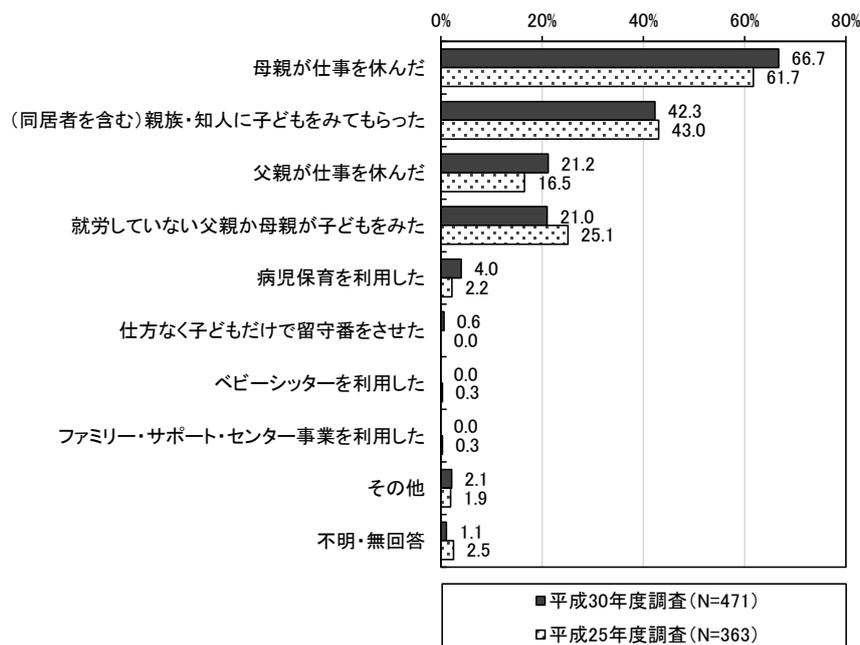


問 20 で「あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 この1年間にあて名のお子さんが病気やけがで、普段利用している幼稚園や保育園（所）・認定こども園などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法をお答えください。（あてはまるものすべてに○）
また、その日数について、（ ）内に具体的な数字をご記入ください。（半日程度についても1日としてカウントしてください。）

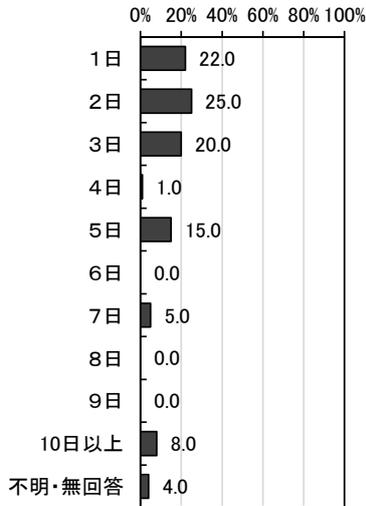
施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法について、「母親が仕事を休んだ」が66.7%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」が42.3%、「父親が仕事を休んだ」が21.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「母親が仕事を休んだ」が5.0ポイント高くなっています。

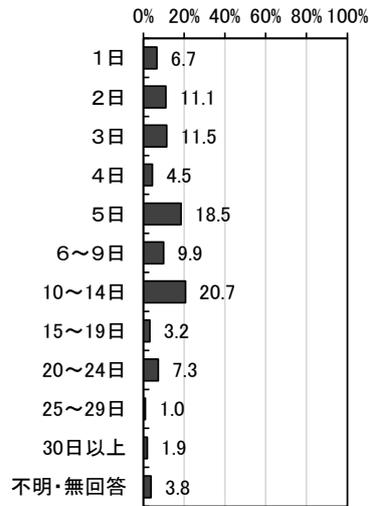


■ 対処方法ごとの年間日数

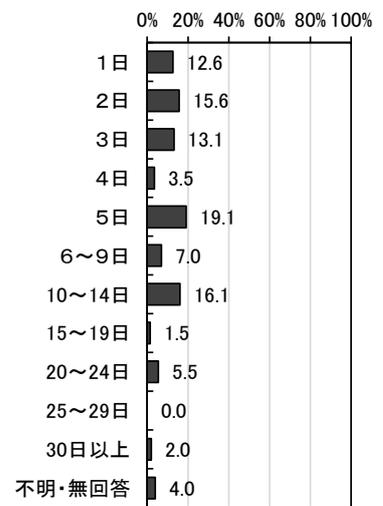
平成30年度調査 (N=100)
【父親が仕事を休んだ】



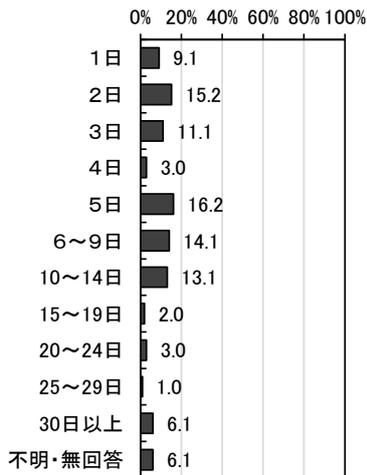
平成30年度調査 (N=314)
【母親が仕事を休んだ】



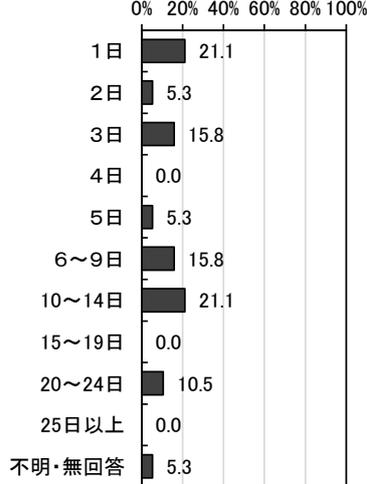
平成30年度調査 (N=199)
【(同居者を含む)親族・知人に
子どもをみてもらった】



平成30年度調査 (N=99)
【就労していない父親か母親が
子どもをみた】



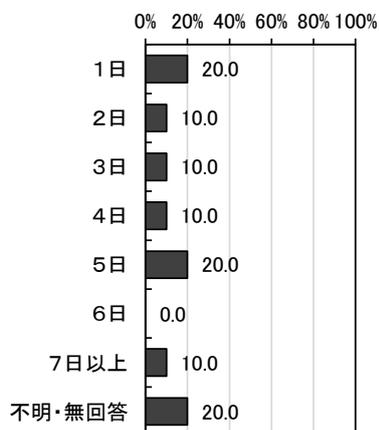
平成30年度調査 (N=19)
【病児保育を利用した】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

平成30年度調査 (N=3)	件数
1日	2
不明・無回答	1

平成30年度調査 (N=10)
【その他】



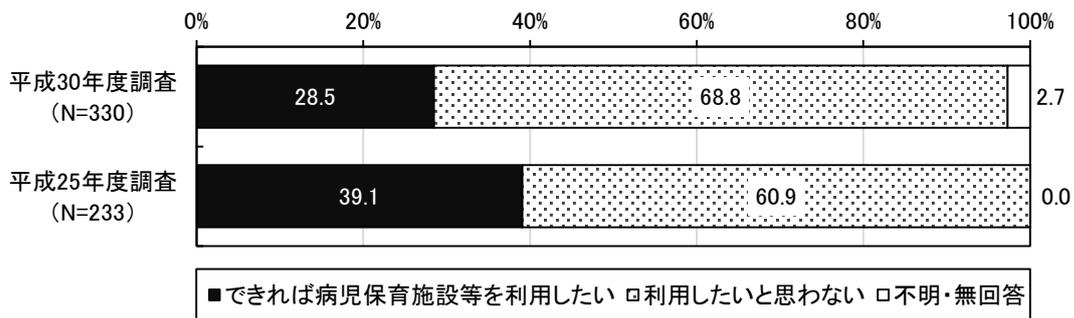
※「ベビーシッターを利用した」「ファミリー・サポート・センター事業を利用した」は回答がありませんでした

問 20-1 で「父親が仕事を休んだ」または「母親が仕事を休んだ」に○をつけた方にうかがいます。

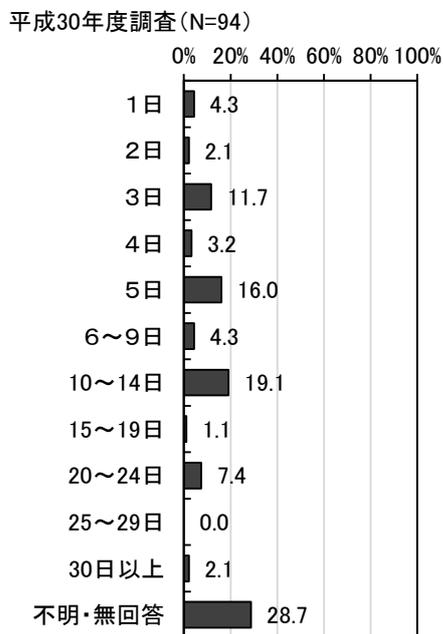
問 20-2 仕事を休まれた時に「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。(1つだけに○)また、利用希望がある方は、1年間に利用したい日数について、()内に具体的な日数をご記入ください。

※病児のための事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前に医師の診察が必要となります。

病気の子どものための保育施設などの利用意向について、「利用したいと思わない」が68.8%、「できれば病児保育施設等を利用したい」が28.5%となっています。



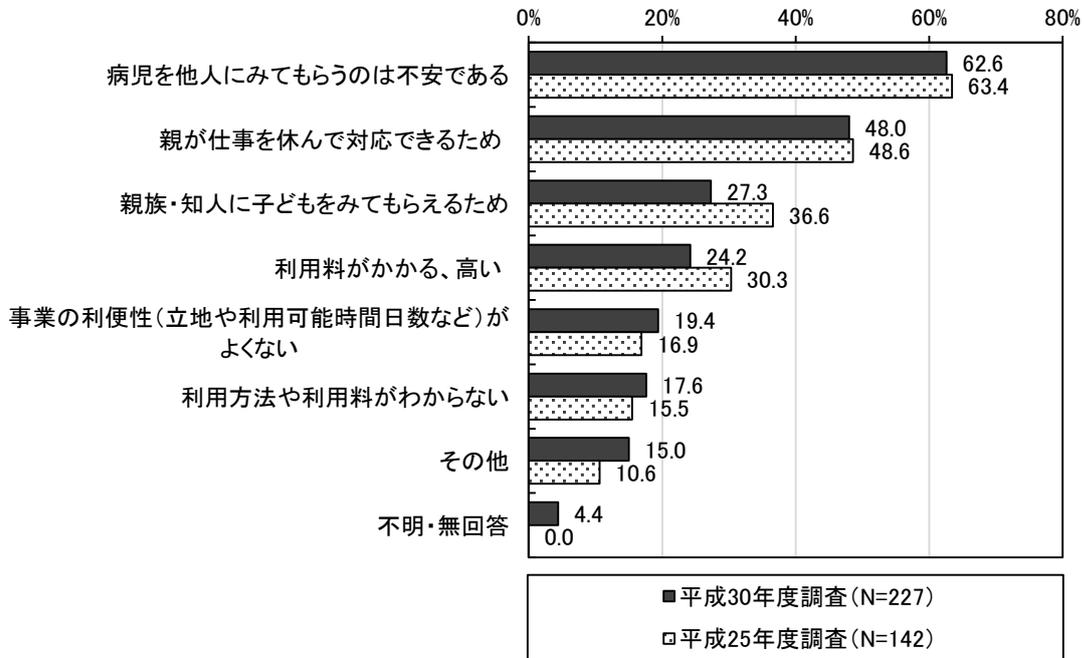
■ 1年間に利用したい日数



問 20-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-3 利用したくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

利用したくない理由について、「病児を他人にみてもらうのは不安がある」が 62.6%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できるため」が 48.0%、「親族・知人に子どもをみてもらえるため」が 27.3%となっています。

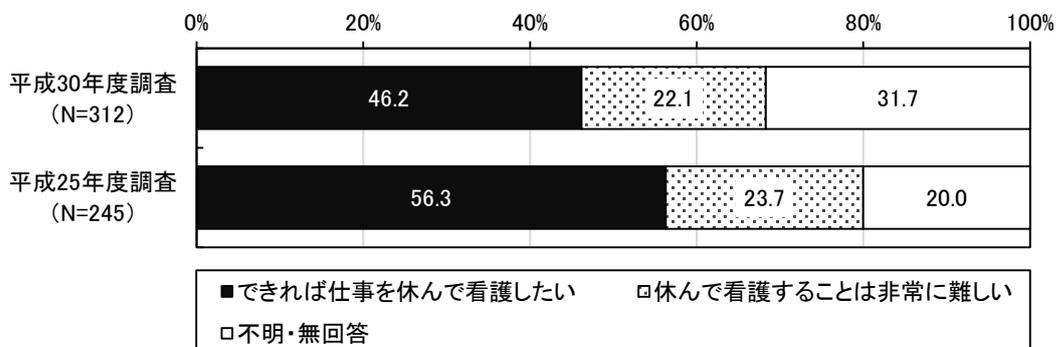


問 20-1 で「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」以外に○をつけた方にうかがいます。

問 20-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。(1つだけに○)

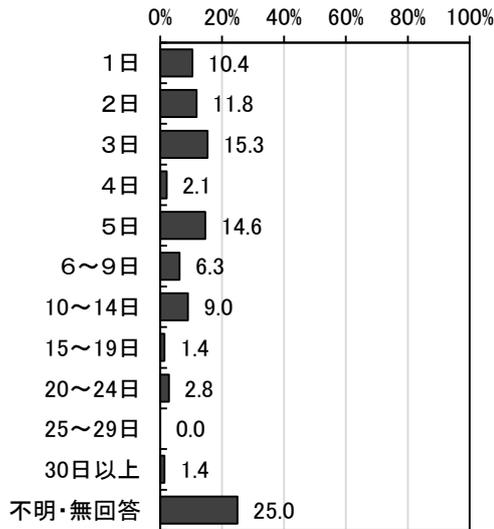
また、仕事を休んで看護したかった日数について、()内に具体的な数字をご記入ください。

仕事を休んで看護したいと思ったかについて、「できれば仕事を休んで看護したい」が 46.2%、「休んで看護することは非常に難しい」が 22.1%となっています。



■仕事を休んで看護したかった日数

平成30年度調査(N=144)

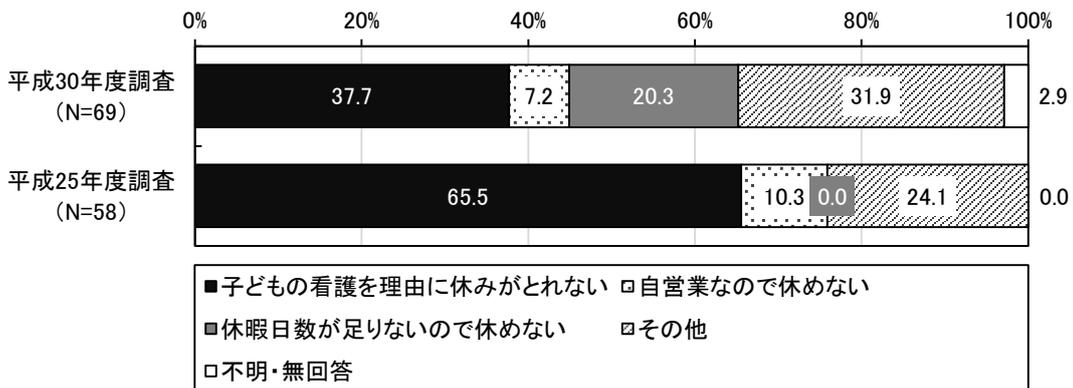


問 20-4 で「休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-5 そう思われる理由は何ですか。(1つだけに○)

休んで看護することが非常に難しい理由について、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 37.7%と最も高く、次いで「その他」が 31.9%、「休暇日数が足りないので休めない」が 20.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 27.8 ポイント低くなり、「休暇日数が足りないので休めない」が 20.3 ポイント高くなっています。

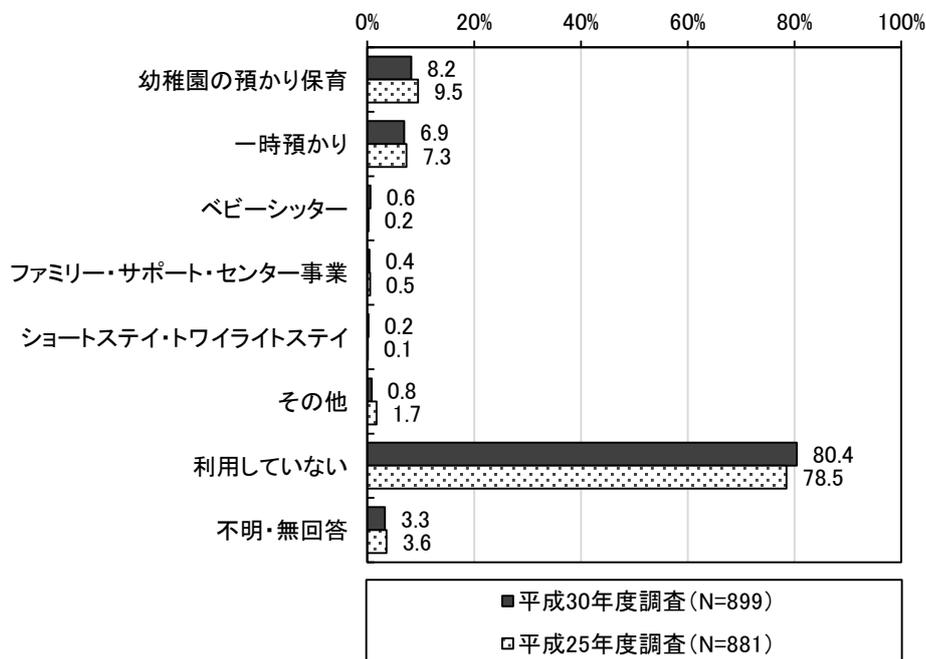


8 不規則な幼稚園・保育園（所）・認定子ども園など施設・サービスや一時預かり等の利用について

問 21 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則な就労等のため、不規則に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）

ある場合、1年間のおおよその利用日数について、（ ）内に具体的な数字をご記入ください。

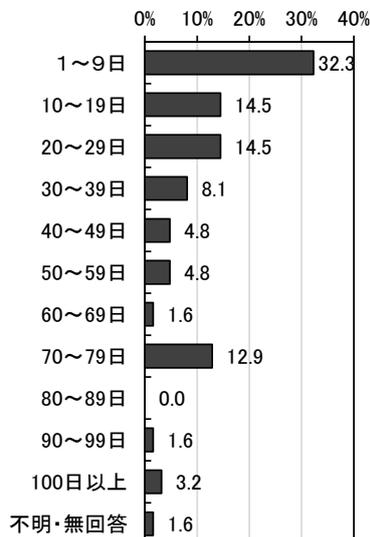
不規則に利用している事業について、「利用していない」が80.4%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が8.2%、「一時預かり」が6.9%となっています。



■ 1年間のおおよその利用日数

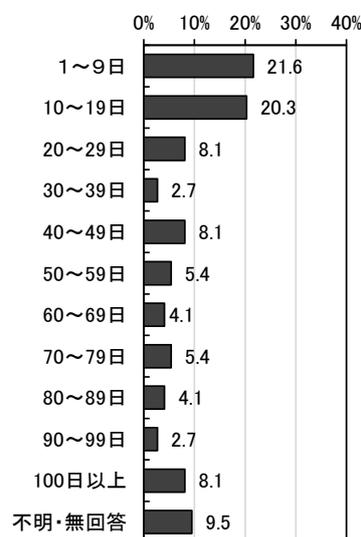
平成30年度調査 (N=62)

【一時預かり】



平成30年度調査 (N=73)

【幼稚園の預かり保育】



【ファミリー・サポート・センター事業】

平成30年度調査 (N=4)	件数
2日	1
7日以上	2
不明・無回答	1

【ショートステイ・トワイライトステイ】

平成30年度調査 (N=2)	件数
5日	1
7日以上	1

【ベビーシッター】

平成30年度調査 (N=5)	件数
5日	4
7日以上	1

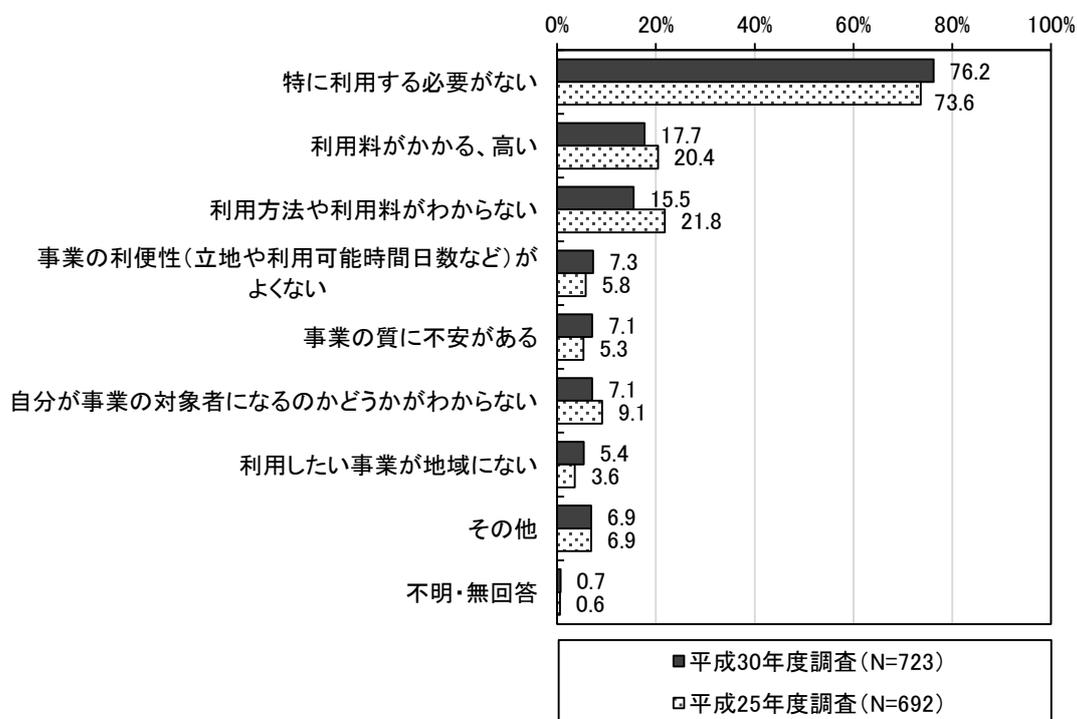
【その他】

平成30年度調査 (N=6)	件数
1日	2
4日	1
7日以上	3

問 21 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

現在利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が 76.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる、高い」が 17.7%、「利用方法や利用料がわからない」が 15.5%となっています。



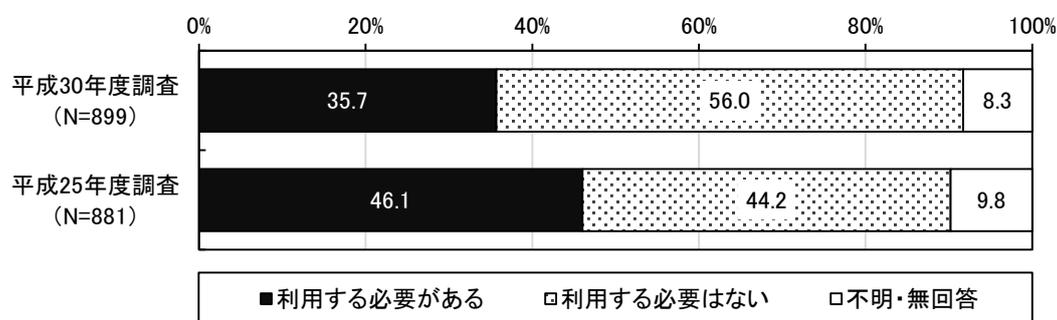
問 22 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、「一時預かり」を利用する必要があると思いますか。（1つだけに○）

利用したい場合、1年間の利用日数について、（ ）内に具体的な数字をご記入ください。また、利用したい目的もお答えいただき、目的ごとの利用希望日数について、（ ）内に具体的な数字をご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

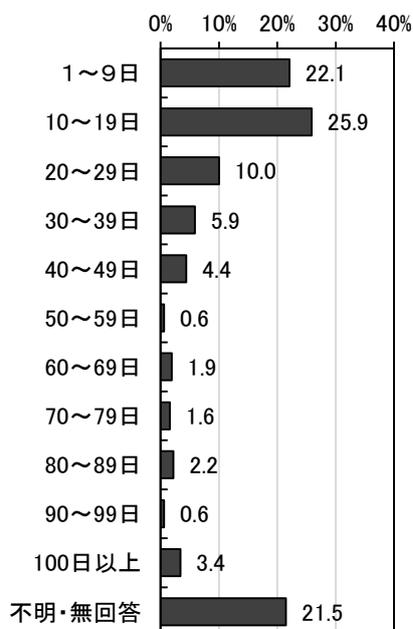
一時預かりの利用の必要性について、「利用する必要はない」が56.0%、「利用する必要がある」が35.7%となっています。

利用する必要がある場合の利用目的については、「買い物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が59.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が55.8%、「不規則な仕事」が32.7%となっています。

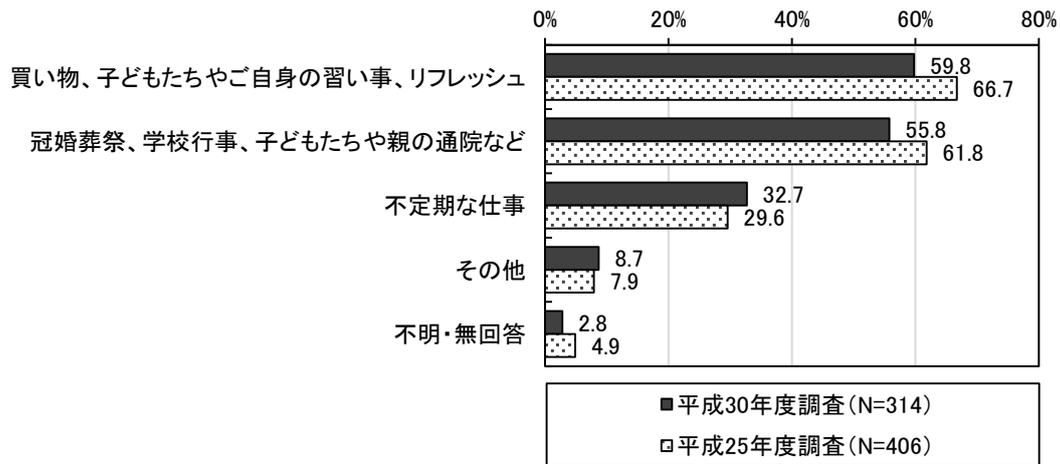


■ 1年間の利用日数

平成30年度調査 (N=321)

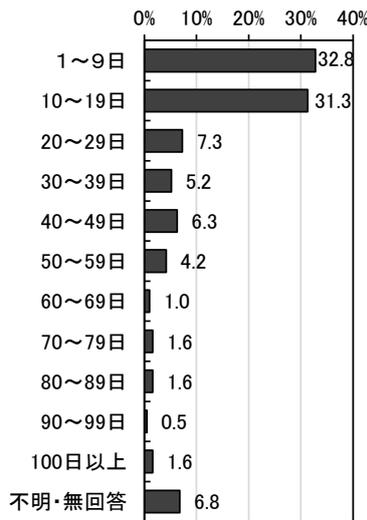


■ 利用目的

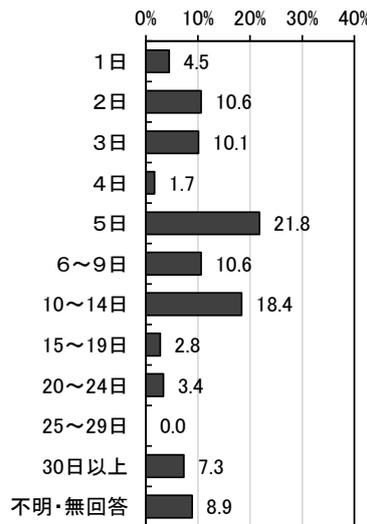


■ 目的ごとの利用希望日数

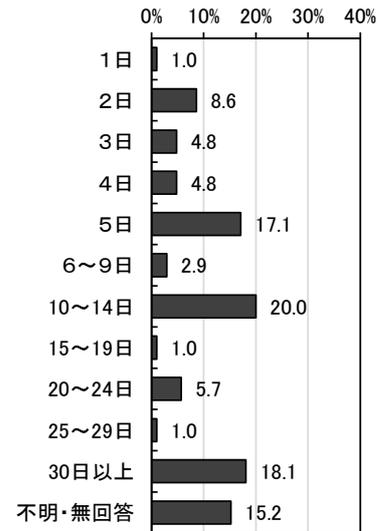
平成30年度調査 (N=186)
【買い物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ】



平成30年度調査 (N=175)
【冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など】

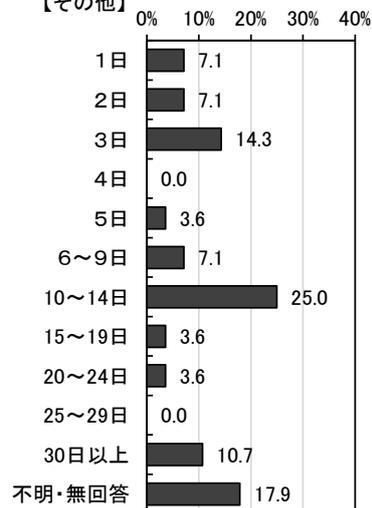


平成30年度調査 (N=101)
【不定期な仕事】



平成30年度調査 (N=28)

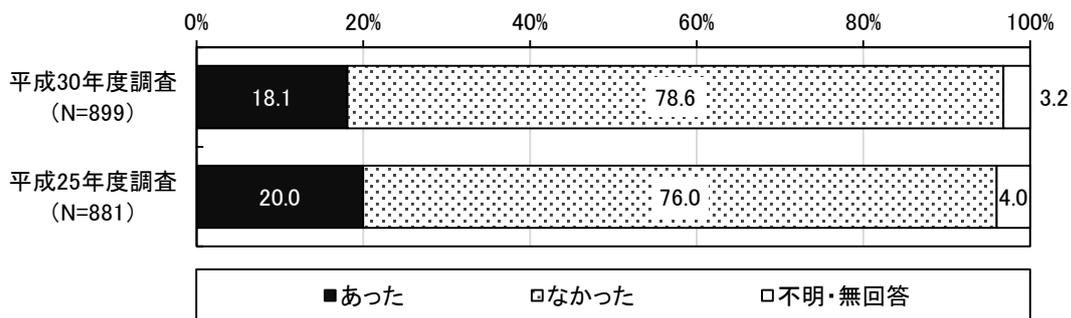
【その他】



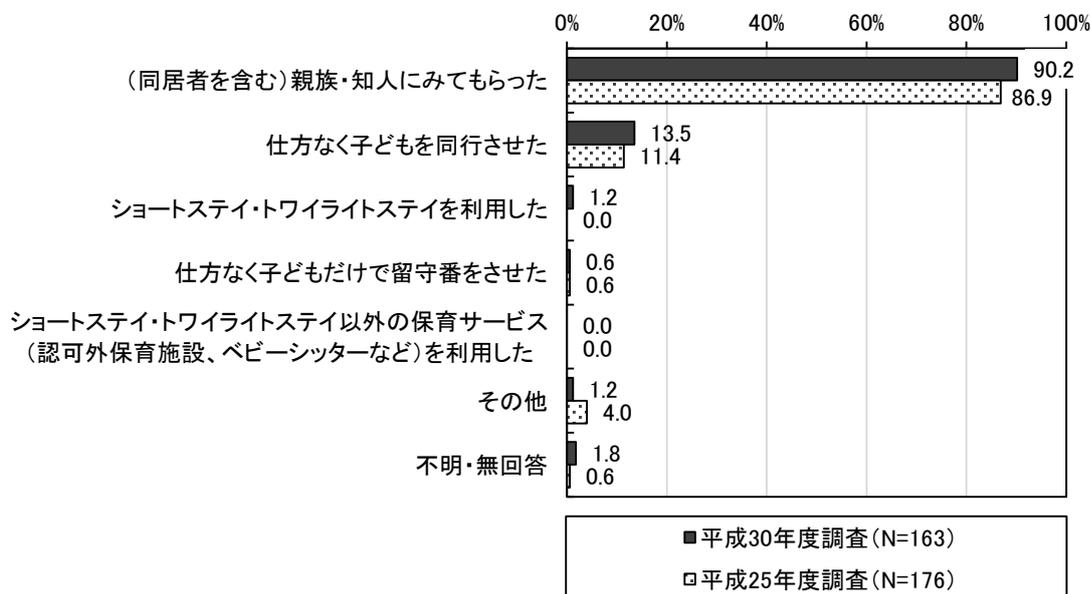
問 23 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)(1つだけに○)
 あった場合、その対処方法をお答えいただき、対処方法ごとの泊数について、()内に具体的な数字をご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけないことの有無について、「あった」が18.1%、「なかった」が78.6%となっています。

あった場合の対処方法について、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が90.2%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が13.5%となっています。

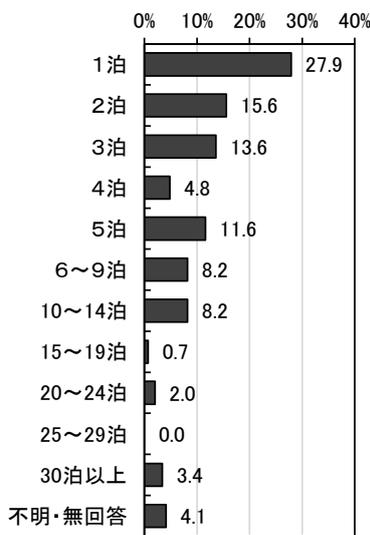


■ 対処方法

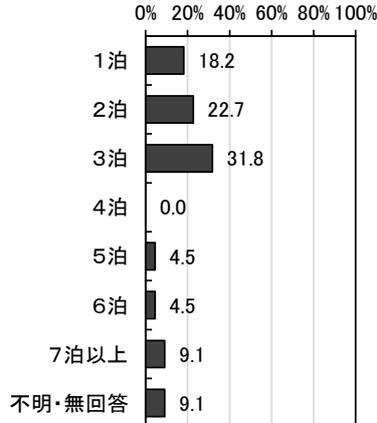


■ 対処方法ごとの泊数

平成30年度調査 (N=147)
【(同居者を含む)親族・知人に見てもらった】



平成30年度調査 (N=22)
【仕方なく子どもを同行させた】



【ショートステイ・トワイライトステイを利用した】

平成30年度調査 (N=2)	件数
7泊以上	1
不明・無回答	1

【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

平成30年度調査 (N=1)	件数
1泊	1

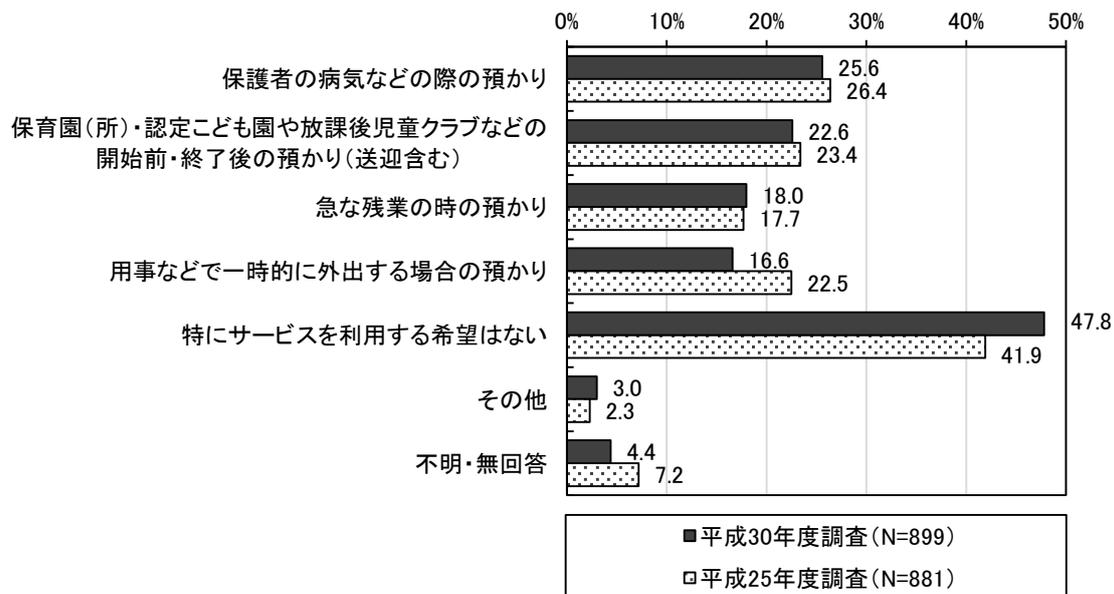
【その他】

平成30年度調査 (N=2)	件数
5泊	1
不明・無回答	1

※「ショートステイ・トワイライトステイ以外の保育サービス（認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した」の回答はありませんでした

問 24 あなたは、ファミリー・サポート・センター事業をどのような場合に利用したいですか。
(あてはまるものすべてに○)

事業の利用を希望する機会について、「特にサービスを利用する希望はない」が47.8%と最も高く、次いで「保護者の病気などの際の預かり」が25.6%、「保育園(所)・認定こども園や放課後児童クラブなどの開始前・終了後の預かり(送迎含む)」が22.6%となっています。



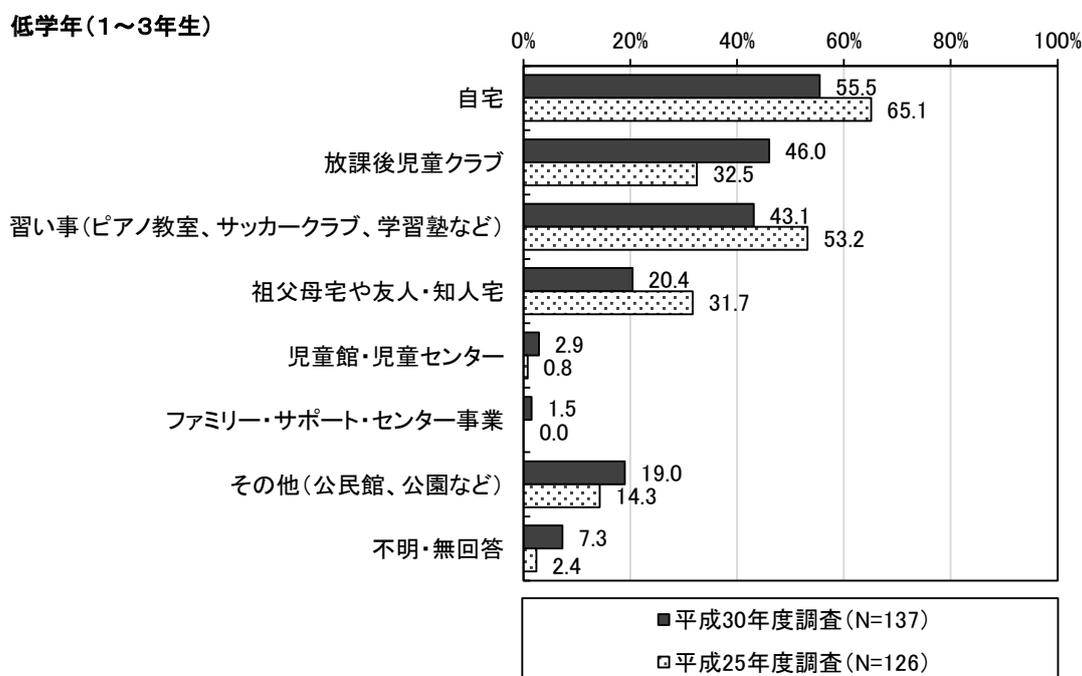
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について

あて名のお子さんが来年度（平成 31 年度）に小学校へ入学される方にうかがいます。

問 25 あて名のお子さんが、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）になった時、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）また、それぞれ希望する1週間の利用日数について、（ ）内に具体的な数字を24時間制でご記入ください。「放課後児童クラブ」を選択された場合には、利用を希望する時間について（ ）内にご記入ください。

低学年（1～3年生）

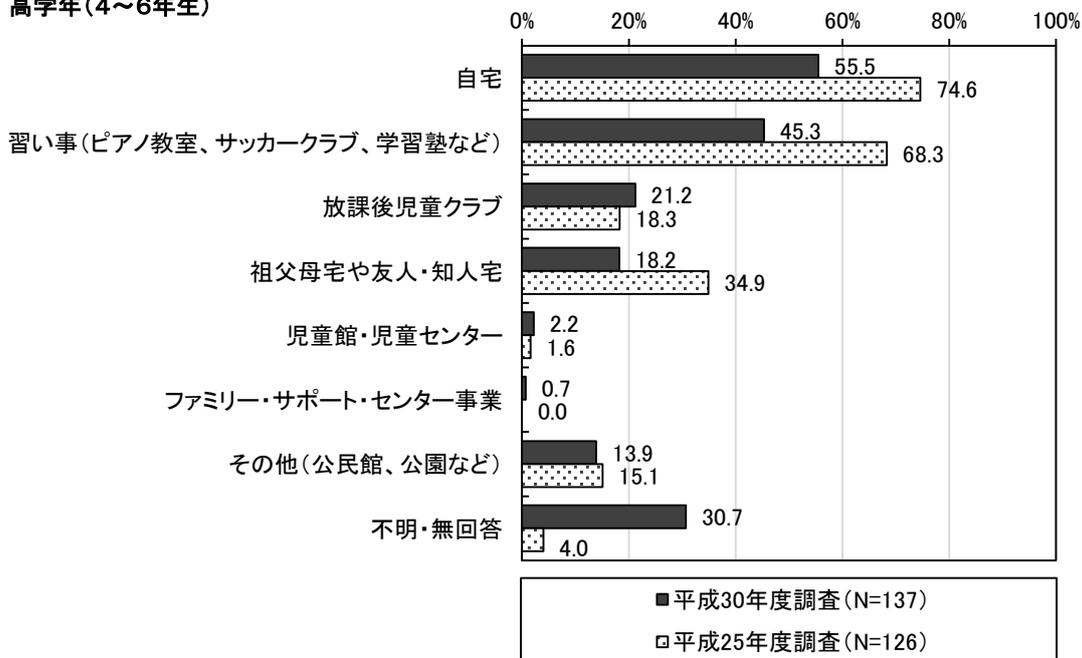
低学年（1～3年生）のうちに放課後を過ごさせたい場所について、「自宅」が55.5%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ」が46.0%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が43.1%となっています。



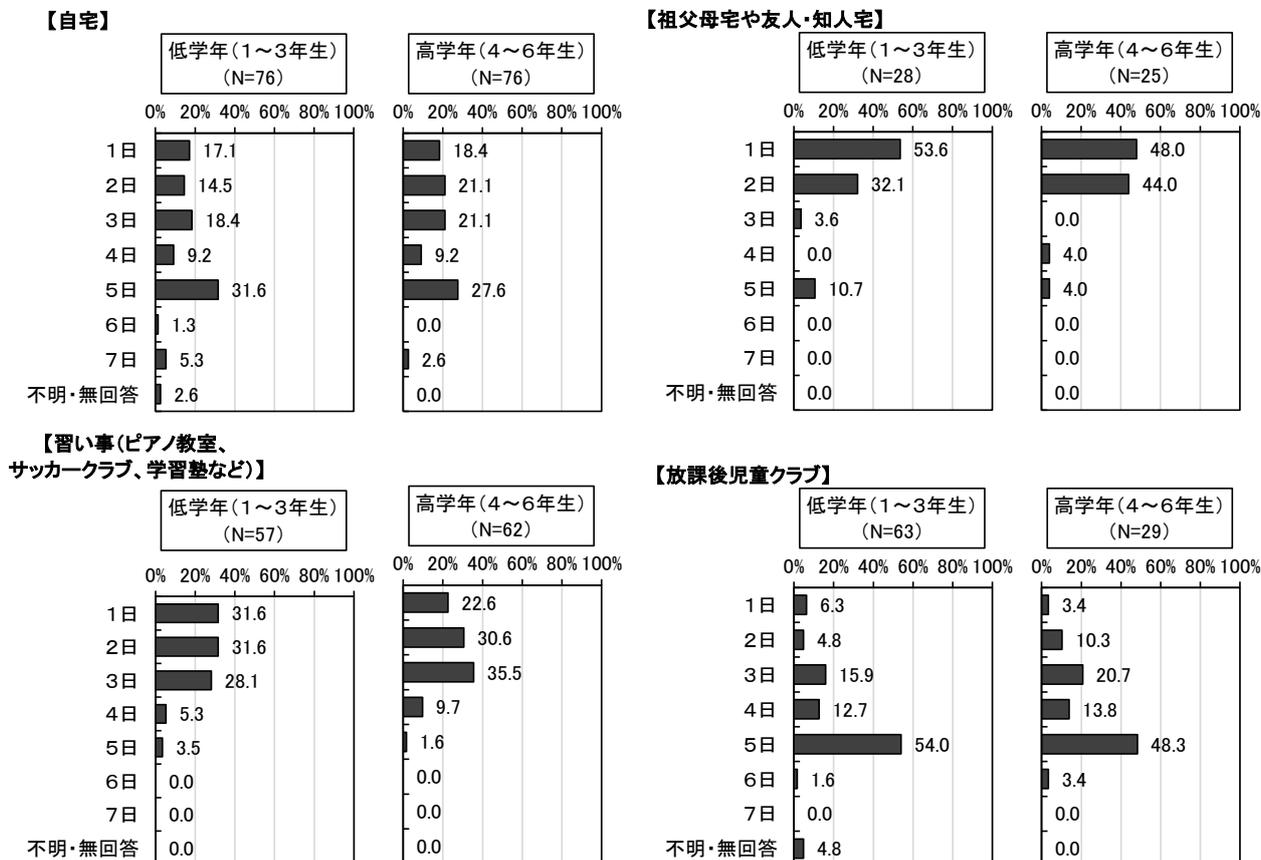
高学年（4～6年生）

高学年（4～6年生）のうちに放課後を過ごさせたい場所について、「自宅」が55.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が45.3%、「放課後児童クラブ」が21.2%となっています。

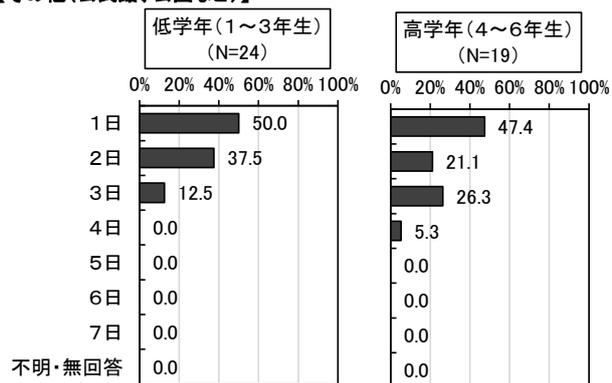
高学年（4～6年生）



■希望する1週間の利用日数



【その他(公民館、公園など)】



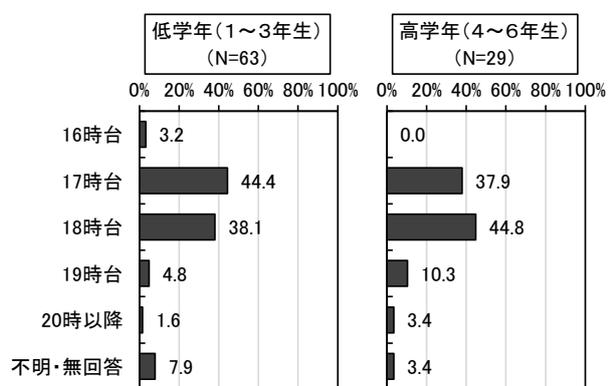
【児童館・児童センター】

平成30年度調査(N=4)	低学年(1~3年生)	高学年(4~6年生)
	件数	
1日	2	1
2日	1	1
3日	1	1

【ファミリー・サポート・センター事業】

平成30年度調査(N=2)	低学年(1~3年生)	高学年(4~6年生)
	件数	
1日	1	1
5日	1	0

■ 「放課後児童クラブ」の利用を希望する時間



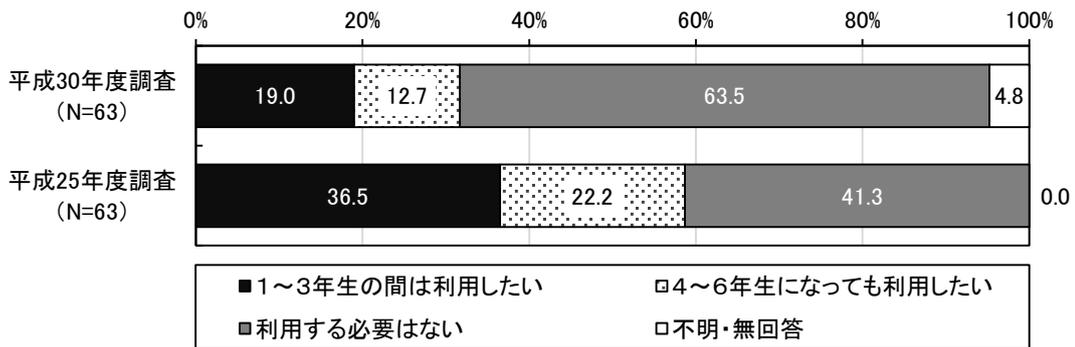
問 25 で「放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問 26 土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（それぞれ1つに○）希望がある場合は、利用したい時間帯について、（ ）内に数字を24時間制でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

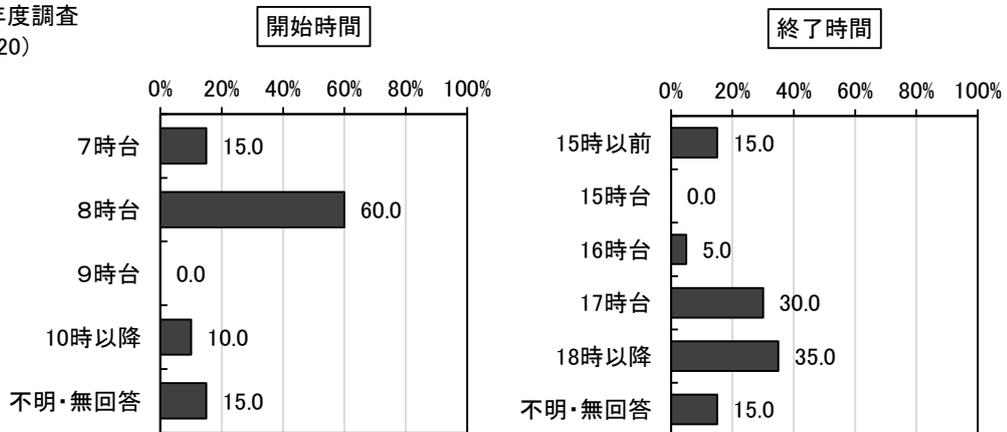
① 土曜日

土曜日における放課後児童クラブの利用希望について、「利用する必要はない」が63.5%と最も高く、次いで「1～3年生の間は利用したい」が19.0%となっています。



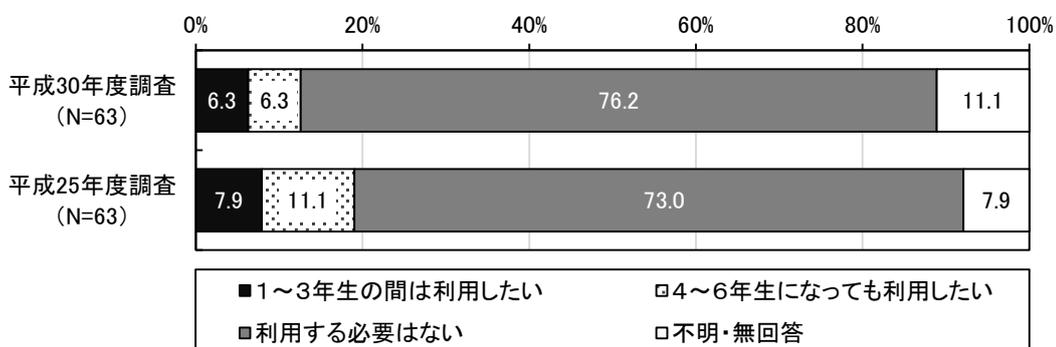
■ 利用したい時間帯

平成30年度調査 (N=20)



② 日曜日・祝日

日曜日・祝日における放課後児童クラブの利用希望について、「利用する必要はない」が76.2%と最も高くなっています。



■ 利用したい時間帯

【開始時間】

平成30年度調査 (N=8)	件数
7時台	3
8時台	4
10時台	1

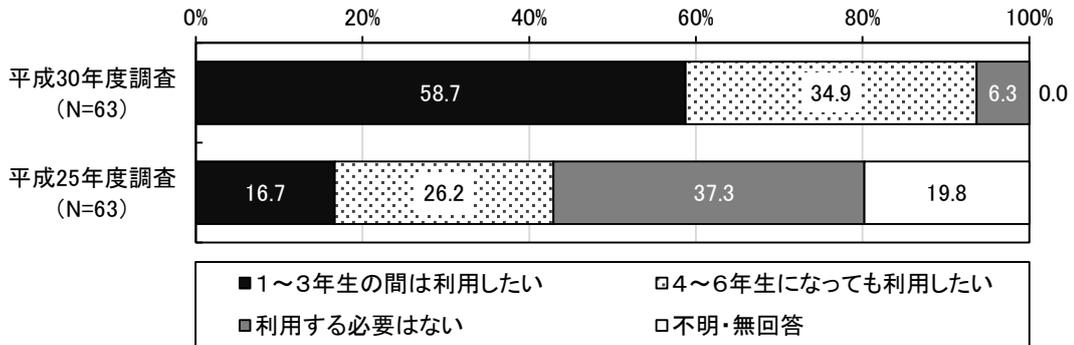
【終了時間】

平成30年度調査 (N=8)	件数
16時台	1
17時台	2
18時以降	5

③ 長期の休暇期間中

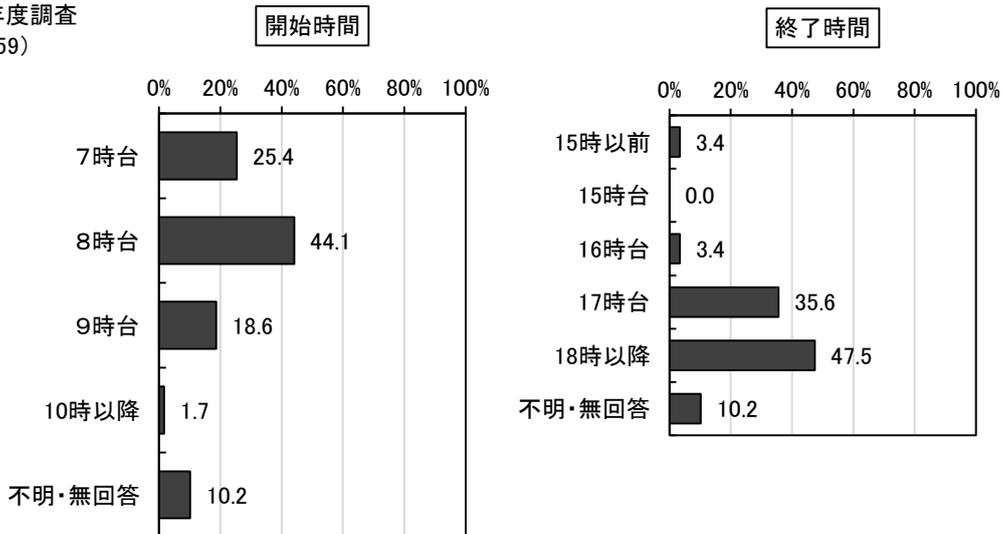
長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について、「1～3年生の間は利用したい」が58.7%と最も高く、次いで「4～6年生になっても利用したい」が34.9%となっています。

利用したい時間帯については、開始時間が「8時台」が最も高く44.1%、次いで「7時台」が25.4%となっています。終了時間は「18時以降」が47.5%と最も高く、次いで「17時台」が35.6%となっています。



■ 利用したい時間帯

平成30年度調査
(N=59)



10 育児休業など職場の両立支援制度について

問 27 あて名のお子さんが生まれた時に、母親、父親は育児休業を取りましたか。（1つだけに○）なお、「取得していない」を選ばれた場合は、下記「育児休業を取らなかった理由」を、父親、母親それぞれについてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

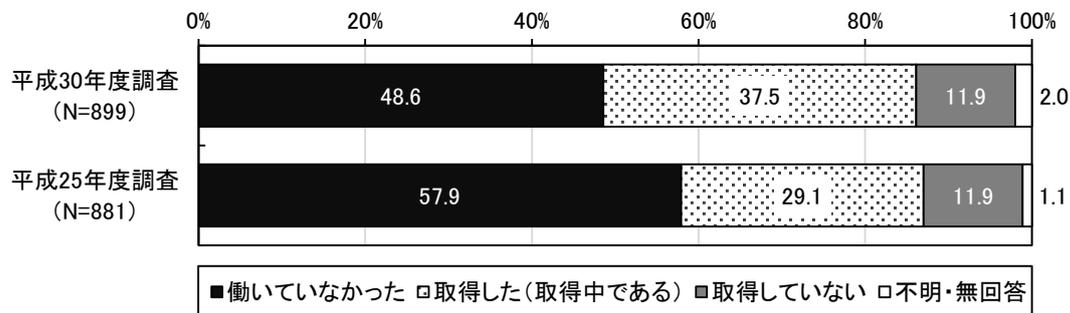
育児休業の取得状況について、母親では「働いていなかった」が48.6%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が37.5%となっています。父親では「取得していない」が87.3%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が2.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、母親での「働いていなかった」が9.3ポイント低くなり、「取得した（取得中である）」が8.4ポイント高くなっています。

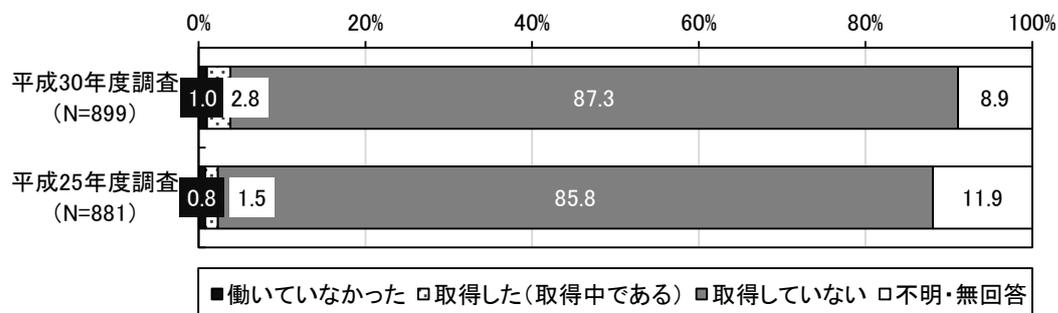
「取得していない」と回答した方について、育児休業を取らなかった理由では、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が31.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が15.9%となっています。父親では「仕事が忙しかった」が35.2%と最も高く、次いで「配偶者が無職、またはご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が31.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、母親では「職場に育児休業の制度がなかった」や「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が低下している一方、父親では「仕事が忙しかった」や「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が高くなっています。

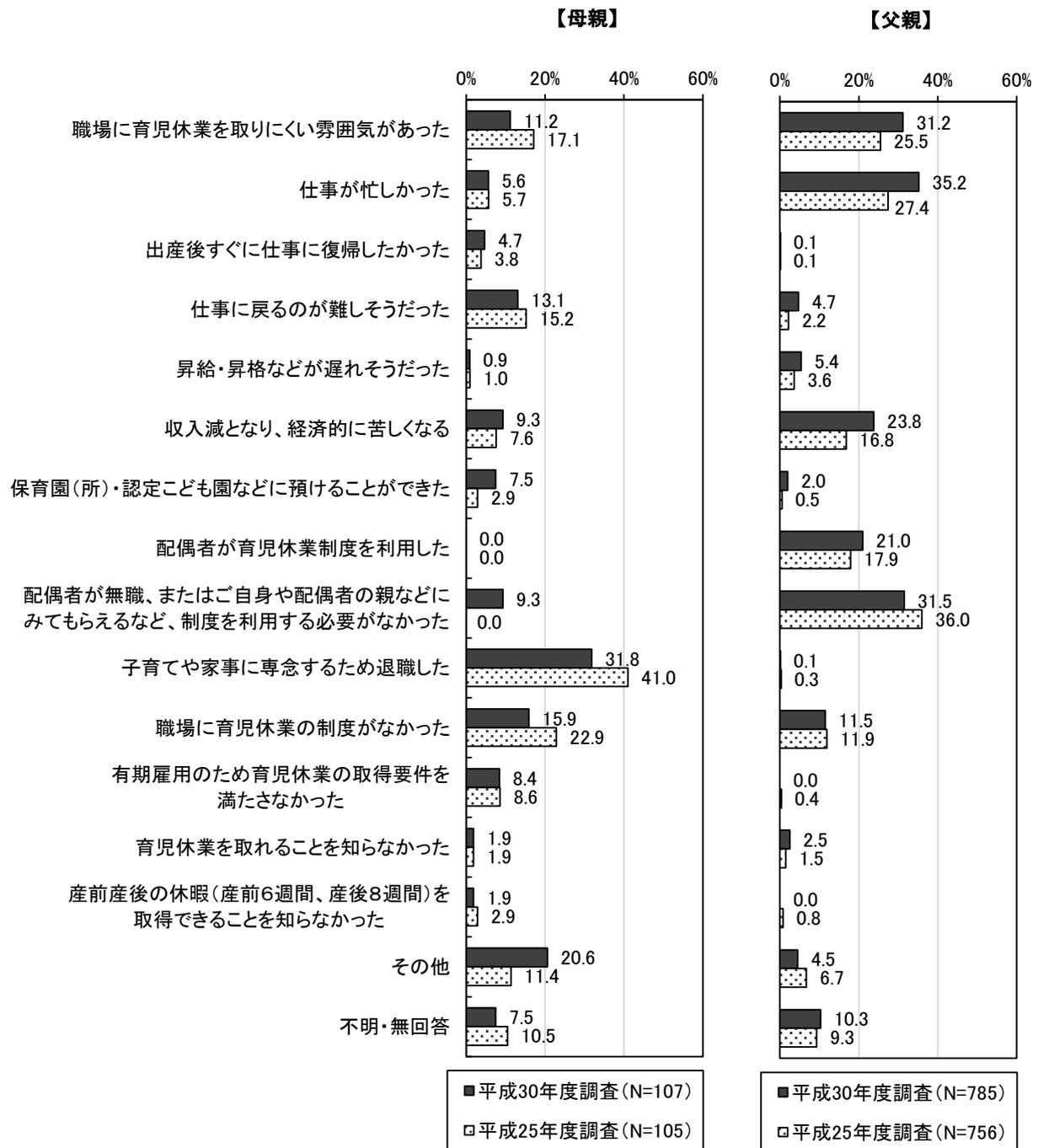
【母親】



【父親】



■（取得していない方）育児休業を取らなかった理由



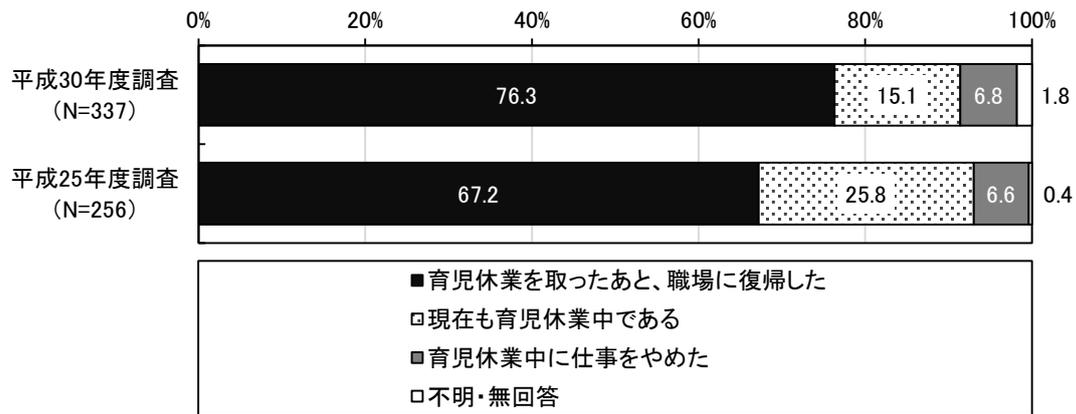
問 27 で「取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。

問 27-1 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。（1つだけに○）

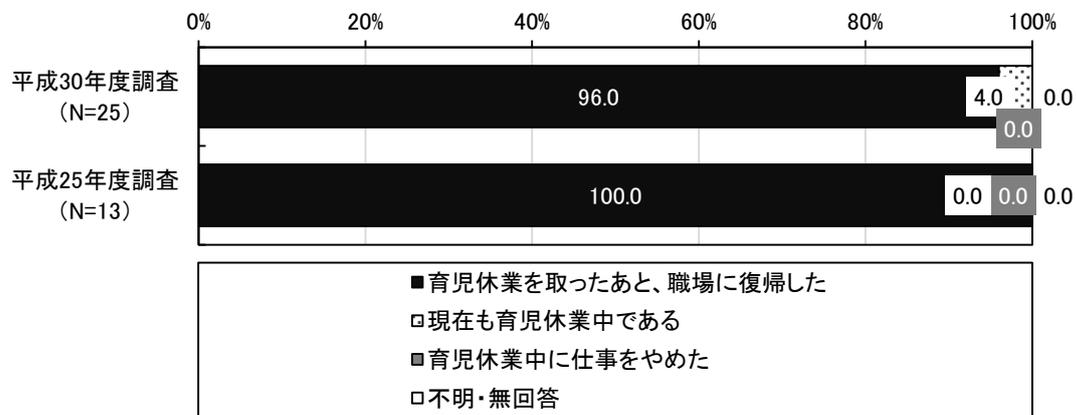
育児休業取得後の職場復帰について、母親では「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が 76.3%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 15.1%となっています。父親では「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が 96.0%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が 4.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、母親で「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」が 9.1 ポイント高くなっています。

【母親】



【父親】



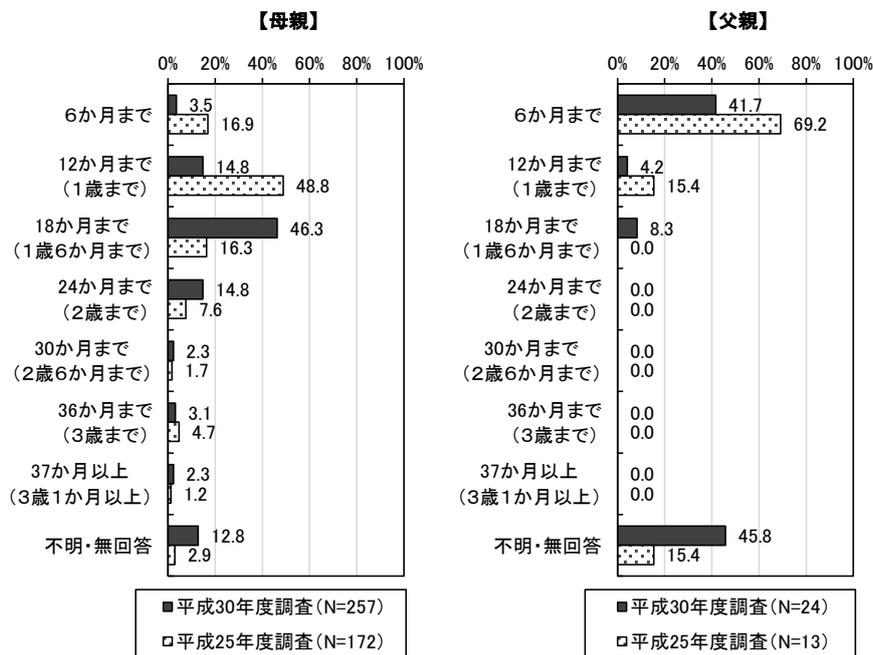
問 27-1 で「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問 27-2 育児休業から、「実際」にお子さんが何歳何か月の時に職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月の時まで取りたかったですか。
() 内に具体的な数字をご記入ください。

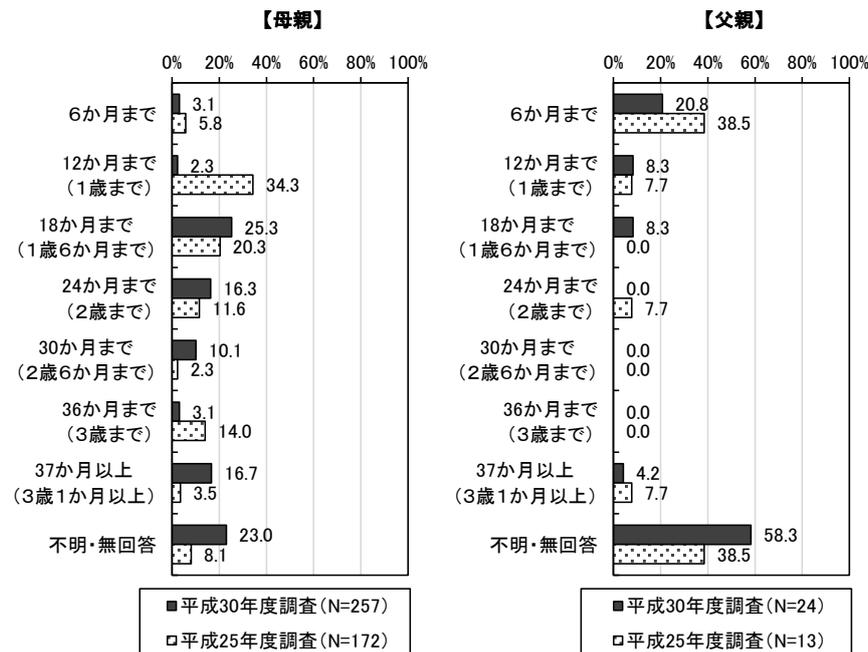
職場復帰した「実際」のお子さんの年齢について、母親では「18か月まで」が46.3%と最も高く、次いで「12か月まで」「24か月まで」が14.8%となっています。父親では「6か月まで」が41.7%と最も高く、次いで「18か月まで」が8.3%となっています。

「希望」のお子さんの年齢について、母親では「18か月まで」が25.3%と最も高く、次いで「37か月以上」が16.7%となっています。父親では「6か月まで」が20.8%と最も高く、次いで「12か月まで」「18か月まで」が8.3%となっています。

【実際】



【希望】



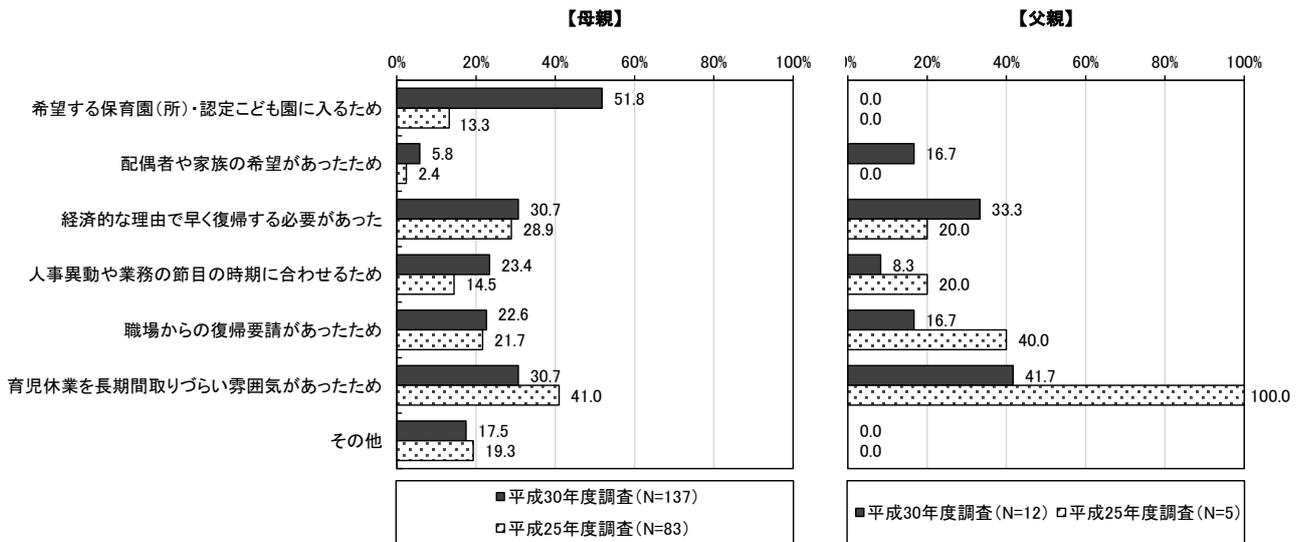
問 27-2 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 27-3 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

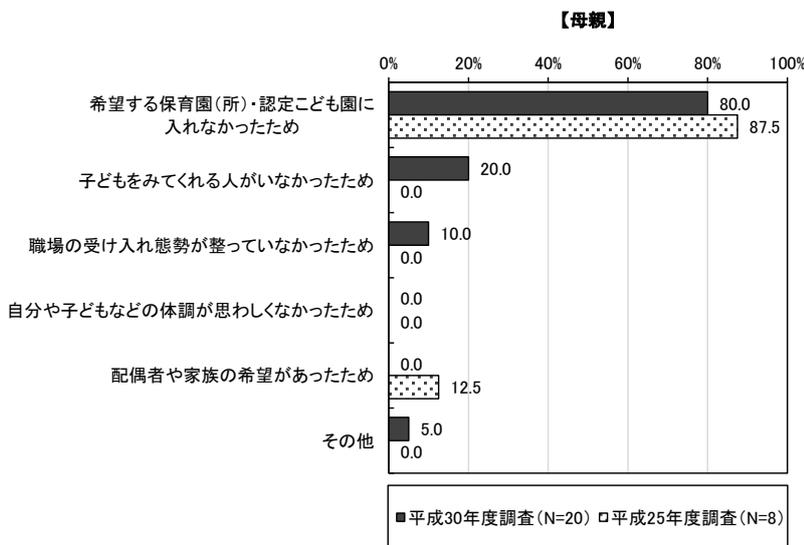
「希望」の時期より早く復帰した理由について、母親では「希望する保育園（所）・認定子ども園に入るため」が 51.8%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」「育児休業を長期間取りづらい雰囲気があったため」が 30.7%となっています。

「希望」の時期より遅く復帰した理由について、母親では「希望する保育園（所）・認定子ども園に入るため」が 80.0%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 20.0%となっています。

(1) 「希望」より早く復帰した方



(2) 「希望」より遅く復帰した方

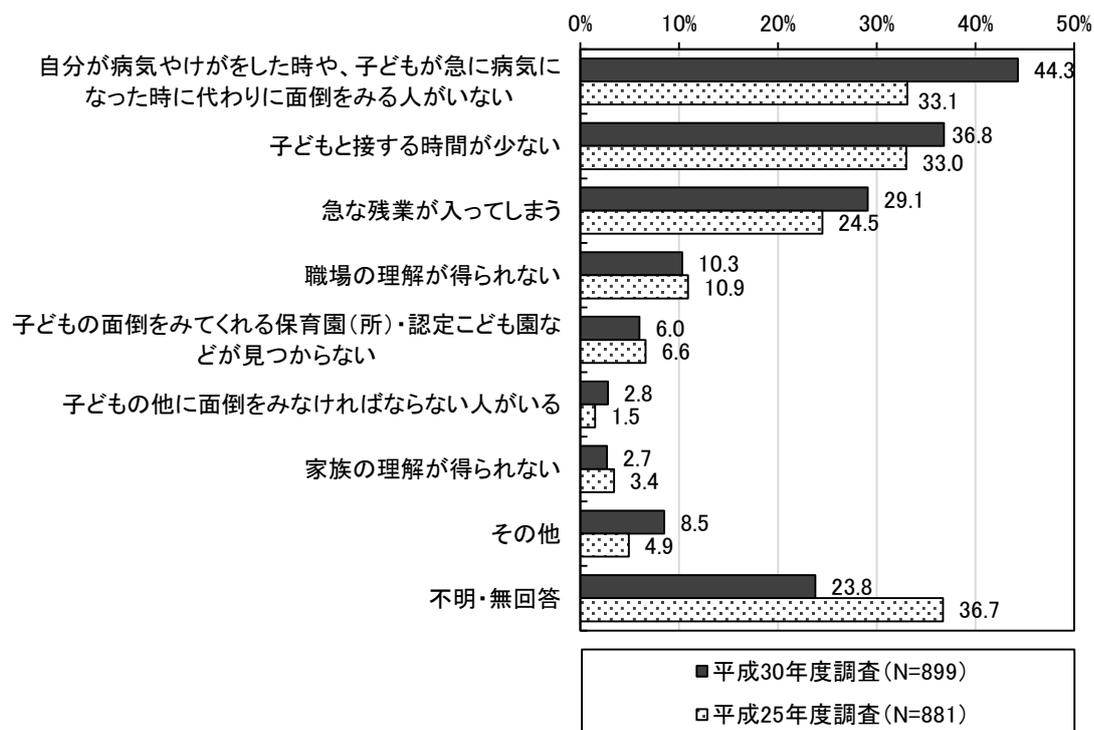


※父親では回答がありませんでした

※不明・無回答を除く

問 28 仕事と子育てを両立させる上で、大変だと感じることは何ですか。（主にあてはまるもの2つまでに○）

仕事と子育ての両立で大変なことについて、「自分が病気やけがをした時や、子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が44.3%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が36.8%、「急な残業が入ってしまう」が29.1%となっており、上位の項目はいずれも平成25年度調査と比較して割合が高くなっています。



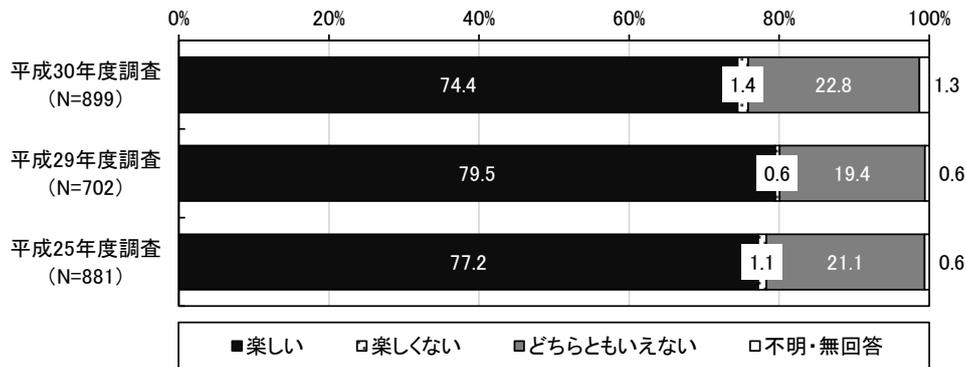
11 親と子の健康づくりについて

問 29 子育て中の母親、父親の体調や気持ちについてうかがいます。

(項目ごとに1つだけに○)

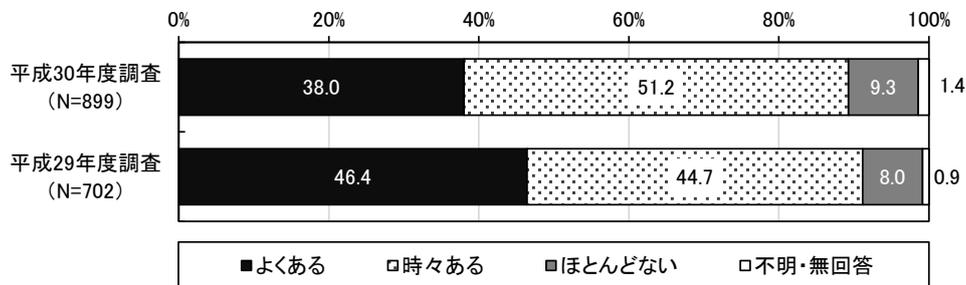
①子育ては楽しいですか。

子育ては楽しいかについて、「楽しい」が74.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.8%となっています。



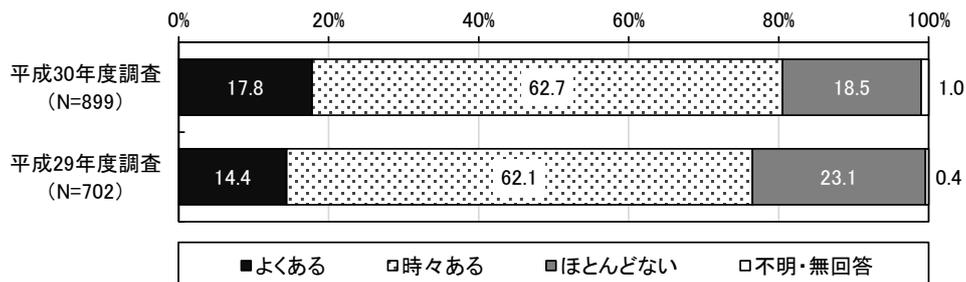
②保護者はゆっくりした気分でお子さんと過ごせる時間はありますか。

ゆっくりした気分でお子さんと過ごせる時間があるかについて、「時々ある」が51.2%と最も高く、次いで「よくある」が38.0%となっています。



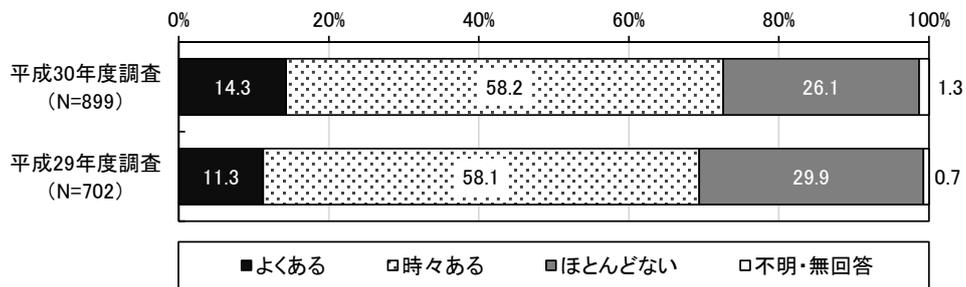
③子育てに自信が持てないことがありますか。

子育てに自信が持てないことがあるかについて、「時々ある」が62.7%と最も高く、次いで「ほとんどない」が18.5%となっています。



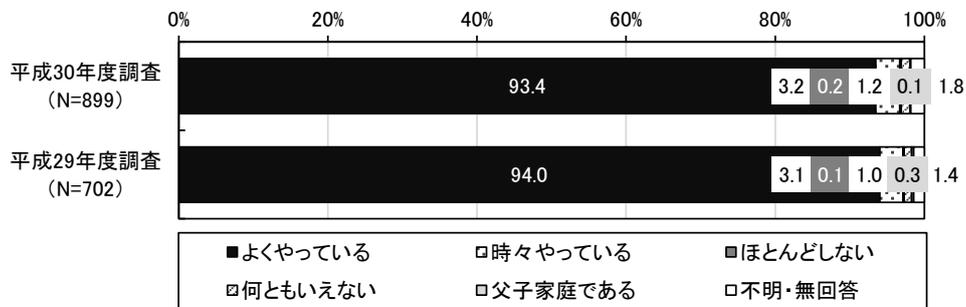
④子育てに困難を感じることがありますか。

子育てに困難を感じるかについて、「時々ある」が58.2%と最も高く、次いで「ほとんどない」が26.1%となっています。



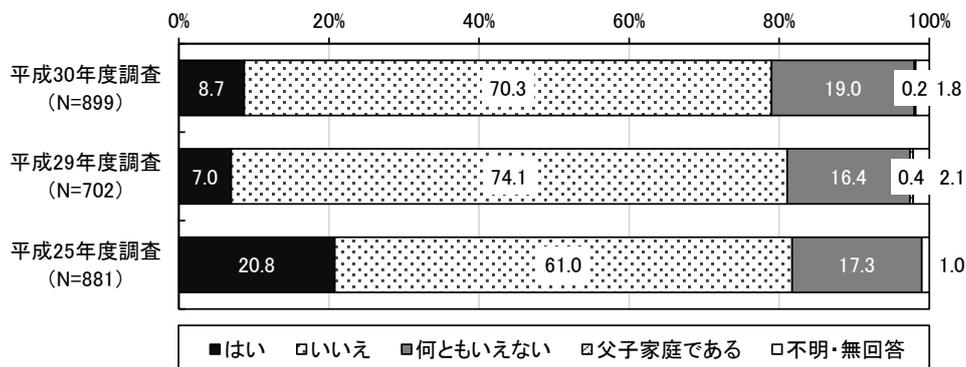
⑤お母さんは子育てに関わっていますか。

母親が子育てに関わっているかについて、「よくやっている」が93.4%と大半を占めています。



⑥お母さんは、子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。

母親が子どもを虐待していると思うことがあるかについて、「いいえ」が70.3%と最も高く、次いで「何ともいえない」が19.0%となっています。

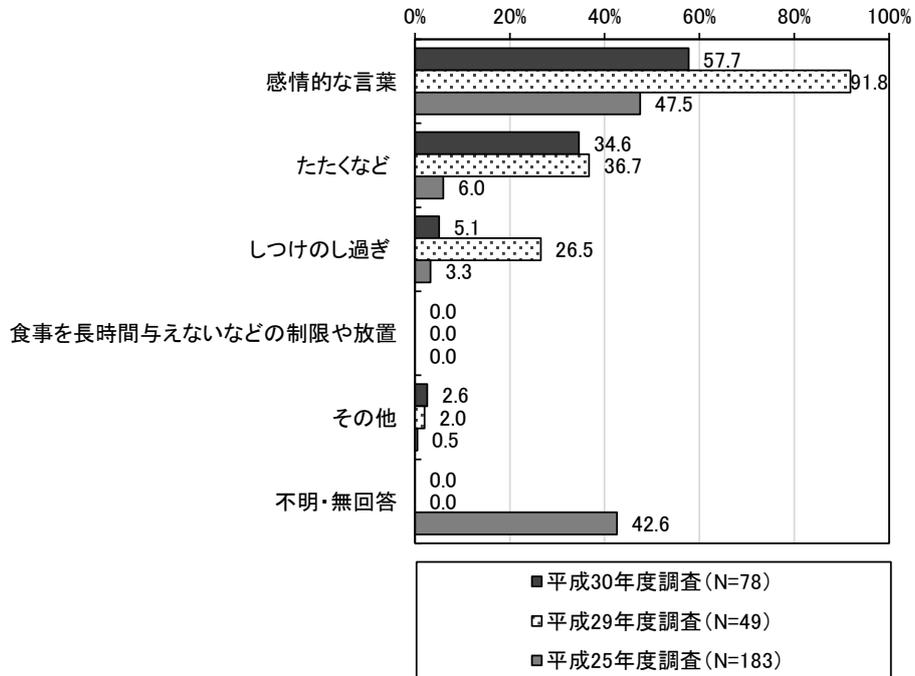


※「父子家庭である」は平成30年度調査、平成29年度調査のみの選択肢

⑥で「はい」に○をつけた方にうかがいます。

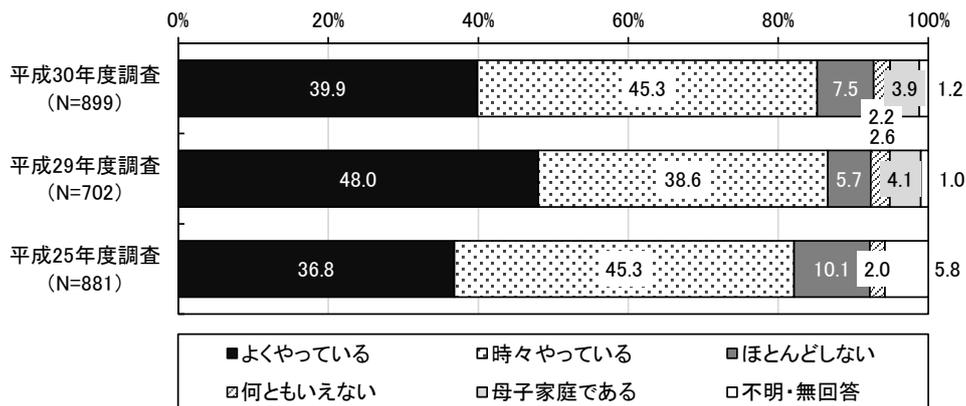
⑥-1 それは、どのようなことですか。

母親が虐待していると思うのはどのようなことかについて、「感情的な言葉」が57.7%と最も高く、次いで「たたくなど」が34.6%となっています。



⑦お父さんは子育てに関わっていますか。

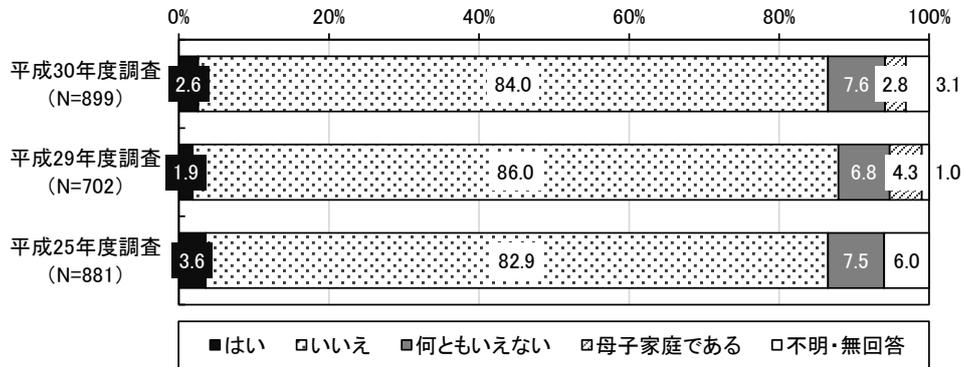
父親が子育てに関わっているかについて、「時々やっている」が45.3%と最も高く、次いで「よくやっている」が39.9%となっています。



※「母子家庭である」は平成30年度調査、平成29年度調査のみの選択肢

⑧お父さんは、子どもを虐待しているのではないかと感じますか。

父親が子どもを虐待していると思うことがあるかについて、「いいえ」が84.0%と最も高く、次いで「何ともいえない」が7.6%となっています。

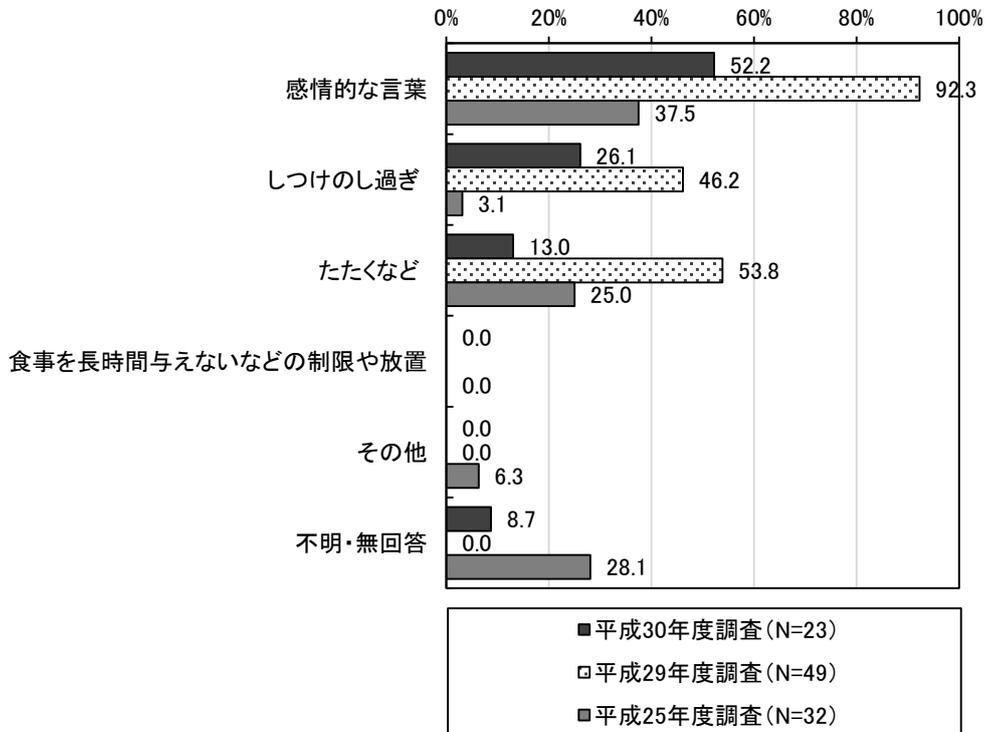


※「母子家庭である」は平成30年度調査、平成29年度調査のみの選択肢

⑧で「はい」に○をつけた方にうかがいます。

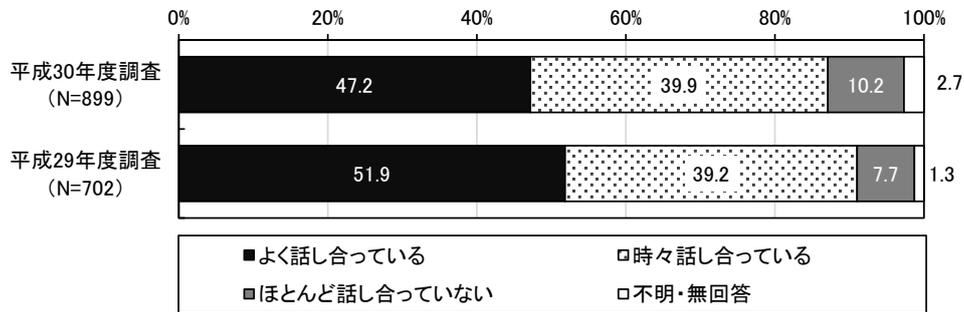
⑧-1 それは、どのようなことですか。

父親が虐待していると思うのはどのようなことかについて、「感情的な言葉」が52.2%と最も高く、次いで「しつけのし過ぎ」が26.1%、「たたくなど」が13.0%となっています。



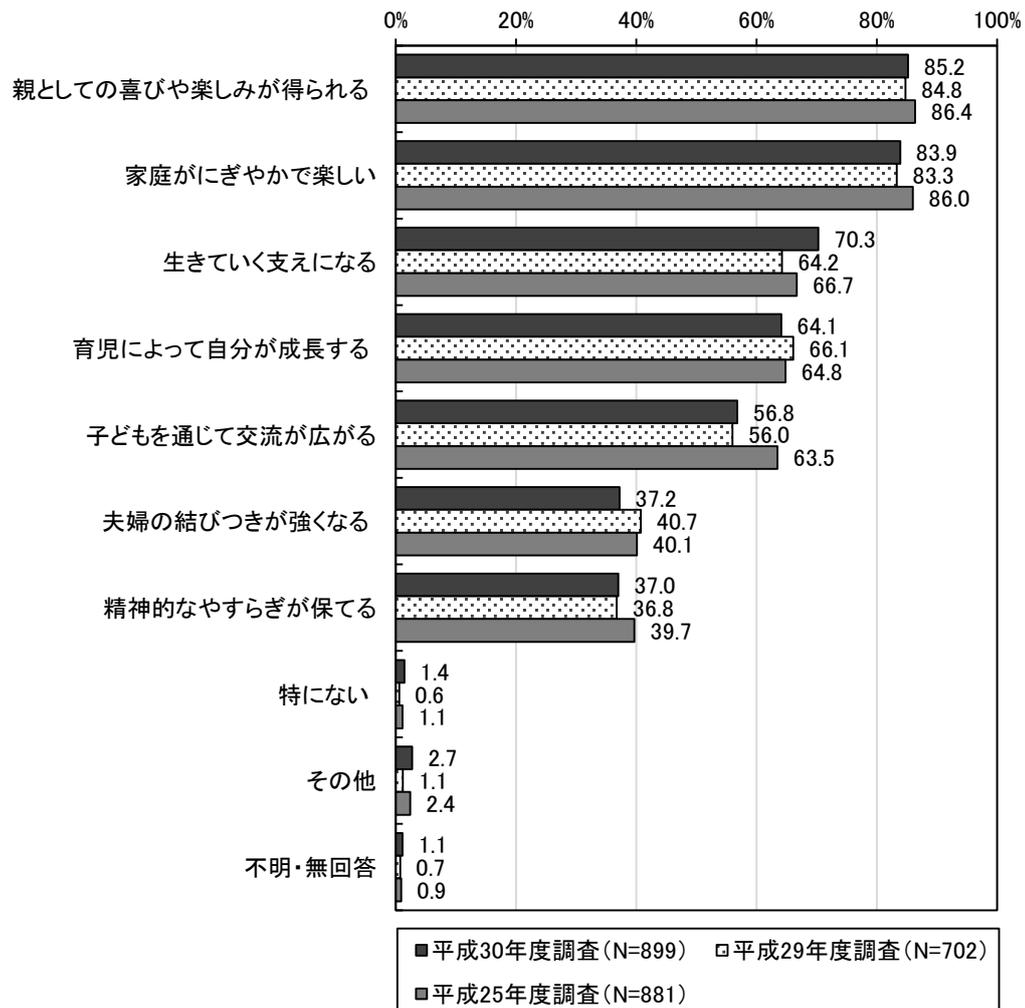
⑨保護者同士で、子育てのことでよく話しあっていますか。

保護者同士で子育てのことを話し合っているかについて、「よく話し合っている」が47.2%と最も高く、次いで「時々話し合っている」が39.9%となっています。



問30 これまでの子育てで良かったと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てで良かったと思うことについて、「親としての喜びや楽しみが得られる」が85.2%と最も高く、次いで「家庭がにぎやかで楽しい」が83.9%、「生きていく支えになる」が70.3%となっています。



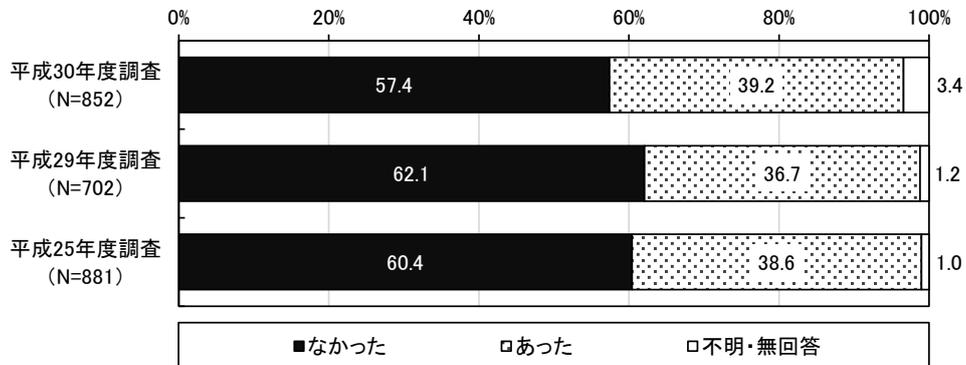
回答者があて名のお子さんの母親の場合のみ

問 31 あて名のお子さんを妊娠、出産した時の状況についてうかがいます。

(項目ごとに1つだけに○)

①妊娠することへの不安はありましたか。

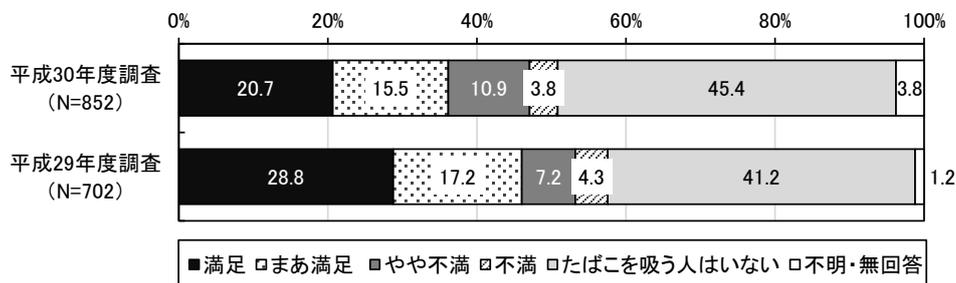
妊娠することへの不安について、「なかった」が57.4%、「あった」が39.2%となっています。



②家庭では妊婦さんに対して、喫煙者（本人以外）の受動喫煙に対する配慮はどうでしたか。

家庭での受動喫煙に対する配慮について、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）が36.2%、『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）が14.7%となっています。

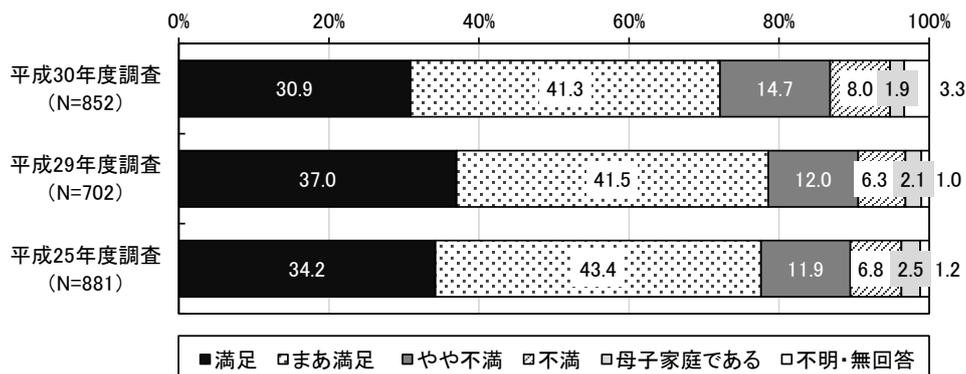
平成 29 年度調査と比較すると、『満足』が9.8ポイント低くなっています。



③夫の援助などの家庭環境についてどうでしたか。

妊娠、出産した時の夫の援助について、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）が72.2%、『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）が22.7%となっています。

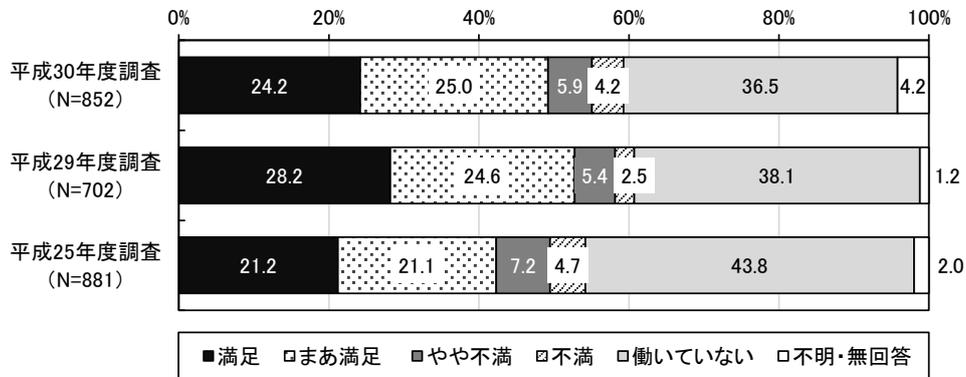
平成 29 年度調査と比較すると、『満足』が6.3ポイント低くなっています。



④職場の理解や対応についてどうでしたか。

妊娠、出産した時の職場の理解や対応について、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）が49.2%、『不満』（「不満」と「やや不満」の合計）が10.1%となっています。

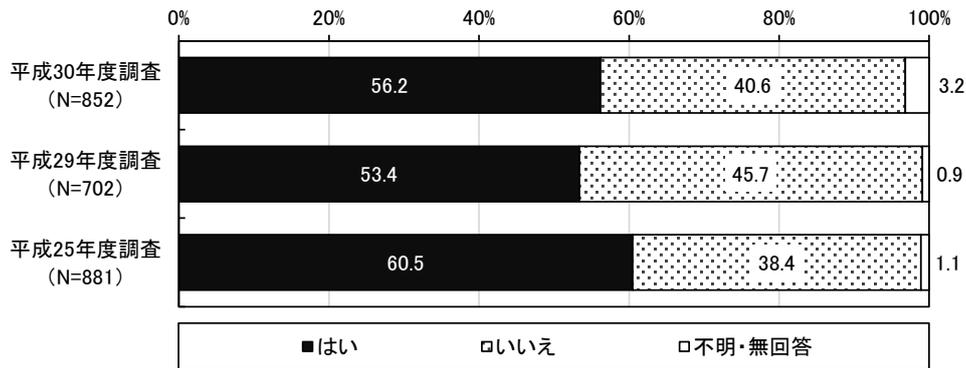
平成29年度調査と比較すると、『満足』が3.6ポイント低くなっています。



⑤市や医療機関で実施している母親（両親）学級に参加しましたか。

母親（両親）学級への参加について、「はい」が56.2%、「いいえ」が40.6%となっています。

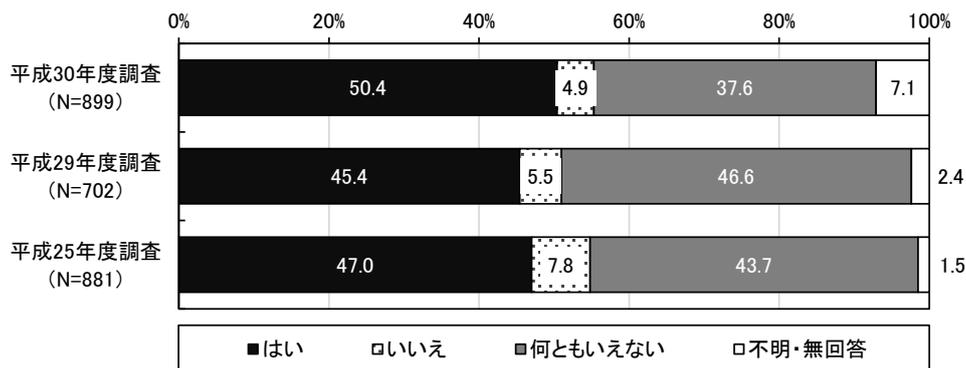
平成29年度調査と比較すると、「はい」が2.8ポイント高くなっています。



⑥これまでに受けた健診以外の公共機関のサービス（乳幼児相談や教室）に満足していますか。

健診以外の公共機関のサービスへの満足度について、「はい」が50.4%、「いいえ」が4.9%となっています。

平成29年度調査と比較すると、「はい」が5.0ポイント高くなっています。

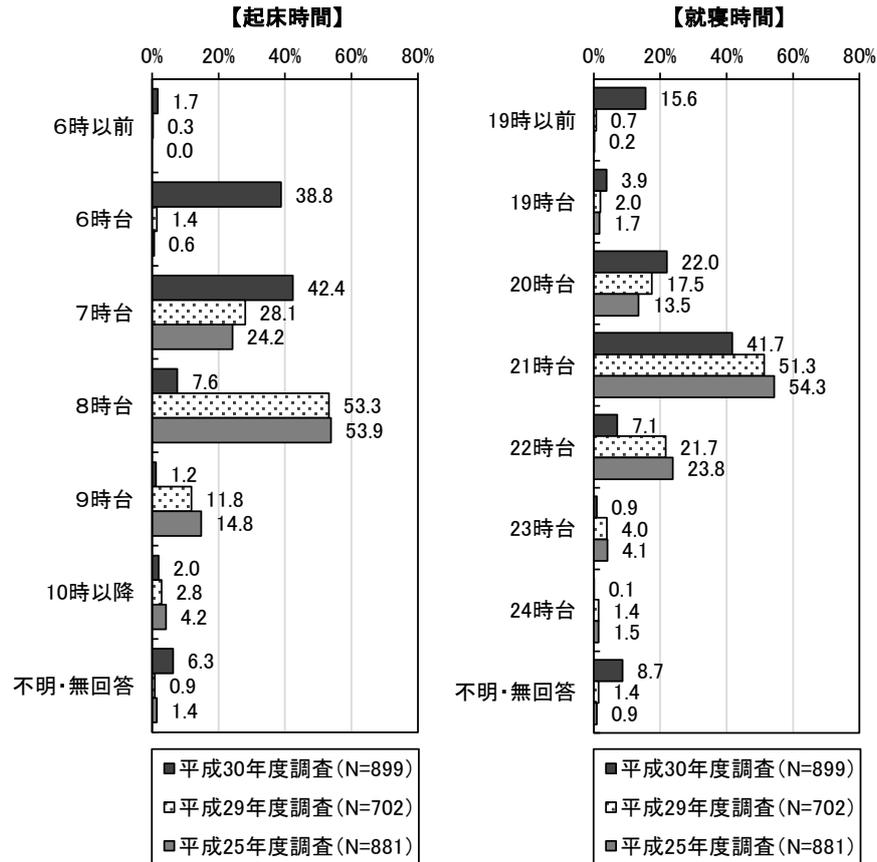


問 32 あて名のお子さんの生活についてうかがいます。（項目ごとに1つだけに○）

①ふだんのお子さんの起床時間、就寝時間は何時頃ですか。（ ）内に数字を24時間制でご記入ください。

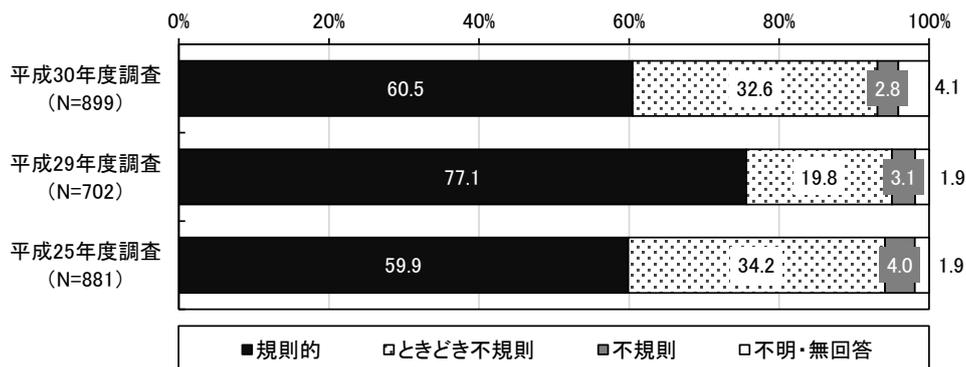
お子さんの起床時間について、「7時台」が42.4%と最も高く、次いで「6時台」が38.8%となっています。就寝時間について、「21時台」が41.7%と最も高く、次いで「20時台」が22.0%となっています。

平成25年度調査及び平成29年度調査と比較すると、お子さんの起床時間が早まっている傾向がみられます。



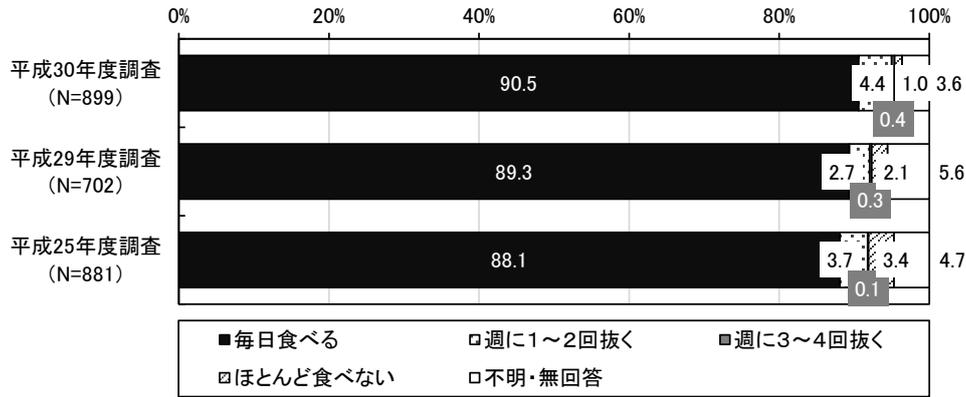
②毎日の食事時間を決めていますか。

食事時間を決めているかについて、「規則的」が60.5%と最も高く、次いで「ときどき不規則」が32.6%となっています。



③お子さんの朝食のとり方はどうですか。

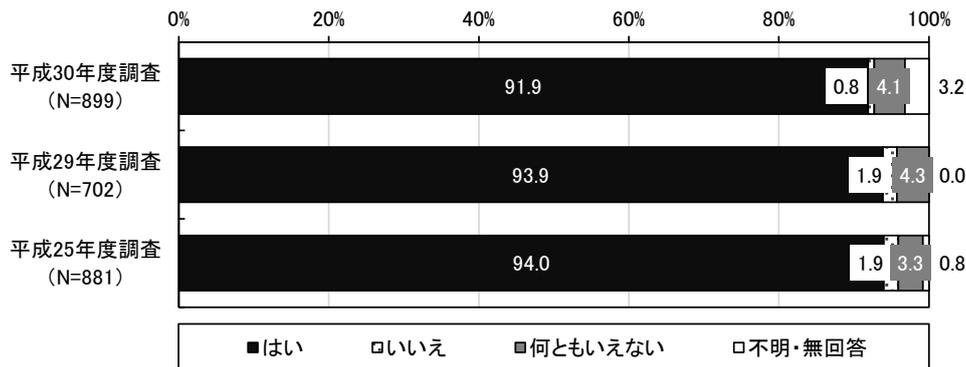
お子さんの朝食のとり方について、「毎日食べる」が90.5%と大半を占めています。



問 33 けがや病気についてうかがいます。(項目ごとに1つだけに○)

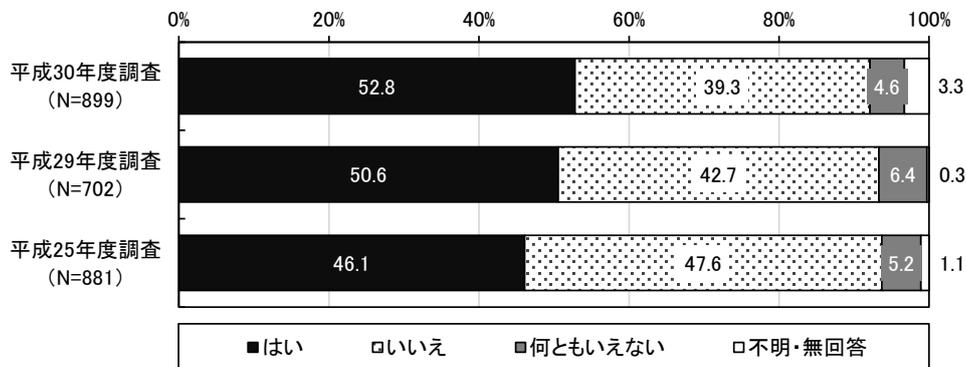
①かかりつけ小児科医はいますか。

かかりつけ小児科医の有無について、「はい」が91.9%と大半を占めています。



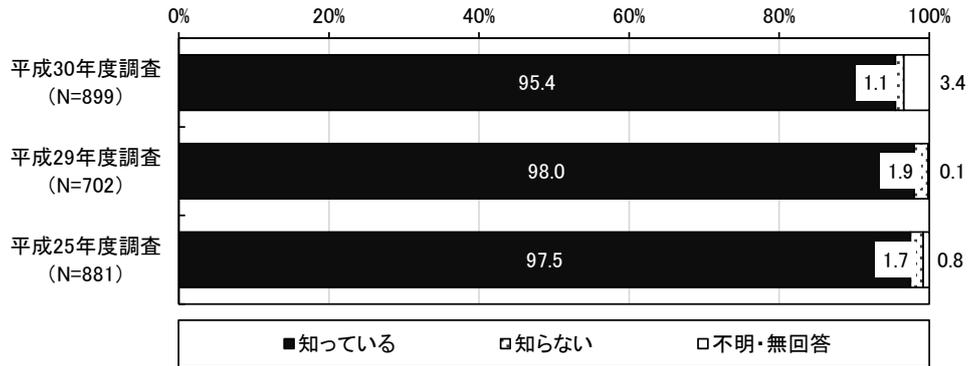
②かかりつけ歯科医はいますか。

かかりつけ歯科医の有無について、「はい」が52.8%、「いいえ」が39.3%となっています。



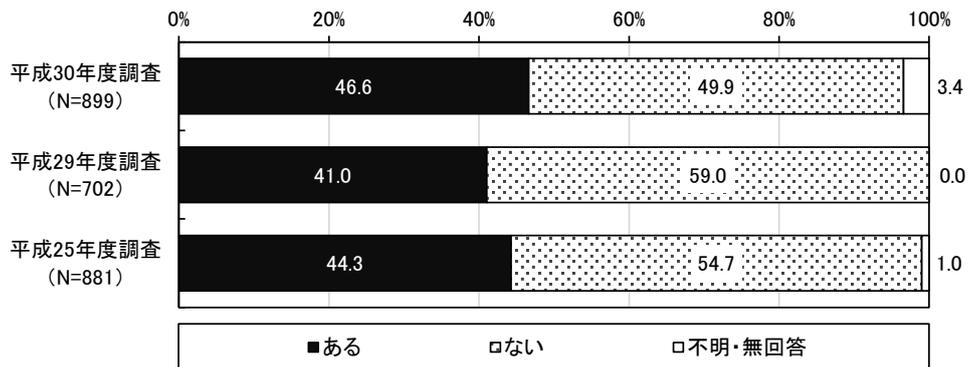
③休日夜間応急診療所をご存知ですか。

休日夜間応急診療所の認知度について、「知っている」が95.4%と大半を占めています。



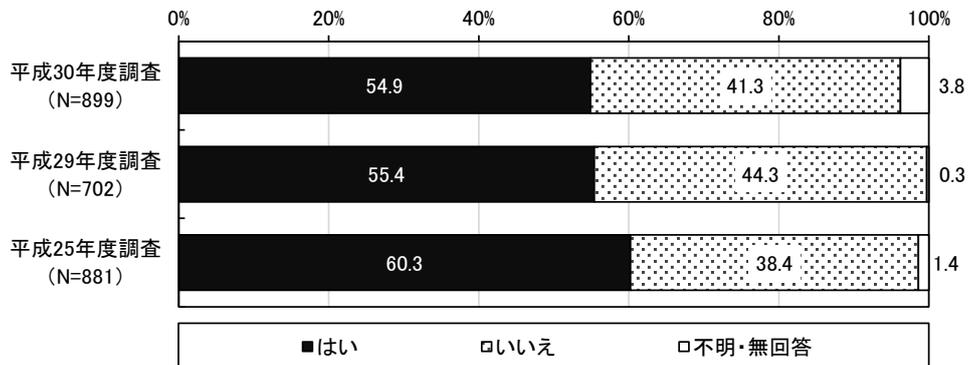
④お子さんは、これまでにけがや事故で医者にかかったことがありますか。

お子さんのけがや事故で医者にかかった経験について、「ある」が46.6%、「ない」が49.9%となっています。



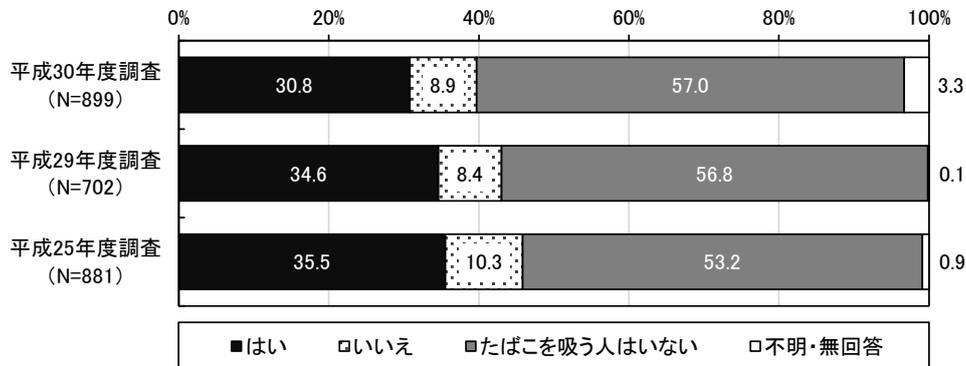
⑤たとえば、風呂場のドアを乳幼児が自分で開けることができないようにするなど、事故防止に工夫をしていますか。

お子さんの事故防止の工夫の有無について、「はい」が54.9%、「いいえ」が41.3%となっています。



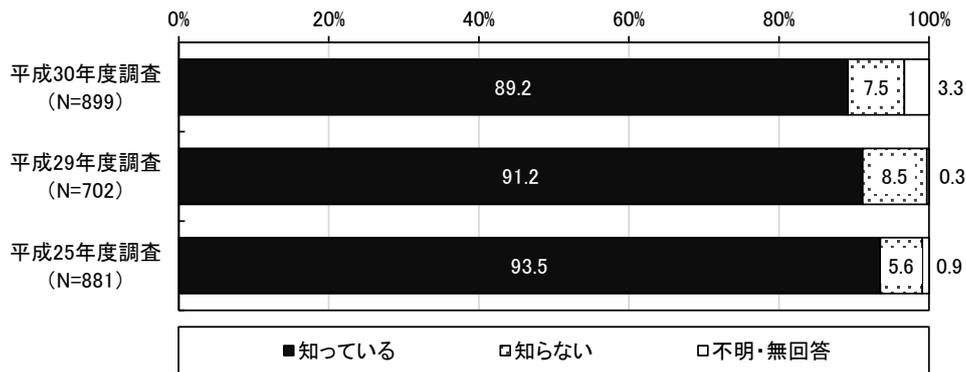
⑥ご家族は、お子さんの前でたばこを吸わないようにしていますか。

お子さんの前での喫煙の有無について、「たばこを吸う人はいない」が 57.0%と最も高く、次いで「はい」が 30.8%となっています。



⑦乳幼児突然死症候群（SIDS）について知っていますか。

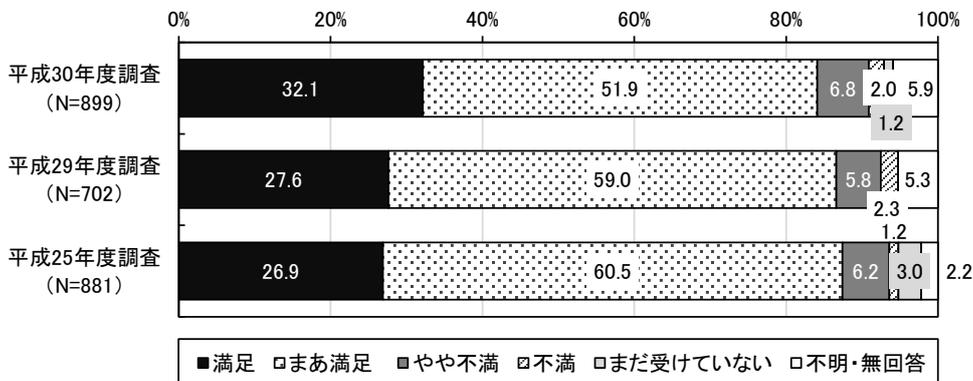
乳幼児突然死症候群（SIDS）の認知度について、「知っている」が 89.2%と大半を占めています。



問 34 乳児健診・幼児健診を受けた時の状況についてうかがいます。

①乳児健診（3か月児、10か月児健康診査）の満足度はいかがですか。（1つだけに○）

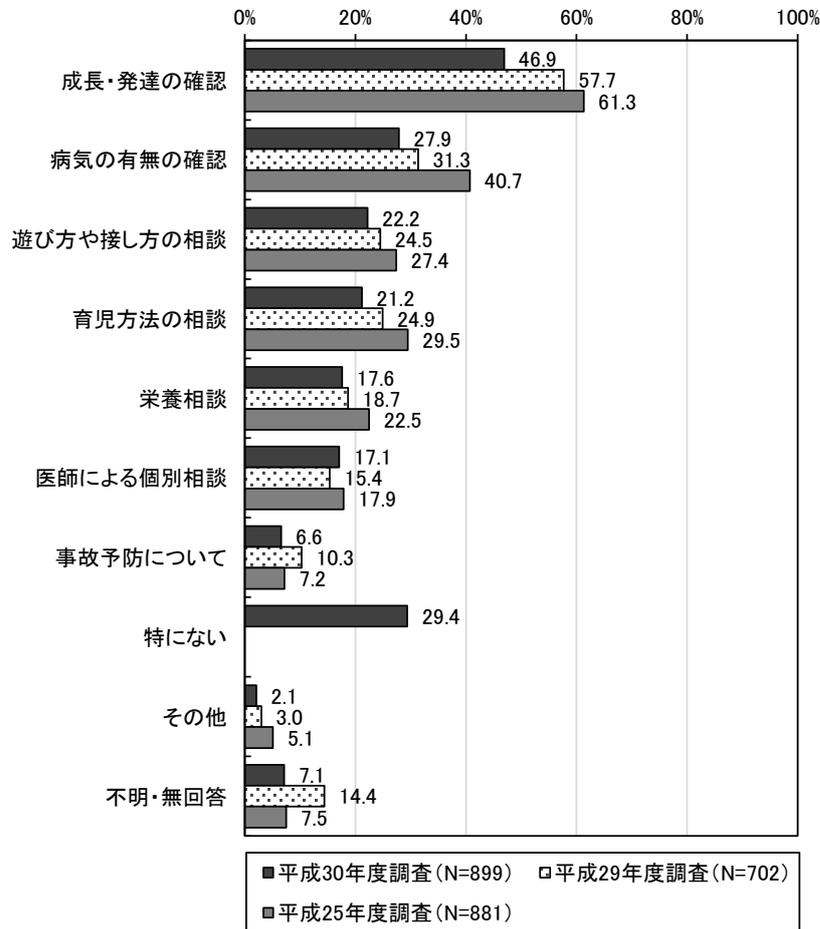
乳児健診の満足度について、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）が 84.0%となっています。



※「まだ受けていない」は平成 30 年度調査、平成 25 年度調査のみの選択肢

②乳児健診（3か月児、10か月児健康診査）で強化してほしいことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

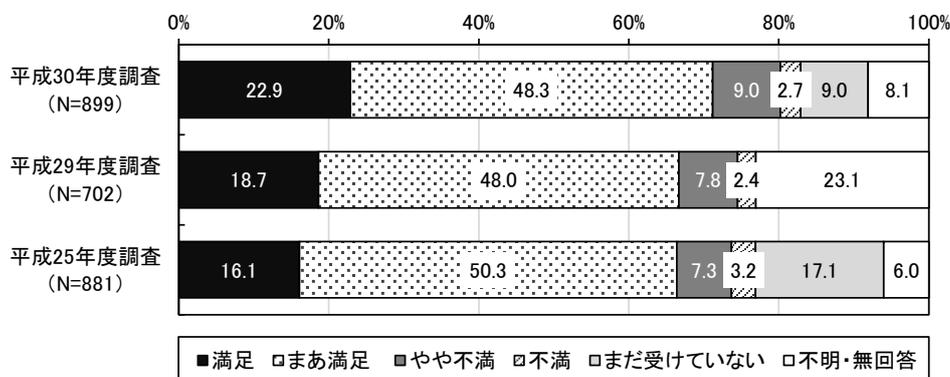
乳児健診で強化してほしいことについて、「成長・発達の確認」が46.9%と最も高く、次いで「特にない」が29.4%、「病気の有無の確認」が27.9%となっています。



※「特にない」は平成30年度調査のみの選択肢

③幼児健診（1歳6か月児、3歳6か月児健康診査）の満足度はいかがですか。（1つだけに○）

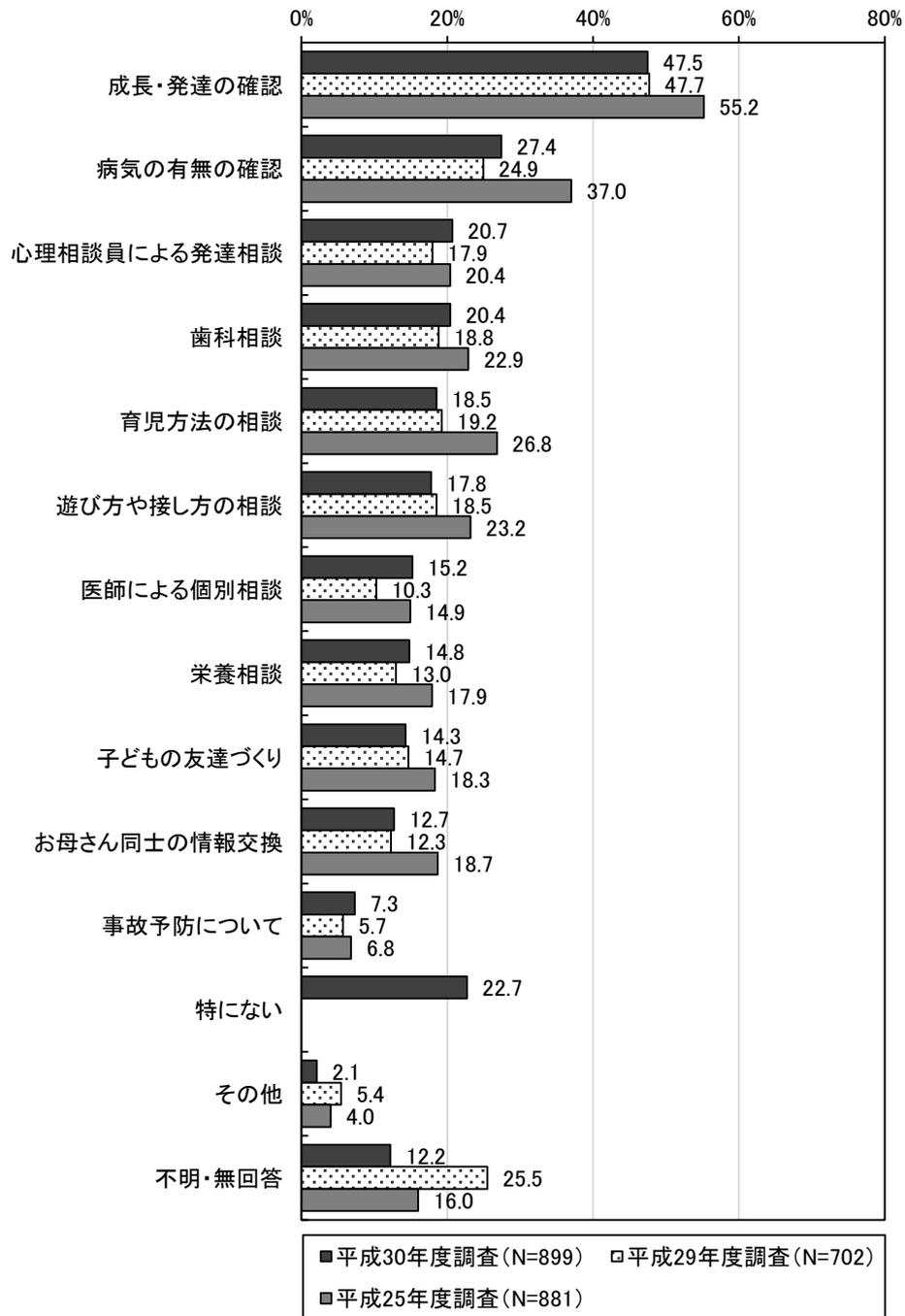
幼児健診の満足度について、『満足』（「満足」と「まあ満足」の合計）が71.2%となっています。



※「まだ受けていない」は平成30年度調査のみの選択肢

④ 幼児健診（1歳6か月児、3歳6か月児健康診査）で強化してほしいことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

幼児健診で強化してほしいことについて、「成長・発達の確認」が47.5%と最も高く、次いで「病気の有無の確認」が27.4%、「特にない」が22.7%となっています。



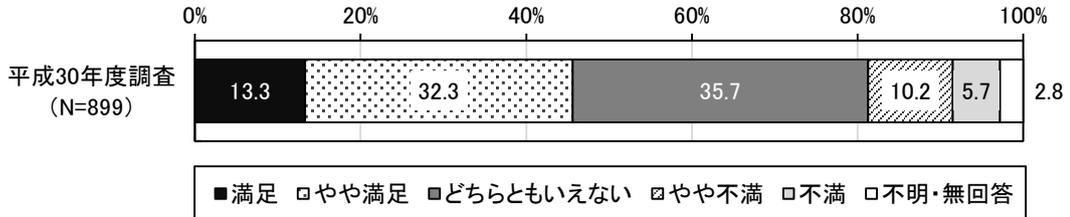
※「特にない」は平成30年度調査のみの選択肢

12 市の子育て支援施策について

問 35 檀原市における子育て環境や子育て支援への満足度についてお答えください。

(1つだけに○)

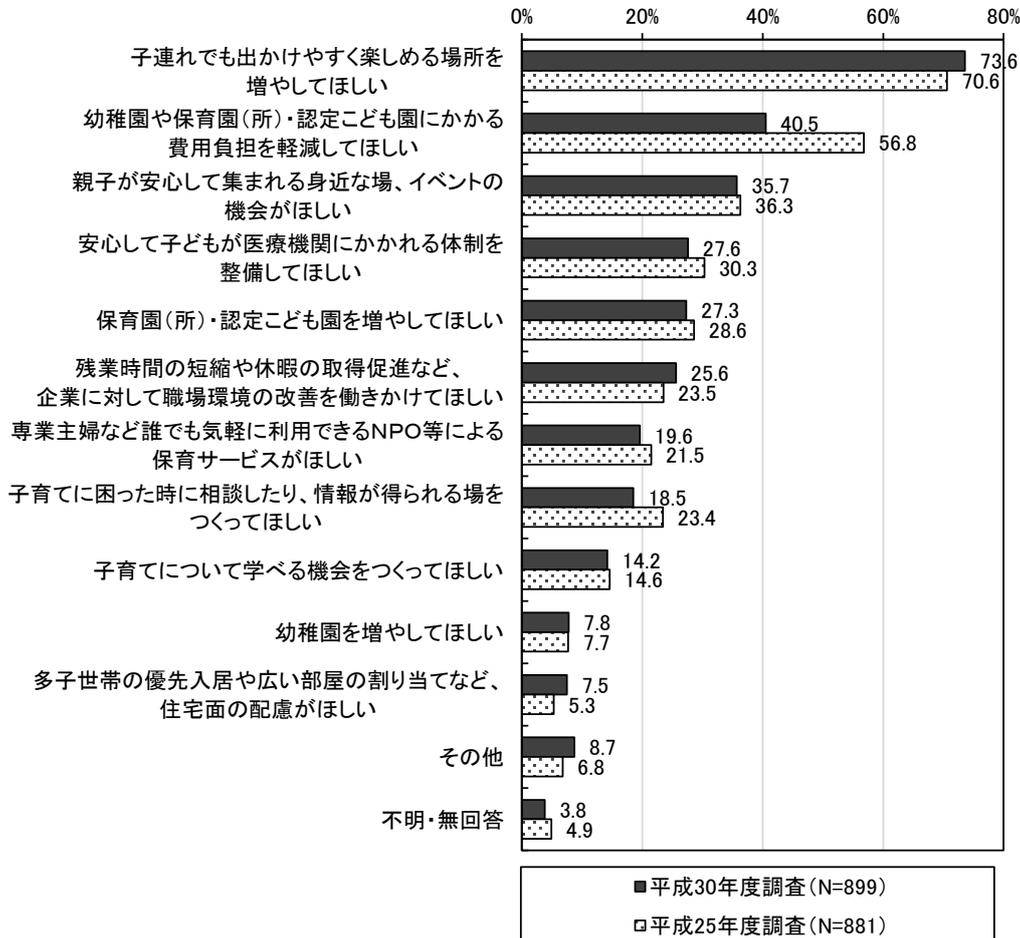
檀原市の子育て環境や子育て支援への満足度について、『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）が45.6%、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）が15.9%となっています。



問 36 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。

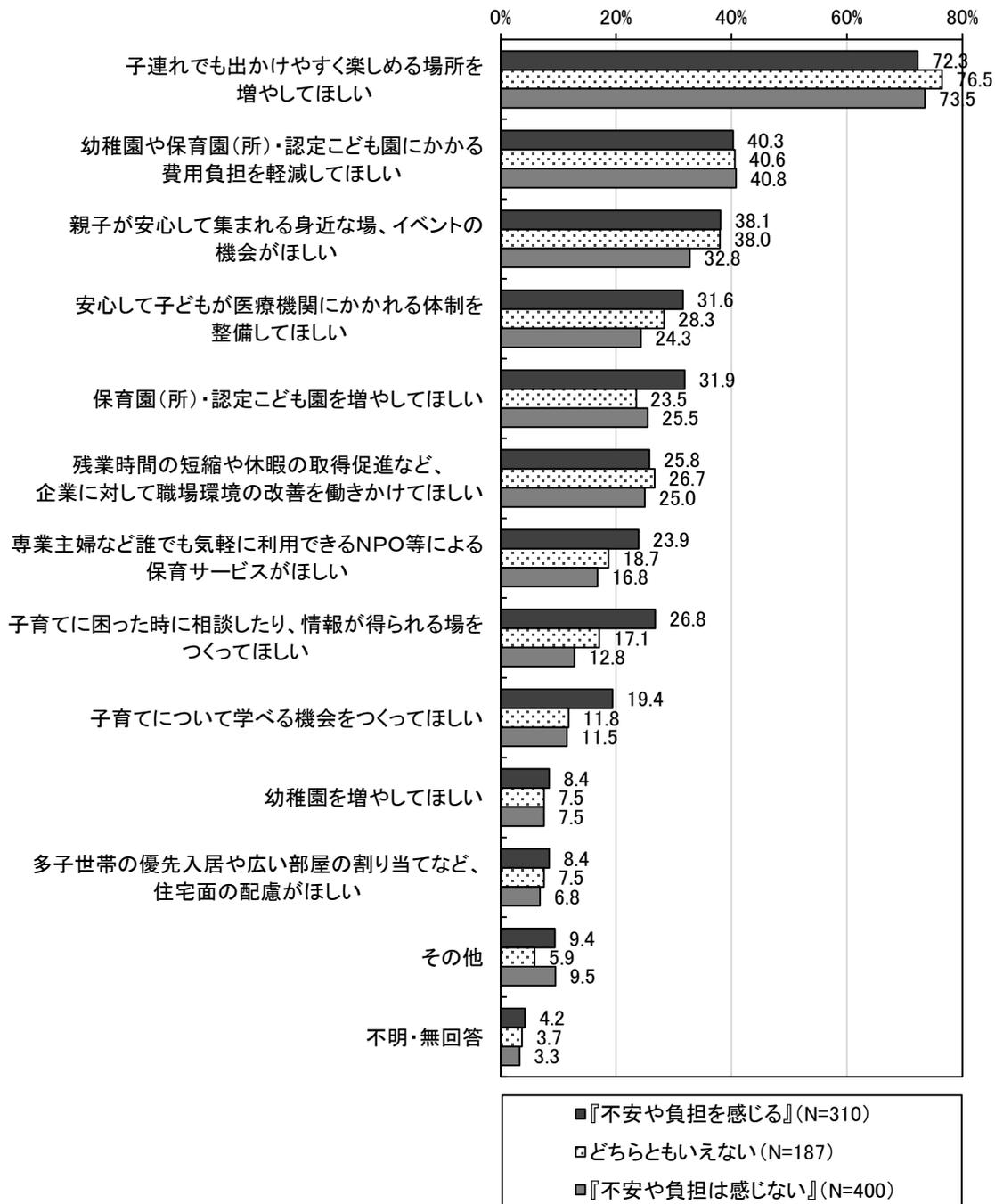
(あてはまるものすべてに○)

充実を図ってほしい市の子育て支援について、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が73.6%と最も高く、次いで「幼稚園や保育園（所）・認定こども園にかかる費用負担を軽減してほしい」が40.5%、「親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい」が35.7%となっています。



◇問 36 充実してほしい市の子育て支援 × 問 9 子育てに関する不安・負担感

充実を図ってほしい市の子育て支援について、子育てに関する不安・負担感別にみると「子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場をつくってほしい」において【『不安や負担は感じない』（「あまり不安や負担は感じない」と「まったく不安や負担を感じない」の合計）】よりも【『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計）】が 14.0 ポイント高くなっています。



問 37 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

(1) 保育・子育てに関すること

内 容	件数
こども広場について(駐車場が遠い、駐車・駐輪料金がかかる、駐輪場がほしい、土日イベントを開催してほしい、一時預かりの時間・料金の見直しなど)	24
放課後児童クラブについて(保護者負担の軽減、市による運営を希望、保育内容の充実、利用時間の延長、施設や定員を増やしてほしい、長期休暇のみの利用もできるようにしてほしいなど)	23
保育園(所)の数を増やしてほしい、定員の拡大、待機児童の解消など	21
保育園(所)のサービスの充実・改善(休日保育の実施、保育時間の延長、卒園後～小学校入学までの保育の実施、給食やおやつ改善など)	18
病児・病後児保育の充実(増設、受け入れ開始時間の見直し、送迎対応など)	12
一時預かりの充実(予約方法の見直し、いざという時にすぐに利用できる体制整備、気軽に利用できるなど)	12
親子で参加できるイベントや親子が集まれる場所の充実	11
子育て支援センターについて(土日祝の開放、遠い、先生を増やしてほしい、対象年齢の拡大など)	11
檀原市は子育てしにくい、子育て支援が充実していない	11
保育士の確保、質の向上、処遇改善	11
こども園について(数を増やしてほしい、3年保育の導入、幼稚園をこども園にしてほしいなど)	10
保育園(所)の入所条件の見直し(求職中も入所できるようにしてほしい、専業主婦でも多子世帯は入所できるようにしてほしいなど)	9
希望する時期に希望の保育園(所)に入れるようにしてほしい、自宅近くの保育園(所)に通えるようにしてほしいなど	8
障がいのある子どもやその家族に対する支援の充実(発達支援センターの充実・サポート体制・連携など)	8
幼稚園の預かり保育の充実(預かり時間の延長、長期休暇中の実施など)	7
交流の場、機会の充実(共働き家庭・多胎児家庭・母子家庭等の集いの場、子育て中の母親の孤立防止など)	5
預かりサービスの充実(土日祝や長期休業中も利用できる、気軽に利用できるなど)	5
共働き家庭、祖父母が遠方に住んでいるなど頼れる人がいないことを前提とした支援をしてほしい	5
保護者が子どもの発達や子育て等について学ぶ機会の充実	4
子どもを産み育てやすい環境づくりをしてほしい	3
保育園(所)の行事や参観日を土曜日にしてほしい、小学校の行事と重ならないようにしてほしいなど	3
就学前のみならず、就学後の支援も充実させてほしい	3
幼稚園・保育園(所)の地域交流(園庭開放など)	2
子育てサークルの充実	2
ファミリー・サポート・センター事業について(送迎も対応してほしいなど)	2
父親の子育てに対する意識改革、子育てへの関わりの促進	2
子育てに関する公共施設を一か所に集約してほしい	1

(2) 教育に関すること

内 容	件数
(公立)幼稚園へ3年保育の導入	54
(公立)幼稚園のサービスの充実または改善(給食の導入、駐車場の整備、通園バスの導入など)	6
(公立)幼稚園の在籍園児数が減少している。存続できるか心配	5
幼稚園での保護者負担の軽減(役員、お弁当の回数など)	5
教育、保育に関わる先生の質の向上、負担軽減、処遇改善など	4
幼稚園のカリキュラムの充実(英語、文字の読み書き)	1
紫外線対策としてタレ付き帽子を市内幼、保、小で取り入れてほしい	1

(3) 保健・医療に関すること

内 容	件数
妊婦健診・乳幼児健診・母子保健事業の充実(土日の実施、相談しやすい環境づくり、健診の時間短縮、健診に医師が来てほしいなど)	9
夜間・休日医療の充実	6
病院の充実(小児科の充実など)	6
妊娠・出産に対するサポート体制(陣痛タクシーの24時間対応、出産後の家事サービスなど)	2
感染症者用の入院施設の整備	1
小児歯科に関する情報や歯科の相談ができる場所がほしい	1

(4) 経済的負担に関すること

内 容	件数
医療福祉の充実について(医療費の無料化、予防接種費用の助成、医療機関での支払いを一部負担金のみにしてほしいなど)	35
保育料について(負担が大きい、保育料を下げしてほしい、軽減措置について年齢の上限をなくしてほしいなど)	13
多子世帯への支援・援助の充実	8
教育に対する支援について(進学、習い事に対する経済的支援など)	6
ひとり親家庭への支援(入所の優遇措置、児童扶養手当の所得制限の見直しなど)	4
児童手当の充実(増額、対象年齢の引き上げなど)	4
私立幼稚園就園奨励費補助金の所得制限をなくしてほしい	1
市営、県営の有料施設は小学校入学まで無料にしてほしい	1

(5) 遊びの環境に関すること

内 容	件数
公園や広場がほしい(子どもがのびのび遊べる、球技ができる公園、遊具の充実、身近な場所にほしい、小さな子どもでも安心して遊べる、安全対策など)	50
天候に左右されない遊び場、室内遊びができる場所の充実	12
公園の維持管理(犬や猫のフン対策、遊具の点検、雑草の管理など)	9
図書館、児童館・児童センターの充実(図書館の蔵書の充実、移動図書館の導入、児童館を増やしてほしい、土日でも利用できるようにしてほしいなど)	7
公園に駐車場やカフェがほしい	5

(6) 生活環境に関すること

内 容	件数
仕事と子育ての両立支援や働き方について	13
歩道や道路の整備(歩道がない場所や狭いところが多く危険、信号機やカーブミラーの設置、ベビーカーが押しづらいなど)	10
通学路の安全確保について(交通量が多い、危険箇所への対策、登下校時の見守りなど)	8
子育て世代に魅力のあるまちづくり(子連れで利用しやすい施設、設備の充実、衣食住の充実など)	8
地域住民との関わりについて(地域で子どもを見守る体制、子育てへの地域住民の理解、子ども食堂、世代間交流の場など)	7
公共施設の整備、改修、バリアフリー化	3
保護者のリフレッシュや学びの場(習い事、講座等)の充実	2
公共交通について(交通の便を良くしてほしい)	1
受動喫煙対策について	1
駐車場、月極駐車場を増やしてほしい	1

(7) 相談・情報提供や行政に関すること

内 容	件数
市が実施している子育てサービスや教育保育施設等に関する情報提供、広報活動	15
市職員の意識改革、質の向上、窓口対応の改善など	7
子育てについて気軽に相談できる場所の充実(相談場所についての情報発信、専門家による子育て相談・サポート、相談者の気持ちに寄り添った対応など)	5
住みたいまちや人口が増えている自治体等の研究が必要	1

(8) 小学校に関すること

内 容	件数
校区について(選択できるようにしてほしい、見直してほしい)	5
学校設備の充実(エアコンの設置、トイレの整備、耐震化など)	5
学校教育の充実(少人数制、カリキュラムの充実・見直しなど)	5
学校の役員、PTA 活動について(PTA 活動の見直し、負担軽減など)	3
放課後や休日の学校の開放(遊びの場、学習支援の場の充実、地域交流など)	1
核家族・共働き家庭の子どもが安全・安心に学校生活を送れるシステムづくり(子どもが学校で体調不良になった時や警報発令時などの対処の改善)	1
小学校と中学校の連携強化	1
小学校の通学靴を自由にしてほしい	1
給食について(低アレルゲンメニューの取り入れ)	1

(9) その他

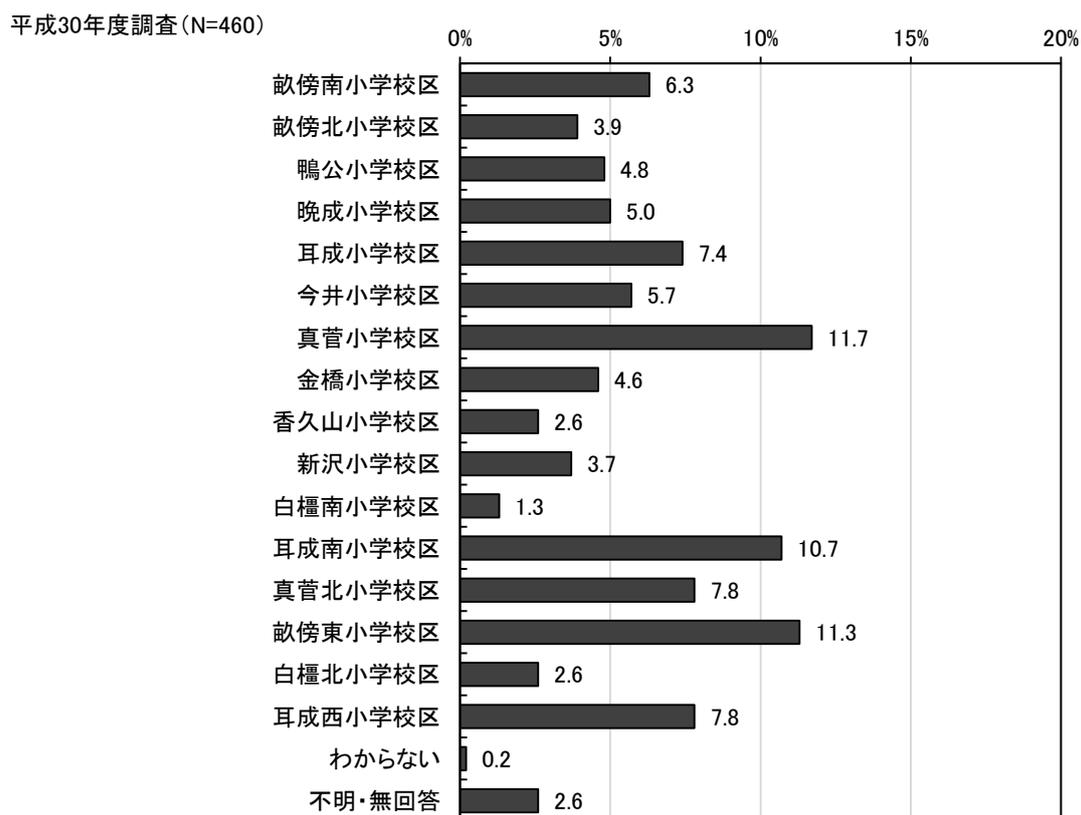
内 容	件数
アンケートについて(結果を生かしてほしい、アンケートで何か変わるのか、回答期限が短い、設問が多い、内容が難しいなど)	20
その他	5

Ⅲ. 就学児童調査結果

1 お子さんご家族の状況について

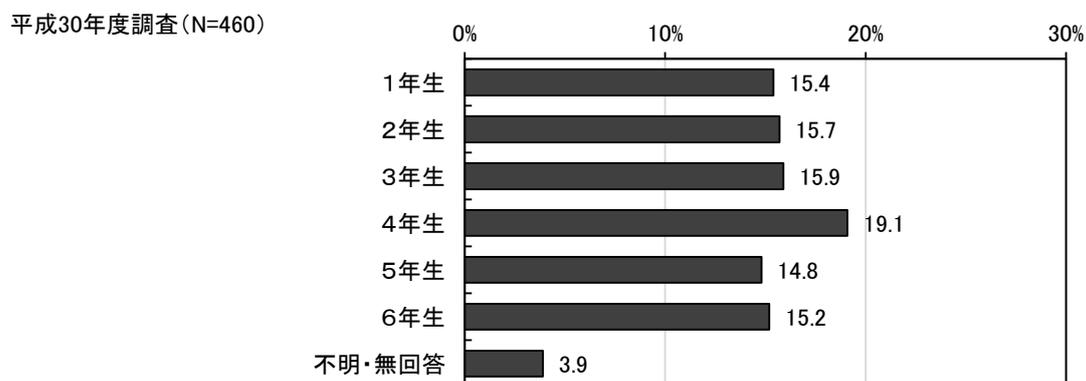
問1 お住まいの小学校区はどこですか。分からない場合は町名を（ ）内にご記入ください。
(1つだけに○)

小学校区別・年齢別の人口分布に沿ってアンケートを配布したところ、回答者のお住まいの小学校区は以下の内訳となりました。



問2 あて名のお子さんの生年月と学年をご記入ください。

小学校区別・年齢別の人口分布に沿ってアンケートを配布したところ、回答者のお子さんの学年は以下の内訳となりました。

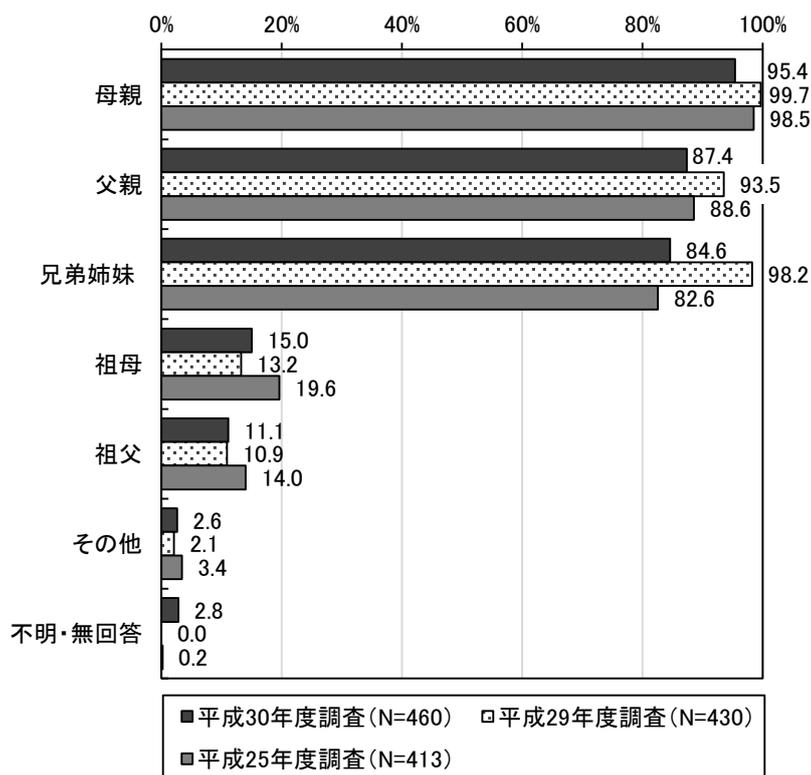


問3 あて名のお子さんと同居されている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

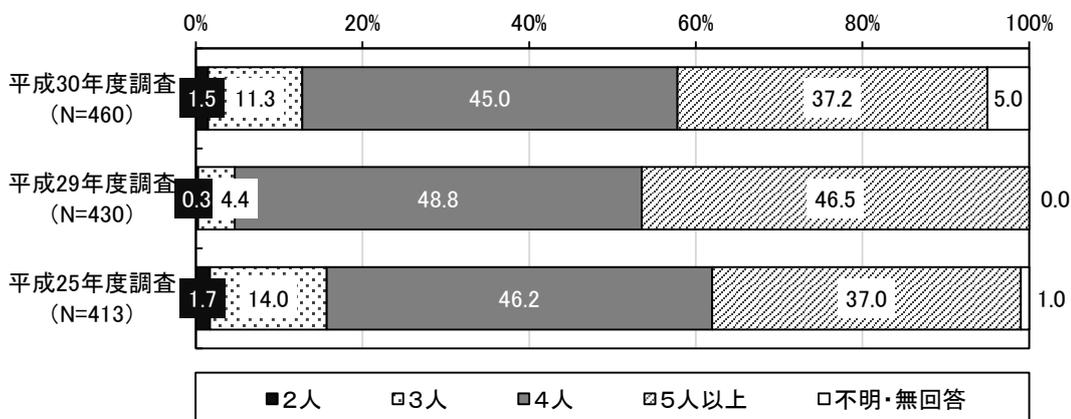
また、同居している家族全員（ご両親とお子さんを含む）の人数を（ ）内にご記入ください。

同居者について、「母親」が95.4%と最も高く、次いで「父親」が87.4%、「兄弟姉妹」が84.6%となっています。

また、同居している家族全員の人数については、「4人」が45.0%と最も高く、次いで「5人以上」が37.2%となっています。



同居している家族全員（ご両親とお子さんを含む）の人数

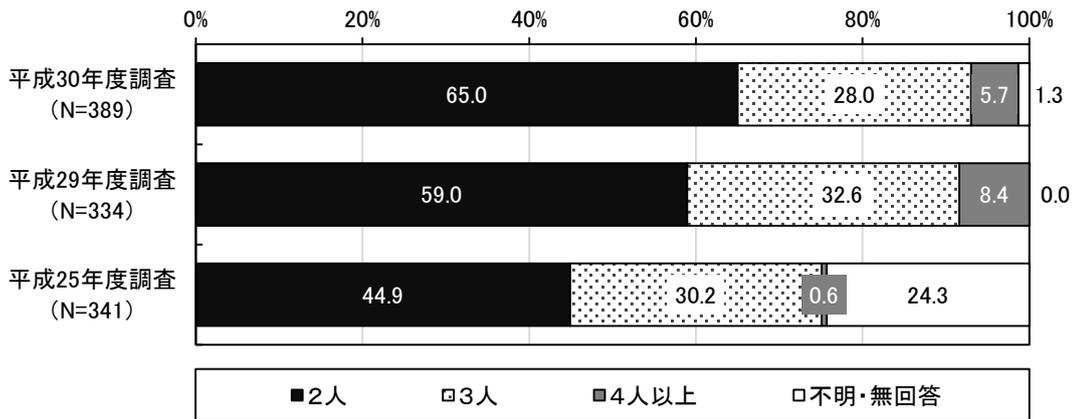


問3で「兄弟姉妹」に○をつけた方にかがいます。

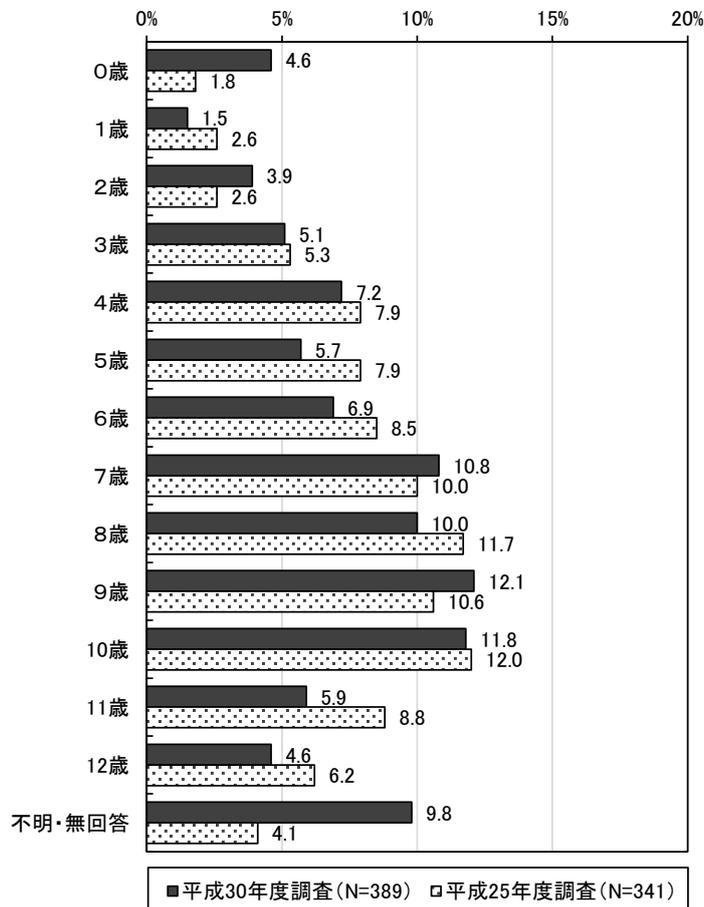
問3-1 あて名のお子さんの兄弟姉妹は何人いますか。あて名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。また、一番下のお子さんの生年月を()内にご記入ください。

お子さんの兄弟姉妹について、「2人」が65.0%と最も高く、次いで「3人」が28.0%となっています。

一番下のお子さんの年齢については、「9歳」が12.1%と最も高く、次いで「10歳」が11.8%となっています。



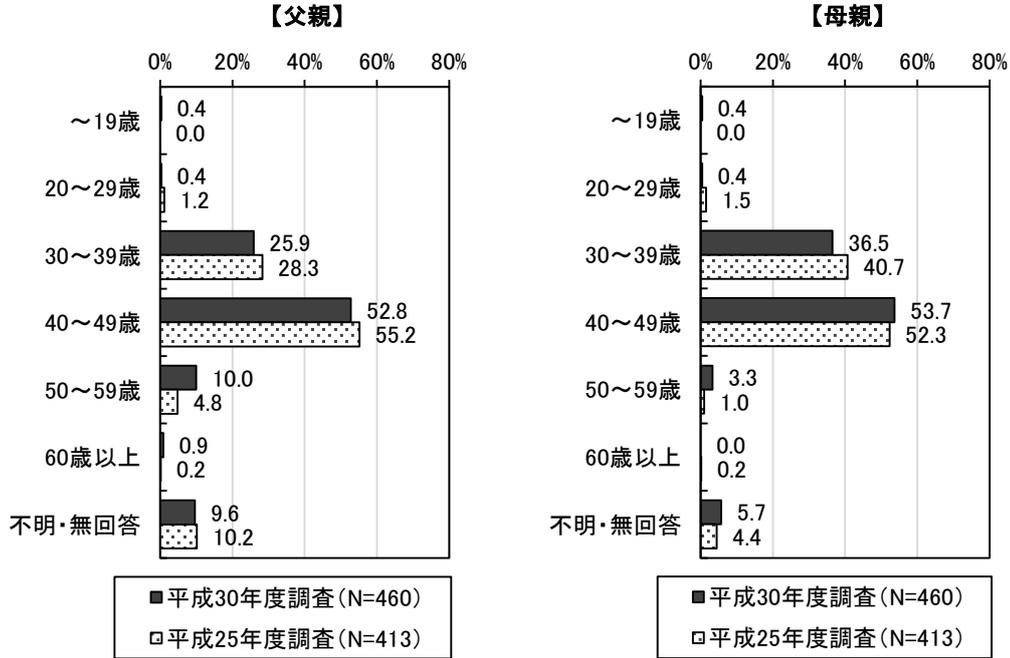
■一番下の子の年齢



問4 あて名のお子さんのご両親の年齢はどれですか。(それぞれ1つだけに○)

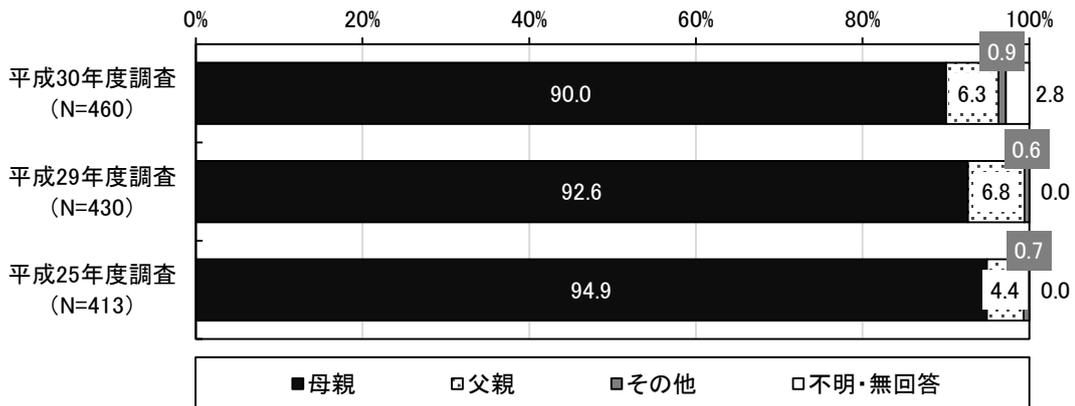
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。

両親の年齢について、父母ともに「40～49歳」が52.8%、53.7%と最も高く、次いで「30～39歳」が25.9%、36.5%となっています。



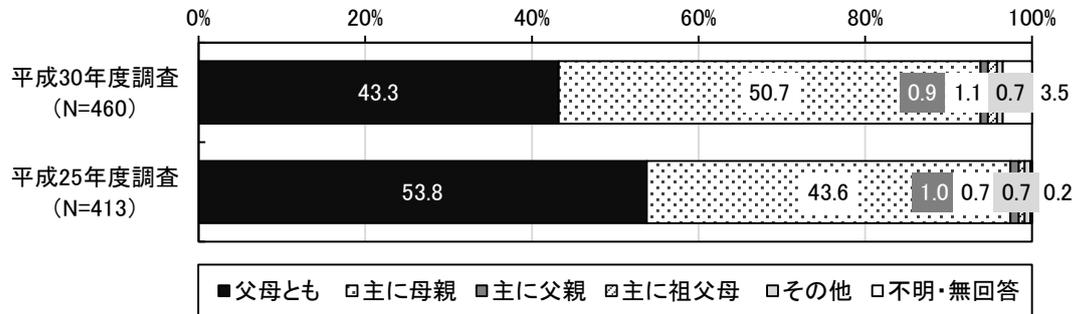
問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つだけに○)

回答者について、「母親」が90.0%と最も高く、次いで「父親」が6.3%となっています。



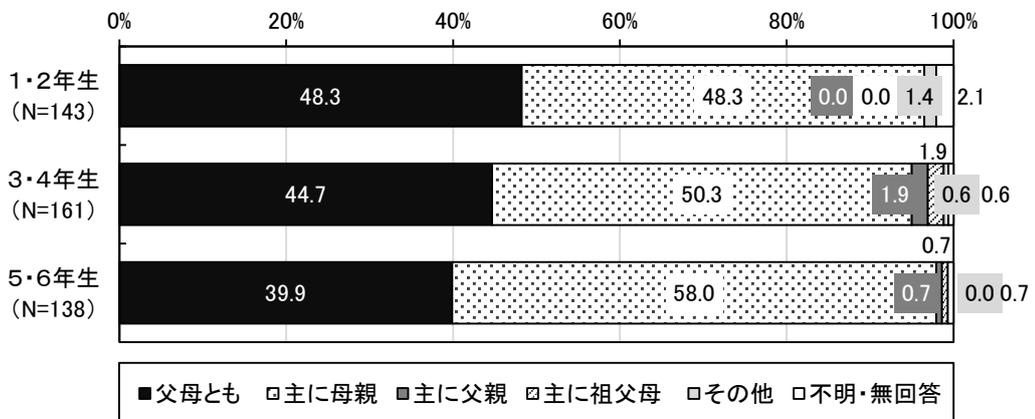
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（1つだけに○）

子育て（教育を含む）を主に行っている方について、「主に母親」が50.7%と最も高く、次いで「父母とも」が43.3%となっています。



◇問6 子育て（教育を含む）を主に行っている方 × 問2 子どもの学年別

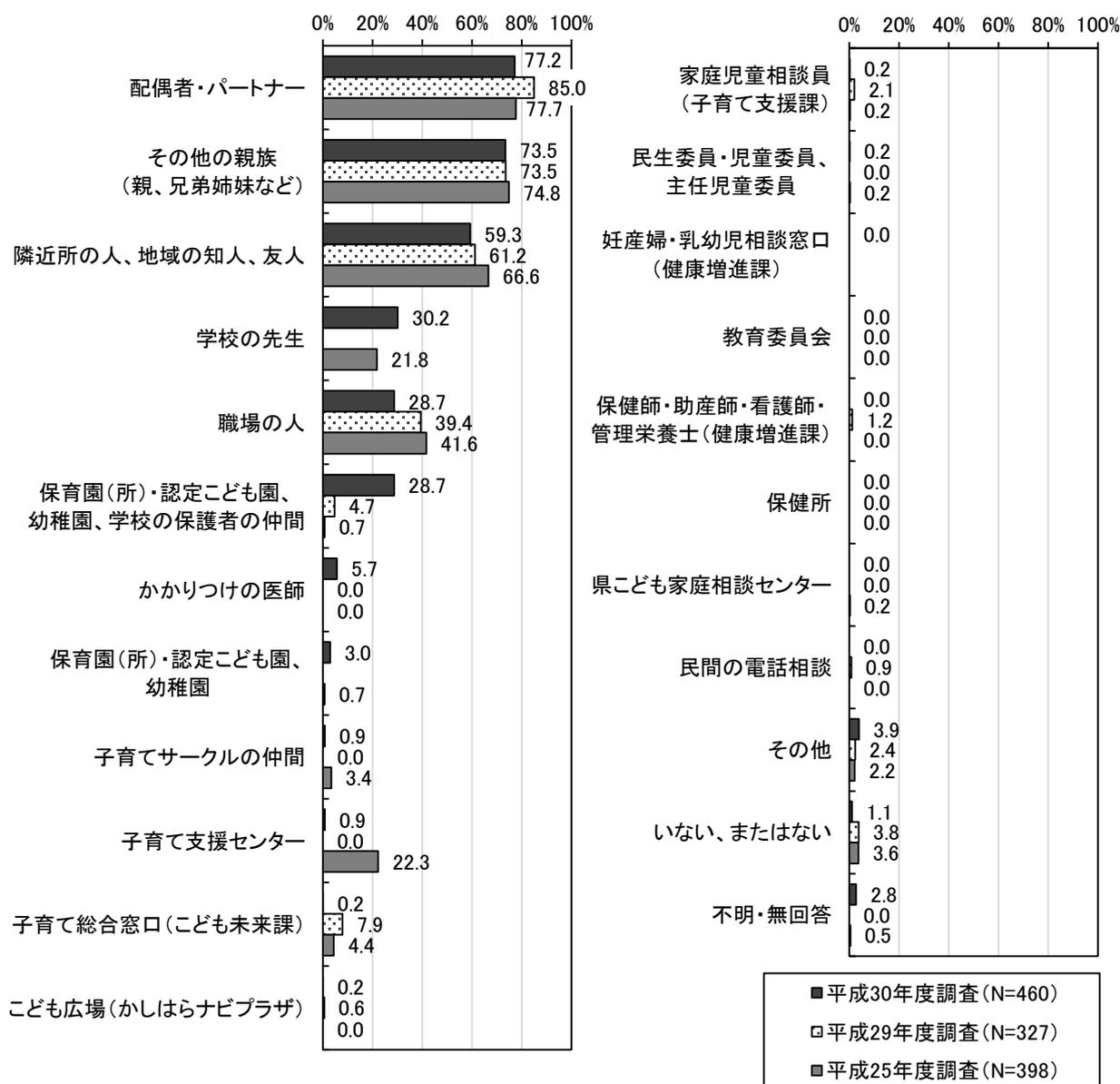
子育て（教育を含む）を主に行っている方について、子どもの学年別にみると「主に母親」において学年が上がるに連れて高くなっており、【1・2年生】よりも【5・6年生】が9.7ポイント高くなっています。



2 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる人や場所などは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

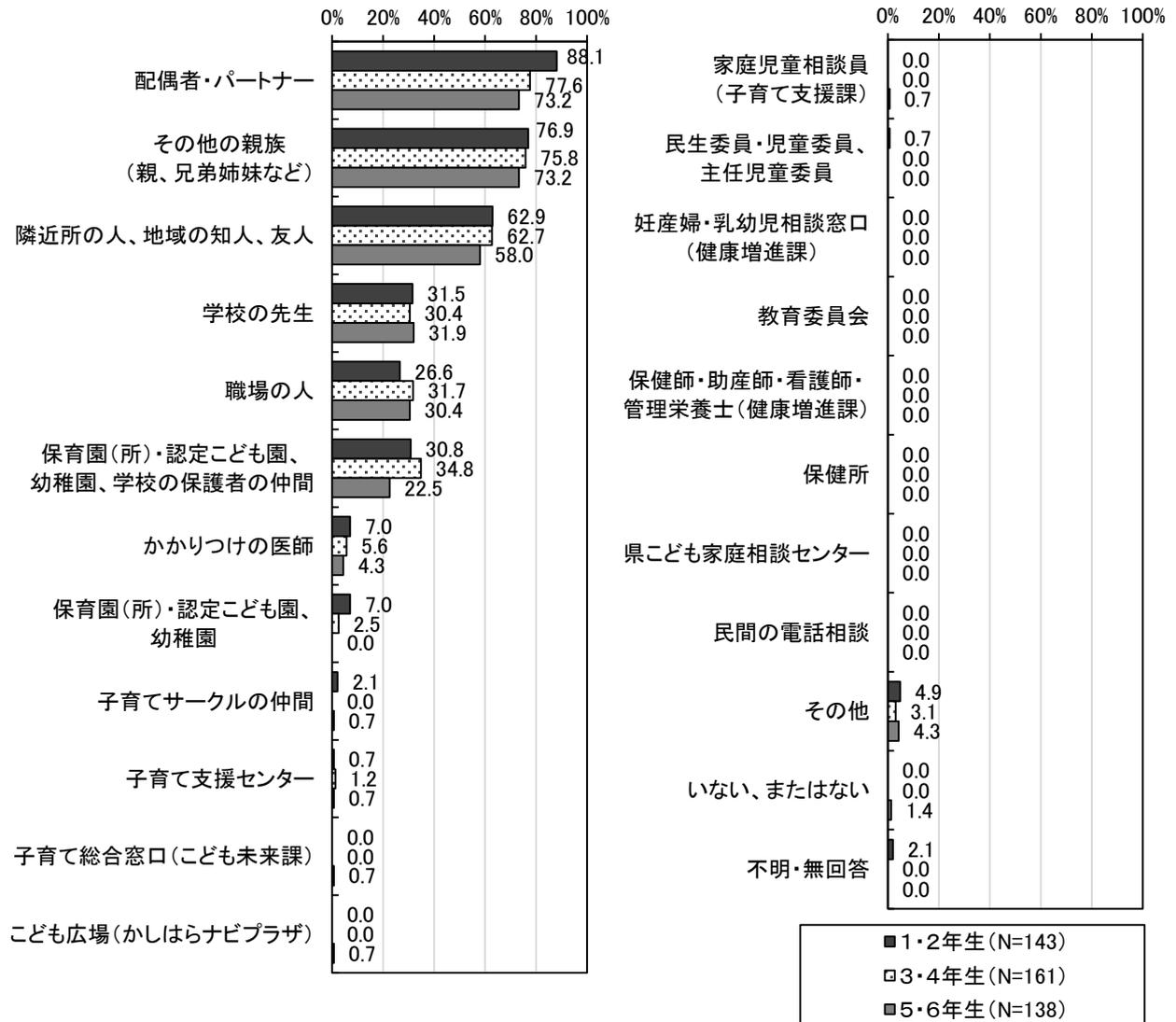
子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人や場所などについて、「配偶者」が77.2%と最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」が73.5%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が59.3%となっています。



※「妊産婦・乳幼児相談窓口（健康増進課）」は平成30年度調査のみの選択肢

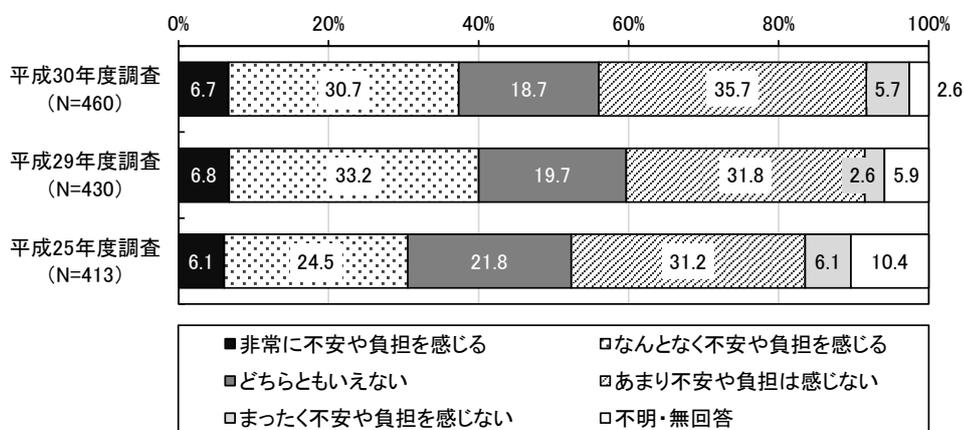
◇問7 子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人や場所 × 問2 子どもの学年別

子育て（教育を含む）について気軽に相談できる人や場所について、子どもの学年別にみると「配偶者・パートナー」において【5・6年生】よりも【1・2年生】が14.9ポイント高くなっています。



**問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、不安や負担などを感じていますか。
（1つだけに○）**

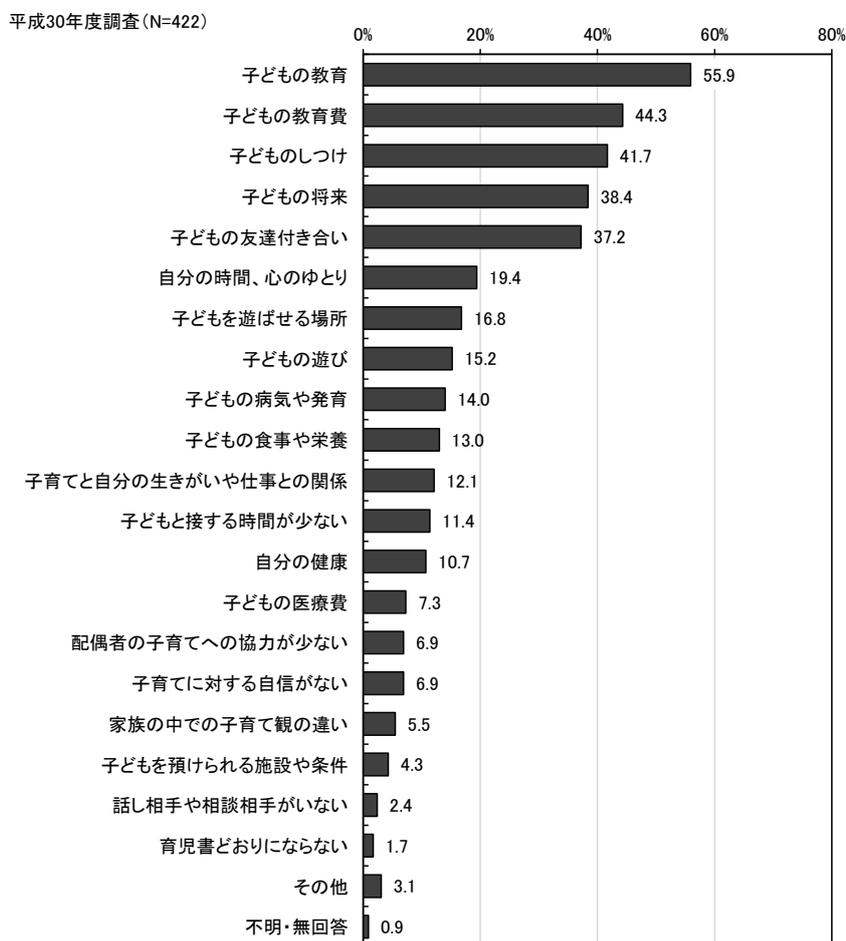
子育て（教育を含む）に関する不安や負担感などについて、「あまり不安や負担は感じない」が35.7%と最も高く、次いで「なんとなく不安や負担を感じる」が30.7%となっています。



問8で「まったく不安や負担を感じない」以外に○をつけた方にうかがいます。

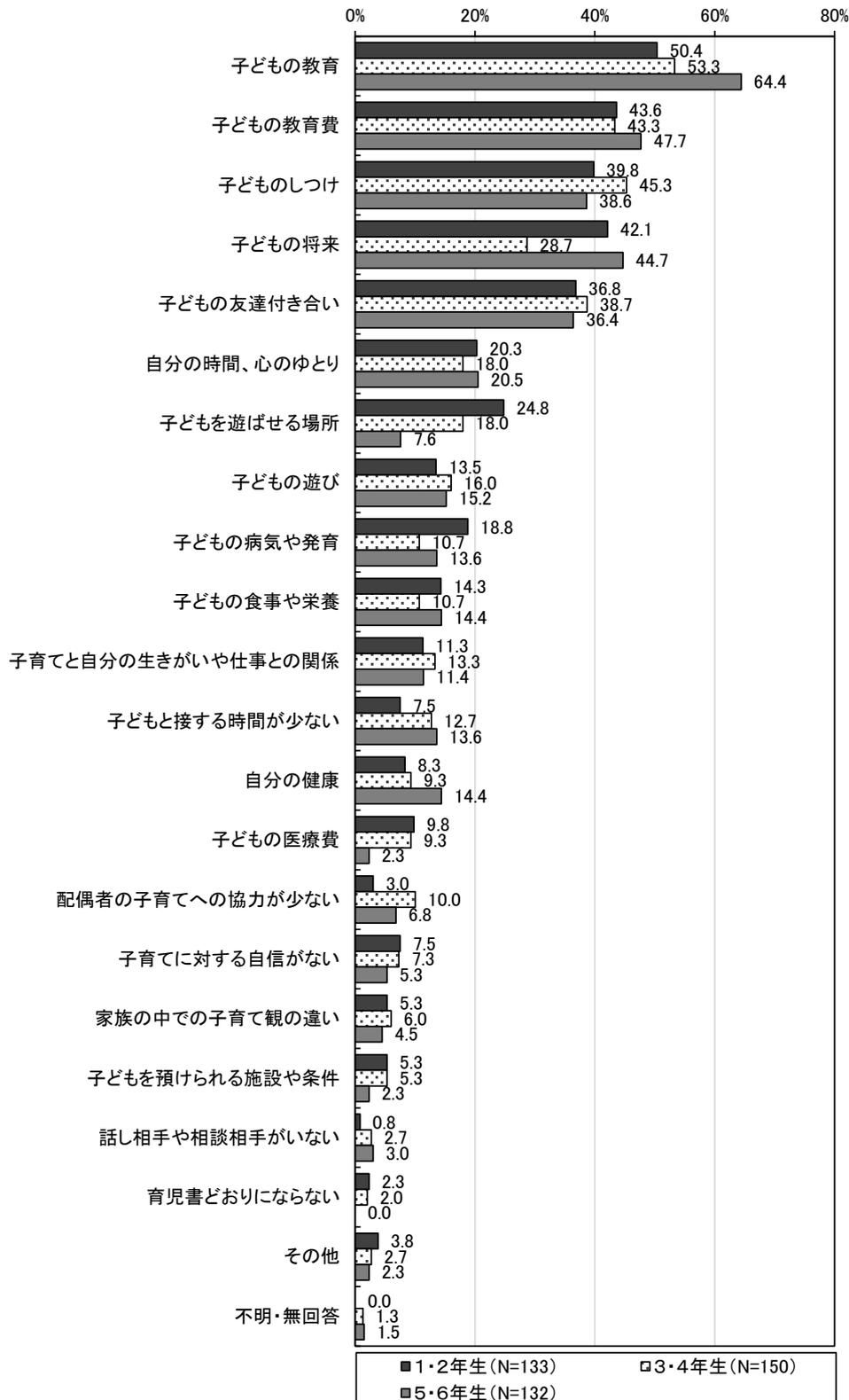
**問8-1 子育て（教育を含む）に関する不安や負担の主な内容をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）**

子育て（教育を含む）に関する不安や負担の主な内容について、「子どもの教育」が55.9%と最も高く、次いで「子どもの教育費」が44.3%、「子どものしつけ」が41.7%となっています。



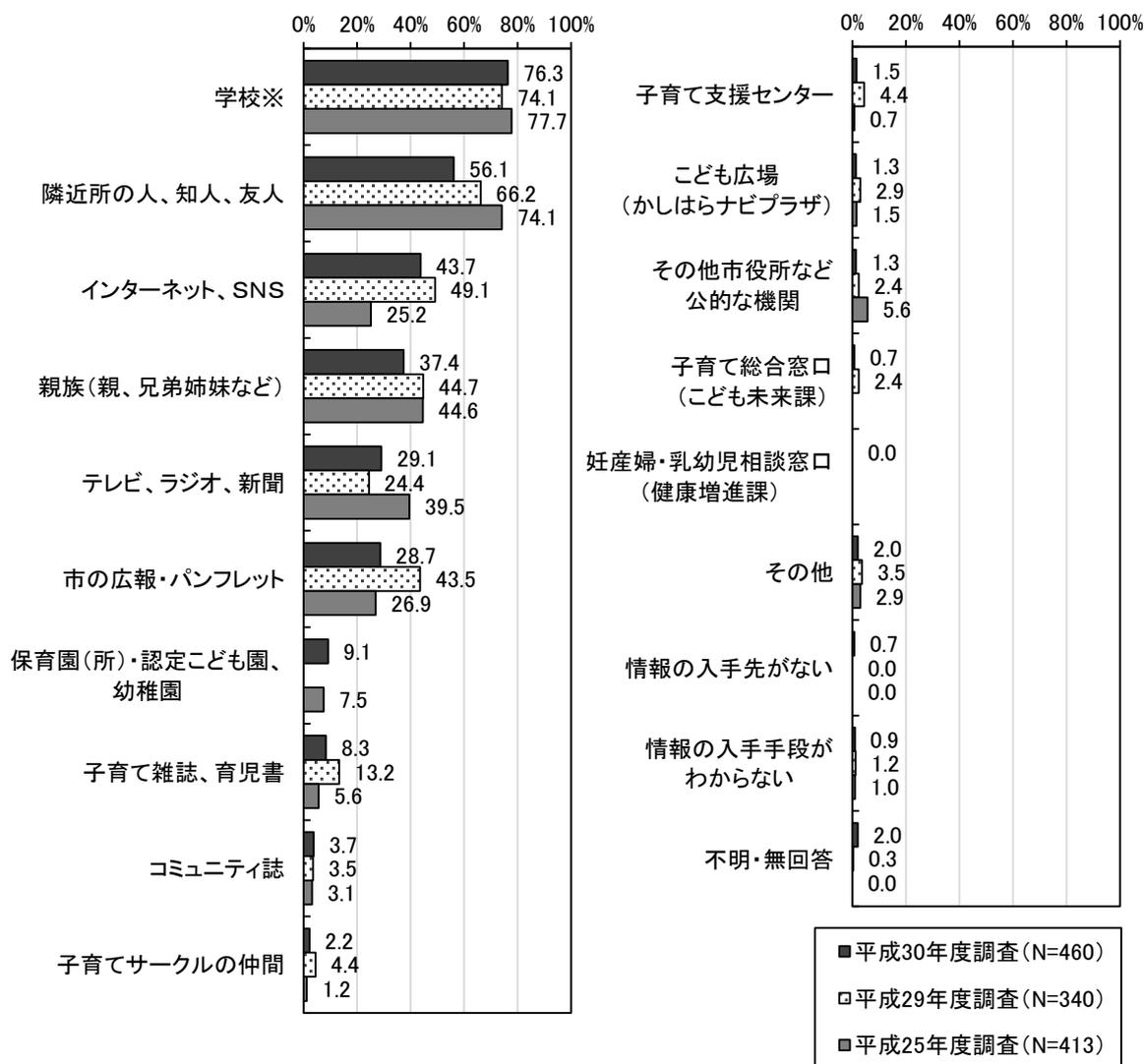
◇問8-1 子育て（教育を含む）に関する不安や負担の主な内容 × 問2 子どもの学年別

子育て（教育を含む）に関する不安や負担の主な内容について、子どもの学年別にみると「子どもの教育」において【1・2年生】よりも【5・6年生】が14.0ポイント高くなっている一方、「子どもを遊ばせる場所」において【5・6年生】よりも【1・2年生】が17.2ポイント高くなっています。



問9 子育て（教育を含む）に関する情報をどのようなところから入手されていますか。
（あてはまるものすべてに○）

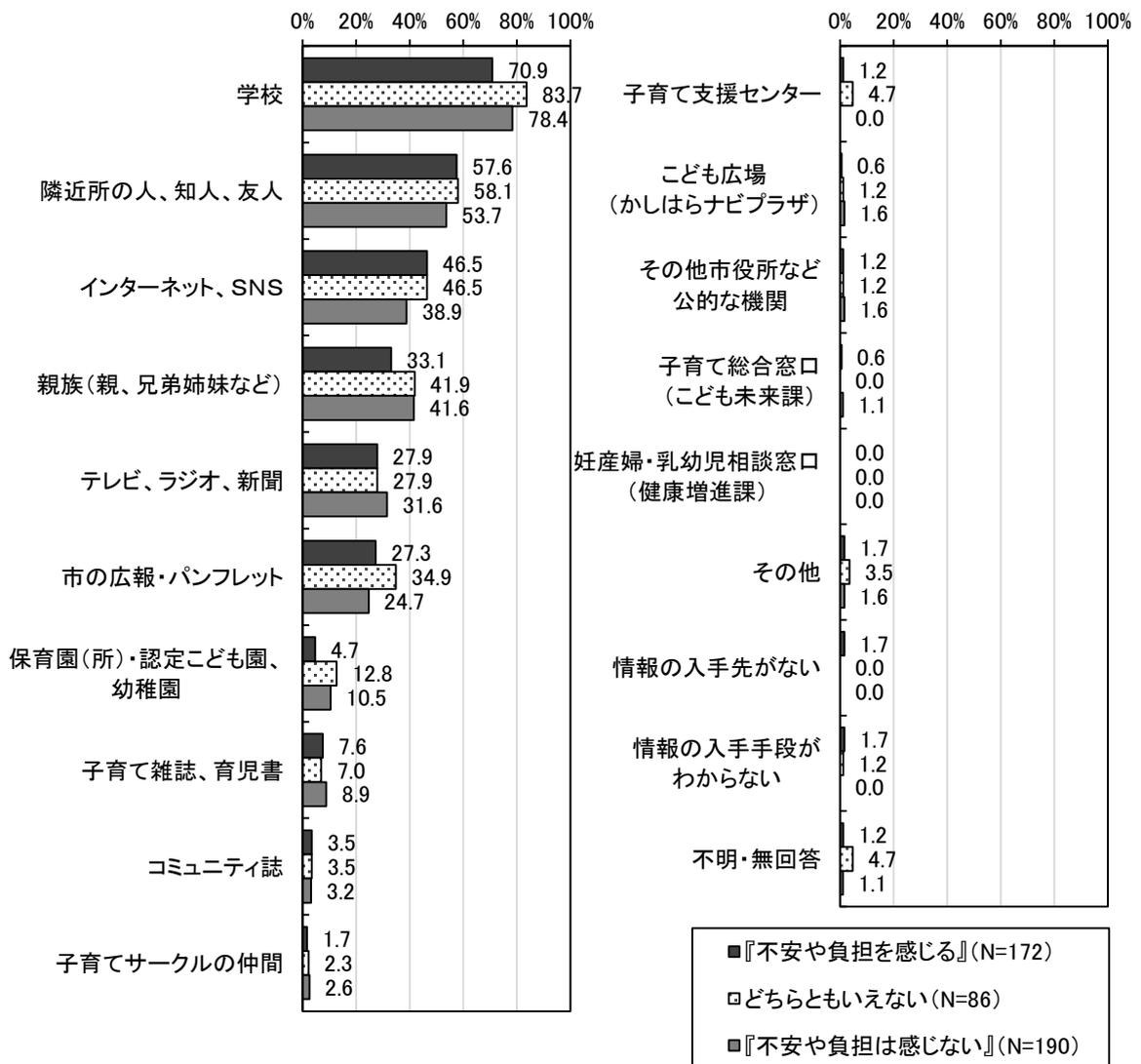
子育て（教育を含む）に関する情報の入手先について、「学校」が76.3%と最も高く、次いで「隣近所の人、友人、知人」が56.1%、「インターネット、SNS」が43.7%となっています。



※平成29年度では「保育所（園）、幼稚園、認定こども園、学校」

◇問9 子育て（教育を含む）に関する情報の入手先 × 問8 子育てに関する不安・負担感

子育て（教育を含む）に関する情報の入手先について、子育てに関する不安・負担感別にみると「学校」において【『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計）】よりも【『不安や負担は感じない（「あまり不安や負担は感じない」と「まったく不安や負担を感じない」の合計）】が7.5ポイント高くなっています。

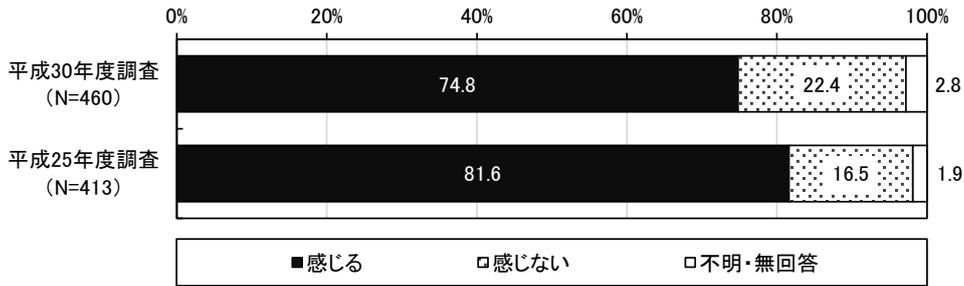


問 10 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。（1つだけに○）

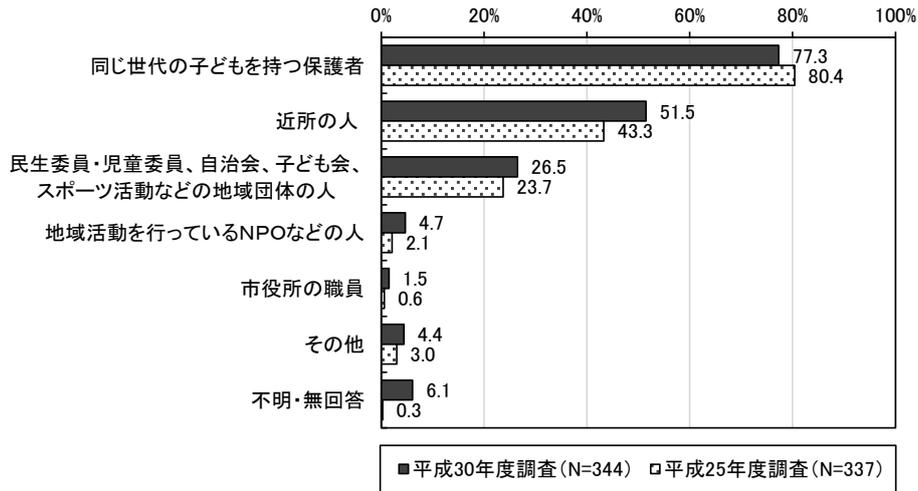
感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。（あてはまるものすべてに○）

子育てが地域の人に支えられていると感じるかについて、「感じる」が74.8%、「感じない」が22.4%となっています。

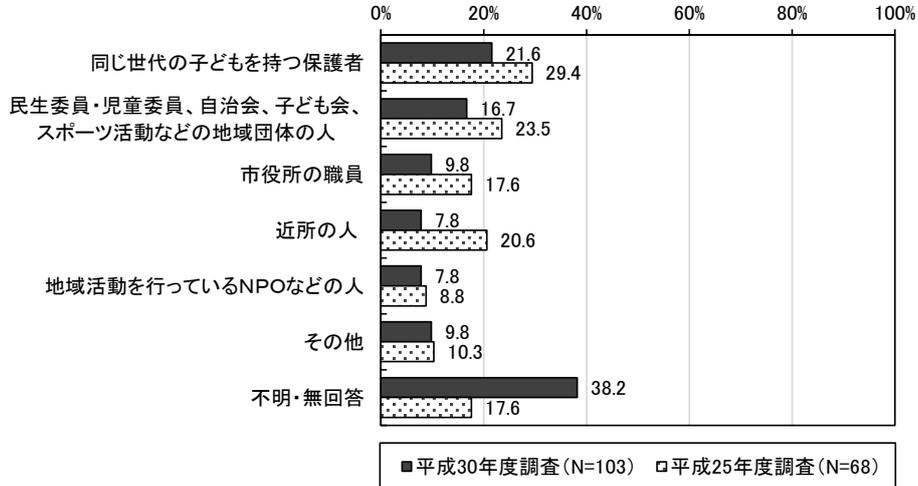
また、支えてくれる人、支えてほしい人ともに、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が77.3%、21.6%と最も高く、次いで支えてくれる人は、「近所の人」が51.5%、支えてほしい人は「民生委員・児童委員、自治会、子ども会、スポーツ活動などの地域団体の人」が16.7%となっています。



■支えてくれる人



■支えてほしい人



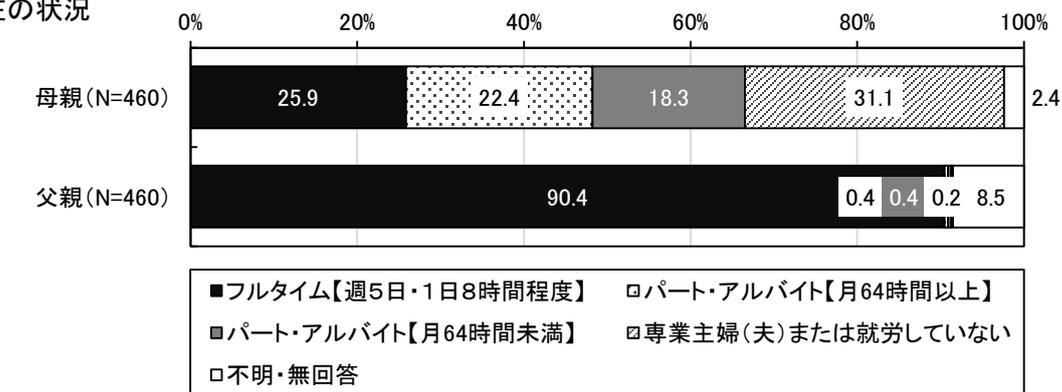
3 保護者の就労状況について

問 11 あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、①現在の状況と、②1年以内の実現の見込みをお答えください。（1～3の選択肢には、産休・育休・介護休業中も含まれます。）（母親・父親それぞれ1つに○）

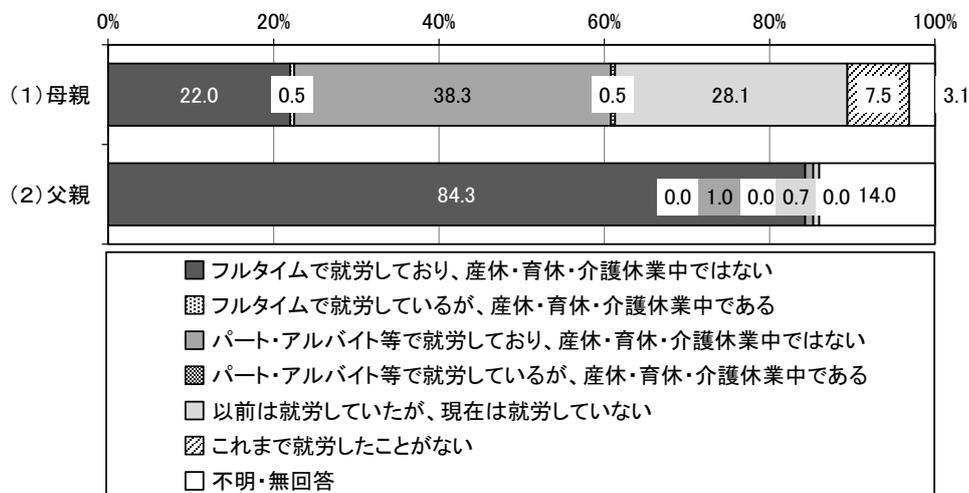
保護者の就労状況について、現在「フルタイム【週5日・1日8時間程度】」または「パート・アルバイト【月64時間以上】」「パート・アルバイト【月64時間未満】」により就労していると回答された方は、母親では66.6%、父親では91.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、母親の61.3%、父親の85.3%と比べ、微増傾向がみられます。

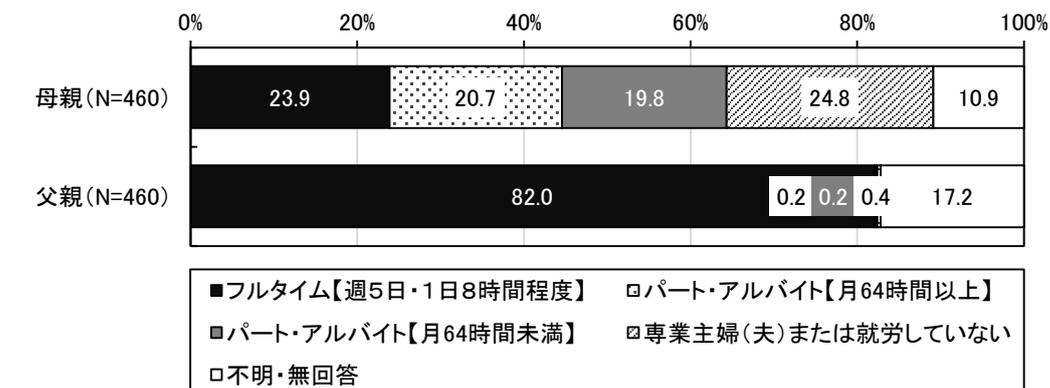
①現在の状況



前回調査 (N=881)



②1年以内の見込み



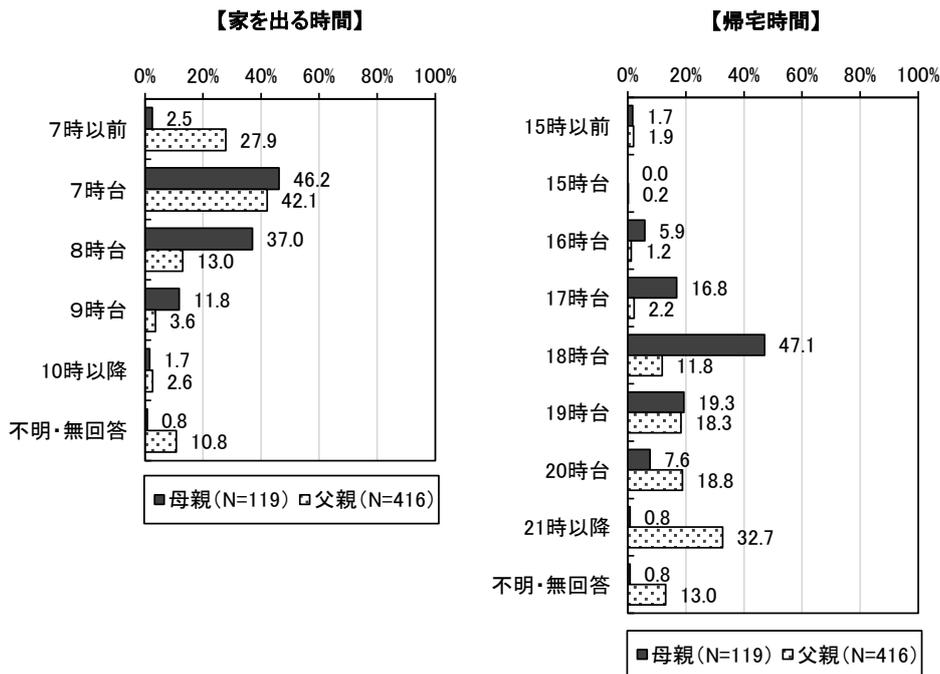
問 11①で「フルタイムまたはパート・アルバイト」に○をつけた方にうかがいます。

問 11-1 家を出る時間と帰宅時間について、() 内に数字を 24 時間制でご記入ください。

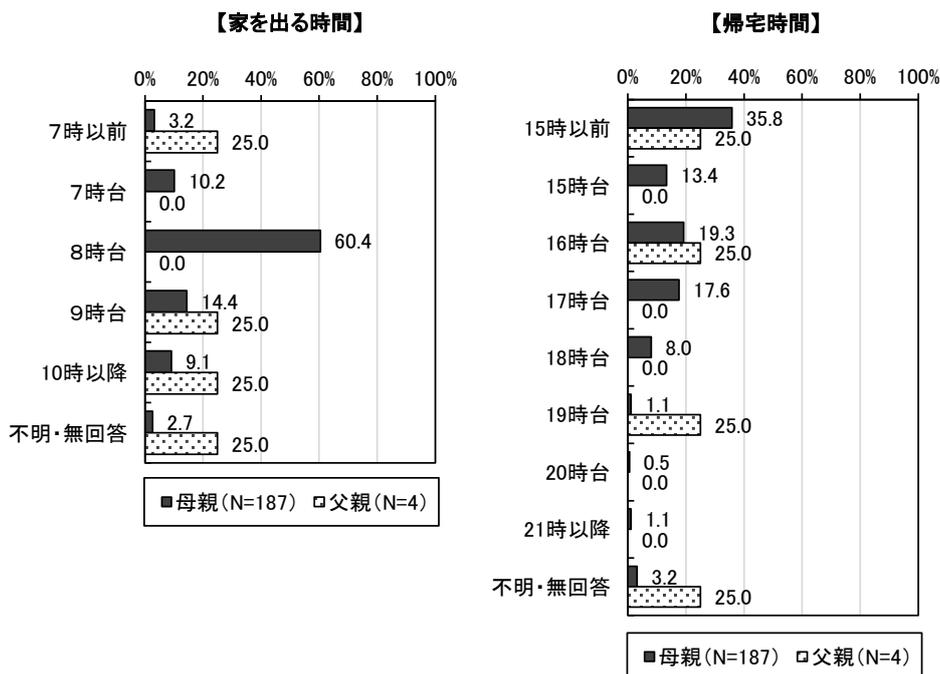
フルタイムは、家を出る時間について、父母ともに「7時台」が最も高く、次いで母親は「8時台」、父親は「7時以前」となっています。帰宅時間については、母親は「18時台」、父親は「21時以降」が最も高くなっています。

パート・アルバイトの母親は、家を出る時間については「8時台」、帰宅時間については「15時以前」が最も高くなっています。

■ 【フルタイム】 家を出る時間・帰宅時間



■ 【パートタイム、アルバイト】 家を出る時間・帰宅時間

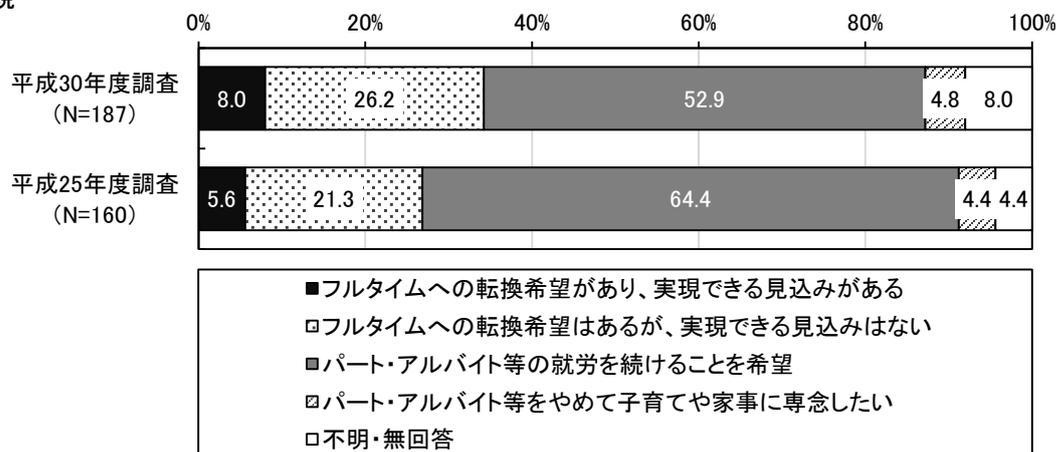


問 11①で「パート・アルバイト」に○をつけた方にうかがいます。

問 11-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(母親・父親それぞれ1つに○)

フルタイムへの転換希望について、母親では「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が52.9%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が26.2%となっています。

■ 母親



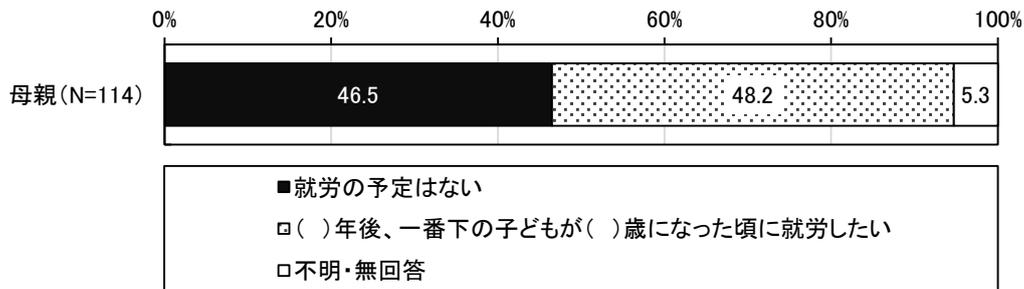
※父親では「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」に2件、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」に1件の回答がありました

問 11②で「専業主婦（夫）または就労していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 11-3 1年よりも先、将来的な就労予定はありますか。（母親・父親それぞれ1つに○）
「2.」を選択した場合は、（ ）内もご記入ください。

将来的な就労予定について、「（ ）年後、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に就労したい」が48.2%と最も高く、次いで「就労の予定はない」が46.5%となっています。

働きたい時期について、「2年後」が36.4%と最も高く、一番下の子どもの年齢について、「13歳以上」が23.6%と最も高くなっています。

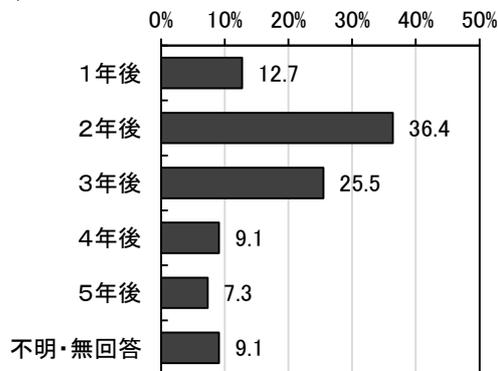


※父親では「就労の予定はない」に2件の回答がありました

「（ ）年後、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に就労したい」に○をつけた方

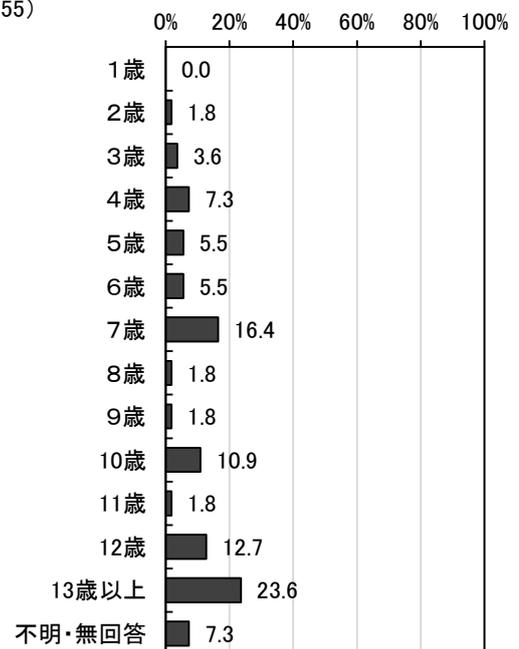
■何年後

母親(N=55)



■一番下の子どもが何歳になったら働きたいか

母親(N=55)

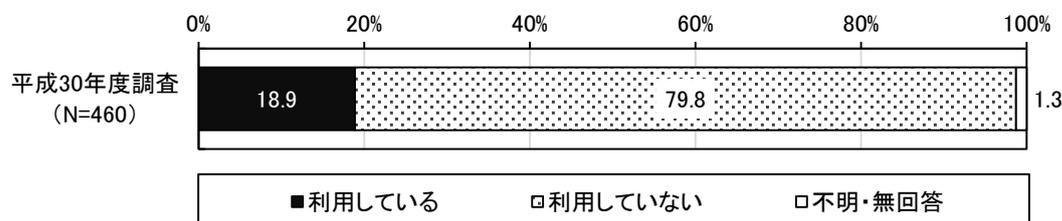


※父親では回答がありませんでした

4 放課後児童クラブの利用状況・利用希望について

問 12 現在、放課後児童クラブを利用されていますか。（1つだけに○）

現在、放課後児童クラブを利用しているかについて、「利用している」が18.9%、「利用していない」が79.8%となっています。



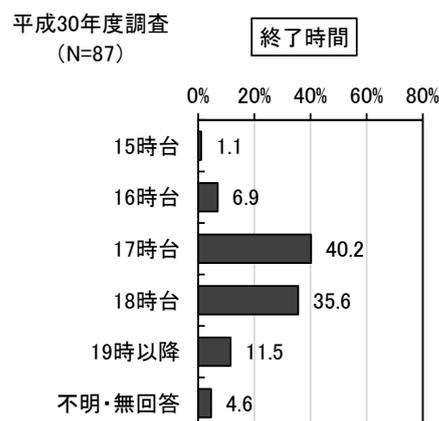
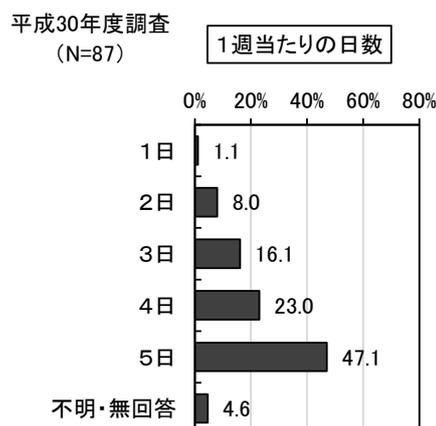
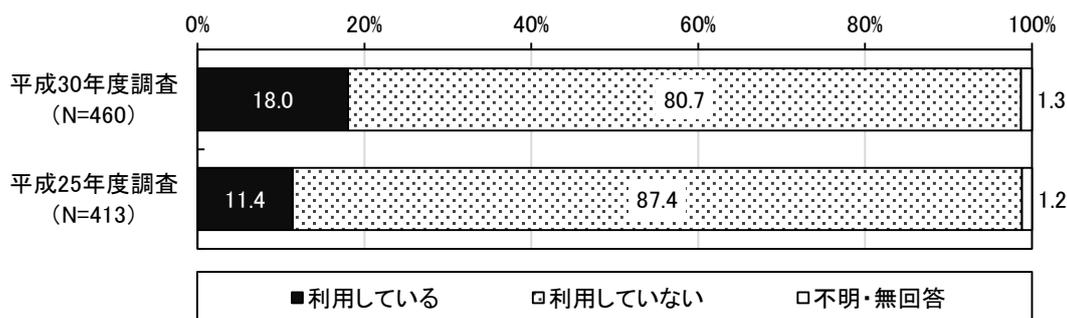
問 12-1 現在利用している放課後児童クラブについて、週（または月）何日利用していますか。（ ）内に数字を24時間制でご記入ください。

平日の放課後児童クラブの利用日数について、「(週) 5日」が47.1%と最も高く、次いで「(週) 4日」が23.0%となっています。終了時間については、「17時台」が40.2%と最も高く、次いで「18時台」が35.6%となっています。

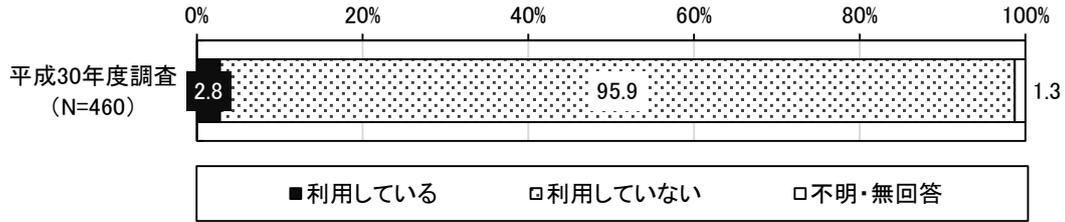
土曜日の放課後児童クラブの利用日数について、「(月) 4日以上」が38.5%と最も高くなっています。開始時間については、「7時台」が41.7%、終了時間については、「17時台」が25.0%とそれぞれ最も高くなっています。

長期休暇中の放課後児童クラブの利用開始時間については、「8時台」が51.9%、終了時間については、「18時台」が36.5%とそれぞれ最も高くなっています。

■ 平日

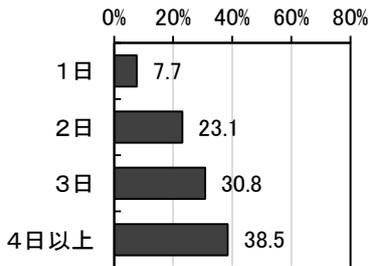


■土曜日



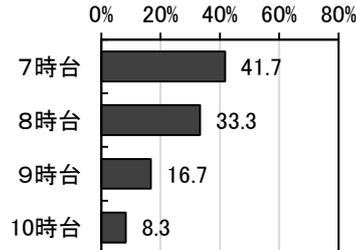
平成30年度調査 (N=13)

1か月当たりの日数

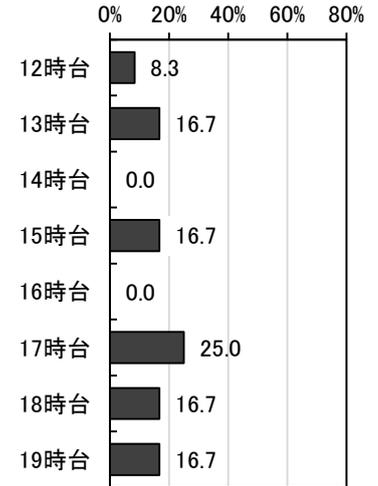


平成30年度調査 (N=12)

開始時間

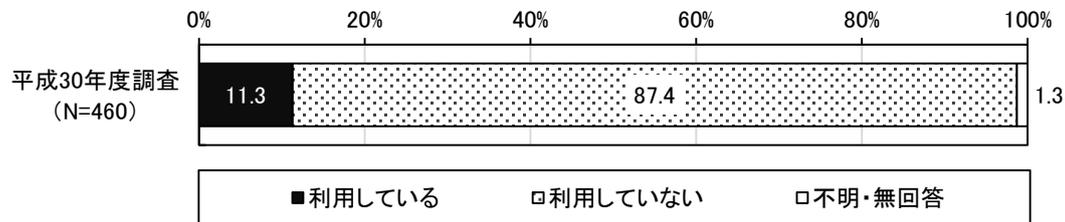


終了時間



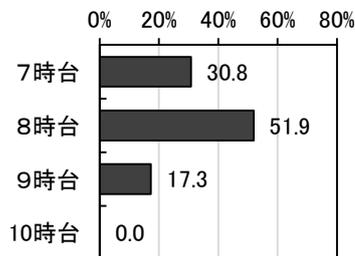
※不明・無回答を除く

■長期休暇中

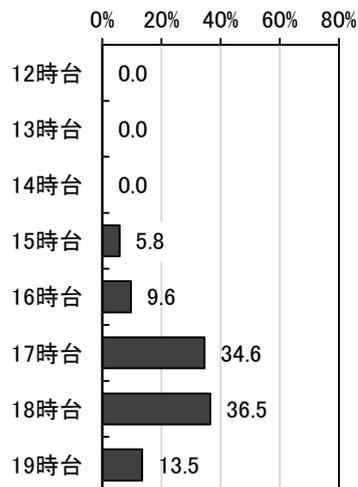


平成30年度調査 (N=52)

開始時間



終了時間

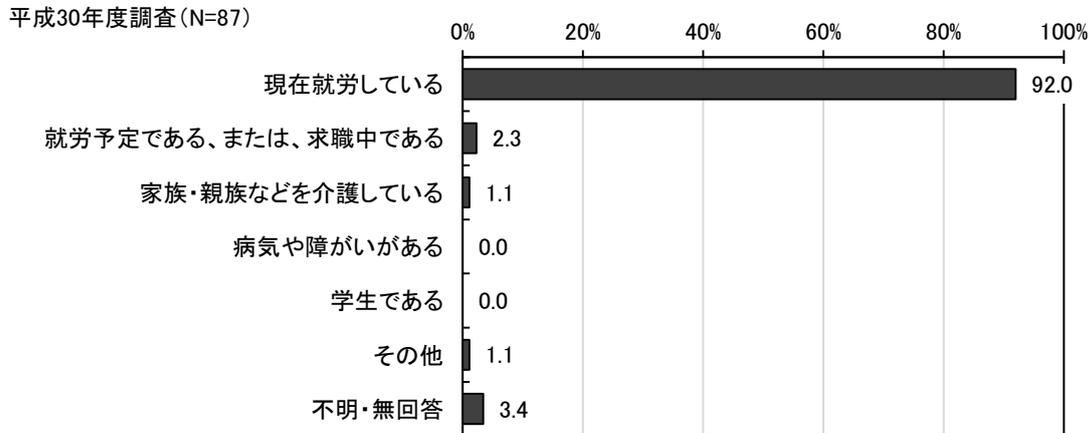


※不明・無回答を除く

問 12 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 12-2 放課後児童クラブを利用されている理由は何ですか。（1つだけに○）

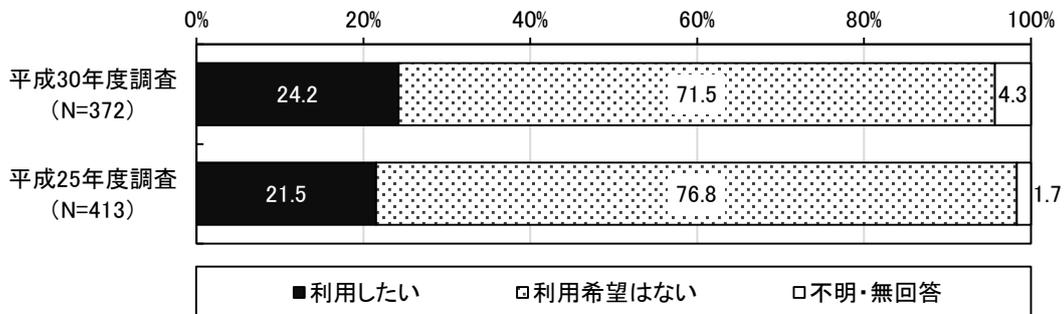
放課後児童クラブを利用している理由について、「現在就労している」が 92.0%と大半を占めています。



あて名のお子さんが来年度（平成 31 年度）に小学 2 年生～6 年生となる方にうかがいます。現在の利用の有無や、実際にサービスが利用可能な曜日・時間帯に関係なくお答えください。

問 13 来年度（平成 31 年度）以降に放課後児童クラブを利用したいですか。（1つだけに○）

来年度以降に放課後児童クラブを利用したいかについて、「利用したい」が 24.2%、「利用希望はない」が 71.5%となっています。

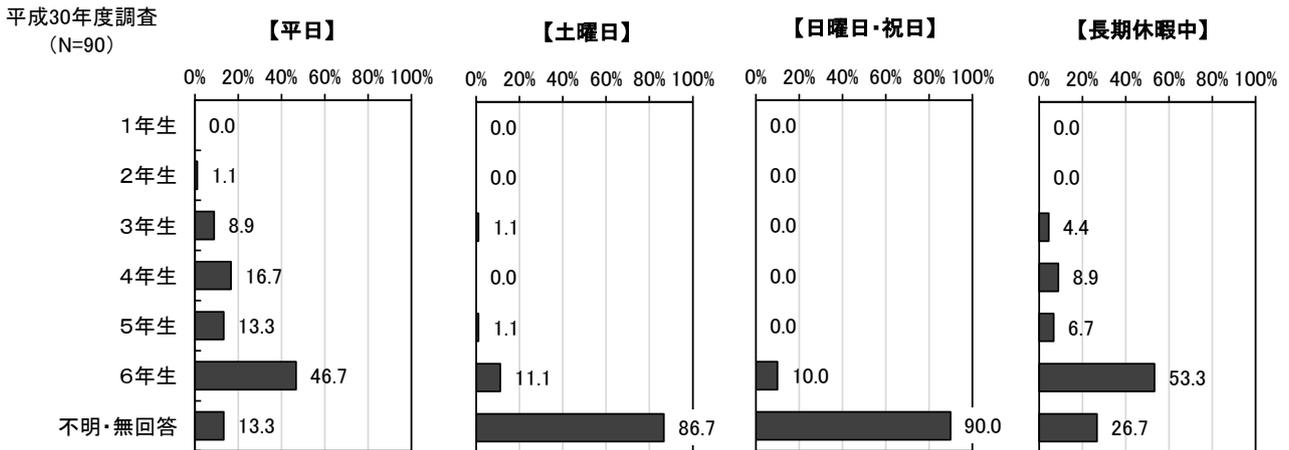


問 13-1 小学校何年生まで放課後児童クラブを利用したいですか。また、放課後児童クラブを週（または月）何日利用したいですか。希望がある場合は、（ ）内に数字を24時間制でご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

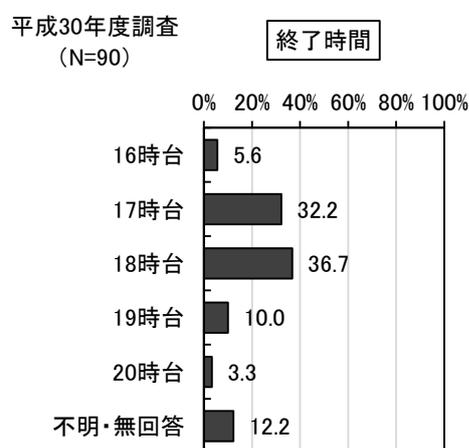
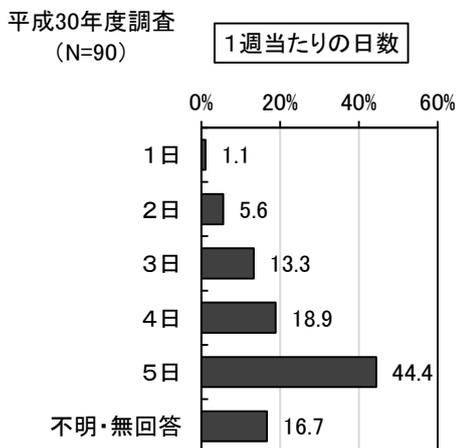
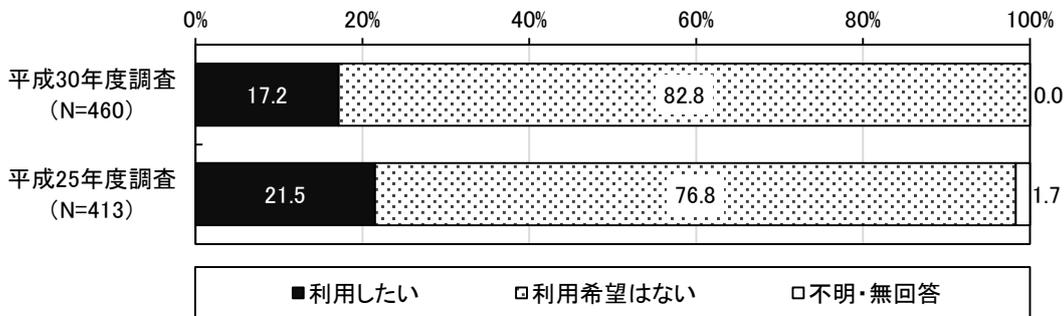
小学校何年生まで放課後児童クラブを利用したいかについて、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中のいずれにおいても「6年生」が最も高くなっています。

■ 学年

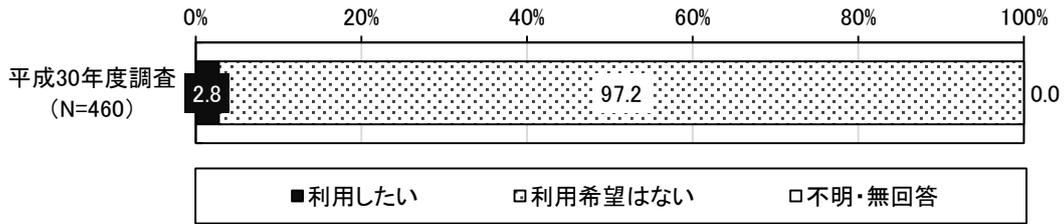


■ 日数・時間帯

【平日】

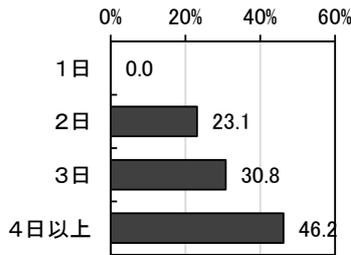


【土曜日】



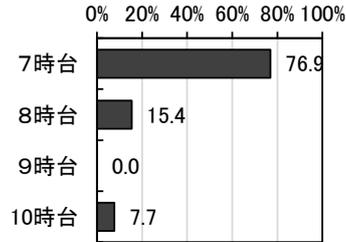
平成30年度調査 (N=13)

1か月当たりの日数

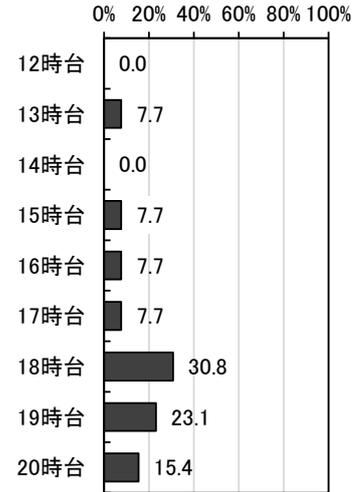


平成30年度調査 (N=13)

開始時間

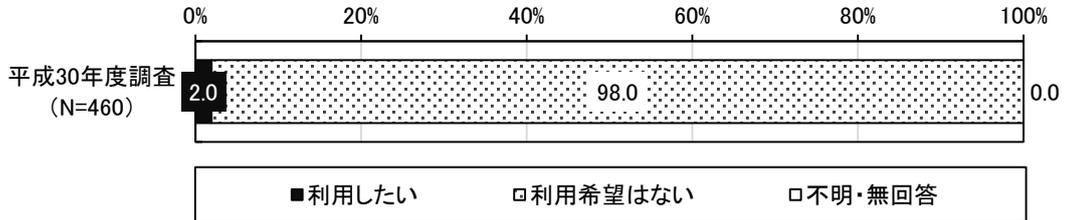


終了時間



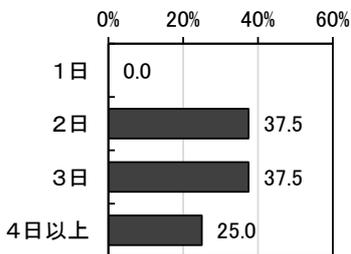
※不明・無回答を除く

【日曜日・祝日】



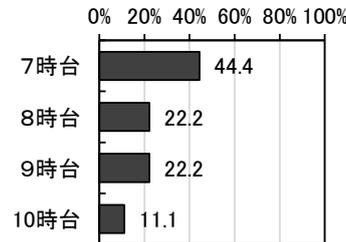
平成30年度調査 (N=8)

1か月当たりの日数

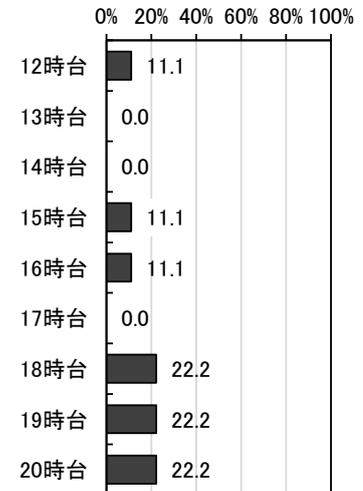


平成30年度調査 (N=9)

開始時間

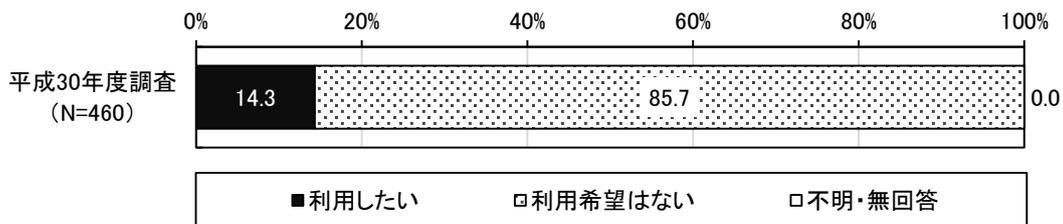


終了時間

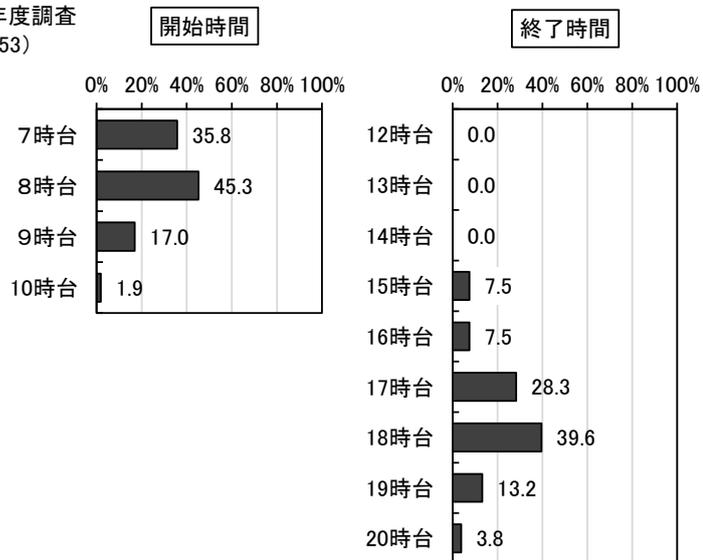


※不明・無回答を除く

【長期休暇中】



平成30年度調査
(N=53)

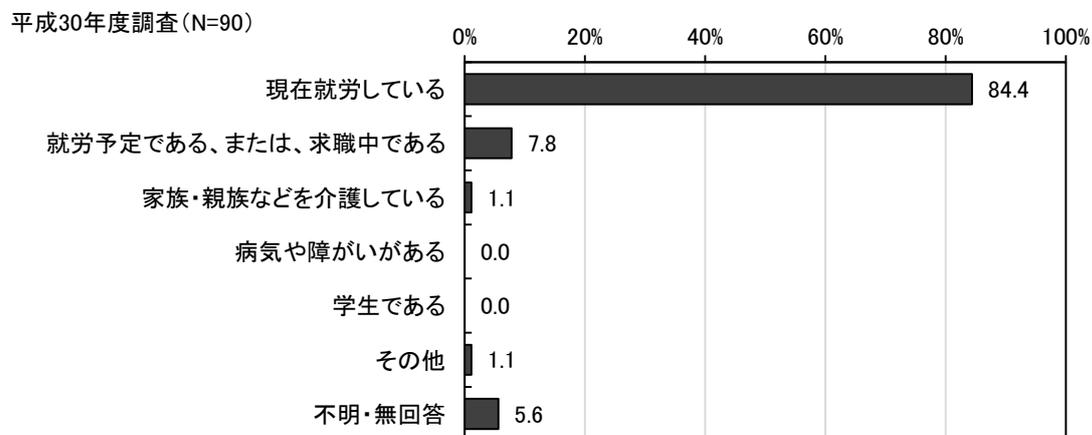


※不明・無回答を除く

問 13 で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-2 放課後児童クラブを利用したい理由は何ですか。（1つだけに○）

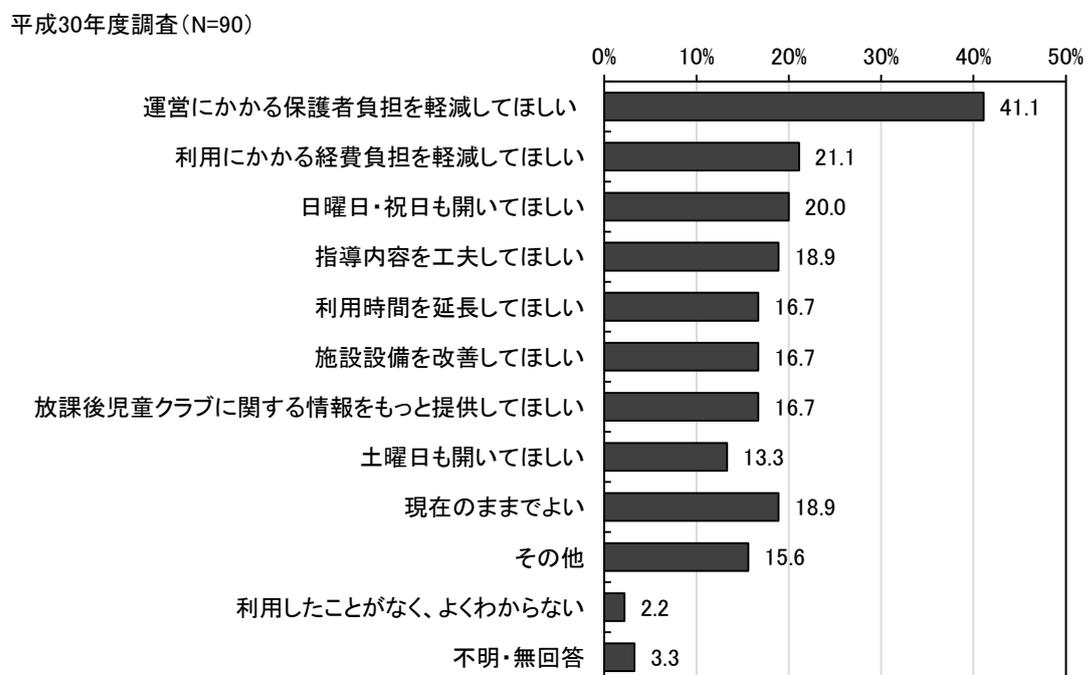
放課後児童クラブを利用したい理由について、「現在就労している」が 84.4%と最も高く、次いで「就労予定である、または、求職中である」が 7.8%となっています。



問 13 で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-3 放課後児童クラブに希望することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

放課後児童クラブに希望することについて、「運営にかかる保護者負担を軽減してほしい」が 41.1%と最も高くなっています。



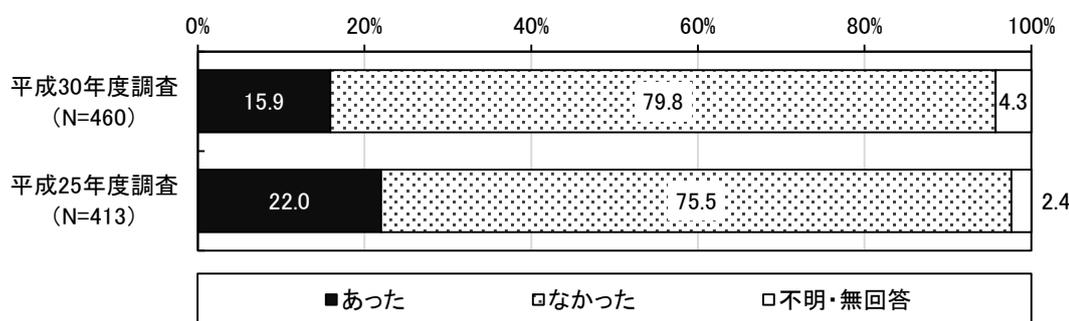
5 一時預かり等の利用について

問 14 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)(1つだけに○)

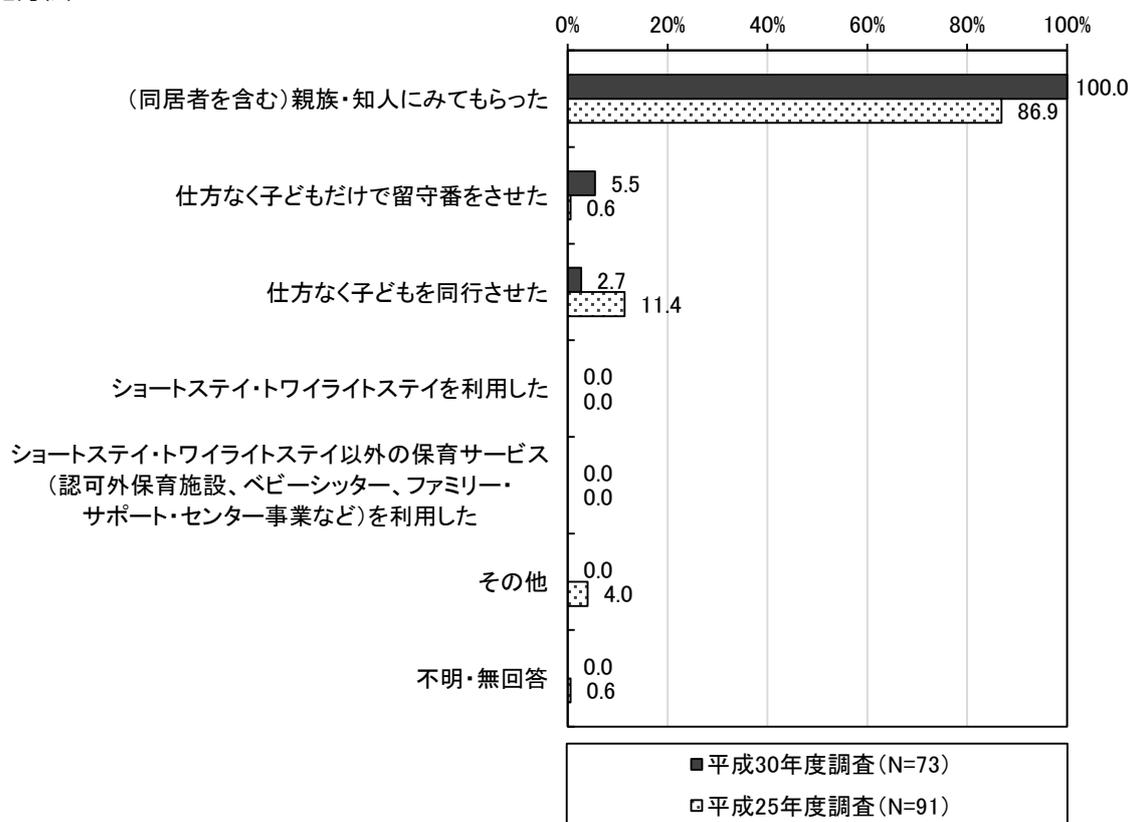
あった場合、その対処方法をお答えいただき、対処方法ごとの泊数について、()内に具体的な数字をご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

お子さんを「泊まりがけで」家族以外にみてもらわないといけないことの有無について、「あった」が15.9%、「なかった」が79.8%となっています。

あった場合の対処方法について、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が100.0%と最も高くなっています。

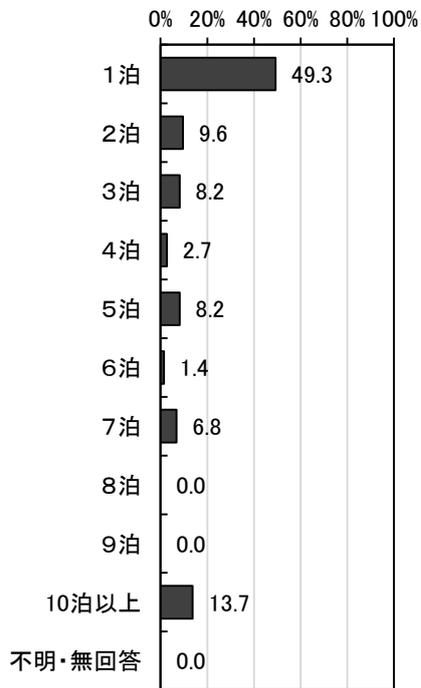


■ 対処方法



■ 対処方法ごとの泊数

平成30年度調査(N=73)
【(同居者を含む)親族・知人に
みてもらった】



【仕方なく子どもを同行させた】

平成30年度調査(N=2)	件数
3泊	1
5泊	1

【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

平成30年度調査(N=4)	件数
1泊	1
2泊	1
10泊以上	2

※ 「ショートステイ・トワイライトステイを利用した」「ショートステイ・トワイライトステイ以外の保育サービス（認可外保育施設、ベビーシッター、ファミリー・サポート・センター事業など）を利用した」「その他」の回答はありませんでした

6 地域の子育て支援事業の利用状況について

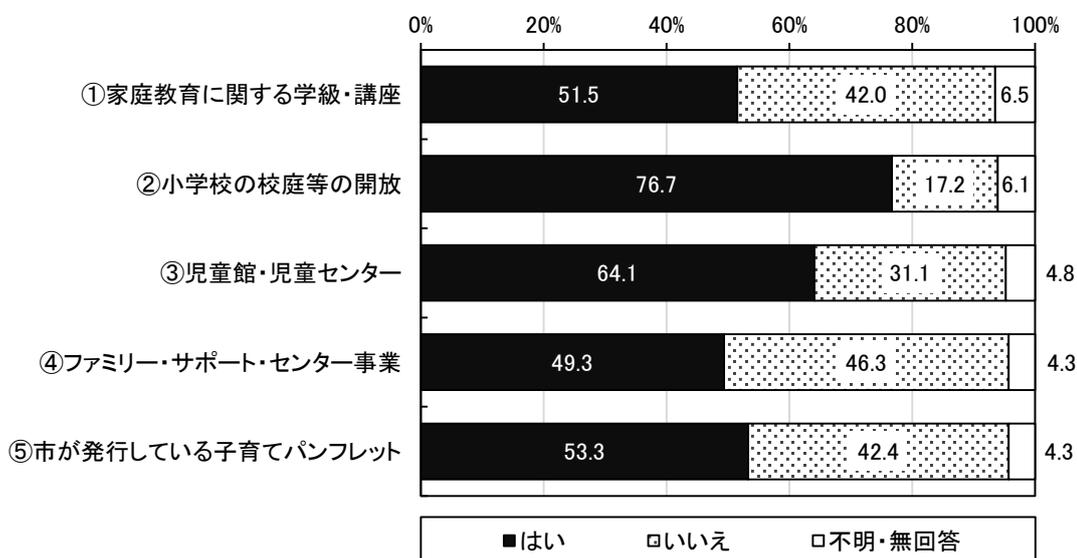
問 15 子育て支援サービスの認知度・利用度についてうかがいます。(1)下記のサービスで知っているものや、(2)これまでに利用したことがあるものはありますか。また、(3)今後利用したいと思うものはありますか。(サービスごとに(1)～(3)のそれぞれ1つずつに○)

(1) 知っている

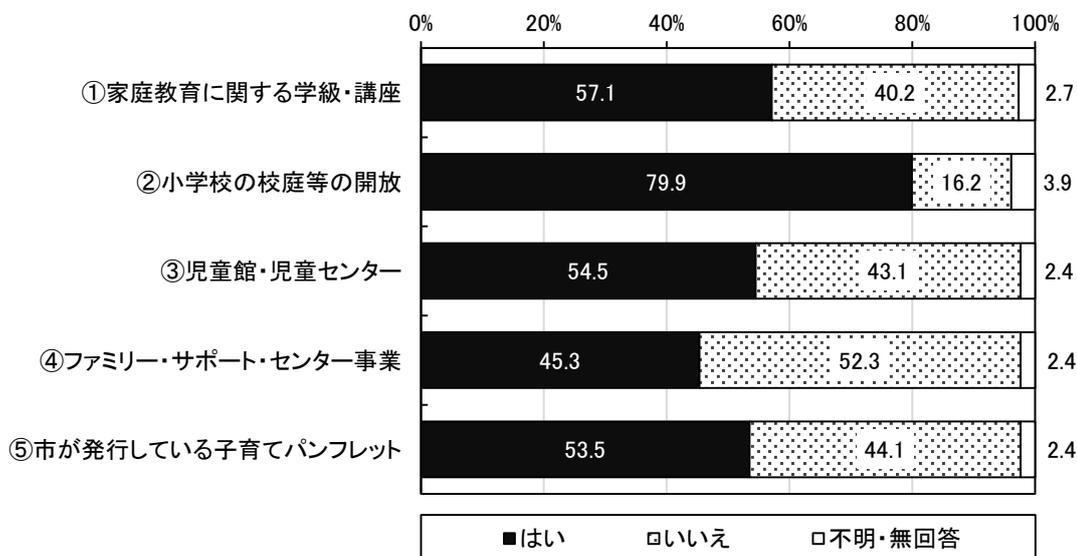
子育て支援サービスの認知度について、「②小学校の校庭等の開放」が76.7%と最も高く、次いで「③児童館・児童センター」が64.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「③児童館・児童センター」が9.6ポイント高くなっています。

平成30年度調査(N=460)



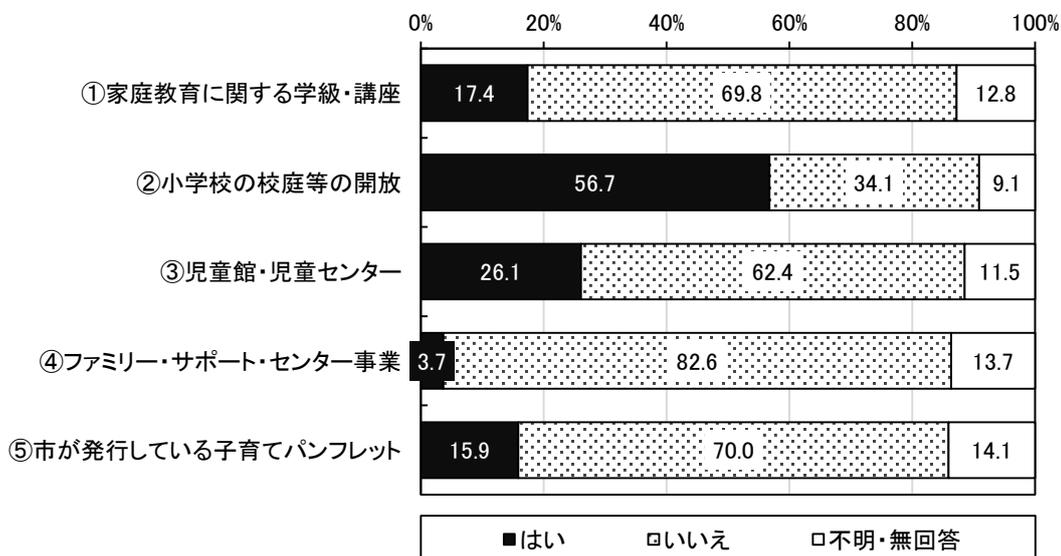
平成25年度調査(N=413)



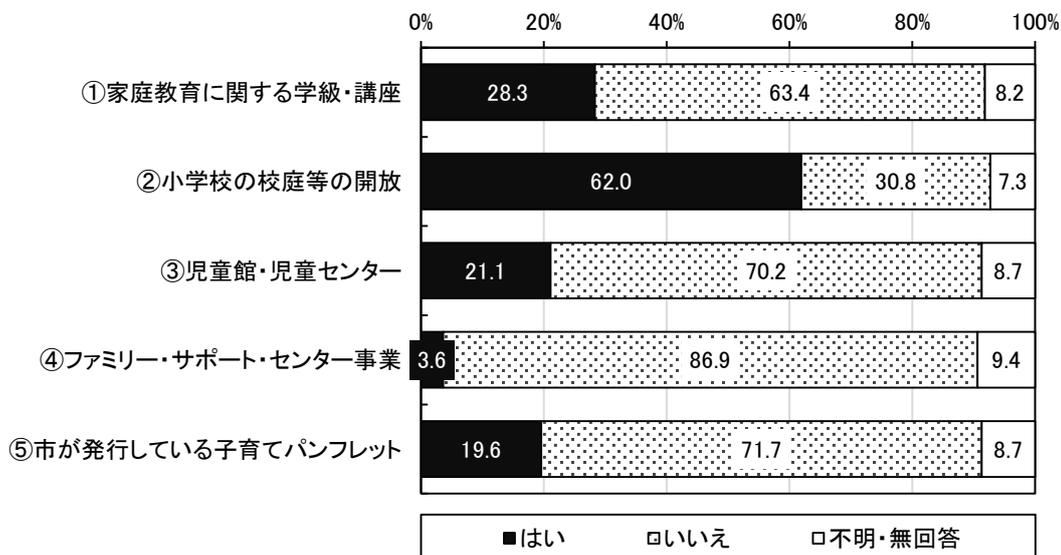
(2) 利用したことがある

子育て支援サービスの利用度について、「②小学校の校庭等の開放」が56.7%と最も高く、次いで「③児童館・児童センター」が26.1%となっています。

平成30年度調査 (N=460)



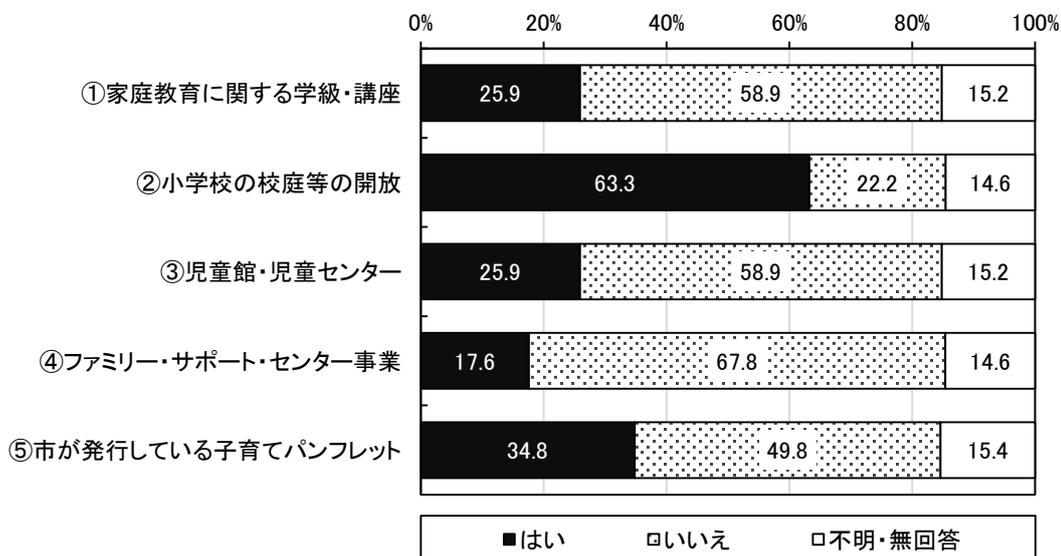
平成25年度調査 (N=413)



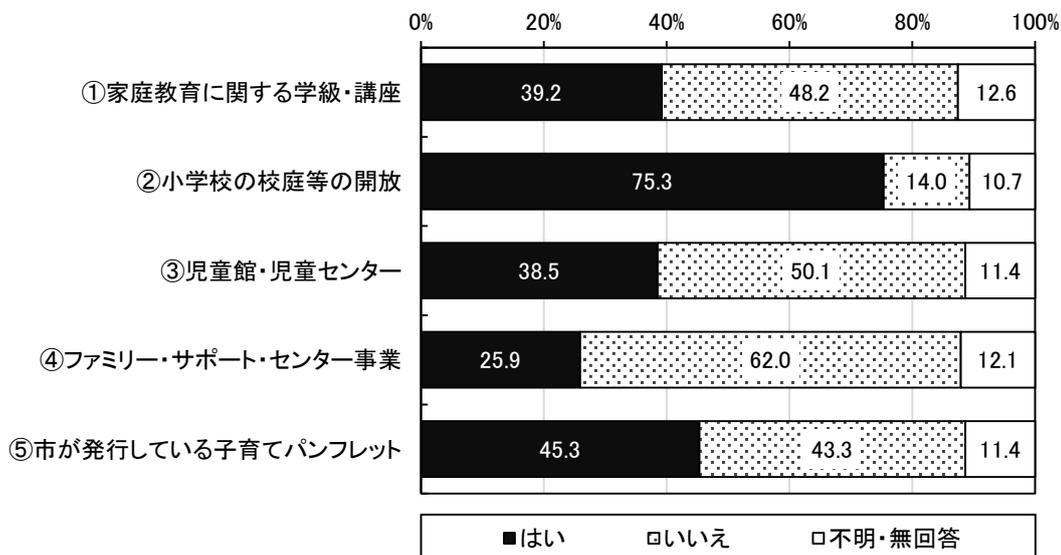
(3) 今後利用したい

子育て支援サービスの今後の利用意向について、「②小学校の校庭等の開放」が63.3%と最も高く、次いで「⑤市が発行している子育てパンフレット」が34.8%となっています。

平成30年度調査 (N=460)



平成25年度調査 (N=413)



7 子どもの居場所や遊び場等について

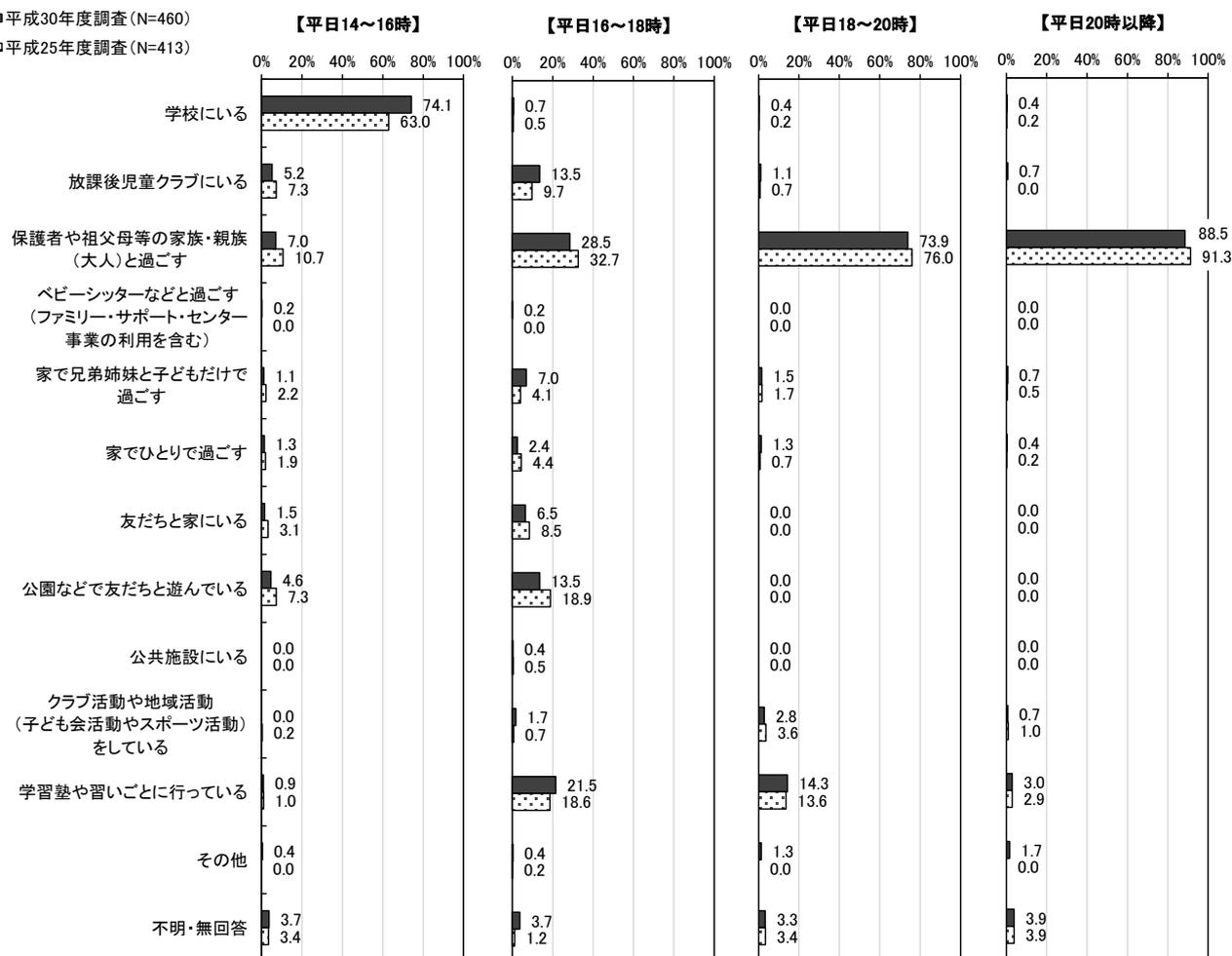
問 16 平日の放課後や休日の日常なお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにあてはまるものを1つずつ選んで、該当する枠内にご記入ください。

平日の放課後や休日の日常なお子さんの過ごし方について、【平日 14～16 時】では「学校にいる」が 74.1%、【平日 16～18 時】では「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」が 28.5%、【平日 18～20 時】では「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」が 73.9%、【平日 20 時以降】では「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」が 88.5%と最も高くなっています。

■ 平日

■ 平成30年度調査 (N=460)

□ 平成25年度調査 (N=413)

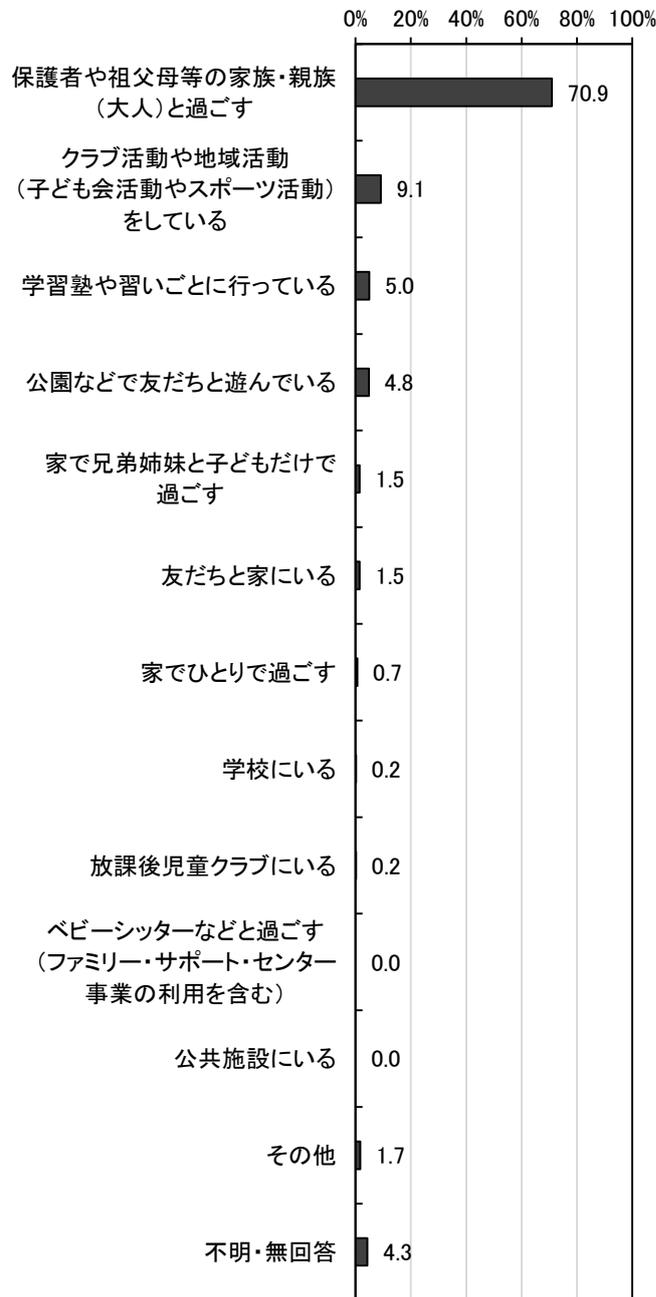


休日の放課後や休日の日常なお子さんの過ごし方について、「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」が70.9%と最も高く、次いで「クラブ活動や地域活動（子ども会活動やスポーツ活動）をしている」が9.1%、「学習塾や習いごとに行っている」が5.0%となっています。

■休日

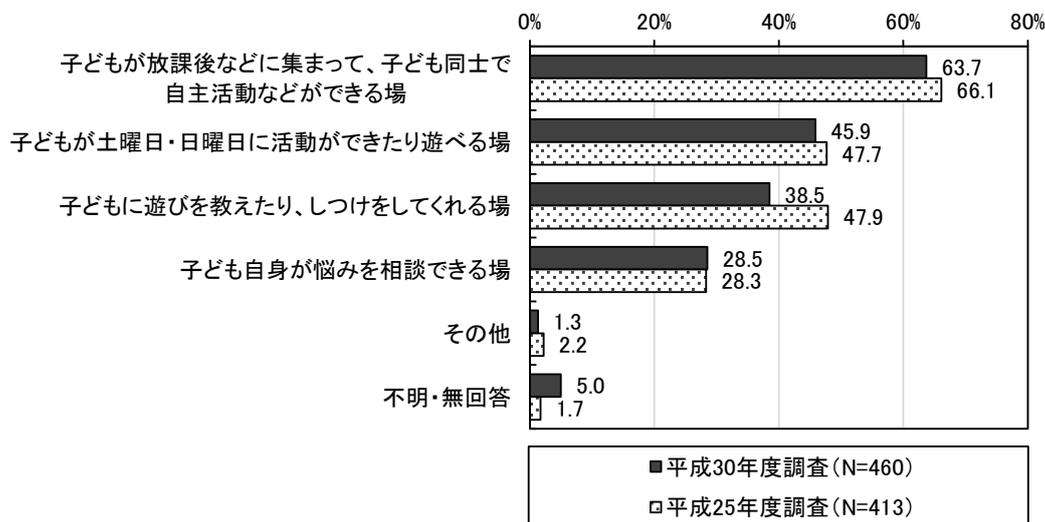
平成30年度調査(N=460)

【休日】



問 17 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。（あてはまるものすべてに○）

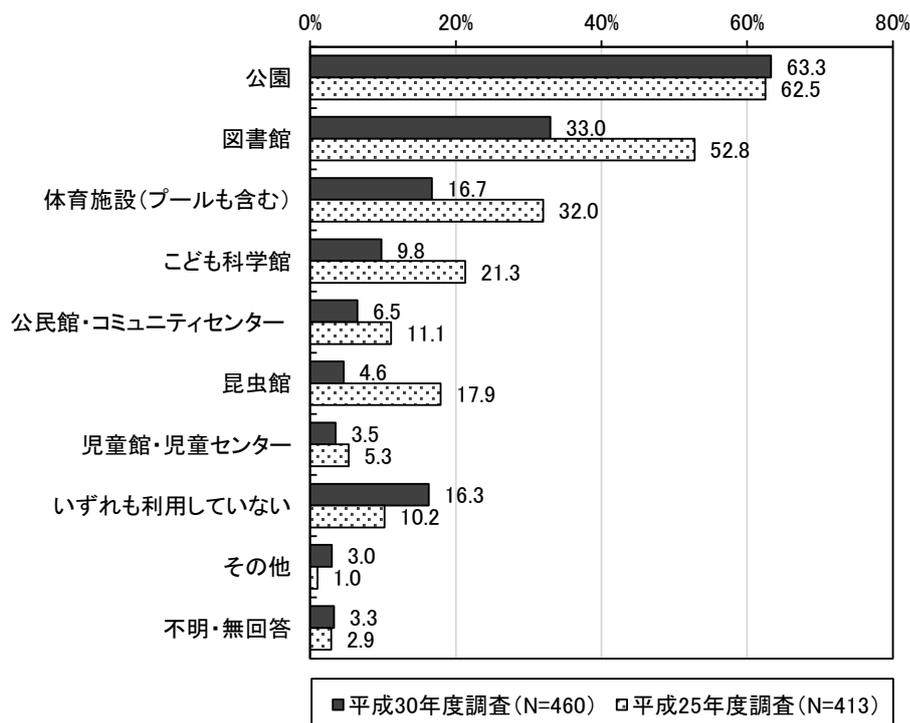
身近な地域で、子ども同士が交流できる場として望ましいものについて、「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」が63.7%と最も高く、次いで「子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場」が45.9%、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」が38.5%となっています。



問 18 お子さんがよく利用する公共施設はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

よく利用する公共施設について、「公園」が63.3%と最も高く、次いで「図書館」が33.0%、「体育施設（プールも含む）」が16.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「図書館」「体育施設（プールも含む）」「こども科学館」「昆虫館」がいずれも大きく減少しています。

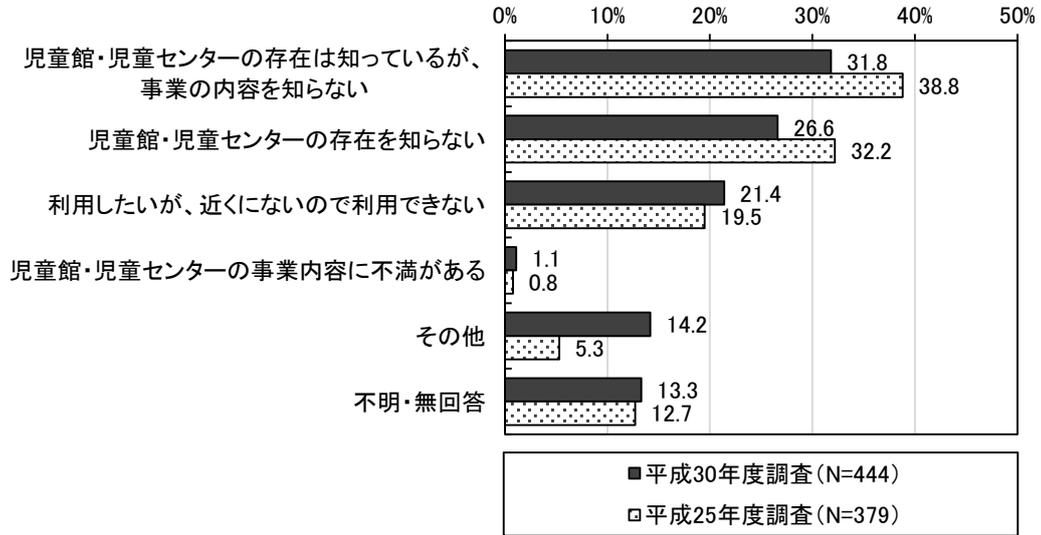


問 18 で「児童館・児童センター」に○をつけていない方にうかがいます。

問 18-1 児童館・児童センターを利用しなかった理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

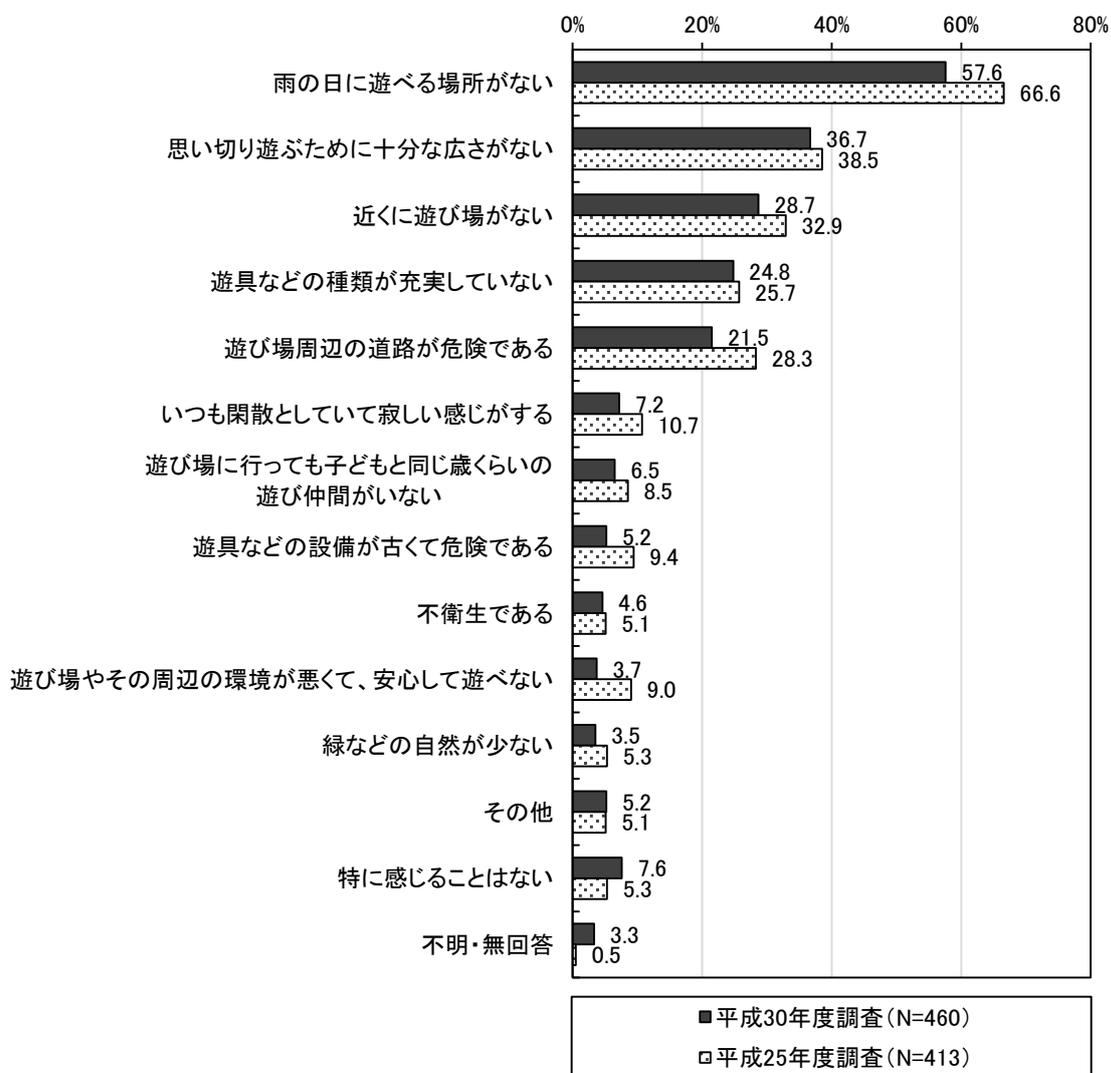
児童館・児童センターを利用しなかった理由について、「児童館・児童センターの存在は知っているが、事業の内容を知らない」が31.8%と最も高く、次いで「児童館・児童センターの存在を知らない」が26.6%、「利用したいが、近くにないので利用できない」が21.4%となっています。



問 19 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることはありますか。

(主にあてはまるもの3つまでに○)

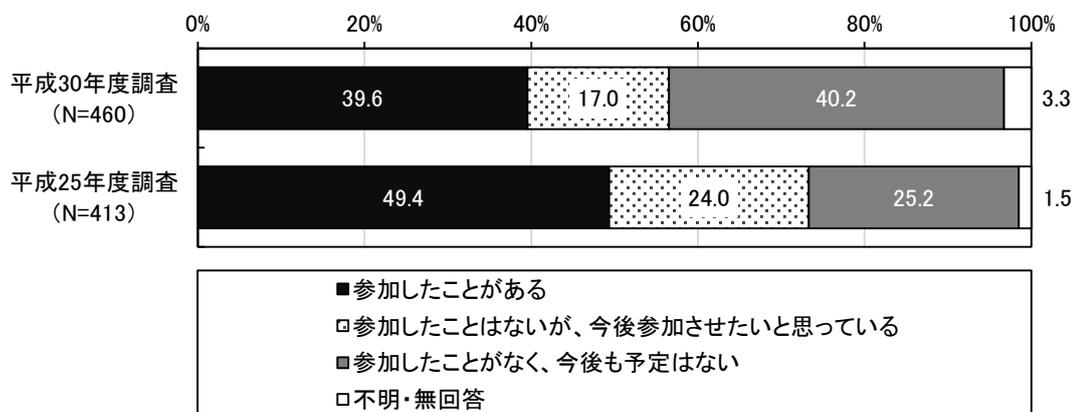
近所の子どもの遊び場で日頃感じていることについて、「雨の日に遊べる場所がない」が57.6%と最も高く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が36.7%、「近くに遊び場がない」が28.7%となっています。



8 子どもの地域活動への参加状況について

問 20 あて名のお子さんは、地域活動などに参加していますか。（1つだけに○）

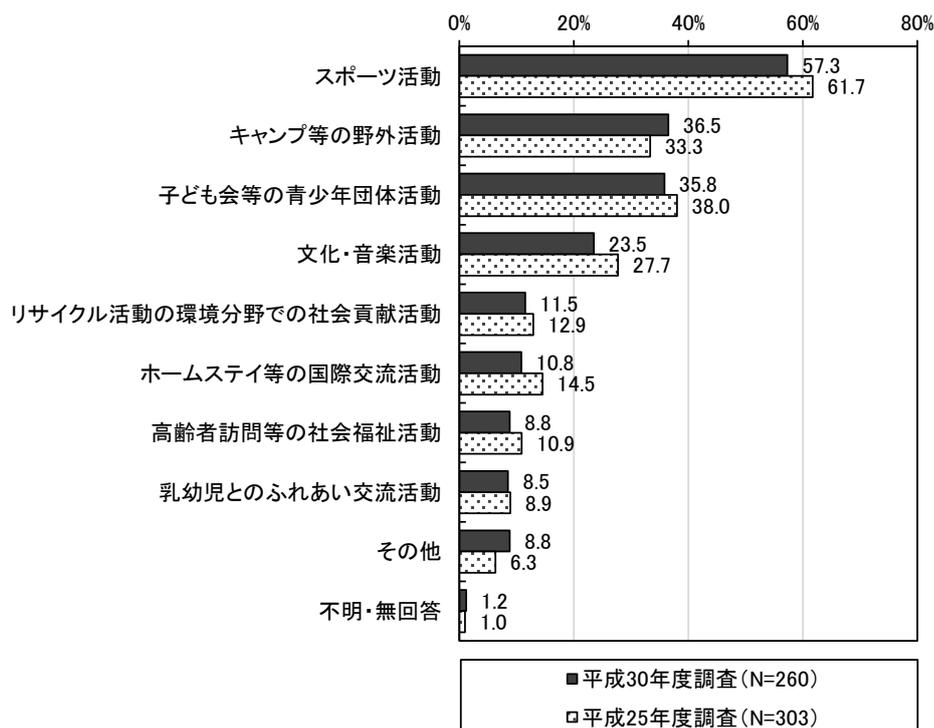
お子さんの地域活動などへの参加状況について、「参加したことがなく、今後も予定はない」が40.2%と最も高く、次いで「参加したことがある」が39.6%となっています。



問 20 で「参加したことがある」「参加したことはないが、今度参加させたいと思っている」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 参加したことがある、もしくは、参加させたい地域活動についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

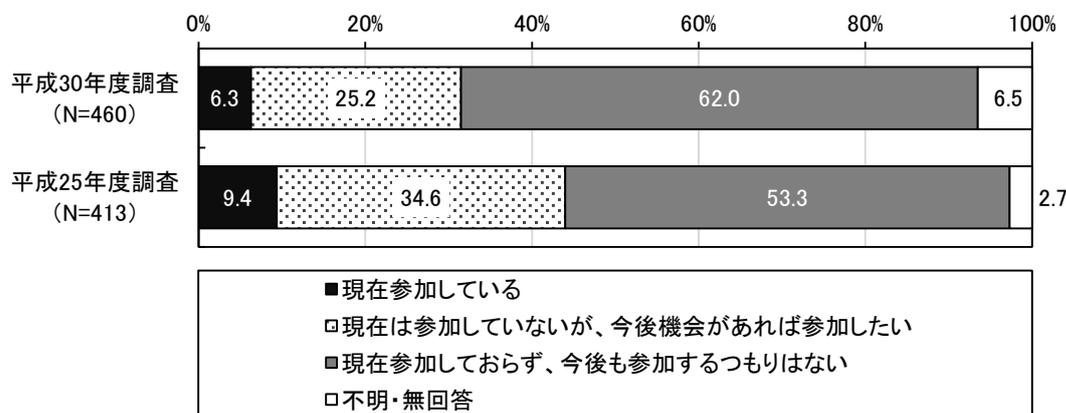
参加したことがある（参加させたい）地域活動について、「スポーツ活動」が57.3%と最も高く、次いで「キャンプ等の野外活動」が36.5%、「子ども会等の青少年団体活動」が35.8%となっています。



9 子育てに関する自主的な活動について

問 21 あなたは、子育てに関する自主的な活動などに参加していますか。（1つだけに○）

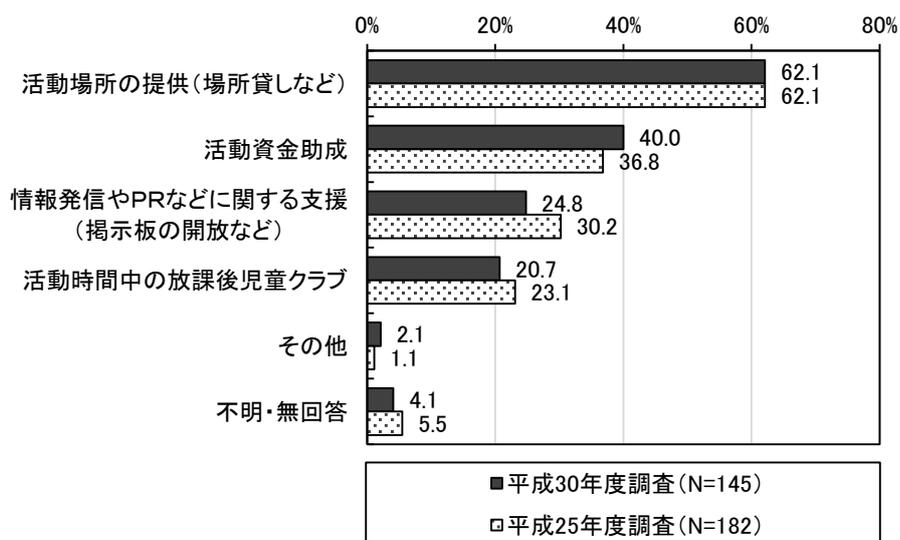
子育てに関する自主的な活動などへの参加状況について、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が62.0%と最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が25.2%となっています。



問 21 で「現在参加している」「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 自主活動を進めていく上で、行政に行ってほしい支援はどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

自主活動を進めていく上で、行政に行ってほしい支援について、「活動場所の提供（場所貸しなど）」が62.1%と最も高く、次いで「活動資金助成」が40.0%、「情報発信やPRなどに関する支援（掲示板の開放など）」が24.8%となっています。

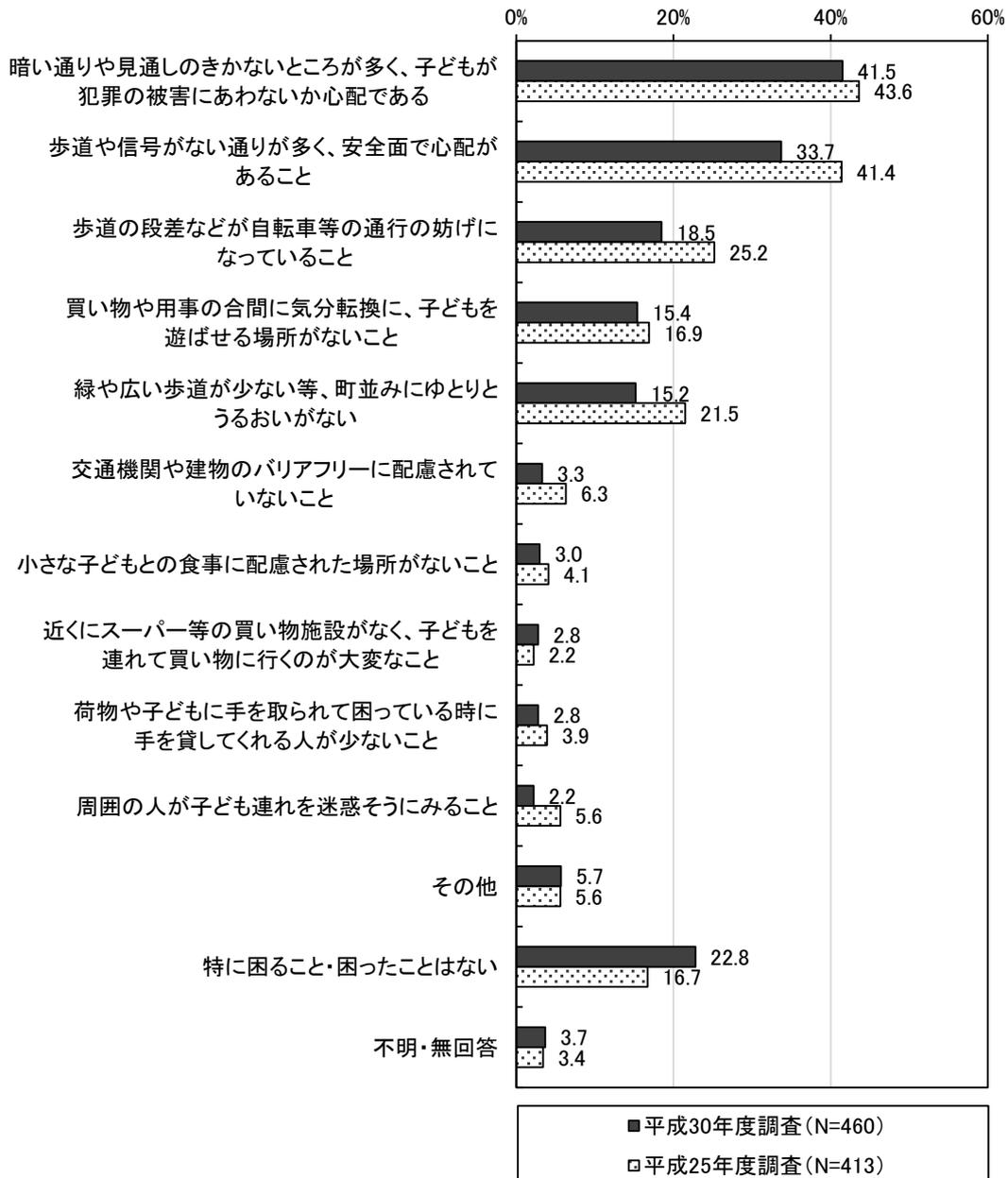


10 外出の際に困ることについて

問 22 子どもとの外出の際、困ることや困ったことはありますか。

(主にあてはまるもの3つまでに○)

子どもとの外出の際、困ることや困ったことについて、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」が41.5%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全面で心配があること」が33.7%、「特に困ること・困ったことはない」が22.8%となっています。



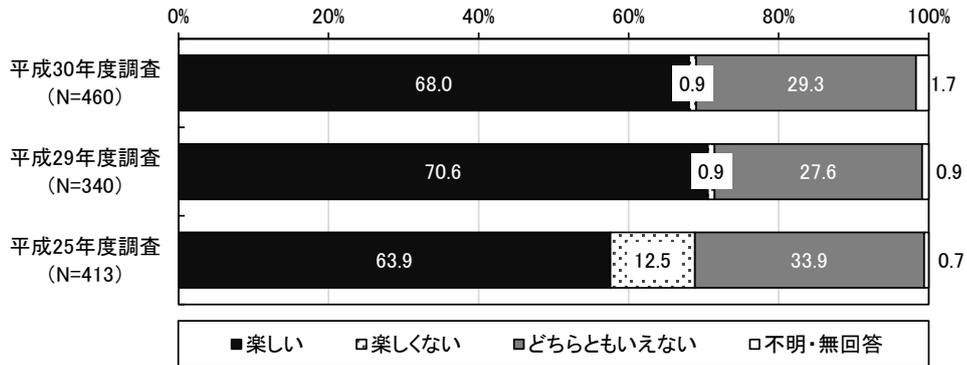
11 親と子の健康づくりについて

問 23 子育て中の母親、父親の体調や気持ちについてうかがいます。

(項目ごとに1つだけに○)

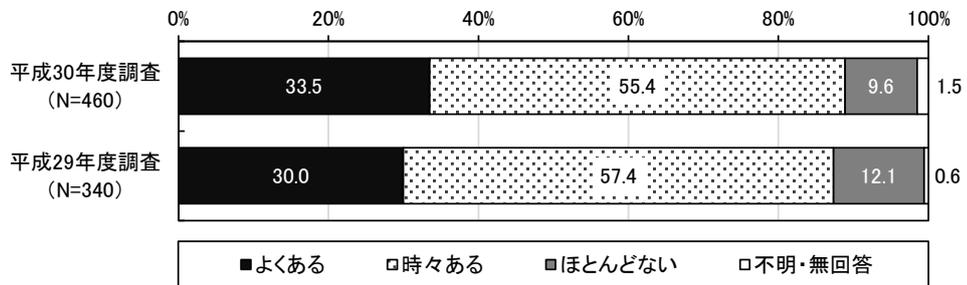
①子育ては楽しいですか。

子育ては楽しいかについて、「楽しい」が 68.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が 29.3%となっています。



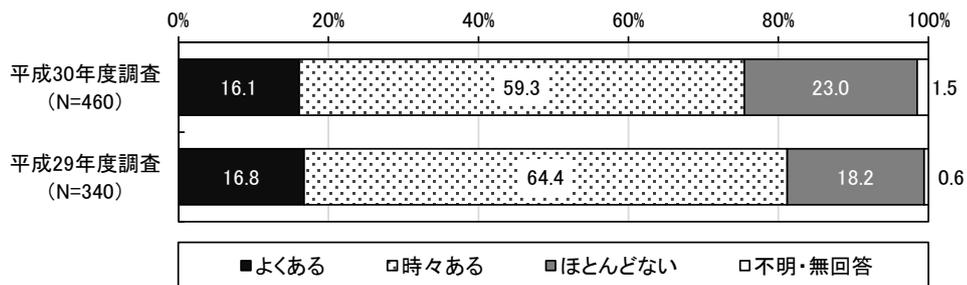
②保護者はゆっくりした気分でお子さんと過ごせる時間はありますか。

ゆっくりとした気分でお子さんと過ごせる時間があるかについて、「時々ある」が 55.4%と最も高く、次いで「よくある」が 33.5%となっています。



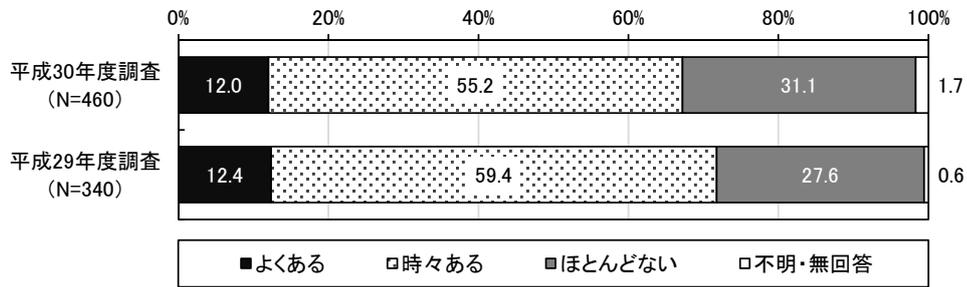
③子育てに自信が持てないことがありますか。

子育てに自信が持てないことがあるかについて、「時々ある」が 59.3%と最も高く、次いで「ほとんどない」が 23.0%となっています。



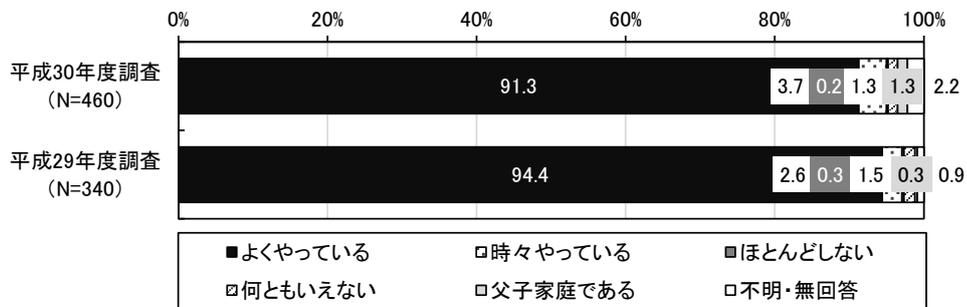
④子育てに困難を感じることがありますか。

子育てに困難を感じることがあるかについて、「時々ある」が55.2%と最も高く、次いで「ほとんどない」が31.1%となっています。



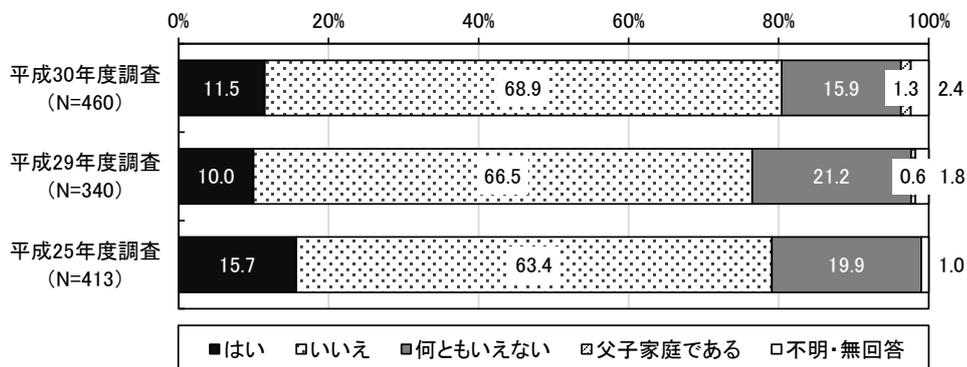
⑤お母さんは子育てに関わっていますか。

母親が子育てに関わっているかについて、「よくやっている」が91.3%と大半を占めています。



⑥お母さんは、子どもを虐待しているのではないかと考えることがありますか。

母親が子どもを虐待していると思うことがあるかについて、「いいえ」が68.9%と最も高く、次いで「何ともいえない」が15.9%となっています。

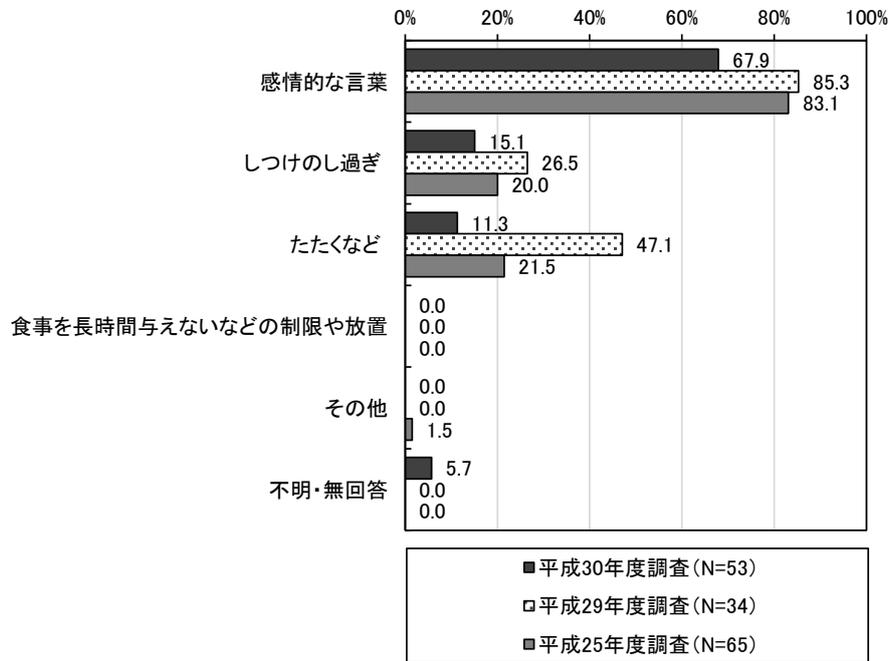


※「父子家庭である」は平成30年度調査、平成29年度調査のみの選択肢

⑥で「はい」に○をつけた方にうかがいます。

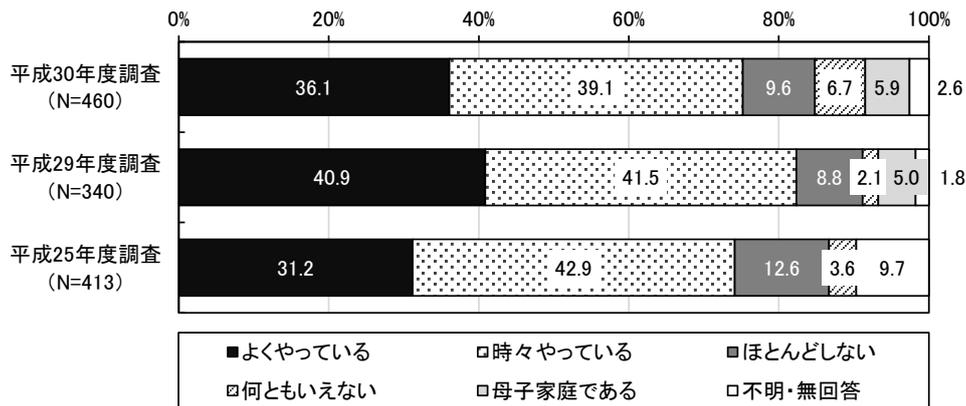
⑥-1 それは、どのようなことですか。

子どもを虐待しているのではないかと思う内容について、「感情的な言葉」が67.9%と最も高く、次いで「しつけのし過ぎ」が15.1%、「たたくなど」が11.3%となっています。



⑦お父さんは子育てに関わっていますか。

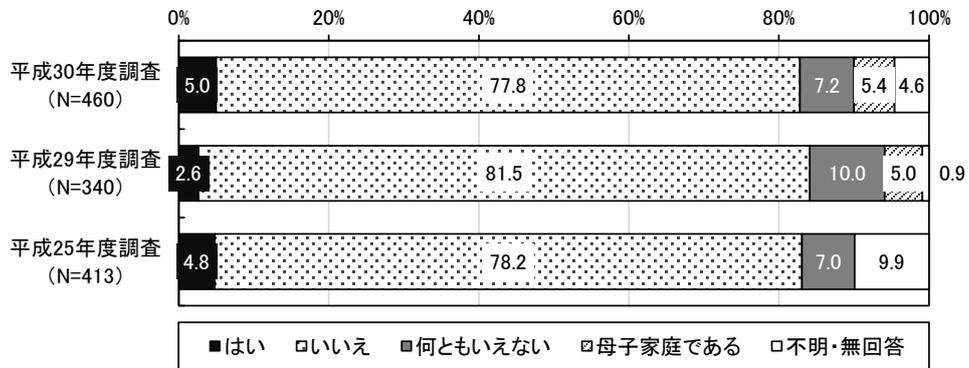
父親は子育てに関わっているかについて、「時々やっている」が39.1%と最も高く、次いで「よくやっている」が36.1%、「ほとんどしない」が9.6%となっています。



※「母子家庭である」は平成30年度調査、平成29年度調査のみの選択肢

⑧お父さんは、子どもを虐待しているのではないかと考えることがありますか。

父親が子どもを虐待していると思うことがあるかについて、「いいえ」が77.8%と最も高く、次いで「何ともいえない」が7.2%となっています。

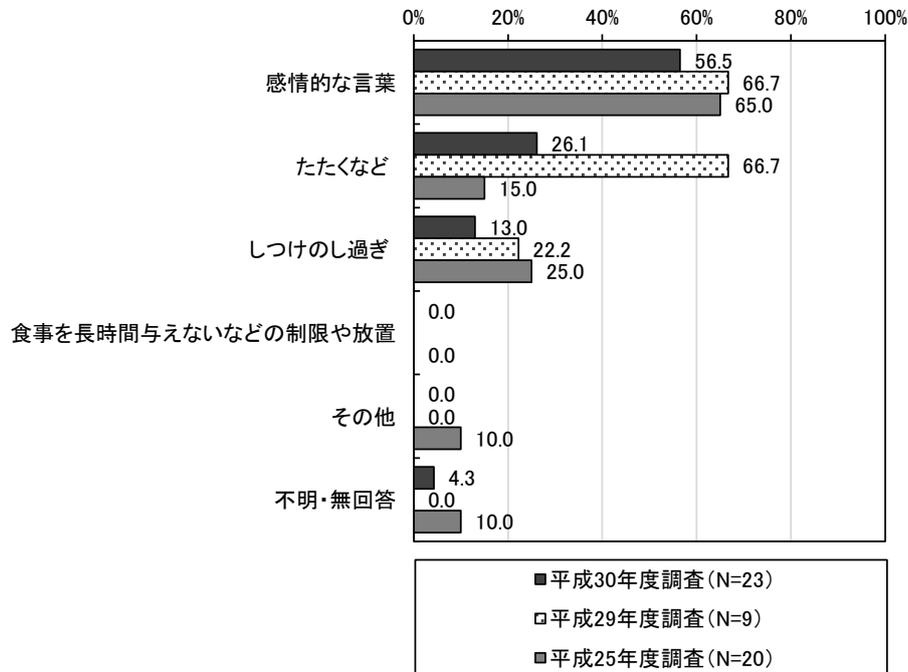


※「母子家庭である」は平成30年度調査、平成29年度調査のみの選択肢

⑧で「はい」に○をつけた方にうかがいます。

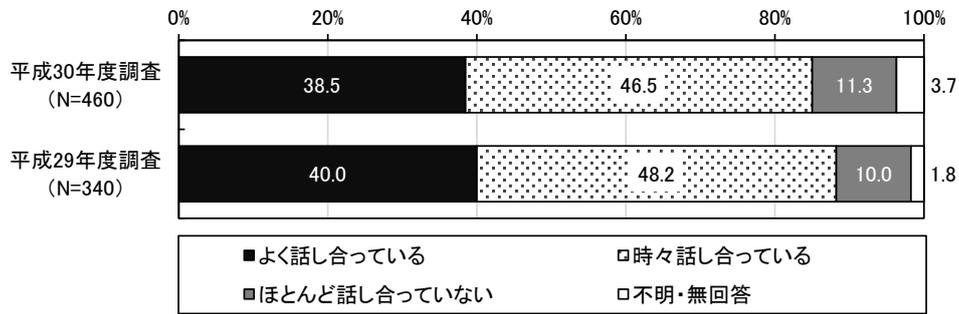
⑧-1 それは、どのようなことですか。

子どもを虐待しているのではないかと考える内容について、「感情的な言葉」が56.5%と最も高く、次いで「たたくなど」が26.1%、「しつけのし過ぎ」が13.0%となっています。



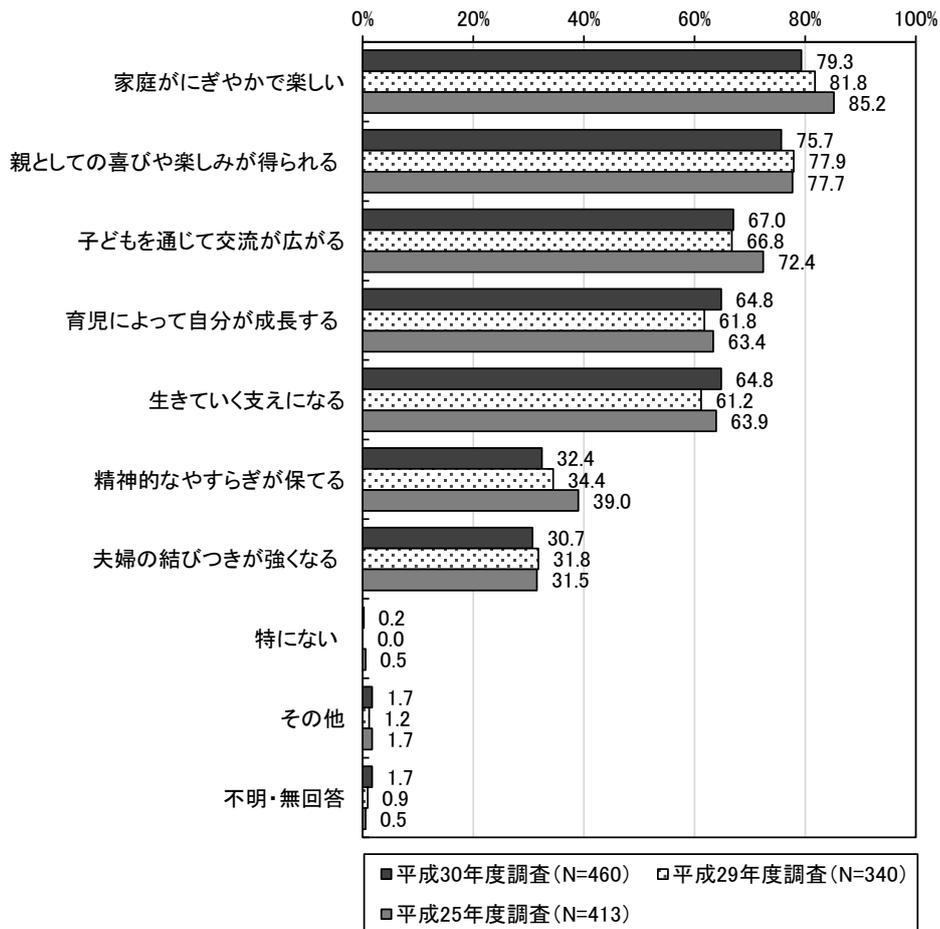
⑨保護者同士で、子育てのことでよく話しあっていますか。

保護者同士で、子育てのことでよく話しあっているかについて、「時々話し合っている」が46.5%と最も高く、次いで「よく話し合っている」が38.5%となっています。



問24 これまでの子育てで良かったと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

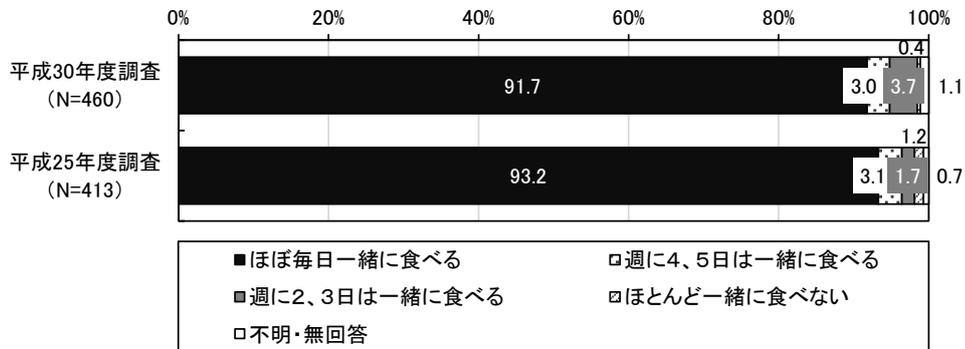
これまでの子育てで良かったと思うことについて、「家庭がにぎやかで楽しい」が79.3%と最も高く、次いで「親としての喜びや楽しみが得られる」が75.7%、「子どもを通じて交流が広がる」が67.0%となっています。



問 25 あて名のお子さんの生活についてうかがいます。（項目ごとに1つだけに○）

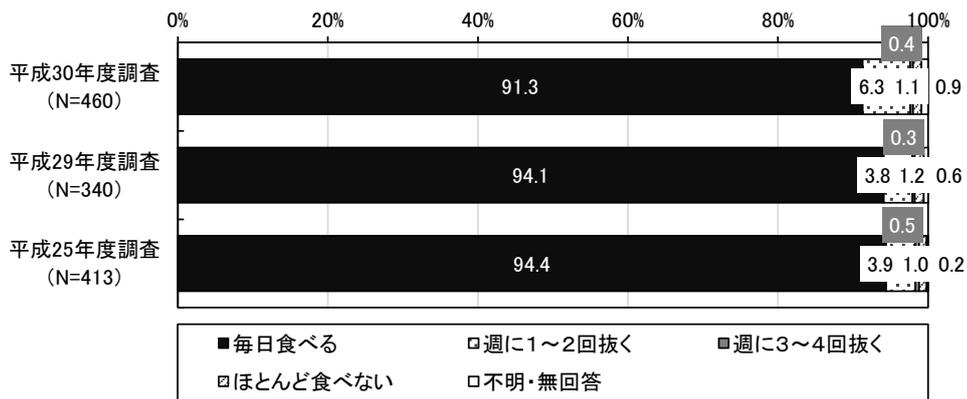
①お子さんは1日に1回は家族と一緒に食事をしていきますか。

1日に1回は家族と一緒に食事をしているかについて、「ほぼ毎日一緒に食べる」が91.7%と大半を占めています。



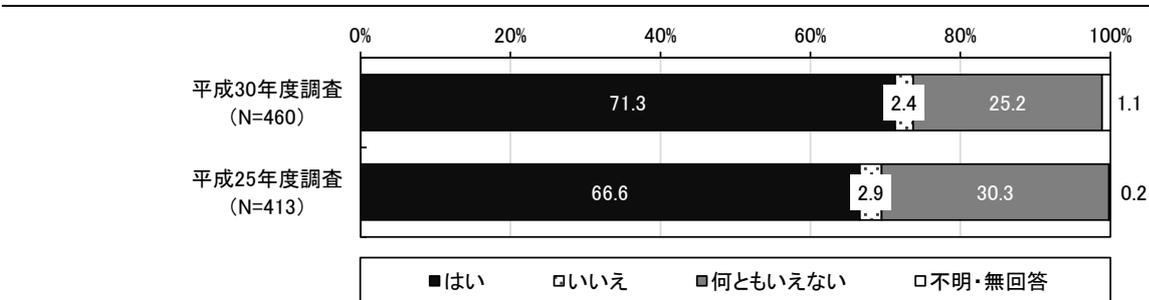
②お子さんの朝食のとり方はどうですか。

お子さんの朝食のとり方について、「毎日食べる」が91.3%と大半を占めています。



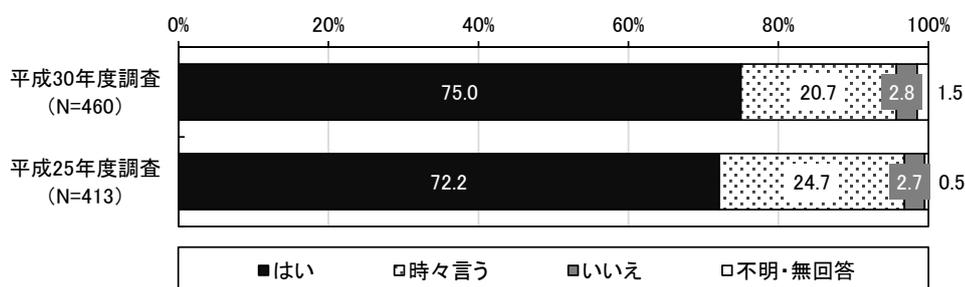
③お子さんは朝食をおいしそうに食べていますか。

朝食をおいしそうに食べているかについて、「はい」が71.3%と最も高く、次いで「何ともいえな



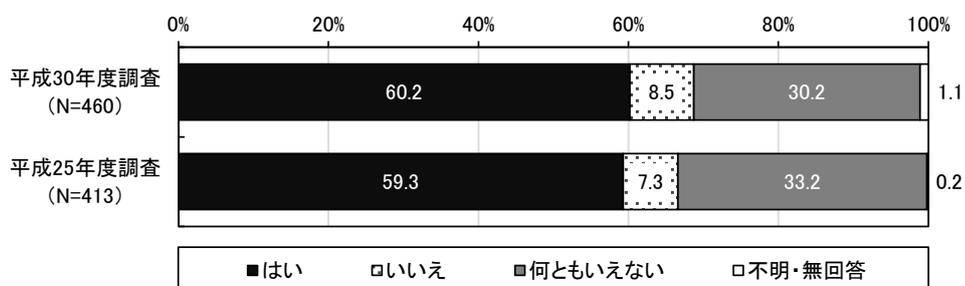
④お子さんは「いただきます」「ごちそうさま」を言いますか。

食事の際のあいさつを言うかについて、「はい」が75.0%と最も高く、次いで「時々言う」が20.7%となっています。



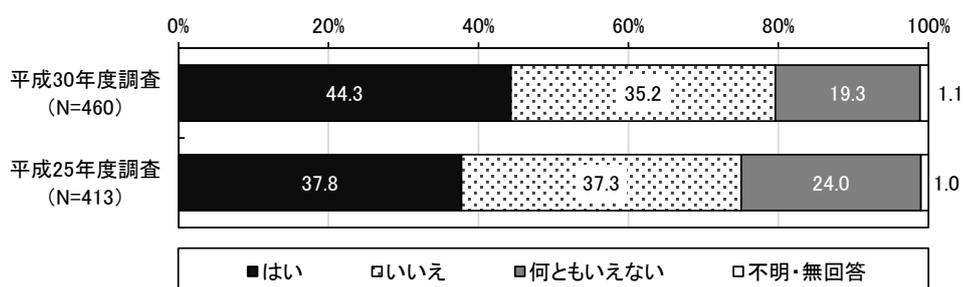
⑤お子さんは食事を毎食バランスよく食べていますか。

食事を毎食バランスよく食べているかについて、「はい」が60.2%と最も高く、次いで「何ともいえない」が30.2%となっています。



⑥おやつ時間は決めていますか。

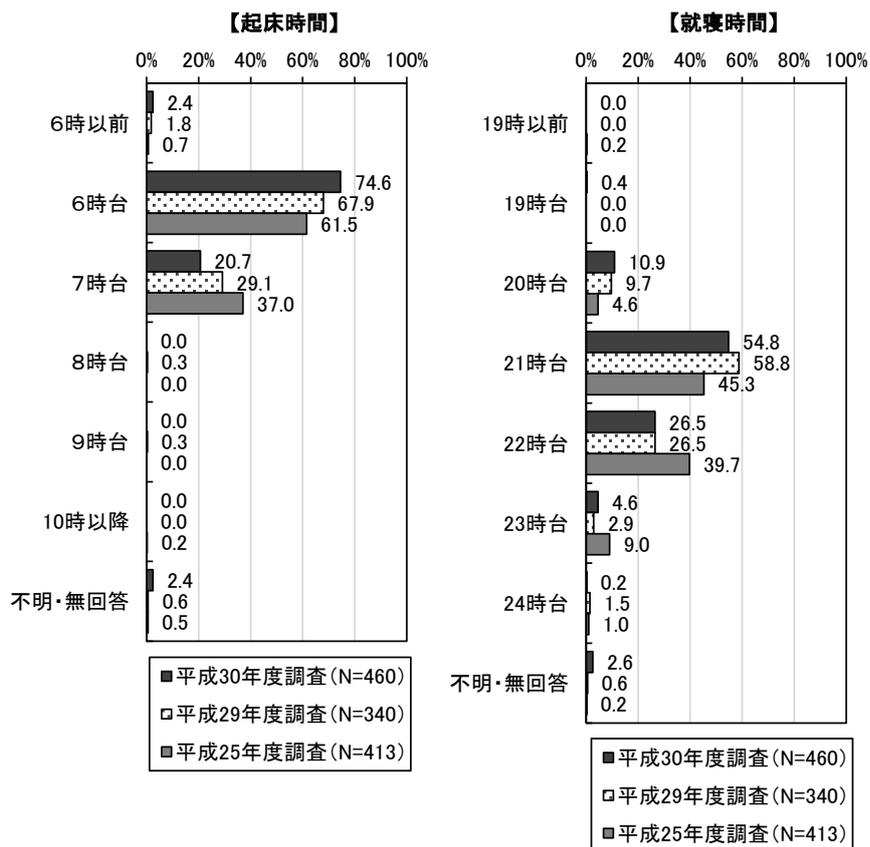
おやつ時間を決めているかについて、「はい」が44.3%と最も高く、次いで「いいえ」が35.2%となっています。



⑦ふだんのお子さんの起床時間、就寝時間は何時頃ですか。() 内に数字を 24 時間制でご記入ください。

お子さんの起床時間について、「6 時台」が 74.6%と最も高く、次いで「7 時台」が 20.7%となっています。就寝時間について、「21 時台」が 54.8%と最も高く、次いで「22 時台」が 26.5%となっています。

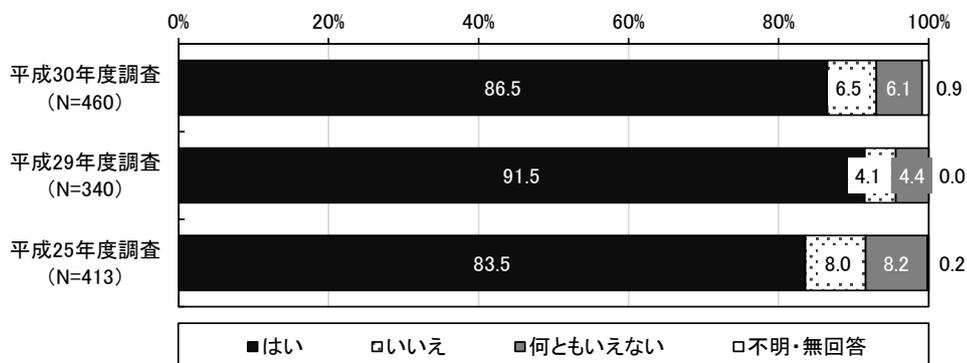
平成 25 年度調査及び平成 29 年度調査と比較すると、お子さんの起床時間が早まっている傾向がみられます。



問 26 けがや病気についてうかがいます。（項目ごとに1つだけに○）

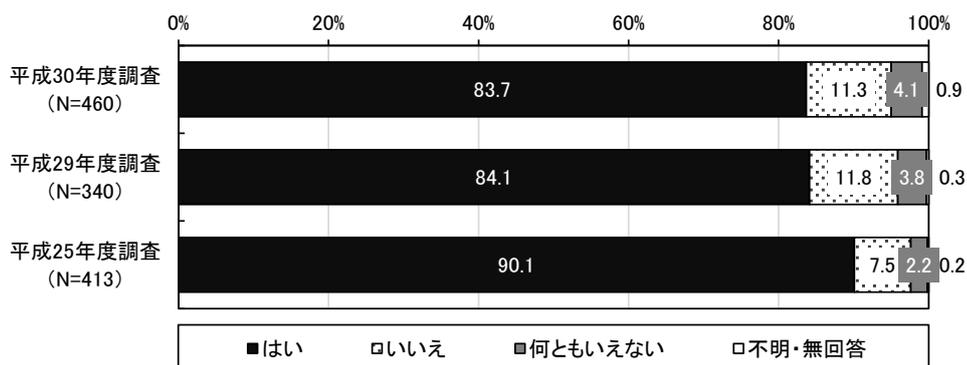
①かかりつけ小児科医はいますか。

かかりつけ小児科医の有無について、「はい」が86.5%と最も高く、次いで「いいえ」が6.5%となっています。



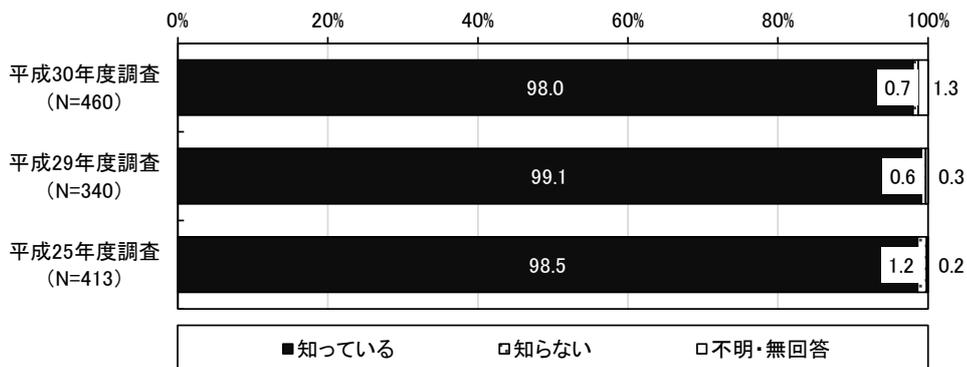
②かかりつけ歯科医はいますか。

かかりつけ歯科医の有無について、「はい」が83.7%と最も高く、次いで「いいえ」が11.3%となっています。



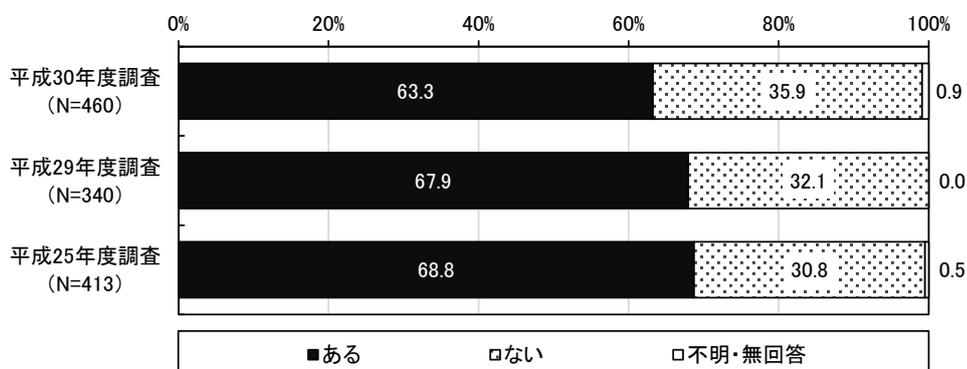
③休日夜間応急診療所をご存知ですか。

休日夜間応急診療所の認知度について、「知っている」が98.0%と大半を占めています。



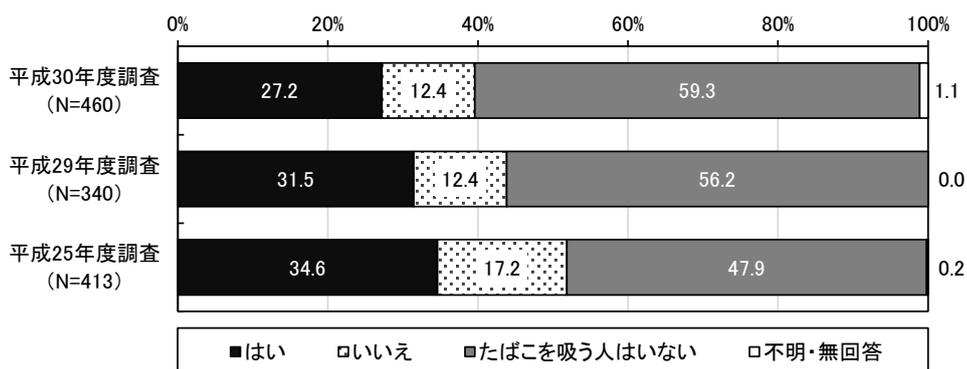
④お子さんは、これまでにけがや事故で医者にかかったことがありますか。

これまでにお子さんがけがや事故で医者にかかった経験について、「ある」が 63.3%、「ない」が 35.9%となっています。



⑤ご家族は、お子さんの前でたばこを吸わないようにしていますか。

お子さんの前での喫煙の有無について、「たばこを吸う人はいない」が 59.3%と最も高く、次いで「はい」が 27.2%となっています。

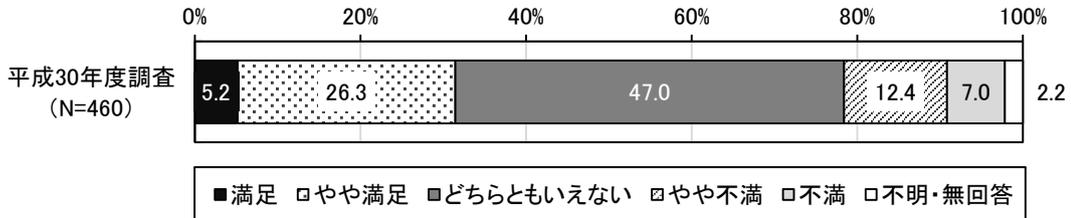


12 市の子育て支援施策について

問 27 檀原市における子育て環境や子育て支援への満足度についてお答えください。

(1つだけに○)

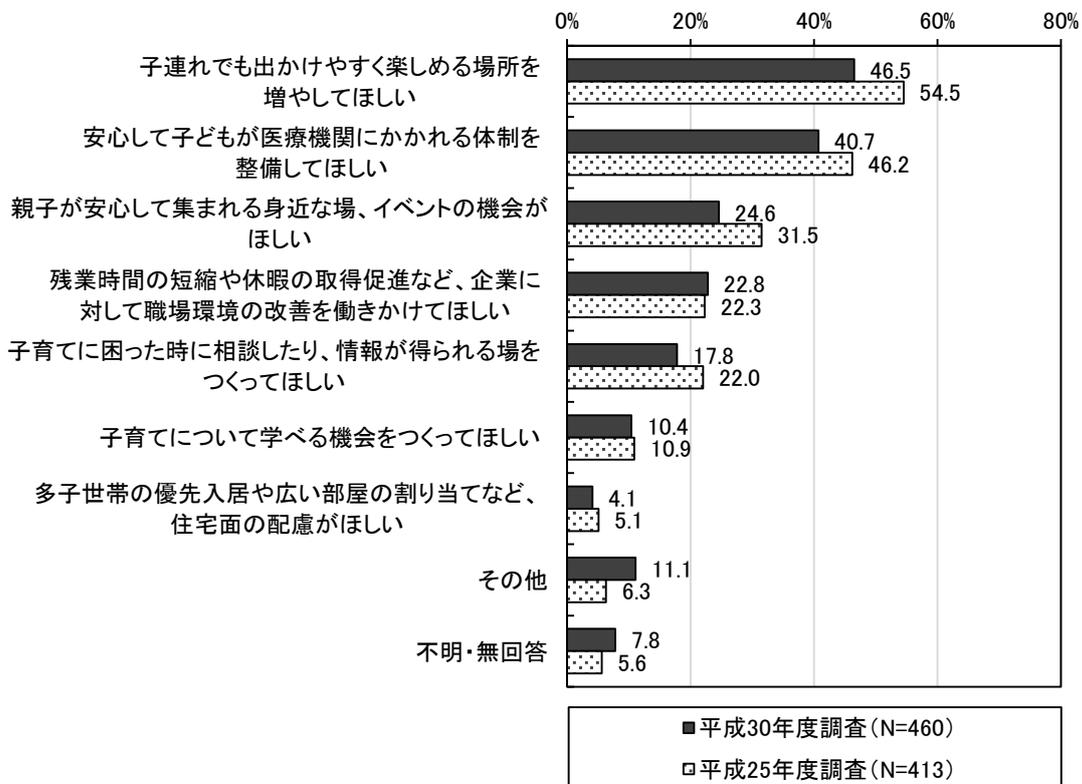
檀原市の子育て環境や子育て支援への満足度について、「どちらともいえない」が47.0%と最も高く、次いで『満足』（「満足」と「やや満足」の合計）が31.5%となっています。



問 28 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。

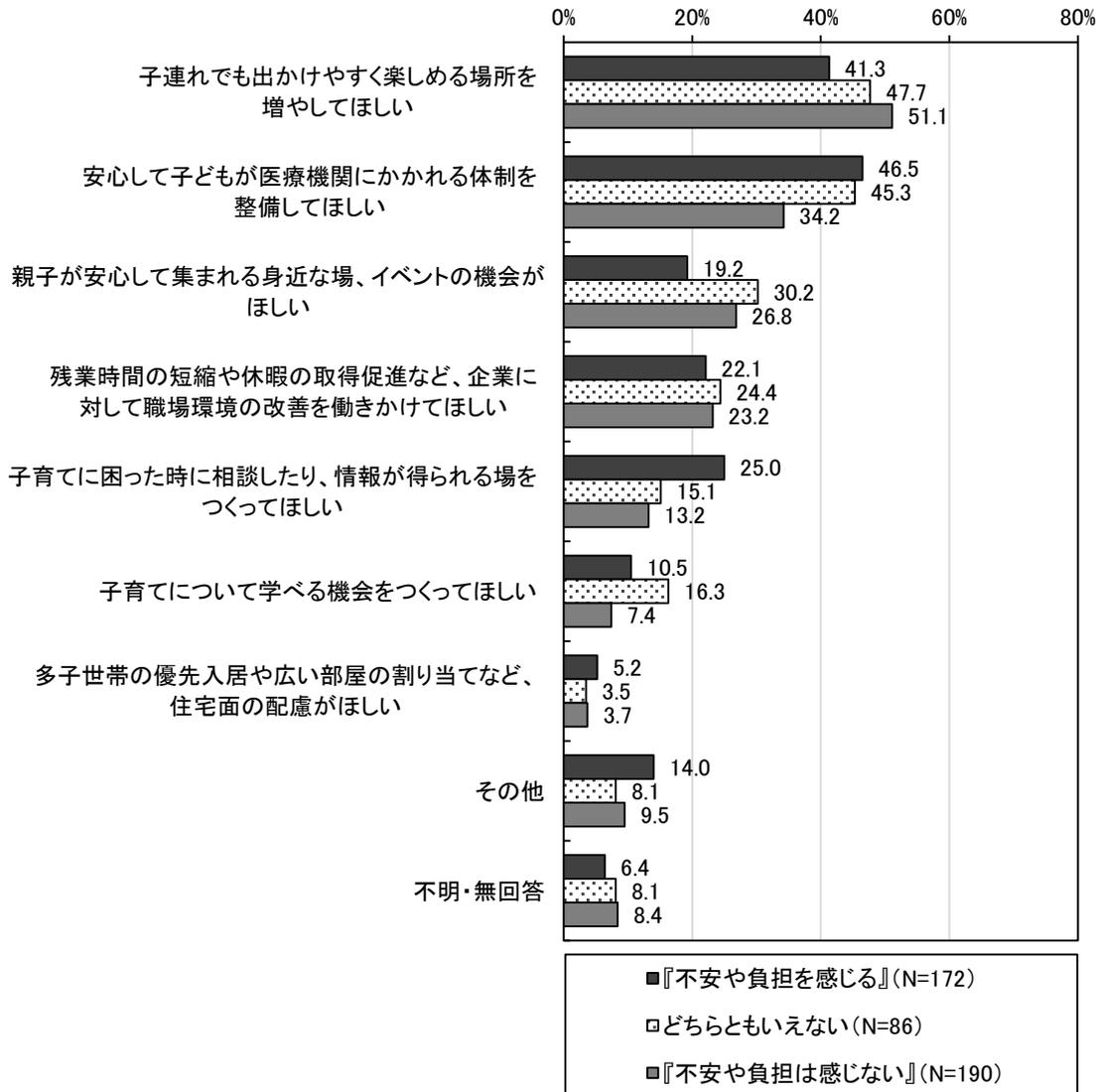
(あてはまるものすべてに○)

充実を図ってほしい市の子育て支援について、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が46.5%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が40.7%、「親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい」が24.6%となっています。



◇問 28 充実を図ってほしい市の子育て支援 × 問 8 子育てに関する不安・負担感

充実を図ってほしい市の子育て支援について、子育てに関する不安・負担感別にみると「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」において【『不安や負担は感じない』（「あまり不安や負担は感じない」と「まったく不安や負担を感じない」の合計）】よりも【『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」と「なんとなく不安や負担を感じる」の合計）】が 12.3 ポイント高くなっています。



問 29 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

(1) 子育て支援に関すること

内 容	件数
放課後児童クラブについて(保護者負担の軽減、市による運営を希望、保育内容の充実、利用時間の延長、施設や定員を増やしてほしい、長期休暇のみの利用もできるようにしてほしいなど)	29
土日祝や長期休暇中の預け先について(預け先がない、預かりサービスの充実)	4
親子で参加できるイベントや親子が集まれる場所の充実	2
保護者が子育て等について学ぶ機会の充実	1

(2) 学校や教育に関すること

内 容	件数
放課後や休日の学校の開放(遊びの場、学習支援の場の充実など)	10
学校設備の充実(エアコンの設置、トイレの整備など)	9
教員について(質の向上、増配、負担軽減、教員に対するサポート体制づくりなど)	6
学校の役員、PTA活動について(PTA活動の見直し、負担軽減など)	6
学校教育の充実(少人数制、カリキュラムの充実など)	6
障がいのある子どもへの支援(支援内容の充実、教員の障がいや支援を必要とする子どもに対する理解など)	4
学校からの情報発信を強化してほしい	2
給食について(市内で献立の内容を統一してほしいなど)	2
校区について(選択できるようにしてほしい)	1
不登校児への対応について(居場所づくり、カウンセリングの充実)	1
幼稚園と小学校の連携強化	1
学校の制服を廃止してほしい	1
学校により下校時間が異なるのが気になる、休み時間が5分で問題ないのか	1

(3) 保健・医療に関すること

内 容	件数
夜間・休日医療の充実	3
乳幼児健診の充実	1

(4) 経済的負担に関すること

内 容	件数
医療福祉の充実について(医療費の無料化、予防接種費用の助成、医療機関での支払いを一部負担金のみにしてほしいなど)	19
教育に対する支援について(進学、習い事に対する経済的支援、私立高校の無償化など)	8
児童手当の充実(増額、対象年齢の引き上げ)	3
ひとり親家庭への支援	2
多子世帯への支援・援助の充実	1

(5) 遊びの環境に関すること

内 容	件数
公園や広場がほしい(子どもがのびのび遊べる、球技ができる公園、遊具の充実、身近な場所にほしい、安全対策など)	20
天候に左右されない遊び場、室内遊びができる場所の充実	13
図書館・児童館の充実(図書館の蔵書の充実、移動図書館の導入、児童館を増やしてほしい、児童館活動の充実など)	10
障がいのある子どもが安心して遊べる環境の整備	1

(6) 生活環境に関すること

内 容	件数
通学路の安全確保について(交通量が多い、危険箇所への対策、登下校時の見守りなど)	8
歩道や道路の整備(歩道がない場所や狭いところが多く危険、信号機やカーブミラーの設置など)	8
防犯対策の強化(防犯カメラの設置、不審者情報の発信)	2
地域住民との関わりについて(地域で子どもを見守る体制、子ども食堂)	1
公共交通について(コミュニティバスの充実)	1
仕事と子育ての両立支援や働き方について	1
受動喫煙対策について	1

(7) 相談・情報提供や行政に関すること

内 容	件数
子育てについて気軽に相談できる場所の充実(相談場所についての情報発信、専門家による子育て相談、サポートなど)	6
市が実施している子育てサービス等に関する情報提供、広報活動	3
市役所と子育て関連施設等との連携強化	1
住みたいまちや人口が増えている自治体等の研究が必要	1
市職員の意識改革、質の向上	1
行政サービスの効率化(ワンストップサービス)	1

(8) 就学前児童に関すること

内 容	件数
保育園(所)について(数を増やしてほしい、定員の拡大など)	4
保育料について(負担が大きいの、軽減措置について年齢の上限をなくしてほしいなど)	4
(公立)幼稚園へ3年保育の導入	3
乳幼児に対する支援の充実	2
病児・病後児保育の充実	2
一時預かりの充実(予約方法の見直し、いざという時にすぐに利用できる体制整備)	2
こども園の保育内容に不満	1
(公立)幼稚園のサービスの充実(給食の導入)	1
保育料無償化による私立幼稚園の質の低下を懸念	1

(9) その他

内 容	件数
アンケートについて(結果を生かしてほしい、本当に子育て支援につながるのか、アンケートで何か変わるのかなど)	6
その他	3

橿原市
子ども・子育て支援に関する
アンケート調査
【結果報告書】

発行・編集：橿原市役所 健康部 こども未来課
住所：〒634-8509 奈良県橿原市内膳町1丁目1番 60号 橿原市役所 分庁舎2階
TEL:0744-25-2790 FAX:0744-25-2221

1. 0-5歳人口の推移及び推計

1.1. 0-5歳人口の推移

園区別における平成27年度から令和2年度までの推移は以下のとおりです。
 毎年の増減はありますが、全体として減少傾向です。

■ 畝傍中学校区

園区		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	
畝傍南幼稚園区	0歳	60	65	72	47	59	46	
	1歳	75	66	59	64	51	63	
	2歳	70	68	66	57	59	54	
	3歳	68	67	67	64	57	56	
	4歳	77	81	63	64	62	54	
	5歳	84	76	78	67	60	64	
合計		434	423	405	363	348	337	
畝傍北幼稚園区	0歳	49	41	48	46	42	47	
	1歳	50	52	41	51	43	41	
	2歳	60	58	48	46	50	43	
	3歳	56	62	57	48	45	50	
	4歳	64	56	63	51	42	46	
	5歳	52	56	54	66	53	40	
合計		331	325	311	308	275	267	
畝傍東幼稚園区	0歳	103	106	92	85	79	72	
	1歳	127	108	101	92	80	76	
	2歳	101	116	107	93	93	78	
	3歳	110	98	111	102	94	90	
	4歳	108	108	103	109	107	94	
	5歳	111	111	111	99	114	105	
合計		660	647	625	580	567	515	

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 八木中学校区

		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
鴨公幼稚園区	0歳		42	42	47	41	51	43
	1歳		40	37	39	46	35	51
	2歳		39	39	29	33	37	40
	3歳		42	40	37	28	29	36
	4歳		55	43	39	36	22	26
	5歳		40	46	39	40	29	20
	合計		258	247	230	224	203	216
晩成幼稚園区	0歳		74	66	71	81	69	59
	1歳		64	75	64	65	69	66
	2歳		55	64	70	66	58	59
	3歳		71	55	61	64	66	53
	4歳		52	61	49	61	61	63
	5歳		49	57	60	49	58	63
合計		365	378	375	386	381	363	
耳成幼稚園区	0歳		61	66	79	72	73	70
	1歳		90	82	66	77	71	71
	2歳		78	72	81	72	73	60
	3歳		84	97	70	89	68	78
	4歳		91	69	91	67	90	62
	5歳		69	81	71	86	69	89
合計		473	467	458	463	444	430	
香久山幼稚園区	0歳		16	11	10	14	15	6
	1歳		21	14	13	8	15	16
	2歳		12	17	17	13	9	17
	3歳		19	11	18	15	13	9
	4歳		25	21	13	18	16	11
	5歳		22	25	22	13	19	15
合計		115	99	93	81	87	74	
耳成南幼稚園	0歳		106	103	108	99	95	90
	1歳		118	113	110	106	96	93
	2歳		95	100	115	110	109	95
	3歳		125	117	93	110	107	110
	4歳		115	122	120	93	105	108
	5歳		90	98	122	119	94	105
合計		649	653	668	637	606	601	

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 大成中学校区

園区		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
今井幼稚園区	0歳	39	56	55	49	37	43	
	1歳	45	41	53	61	48	45	
	2歳	45	49	45	53	59	45	
	3歳	43	33	55	46	56	62	
	4歳	53	55	33	59	44	62	
	5歳	47	61	55	33	62	48	
合計		272	295	296	301	306	305	
真菅幼稚園区	0歳	116	111	93	88	116	94	
	1歳	113	122	105	92	79	112	
	2歳	112	102	107	98	94	80	
	3歳	102	101	104	113	97	91	
	4歳	128	123	99	105	114	97	
	5歳	95	99	122	100	100	107	
合計		666	658	630	596	600	581	

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 光陽中学校区

園区		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
金橋幼稚園区	0歳	71	75	72	67	61	59	
	1歳	64	64	74	80	71	73	
	2歳	62	72	69	79	84	75	
	3歳	70	63	75	69	77	87	
	4歳	85	79	62	76	73	71	
	5歳	74	70	79	61	78	75	
合計		426	423	431	432	444	440	
新沢幼稚園区	0歳	27	21	21	20	24	18	
	1歳	33	22	25	19	22	26	
	2歳	28	35	23	23	20	22	
	3歳	32	28	35	23	24	20	
	4歳	34	37	30	33	21	26	
	5歳	41	33	38	32	36	22	
合計		195	176	172	150	147	134	

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 白檀中学校区

園区		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
白檀幼稚園区	0歳		46	33	40	34	35	30
	1歳		38	40	33	41	40	35
	2歳		53	45	42	33	45	42
	3歳		50	51	46	44	34	44
	4歳		60	59	49	45	48	38
	5歳		50	54	67	50	45	51
合計			297	282	277	247	247	240

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 檀原中学校区

園区		年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
			2015	2016	2017	2018	2019	2020
真菅北幼稚園	0歳		86	82	85	85	64	78
	1歳		98	87	84	82	86	69
	2歳		103	111	88	85	76	84
	3歳		102	100	107	87	78	76
	4歳		100	105	95	104	85	84
	5歳		110	109	106	93	104	86
合計			599	594	565	536	493	477
耳成西幼稚園区	0歳		78	66	87	66	73	66
	1歳		81	79	63	86	67	74
	2歳		70	84	75	60	85	71
	3歳		88	75	79	75	58	82
	4歳		75	75	72	75	73	55
	5歳		87	80	76	71	76	71
合計			479	459	452	433	432	419

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

1.2. 0-5歳人口の推計

計画期間である令和2年度から令和16年度までの園児数推計値は以下のとおりです。
推計値算出にあたっては、「スライド推計」を使用しています。

■ 畝傍中学校区

園区	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034
畝傍南 幼稚園区	0歳	59	46	45	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
	1歳	51	63	46	45	44	43	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32
	2歳	59	54	61	45	44	43	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32
	3歳	57	56	53	59	44	43	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32
	4歳	62	54	56	53	59	44	43	41	40	39	38	37	36	35	34	33
	5歳	60	64	54	56	52	59	44	43	41	40	39	38	37	36	35	34
合計		348	337	315	301	285	273	250	243	236	230	224	218	212	206	200	194
畝傍北 幼稚園区	0歳	42	47	43	42	42	41	41	40	40	39	39	38	38	37	37	36
	1歳	43	41	47	43	42	42	41	41	40	40	40	39	38	38	38	37
	2歳	50	43	43	49	45	44	44	43	42	42	41	41	41	40	39	39
	3歳	45	50	43	42	49	45	44	44	43	42	42	41	41	40	40	39
	4歳	42	46	48	41	41	47	43	42	42	41	41	40	40	40	39	38
	5歳	53	40	45	47	40	40	46	42	41	41	40	40	39	39	39	38
合計		275	267	269	264	259	259	259	252	248	245	243	239	237	234	232	227
畝傍東 幼稚園区	0歳	79	72	87	85	83	81	79	77	75	73	71	71	69	68	67	65
	1歳	80	76	71	85	83	82	80	78	75	74	71	70	69	68	67	65
	2歳	93	78	73	68	82	80	79	77	75	73	71	69	67	67	66	64
	3歳	94	90	76	71	66	80	78	77	74	72	71	69	67	66	65	64
	4歳	107	94	91	77	72	67	81	79	77	75	73	71	70	68	66	66
	5歳	114	105	95	92	77	73	67	81	80	78	76	74	72	70	68	67
合計		567	515	493	478	463	463	464	469	456	445	433	424	414	407	399	391

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 八木中学校区1

園区		年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
鴨公 幼稚園区	0歳	51	43	41	40	40	39	38	37	37	36	35	35	34	33	33	33	33
	1歳	35	51	40	38	37	37	36	35	35	34	34	33	32	32	31	31	31
	2歳	37	40	46	36	35	34	34	33	32	32	31	31	30	29	29	29	28
	3歳	29	36	38	44	35	34	33	32	31	31	30	30	29	29	28	28	28
	4歳	22	26	34	36	41	32	31	30	30	29	29	28	28	27	27	27	26
	5歳	29	20	23	30	32	37	29	28	27	27	26	26	25	25	24	24	24
合計		203	216	222	224	220	213	201	195	192	189	185	183	178	175	172	170	
晩成 幼稚園区	0歳	69	59	70	70	70	70	69	68	68	68	68	68	69	69	69	69	69
	1歳	69	66	56	66	66	66	66	65	64	64	64	64	64	65	65	65	65
	2歳	58	59	62	52	62	62	62	62	61	61	61	61	60	61	61	61	61
	3歳	66	53	56	59	50	60	59	59	59	58	58	58	58	58	58	58	58
	4歳	61	63	49	53	55	47	55	55	55	55	54	54	54	54	54	54	54
	5歳	58	63	64	50	53	56	47	56	56	56	56	55	55	55	55	55	54
合計		381	363	357	350	356	361	358	365	363	362	361	360	360	362	362	362	361
耳成 幼稚園区	0歳	73	70	65	64	63	62	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	51
	1歳	71	71	74	69	68	66	65	64	63	61	60	59	58	57	56	55	55
	2歳	73	60	66	69	65	64	62	61	60	59	57	56	55	54	53	53	53
	3歳	68	78	64	71	74	69	68	66	65	64	62	61	60	59	58	57	57
	4歳	90	62	72	59	66	68	64	63	61	60	59	58	57	56	54	54	54
	5歳	69	89	61	71	58	64	67	62	61	60	59	58	57	55	54	53	53
合計		444	430	402	403	394	393	386	375	368	361	353	347	341	334	327	323	

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 八木中学校区2

園区		年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
香久山 幼稚園区	0歳	15	6	12	12	11	11	10	10	10	9	9	9	9	8	8	8	
	1歳	15	16	6	12	12	11	11	10	10	10	9	9	9	9	8	8	
	2歳	9	17	17	6	13	12	12	11	11	11	10	10	10	9	9	9	
	3歳	13	9	17	16	6	12	12	12	11	11	10	10	10	9	9	9	
	4歳	16	11	9	17	17	6	13	12	12	12	11	11	10	10	10	9	
	5歳	19	15	11	9	17	17	6	13	12	12	12	11	11	11	10	10	
合計		87	74	72	72	76	69	64	68	66	65	61	60	59	56	54	53	
耳成南 幼稚園区	0歳	95	90	97	95	93	91	90	88	88	87	87	86	85	85	83	82	
	1歳	96	93	91	98	96	94	92	91	90	89	89	88	88	86	86	84	
	2歳	109	95	91	89	96	93	92	90	89	88	87	87	86	85	84	84	
	3歳	107	110	97	93	91	97	95	94	92	90	89	89	88	88	87	86	
	4歳	105	108	109	96	92	90	97	95	93	91	90	89	88	88	87	87	
	5歳	94	105	105	106	93	89	88	94	92	91	89	87	86	86	85	85	
合計		606	601	590	577	561	554	554	552	544	536	531	526	521	518	512	508	

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 大成中学校区

園区		年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
今井 幼稚園区	0歳	37	43	47	47	47	47	47	47	48	48	48	49	49	50	51	52	53
	1歳	48	45	46	50	50	50	50	50	50	50	51	51	52	52	53	54	55
	2歳	59	45	46	46	51	51	51	51	51	51	51	52	52	53	53	54	55
	3歳	56	62	45	46	46	51	51	51	51	51	50	51	52	52	53	53	54
	4歳	44	62	67	49	49	50	55	55	55	55	55	55	55	56	56	57	57
	5歳	62	48	66	71	51	52	53	58	58	58	58	59	58	59	59	60	60
合計		306	305	317	309	294	301	307	313	313	313	317	318	322	325	330	334	
真菅 幼稚園区	0歳	116	94	100	99	98	97	96	95	94	94	93	93	92	91	90	89	
	1歳	79	112	91	97	96	95	94	93	92	92	91	90	90	89	88	87	
	2歳	94	80	106	87	92	91	90	89	89	88	87	86	86	85	85	84	
	3歳	97	91	79	105	85	91	90	89	88	87	87	86	85	85	84	83	
	4歳	114	97	95	82	109	89	95	94	93	92	91	90	89	89	88	88	
	5歳	100	107	91	88	77	102	83	89	88	87	86	85	84	83	83	82	
合計		600	581	562	558	557	565	548	549	544	540	535	530	526	522	518	513	

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 光陽中学校区

園区		年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
金橋 幼稚園区	0歳	61	59	65	63	62	61	60	59	58	57	56	56	55	55	55	54	
	1歳	71	73	62	69	67	65	64	63	62	61	60	59	59	58	58	58	
	2歳	84	75	79	67	74	72	70	69	68	67	66	64	64	63	63	63	
	3歳	77	87	76	80	68	75	73	71	70	69	68	67	65	65	64	63	
	4歳	73	71	89	78	81	69	76	74	73	71	70	69	68	66	66	65	
	5歳	78	75	69	86	75	79	67	74	72	71	69	68	67	66	65	64	
合計		444	440	440	443	427	421	410	410	403	396	389	383	378	373	371	367	
新沢 幼稚園区	0歳	24	18	19	18	17	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	
	1歳	22	26	18	19	18	17	17	16	15	15	14	14	13	12	12	11	
	2歳	20	22	26	19	19	18	18	17	16	15	15	14	14	13	13	12	
	3歳	24	20	22	27	19	19	18	18	17	16	15	15	14	14	13	13	
	4歳	21	26	21	23	28	19	20	19	18	18	17	16	15	15	14	14	
	5歳	36	22	27	22	24	29	20	21	20	19	18	17	17	16	15	15	
合計		147	134	133	128	125	118	108	106	100	97	92	89	85	82	78	76	

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 白檀中学校区

園区		年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
白檀 幼稚園区	0歳	35	30	33	31	30	29	28	27	26	25	24	24	23	22	21	21	
	1歳	40	35	31	33	32	31	30	28	27	27	26	25	24	23	23	22	
	2歳	45	42	37	33	36	35	33	32	31	29	29	28	27	26	25	24	
	3歳	34	44	42	38	34	37	35	34	32	31	30	29	28	27	27	26	
	4歳	48	38	47	46	41	36	39	38	36	35	33	32	31	30	29	28	
	5歳	45	51	39	49	47	43	38	41	39	38	36	34	33	32	31	30	
合計		247	240	229	230	220	211	203	200	191	185	178	172	166	160	156	151	

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合

■ 檀原中学校区

園区		年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	
真菅北 幼稚園区	0歳	64	78	75	74	73	71	70	69	68	68	67	66	65	64	64	63	
	1歳	86	69	79	77	75	74	73	71	70	69	69	68	67	66	65	65	
	2歳	76	84	70	80	78	76	75	74	72	71	70	70	69	68	67	66	
	3歳	78	76	81	68	78	75	74	73	71	70	69	68	67	66	66	65	
	4歳	85	84	76	81	68	78	75	74	73	71	70	69	68	67	66	66	
	5歳	104	86	86	77	83	69	79	77	75	74	73	71	70	69	69	68	
合計		493	477	467	457	455	443	446	438	429	423	418	412	406	400	397	393	
耳成西 幼稚園区	0歳	73	66	72	71	70	69	69	69	68	67	67	66	66	66	66	66	
	1歳	67	74	66	71	71	70	69	69	68	68	67	67	66	66	66	66	
	2歳	85	71	74	66	71	71	70	69	68	68	68	67	67	66	65	66	
	3歳	58	82	70	73	65	70	70	69	68	68	67	67	66	66	65	65	
	4歳	73	55	77	66	68	61	66	65	65	64	63	63	63	62	62	61	
	5歳	76	71	56	78	66	69	61	67	66	65	64	64	64	63	63	62	
合計		432	419	415	425	411	410	405	408	403	400	396	394	392	389	387	386	

※前年に比べ : 増加傾向の場合 : 減少傾向の場合



橿原市就学前の保育・教育指針

いきいき わくわく にこにこ

笑顔輝く子ども



橿 原 市
橿原市教育委員会

橿原市就学前の保育・教育指針

1. 趣旨

橿原市を形成するそれぞれの地域には、子どもを心豊かに、のびのびとはぐくむ独自の歴史文化や自然が豊富にあります。

そんな恵まれた資源を生かして、将来を担う子どもたちが個性や能力を伸ばし、健やかに成長できるようにするとともに、家庭や地域でゆとりを持って楽しく安心して子育て、子育てができる環境づくりを支援します。

乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要な時期であることを踏まえ、保育所・幼稚園の枠を超えて、養護と教育を一体的に行い、子どもの発達の保障を目指し、保育・教育内容を構築し、推進します。

2. 基本理念

- ◆ 就学前の子どもの育ちを一貫して支える保育・教育の実践をする。
- ◆ 保育者の資質向上と専門性を高める。
- ◆ 小学校への滑らかな接続を行う。
- ◆ 家庭教育力の向上を目指した子育て支援の充実を図る。

3. 基本方針

- ◎ 児童憲章・児童福祉法・教育基本法・学校教育法・保育所保育指針・幼稚園教育要領に基づき、就学前の子どもの健全な心身の発達を図り、生涯にわたる人格形成の基礎を培う。

4. めざす子ども像

【いきいき・わくわく・にこにこ笑顔輝く子ども】

※いきいき・・・自分らしくいきいきと活動する子

※わくわく・・・わくわくと心弾ませ、意欲をもって活動する子

※にこにこ・・・自分も友だちも大好き、いつもにこにこ友だちとなかよく活動する子

5. 保育・教育目標

- 乳幼児期の子どもの特性をふまえ、環境を通して養護と教育を一体的に行うように努める。
- 「すべての子どもの最善の利益」を基に、次代を担う子どもが心豊かにたくましく生きる力を身につけるように努める。
- 子どもの生活の連続性及び発達や学びの連続性をふまえた就学前の保育・教育の充実に努める。
- 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿は保育活動全体を通して幼児の育ちを理解する。
- 生命を大切にし、健康・安全など生活に必要な基本的習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を育てる。
- 特別支援教育に対する理解と認識を深め、一人一人の子どもの特性や発達段階を把握し、集団の中で共に育ち合う環境づくりに努める。
- 職員の担う役割の重要性を自覚し、専門意識を高め、資質向上に努めるとともに子どもや保護者にとって質の高い保育・教育の提供に努める。
- 保護者が子育ての喜びと自信を得、子育て力を高めていけるよう、子どもとともに喜びを実感できるような環境づくりや支援に努める。
- 家庭や地域との連携を図り、地域の特性を生かした保育・教育活動を進める。

6. 保育・教育指導の重点

- 十分に養護の行き届いた環境の下で、様々な欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
- 一人一人の子どもの心身の発達や特性を踏まえ、安全で乳幼児期にふさわしい生活が展開できるよう、計画的な環境構成を行う。
- 自然や人とのふれあいなど様々な体験を通して、規範意識の芽生えを養い、生活に必要な習慣や態度、豊かな心情を育てる。
- 自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができる環境づくりに努め、人権感覚の基礎を育てる。
- 友だちと共に過ごす楽しさや喜びを味わわせ、相手を思いやり認め合う心を育てる。
- 自らふれ、確かめるなどの体験や感動を通してイメージを豊かにし、様々な方法で表現しようとする意欲や態度を育てる。
- 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養う。
- 子どもの発達や学びがつながっていくように、小学校との積極的な連携を図る。
(小学生との交流、情報の共有、職員間の交流・研修等)
- 生きる力の基礎を培うため、豊かな人間関係の中で命の大切さを乳幼児期から養う。
- 地域や関係機関と連携を図りながら、家庭における子育てを支援する。

7. 組織図

